

# 和歌山県埋蔵文化財調査年報

—平成 23 年度—

2013. 3

和歌山県教育委員会

# 例 言

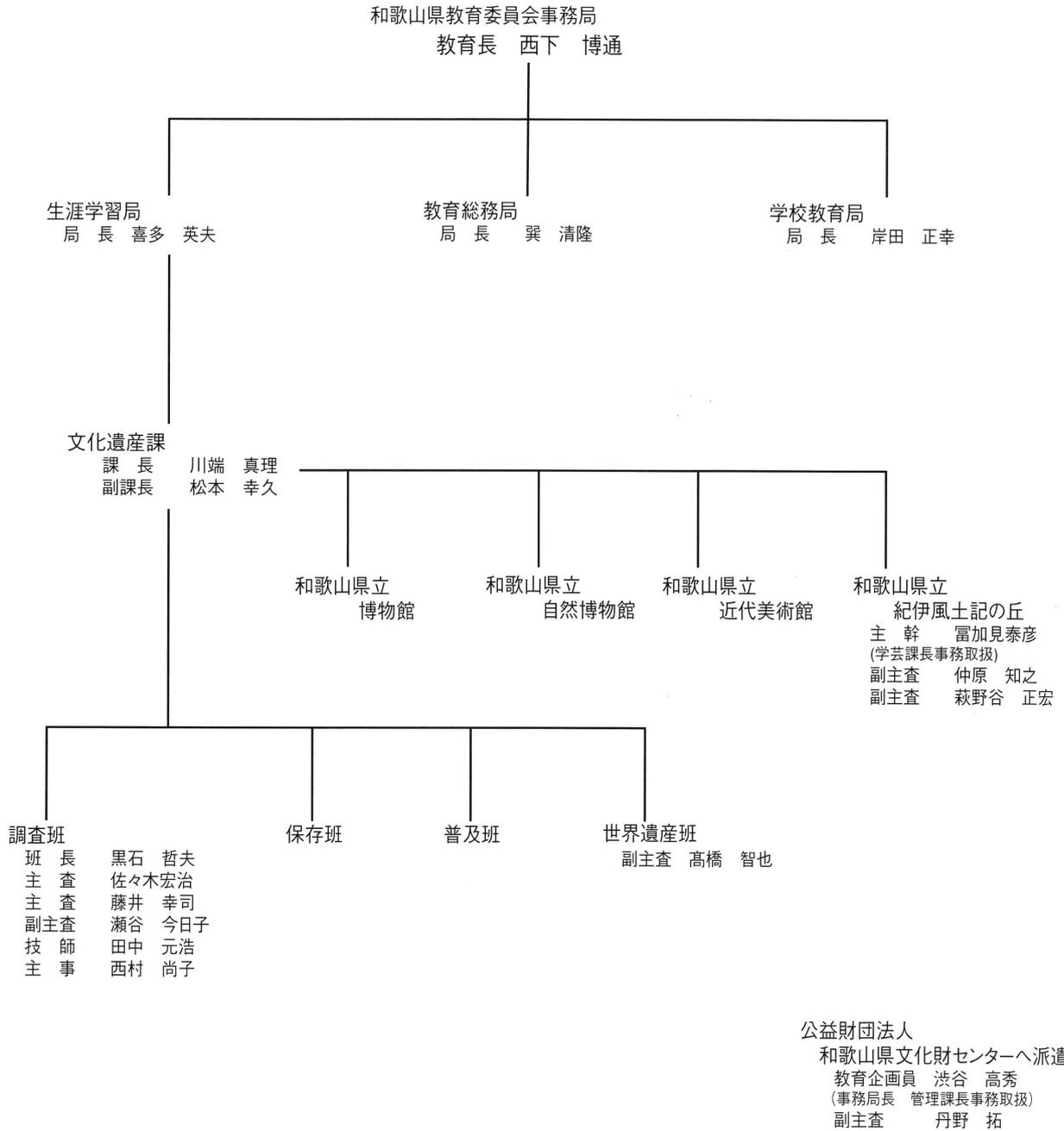
- 1 本書は、平成 23 年度に文化庁の国宝重要文化財等保存整備費補助金を得て、和歌山県教育委員会が実施した工事立会、分布調査、試掘調査、確認調査の成果報告である。  
そのほか、平成 24 年度の和歌山県埋蔵文化財関係組織図、周知の埋蔵文化財包蔵地の認定及び範囲変更、平成 23 年度の国指定記念物及び県指定文化財（記念物）現状変更許可一覧、文化財保護法第 92 条、第 93 条、第 94 条、第 99 条、第 102 条の届出、通知、報告一覧及び和歌山県教育委員会、市町村教育委員会関係及び公益財団法人和歌山県文化財センターの調査一覧についても掲載した。
- 2 周知の埋蔵文化財包蔵地については、平成 24 年 1 月 1 日から平成 24 年 12 月 31 日までに、変更があったものを掲載した。
- 3 本書に掲載した地図は、特に断りがない限り、遺跡位置図の縮尺は 25,000 分の 1、調査位置図の縮尺が 2,500 分の 1 で、上方が座標北である。
- 4 本文中で使用した土色は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修『新版標準土色帖』によるものである。
- 5 「市町村教育委員会の調査一覧」の作成にあたっては、和歌山市・海南市・紀の川市・岩出市・かつらぎ町・橋本市・高野町・有田市・有田川町・御坊市・田辺市・白浜町・新宮市・那智勝浦町の各教育委員会の協力を得た。
- 6 本書の編集は、和歌山県教育庁生涯学習局文化遺産課調査班が行い、執筆は各担当者が行った。
- 7 本書で使用した図面類の原図及び掲載を省略した原図・写真等の記録類は、和歌山県教育委員会で保管しているので、閲覧可能である。

# 目 次

平成 24 年度 関係資料	1
和歌山県埋蔵文化財関係組織図	2
周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲変更	3
平成 23 年度 和歌山県内記念物・埋蔵文化財関係届出等資料	5
国指定記念物現状変更許可一覧	6
県指定文化財（記念物）現状変更許可一覧	9
埋蔵文化財関係届出等件数一覧・県内市町村文化財関係届出件数一覧	10
埋蔵文化財発掘の届出・通知（法第 93 条・法第 94 条）一覧	11
埋蔵文化財発掘調査の届出・報告（法第 92 条・法第 99 条）一覧	21
出土文化財認定通知（法第 102 条）一覧	26
平成 23 年度 和歌山県内における埋蔵文化財の調査成果	28
市町村教育委員会による調査一覧	29
公益財団法人和歌山県文化財センターによる調査一覧	36
県教育委員会による調査一覧	37
1 金剛峯寺遺跡	38
2 慈尊院Ⅱ遺跡	38
3 県指定史跡三谷坂	39
4 東浜田遺跡	43
5 笠田東遺跡	47
6 下丹生谷遺跡	49
7 粉河寺遺跡	50
8 貴志城跡	50
9 西の側遺跡	51
10 栗島遺跡	53
11 京奈和自動車道（紀北西道路）関連遺跡	57
12 秋月遺跡	62
13 田屋遺跡	63
14 六十谷遺跡	65
15 平井Ⅱ遺跡	68
16 和歌山城跡	70
17 和田遺跡	71
18 海南第二中学校校庭遺跡	77
19 中田遺跡	79
20 下佐々Ⅲ遺跡	80
21 崎山屋敷跡	80
22 田井・西川遺跡	81
23 法徳寺遺跡	82
24 土生城跡	83
25 三百瀬遺跡	85
26 道成寺遺跡	86
27 南部高校遺跡	88
28 西の野遺跡	87
29 近畿自動車道紀勢線関連遺跡	89
30 笠嶋遺跡	98
31 矢ノ熊遺跡	98
32 旧太地熱帯植物園内遺跡	98
報告書抄録	99

## 平成 24 年度 関係資料

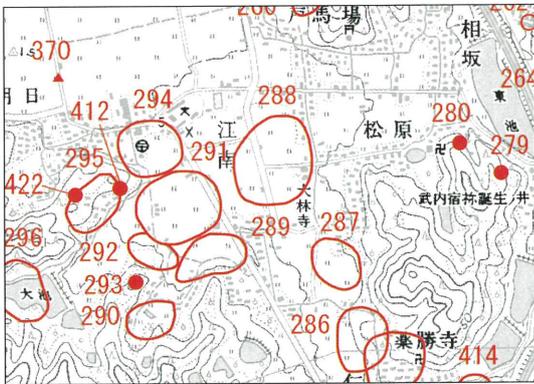
# 和歌山県埋蔵文化財関係組織図



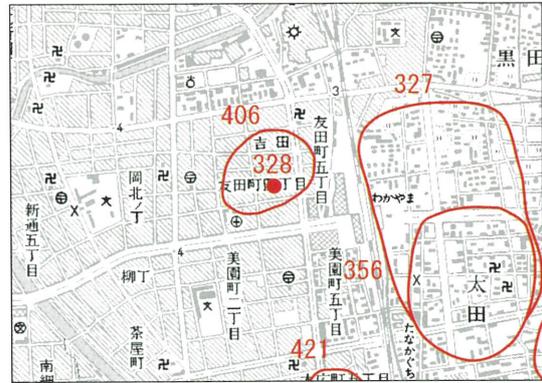
## 周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲変更

平成24年1月1日から平成24年12月31日までに包蔵地の認定・範囲変更・名称変更等を行った遺跡は、表に示す10遺跡である。

以下の地図では包蔵地範囲を赤線で示している。



和歌山市  
288 松原Ⅱ遺跡



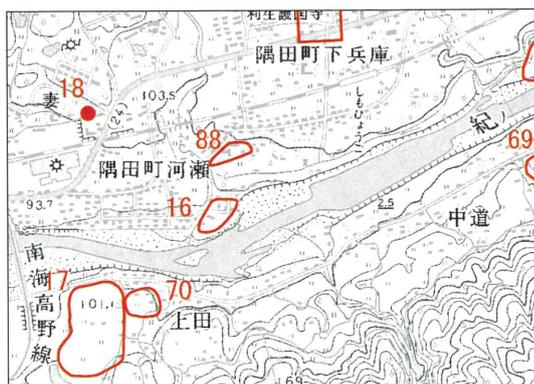
和歌山市  
406 友田町遺跡



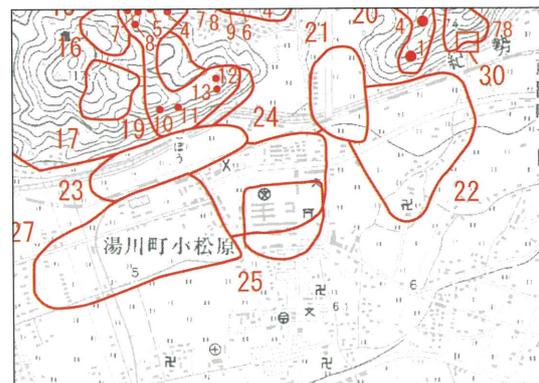
和歌山市  
407 津秦Ⅱ遺跡



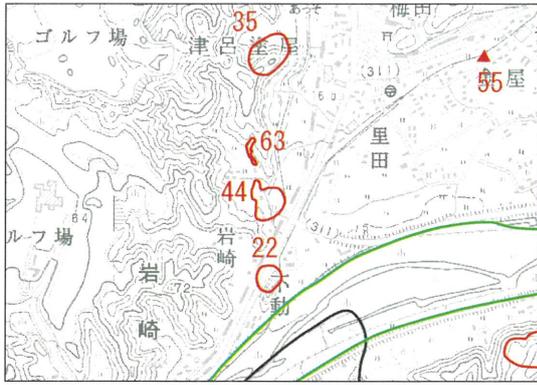
和歌山市  
437 平井Ⅱ遺跡



橋本市 橋本地区  
16 土居遺跡  
88 松岡土居屋敷跡



御坊市  
24 小松原Ⅱ遺跡  
25 湯川氏館跡



上富田町  
 44 岩崎大泓遺跡  
 63 岩崎大泓Ⅱ遺跡

周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲変更一覧表

市町村名 (地区名)	遺跡 番号	地図	遺跡名	いせきめい	所在地	種別	時代	立地	遺跡概況	変更・ 認定日	備考
和歌山市	288	10図	松原Ⅱ遺跡	まつばらに いせき	松原	散布地		丘陵	土師器、須恵器、瓦器、 輸入陶磁器	平成24年 5月7日	範囲変更 等
	406	10図	友田町遺跡	ともだまち いせき	友田町	集落跡	弥生～ 平安	沖積地	溝、須恵器、土師器、黒 色土器	平成24年 11月9日	範囲変更 等
	407	10図	津秦Ⅱ遺跡	つはだに いせき	秋月 津秦	散布地	古墳～ 室町	沖積地	溝、土坑、水田畦畔、土師器、 須恵器、黒色土器、瓦器、 焼締陶器、輸入磁器	平成24年 8月7日	範囲変更 等
	437	5図	平井Ⅱ遺跡	ひらいに いせき	平井	散布地	弥生～ 中世	山麓	弥生土器、土師器、須恵器、 瓦器	平成24年 1月24日 平成24年 11月16日	新規認定 範囲変更
橋本市 (橋本地区)	16	9図	土居遺跡	どいいせき	隅田町 下兵庫	散布地	縄文～ 古墳	河岸 段丘	縄文土器・土師器・弥生 土器	平成24年 9月24日	地図番号 表記修正
	88	9図	松岡土居 屋敷跡	まつおかどい やしきあと	隅田町 下兵庫	城館跡	中世	河岸 段丘			
御坊市	24	32図	小松原Ⅱ 遺跡	こまつばらに いせき	湯川町 小松原	集落	弥生～ 中世	平地	掘立柱建物、土坑、溝、 製塩土器、瓦器、土錘、 弥生土器、石斧	平成24年 11月9日	範囲変更 等
	25	32図	湯川氏館跡	ゆかわしやか たあと	湯川町 小松原	散布地・ 館跡	弥生～ 中世	平地	掘、土堤、溝、木簡、漆器椀、 土師器、瓦器、中国製染付、 青磁、弥生土器		
上富田町	44	47図	岩崎大泓 遺跡	いわさきおお ふけいせき	岩崎	散布地	奈良～ 鎌倉	沖積地	土師器、黒色土器、瓦器、 墨書土器	平成24年 8月8日	範囲変更 等
	63	47図	岩崎大泓Ⅱ 遺跡	いわさきおお ふけいせき	岩崎	散布地	弥生～ 中世	丘陵 裾部～ 丘陵	弥生土器、土師器、瓦器、 石器	平成24年 8月8日	新規認定

平成 23 年度

和歌山県内記念物・埋蔵文化財関係届出等資料

国指定記念物現状変更許可一覧（進達）1

No	文書番号 日付	史跡名	申請理由 申請日	場所 所有者など	申請者	備考
1	文第105号 平成23年4月21日	名勝・天然記念物 橋杭岩	地質学的調査 平成23年3月30日	①東牟婁郡串本町姫 姫保郷会 ②東牟婁郡串本町鬮野川 鬮野川愛郷会	独立行政法人 産業技術総合研究所	
2	文第105号の(2) 平成23年4月21日	名勝・天然記念物 橋杭岩	落石防止対策 平成23年3月30日	①東牟婁郡串本町姫 姫保郷会 ②東牟婁郡串本町鬮野川 鬮野川愛郷会	国土交通省近畿地方整備局 紀南河川国道事務所	
3	文第105号の(3) 平成23年6月2日	史跡 熊野三山	樹木植栽 平成23年6月2日	和歌山県新宮市新宮地内 (宗) 熊野速玉大社	(宗) 熊野速玉大社	新宮市教育委員会立会
4	文第105号の(4) 平成23年6月15日	天然記念物 オオウナギ生息地	住宅建替 平成23年6月6日	西牟婁郡上富田町生馬地先	上富田町長	H22.5.21付け22受庁財第4号の185及びH23.2.28付け22受庁財第4号の1860で許可のあった件の工事内容の追加と工期延期のため
5	文第105号の(5) 平成23年6月20日	史跡 根来寺境内	水文調査 平成23年6月7日	岩出市根来字根来	国土交通省近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所	H22.10.15付け22受庁財第4号の1219で同意のあった件の調査内容の追加・期間延長・調査箇所増設のため 岩出市教育委員会立会
6	文第105号の(6) 平成23年6月27日	天然記念物 オオウナギ生息地	橋梁設置 平成23年6月14日	西牟婁郡白浜町平地先 ～十九洲地先	国土交通省近畿地方整備局 紀南河川国道事務所	
7	文第105号の(7) 平成23年6月27日	史跡 和歌山城	発掘調査及び仮設建物設置 平成23年6月20日	和歌山市一番丁	和歌山市長	和歌山市教育委員会立会
8	文第105号の(8) 平成23年6月27日	天然記念物 オオウナギ生息地	橋梁設置 平成23年6月17日	西牟婁郡白浜町 (富田橋より約400m下流部)	和歌山県知事	
9	文第105号の(9) 平成23年6月27日	史跡 和歌山城	石垣修復 平成23年6月23日	和歌山市一番丁	和歌山市長	和歌山市教育委員会立会
10	文第105号の(10) 平成23年6月28日	史跡熊野参詣道大辺路 (長井坂)	道路修復 平成23年6月27日	西牟婁郡すさみ町地内 すさみ町	すさみ町	和歌山県教育委員会立会
11	文第105号の(11) 平成23年8月3日	特別史跡 岩橋千塚古墳群	説明板撤去及び設置 平成23年7月27日	和歌山市岩橋 和歌山県	和歌山県立紀伊風土記の丘	紀伊風土記の丘立会
12	文第105号の(12) 平成23年8月10日	史跡 金剛峯寺境内	遊歩道修復及び側溝設置 平成23年7月22日	伊都郡高野町高野山 (宗) 金剛峯寺	(宗) 金剛峯寺	高野町教育委員会立会
13	文第105号の(13) 平成23年8月10日	史跡 金剛峯寺境内	墓基礎修復 平成23年7月26日	伊都郡高野町高野山 (宗) 金剛峯寺	個人	高野町教育委員会立会
14	文第105号の(14) 平成23年8月24日	史跡 熊野参詣道	参詣道修理 平成23年8月19日	新宮市熊野川町西 新宮市	新宮市長	新宮市教育委員会立会
15	文第105号の(15) 平成23年8月26日	史跡 名手宿本陣	土塀修理 平成23年8月25日	紀の川市名手市場 紀の川市	紀の川市長	紀の川市教育委員会立会
16	文第105号の(16) 平成23年9月21日	史跡 金剛峯寺境内	墓石建立 平成23年9月8日	伊都郡高野町高野山 (宗) 金剛峯寺	(宗) 櫻池院	高野町教育委員会立会
17	文第105号の(17) 平成23年9月22日	天然記念物 オオウナギ生息地	鮎産卵場整備 平成23年9月14日	西牟婁郡白浜町十九洲 (管) 白浜町	富田川漁業協同組合	
18	文第105号の(18) 平成23年9月26日	特別史跡 岩橋千塚古墳群	浄化槽撤去及び配管 平成23年8月31日	和歌山市岩橋 和歌山県	和歌山県立紀伊風土記の丘	紀伊風土記の丘立会
19	文第105号の(19) 平成23年10月3日	史跡 金剛峯寺境内	墓所改修 平成23年7月5日	伊都郡高野町高野山 (宗) 金剛峯寺	(宗) 龍泉院	高野町教育委員会立会
20	文第105号の(20) 平成23年10月19日	史跡 紀伊国分寺跡	伐採及び植栽 平成23年10月7日	紀の川市東国分 紀の川市	紀の川市	紀の川市教育委員会立会
21	文第105号の(21) 平成23年10月26日	天然記念物 オオウナギ生息地	灌漑用堰復旧 平成23年10月20日	西牟婁郡白浜町栄～十九洲 (管) 白浜町	白浜町	
22	文第105号の(22) 平成23年10月26日	史跡 新宮城跡附水野家墓所	落石防止網設置 平成23年10月20日	新宮市新宮 新宮市	新宮市	新宮市教育委員会立会
23	文第105号の(23) 平成23年10月26日	天然記念物 オオウナギ生息地	護岸復旧 平成23年10月11日	西牟婁郡上富田町岩田地内 (管) 白浜町	和歌山県	
24	文第105号の(25) 平成23年10月26日	史跡 和歌山城	バリケード設置 平成23年10月3日	和歌山市一番丁 和歌山市	和歌山市	和歌山市教育委員会立会

国指定記念物現状変更許可一覧（進達）2

No	文書番号 日付	史跡名	申請理由 申請日	場所 所有者など	申請者	備考
25	文第 105 号の (26) 平成 23 年 11 月 21 日	名勝 養翠園	園路整備及び地形復旧 平成 23 年 11 月 16 日	和歌山市西浜 (株) 養翠園	(株) 養翠園	
26	文第 105 号の (27) 平成 23 年 11 月 21 日	天然記念物 オオウナギ生息地	橋梁復旧 平成 23 年 10 月 31 日	西牟婁郡白浜町、上富田町、 田辺市 国	田辺市長	
27	文第 105 号の (28) 平成 23 年 12 月 12 日	史跡 金剛峯寺境内	伐採及び作業道設置 平成 23 年 11 月 15 日	伊都郡高野町高野山 (宗) 金剛峯寺	高野山寺領森林組合	高野町教育委員会立会
28	文第 105 号の (29) 平成 23 年 12 月 12 日	史跡 金剛峯寺境内	伐採及び駐車場建設 平成 23 年 11 月 16 日	伊都郡高野町高野山 (宗) 金剛峯寺	(宗) 金剛峯寺	高野町教育委員会立会
29	文第 105 号の (30) 平成 23 年 12 月 21 日	特別史跡 岩橋千塚古墳群	説明板設置及び撤去 平成 23 年 12 月 6 日	和歌山市岩橋 和歌山県	和歌山県立紀伊風土記の丘	紀伊風土記の丘立会
30	文第 105 号の (31) 平成 23 年 12 月 26 日	天然記念物 オオウナギ生息地	護岸復旧 平成 23 年 12 月 16 日	田辺市鮎川 (管) 白浜町	和歌山県知事	
31	文第 105 号の (31) 平成 23 年 12 月 26 日	天然記念物 オオウナギ生息地	護岸復旧 平成 23 年 12 月 16 日	西牟婁郡白浜町十九淵 (管) 白浜町	和歌山県知事	(31) に統合
32	文第 105 号の (33) 平成 23 年 12 月 26 日	史跡 高野山町石	路肩修復 平成 23 年 12 月 22 日	伊都郡かつらぎ町神田 かつらぎ町	かつらぎ町長	かつらぎ町 教育委員会立会
33	文第 105 号の (31) 平成 23 年 12 月 26 日	天然記念物 オオウナギ生息地	護岸復旧 平成 23 年 12 月 16 日	西牟婁郡上富田町岩田、市ノ 瀬 (管) 白浜町	和歌山県知事	(31) に統合
34	文第 105 号の (35) 平成 23 年 12 月 28 日	天然記念物那智原始林 及び名勝那智大滝	架線設置 平成 23 年 12 月 26 日	東牟婁郡那智勝浦町那智山 (宗) 熊野那智大社	(宗) 熊野那智大社	
35	文第 105 号の (37) 平成 24 年 1 月 27 日	特別史跡 岩橋千塚古墳群	古墳修景 平成 24 年 1 月 18 日	和歌山市岩橋 (管) 和歌山県	和歌山県立紀伊風土記の丘	紀伊風土記の丘立会
36	文第 105 号の (38) 平成 24 年 2 月 10 日	天然記念物 オオウナギ生息地	工事用仮設道路設置 平成 24 年 1 月 27 日	西牟婁郡白浜町富田(富田川) 国土交通省	国土交通省近畿地方整備局 紀南河川国道事務所	
37	文第 105 号の (39) 平成 24 年 2 月 13 日	史跡熊野三山	落石防止網設置 平成 24 年 1 月 20 日	新宮市新宮 農林水産省	和歌山森林管理署長	新宮市教育委員会立会
38	文第 105 号の (40) 平成 24 年 2 月 13 日	史跡熊野三山	案内板設置 平成 24 年 1 月 19 日	新宮市新宮 農林水産省	和歌山森林管理署長	新宮市教育委員会立会
39	文第 105 号の (41) 平成 24 年 2 月 22 日	天然記念物 オオウナギ生息地	橋梁復旧 平成 24 年 2 月 13 日	富田川 国	上富田町長	
40	文第 105 号の (42) 平成 24 年 2 月 22 日	天然記念物那智原始林	伐採 平成 24 年 2 月 17 日	東牟婁郡那智勝浦町那智山 (宗) 熊野那智大社	(宗) 熊野那智大社	
41	文第 105 号の (43) 平成 24 年 2 月 22 日	史跡金剛峯寺境内	作業路設置 平成 24 年 2 月 10 日	伊都郡高野町高野山 (宗) 金剛峯寺	高野山寺領森林組合	高野町教育委員会立会
42	文第 105 号の (44) 平成 24 年 2 月 22 日	史跡和歌山城	説明板設置 平成 24 年 2 月 7 日	和歌山市一番丁 和歌山市	和歌山市長	和歌山市教育委員会立会
43	文第 105 号の (45) 平成 24 年 2 月 24 日	天然記念物 オオウナギ生息地	堆積土砂除去 平成 24 年 2 月 20 日	富田川 国	上富田町長	
44	文第 105 号の (46) 平成 24 年 2 月 27 日	史跡金剛峯寺	階段及び柵設置 平成 24 年 2 月 21 日	伊都郡高野町高野山 (宗) 金剛峯寺	(宗) 金剛峯寺	高野町教育委員会立会
45	文第 105 号の (47) 平成 24 年 2 月 27 日	史跡金剛峯寺	防災設備改修 平成 24 年 2 月 22 日	伊都郡高野町高野山 (宗) 金剛峯寺	(財) 高野山文化財保存会	高野町教育委員会立会
46	文第 105 号の (48) 平成 24 年 3 月 9 日	名勝円月島(高嶋) 及び千畳敷	亀裂補修 平成 24 年 2 月 29 日	西牟婁郡白浜町 白浜町	白浜町長職務代理者	
47	文第 105 号の (49) 平成 24 年 3 月 13 日	天然記念物 オオウナギ生息地	堆積土砂除去 平成 24 年 2 月 23 日	西牟婁郡白浜町、上富田町、 田辺市 国	和歌山県知事	西建河第 143 号 平成 24 年 3 月 6 日
48	文第 105 号の (50) 平成 24 年 3 月 13 日	天然記念物 オオウナギ生息地	標柱設置 平成 24 年 3 月 6 日	富田川 国	和歌山県知事	
49	文第 105 号の (51) 平成 24 年 3 月 16 日	名勝和歌の浦	河川護岸改修 平成 24 年 3 月 8 日	和歌山市和歌浦地先	和歌山県知事	
50	文第 105 号の (52) 平成 24 年 3 月 27 日	名勝那智大滝	作業道設置及び法面保護措置 平成 24 年 3 月 23 日	東牟婁郡那智勝浦町那智山 (宗) 熊野那智大社	(宗) 熊野那智大社	
51	文第 105 号の (53) 平成 24 年 3 月 27 日	史跡高野山町石	道路補修及び排水路設置 平成 24 年 3 月 19 日	伊都郡高野町、かつらぎ町、 九度山町 九度山町他	和歌山県知事	

国指定記念物現状変更許可一覧（権限委任）1

No	文書番号 日付	記念物名	申請理由 申請日	場所 所有者など	申請者	権限委任	指示内容	許可権者
1	文第120号 平成23年4月25日	史跡 金剛峯寺境内	墓石設置 平成23年4月18日	伊都郡高野町高野山 (宗) 金剛峯寺	(宗) 遍照光院	ハ 工作物の設置	慎重に実施する よう指示	和歌山県 教育委員会
2	和教文第57号 平成23年4月15日	史跡 和歌山城	仮設スロープ設置 平成23年4月14日	和歌山市一番丁 和歌山市	和歌山市	ハ 工作物の設置	慎重に実施する よう指示	和歌山市 教育委員会
3	田教第55号の3 平成23年5月13日	史跡 熊野参詣道中辺路	樹木伐採 平成23年5月12日	田辺市本宮町本宮 (管) 田辺市	田辺市	ヘ 樹木の伐採	慎重に実施する よう指示	田辺市 教育委員会
4	指令新教文第1号 平成23年6月3日	史跡 熊野三山	食害防護ネット設置 平成23年6月2日	新宮市相筋 林野庁、新宮市、熊野 速玉大社	(宗) 熊野速玉大社	ハ 工作物の設置	慎重に実施する よう指示	新宮市 教育委員会
5	文第120号の(2) 平成23年6月5日	史跡 金剛峯寺境内	木竹伐採 平成23年6月7日	伊都郡高野町高野山 (宗) 金剛峯寺	(宗) 金剛峯寺	ヘ 樹木の伐採	慎重に実施する よう指示	和歌山県 教育委員会
6	文第120号の(3) 平成23年6月20日	天然記念物 オカヤドカリ	生態調査 平成23年6月6日	西牟婁郡白浜町瀬戸	京都大学 瀬戸臨海実験所	ト 生息状況調査	慎重に実施する よう指示	和歌山県 教育委員会
7	岩市教第1110号 平成23年6月20日	史跡 根来寺境内	樹木伐採 平成23年6月7日	岩出市根来 (宗) 新義真言宗総本山 根来寺	和歌山県	ヘ 樹木の伐採	慎重に実施する よう指示	岩出市 教育委員会
8	文第120号の(4) 平成23年6月28日	史跡 金剛峯寺境内	太鼓橋改修 平成23年6月6日	伊都郡高野町高野山 (宗) 金剛峯寺	(宗) 金剛峯寺	ハ 工作物の設置	慎重に実施する よう指示	和歌山県 教育委員会
9	指令新教文第2号 平成23年6月29日	史跡 熊野三山	慰霊碑設置 平成23年6月27日	新宮市相筋 林野庁、新宮市、熊野 速玉大社	千穂ヶ峰を守る会	ハ 工作物の設置	慎重に実施する よう指示	新宮市 教育委員会
10	田教第120号の2 平成23年7月28日	史跡 熊野参詣道中辺路	つば湯小屋の復旧修繕 平成23年7月22日	田辺市本宮町湯峯 (管) 田辺市	田辺市四村川財産区管 理者	ハ 工作物の設置	慎重に実施する よう指示	田辺市 教育委員会
11	文第120号の(5) 平成23年7月29日	天然記念物 イジマムシクイ	生息状況調査・標識設置 平成23年7月8日	日高郡日高町	(財) 山階鳥類研究所	ト 生息状況調査	慎重に実施する よう指示	和歌山県 教育委員会
12	田教第130号の2 平成23年8月18日	史跡 熊野三山	野外イベント用設備設置 平成23年8月5日	田辺市本宮町本宮 (宗) 熊野本宮大社	八咫の火祭り実行委員 会	ハ 工作物の設置	慎重に実施する よう指示	田辺市 教育委員会
13	田教第138号の2 平成23年8月22日	天然記念物 オオウナギ生息地	台風被害に伴う復旧修繕 平成23年8月16日	田辺市鮎川 (管) 白浜町	田辺市	ハ 工作物の設置	慎重に実施する よう指示	田辺市 教育委員会
14	文第120号の(6) 平成23年8月24日	史跡 金剛峯寺境内	墓石設置 平成23年8月4日	伊都郡高野町高野山 (宗) 金剛峯寺	高野山報徳会	ハ 工作物の設置	慎重に実施する よう指示	和歌山県 教育委員会
15	文第120号の(7) 平成23年8月24日	史跡 金剛峯寺境内	枯死木伐採 平成23年8月4日	伊都郡高野町高野山 (宗) 金剛峯寺	(宗) 金剛峯寺	ヘ 樹木の伐採	慎重に実施する よう指示	和歌山県 教育委員会
16	文第120号の(8) 平成23年9月5日	史跡 金剛峯寺境内	石垣修理 平成23年8月30日	伊都郡高野町高野山 (宗) 金剛峯寺	個人	ハ 工作物の設置	慎重に実施する よう指示	和歌山県 教育委員会
17	指令新教文第3号 平成23年9月8日	史跡 新宮城跡附水野家 墓所	転落防止柵設置 平成23年9月2日	新宮市新宮新宮市	新宮市水道事務所	ハ 工作物の設置	慎重に実施する よう指示	新宮市 教育委員会
18	文第120号の(9) 平成23年9月21日	史跡 金剛峯寺境内	墓石設置 平成23年9月8日	伊都郡高野町高野山 (宗) 金剛峯寺	(宗) 安養院	ハ 工作物の設置	慎重に実施する よう指示	和歌山県 教育委員会
19	文第120号の(10) 平成23年9月21日	天然記念物 オオウナギ生息地	環境影響調査 平成23年9月12日	西牟婁郡白浜町栄～十九淵 (管) 白浜町	白浜町	ト 生息状況調査	慎重に実施する よう指示	和歌山県 教育委員会
20	田教第169号の2 平成23年9月21日	天然記念物 オオウナギ生息地	環境影響調査 平成23年9月16日	田辺市鮎川 (管) 白浜町	(株) トーニチコンサルタ ント西日本支社	ト 生息状況調査	慎重に実施する よう指示	田辺市 教育委員会
21	文第120号の(11) 平成23年9月22日	天然記念物 オオウナギ生息地	環境影響調査 平成23年9月16日	西牟婁郡白浜町 (管) 白浜町	(株) トーニチコンサルタ ント西日本支社	ト 生息状況調査	慎重に実施する よう指示	和歌山県 教育委員会
22	文第120号の(12) 平成23年9月22日	天然記念物 オオウナギ生息地	生息状況調査 平成23年9月16日	西牟婁郡上富田町 (管) 白浜町	(株) トーニチコンサルタ ント西日本支社	ト 生息状況調査	慎重に実施する よう指示	和歌山県 教育委員会
23	和教文第351号 平成23年9月29日	史跡 和歌山城	屋外テント仮設 平成23年9月21日	和歌山市一番丁 和歌山市	和歌山市	ハ 工作物の設置	慎重に実施する よう指示	和歌山市 教育委員会
24	文第120号の(13) 平成23年11月17日	史跡 金剛峯寺境内	墓石設置及び移動 平成23年11月1日	伊都郡高野町高野山 (宗) 金剛峯寺	(宗) 清浄心院	ハ 工作物の設置	慎重に実施する よう指示	和歌山県 教育委員会
25	文第120号の(14) 平成23年11月17日	史跡 金剛峯寺境内	木竹伐採 平成23年11月7日	伊都郡高野町高野山 (宗) 金剛峯寺	(宗) 金剛峯寺	ヘ 樹木の伐採	慎重に実施する よう指示	和歌山県 教育委員会
26	和教文第545号 平成23年12月26日	史跡 和歌山城	作業場と仮設事務所設置 平成23年12月15日	和歌山市一番丁 和歌山市	和歌山市	ハ 工作物の設置	慎重に実施する よう指示	和歌山市 教育委員会
27	岩市教第3037号 平成23年12月27日	史跡 根来寺境内	樹木伐採・剪定 平成23年12月19日	岩出市根来 (宗) 新義真言宗総本山 根来寺	(宗) 新義真言宗総本 山根来寺	ヘ 樹木の伐採	慎重に実施する よう指示	岩出市 教育委員会
28	新教文第299号 平成24年1月19日	史跡 熊野三山	楡皮採取 平成24年1月25日	新宮市新宮 林野庁、新宮市、熊野 速玉大社	和歌山森林管理署	法第168条第2 項	慎重に実施する よう指示	新宮市 教育委員会
29	指令海教生第31号 平成24年1月20日	史跡 和歌山藩主徳川家 墓所	危険木伐採 平成24年1月10日	海南市下津町 長保寺、海南市、徳川 頼貞	(宗) 長保寺	ヘ 樹木の伐採	慎重に実施する よう指示	海南市 教育委員会
30	和教文第630号 平成24年2月14日	史跡和歌山城	ハンドホール設置 平成24年2月10日	和歌山市一番丁 和歌山市	関西電力(株) 和歌山支店	ハ 工作物の設置	慎重に実施する よう指示	和歌山市 教育委員会
31	指令新教文第4号 平成24年2月29日	史跡熊野三山	避雷針修理 平成24年3月6日	新宮市新宮 林野庁、新宮市、熊野 速玉大社	(宗) 熊野速玉大社	ハ 工作物の設置	慎重に実施する よう指示	新宮市 教育委員会

国指定記念物現状変更許可一覧（権限委任）2

No.	文書番号 日付	記念物名	申請理由 申請日	場所 所有者など	申請者	権限委任	指示内容	許可権者
32	文第120号の(18) 平成24年3月13日	史跡 金剛峯寺境内	樹木伐採 平成24年2月24日	伊都郡高野町高野山 (宗) 金剛峯寺	(宗) 金剛峯寺	へ	樹木の伐採 慎重に実施する よう指示	和歌山県 教育委員会
33	文第120号の(19) 平成24年3月13日	史跡 金剛峯寺境内	樹木伐採 平成24年2月24日	伊都郡高野町高野山 (宗) 金剛峯寺	(宗) 金剛峯寺	へ	樹木の伐採 慎重に実施する よう指示	和歌山県 教育委員会
34	和教文第702号 平成24年3月26日	史跡 和歌山城	足場仮設置 平成24年3月15日	和歌山市一番丁 和歌山市	お船に乗ろう 実行委員会	ハ	工作物の設置 慎重に実施する よう指示	和歌山市 教育委員会
35	指令新教文第5号 平成24年3月26日	史跡 熊野三山	看板設置 平成24年3月5日	新宮市新宮 林野庁、新宮市、熊野 速玉大社	新宮市	ハ	工作物の設置 慎重に実施する よう指示	新宮市 教育委員会
36	岩市教第3771号 平成24年3月28日	史跡 根来寺境内	樹木伐採・剪定 平成24年3月19日	岩出市根来 (宗) 新義真言宗総本山 根来寺	(宗) 新義真言宗総本 山根来寺	へ	樹木の伐採 慎重に実施する よう指示	岩出市 教育委員会
37	文第120号の(21) 平成24年3月30日	史跡 金剛峯寺境内	地藏石像設置 平成24年3月21日	伊都郡高野町高野山 (宗) 金剛峯寺	(宗) 持明院	ハ	工作物の設置 慎重に実施する よう指示	和歌山県 教育委員会
38	文第120号の(15) 平成24年1月11日	天然記念物 稲積島暖地性植物 群落	護岸改良工事 平成23年12月14日	西牟婁郡すさみ町周参見 (管) すさみ町	和歌山県	ハ	工作物の設置 慎重に実施する よう指示	和歌山県 教育委員会
39	文第120号の(16) 平成24年1月27日	天然記念物 イジマムシクイ	生息状況調査 平成24年1月17日	東牟婁郡串本町	(財) 山階鳥類研究所	ト	生息状況調査 慎重に実施する よう指示	和歌山県 教育委員会
40	文第120号の(17) 平成24年2月24日	天然記念物 オオウナギ生息地	仮設トイレ設置 平成24年2月17日	西牟婁郡白浜町十九湖 (管) 白浜町	白浜町	ハ	工作物の設置 慎重に実施する よう指示	和歌山県 教育委員会
41	文第120号の(20) 平成24年3月13日	天然記念物 オオウナギ生息地	環境調査 平成24年2月21日	西牟婁郡白浜町 (管) 白浜町	奈良女子大学 共生科 学研究センター	ト	生息状況調査 慎重に実施する よう指示	和歌山県 教育委員会

県指定文化財（記念物）現状変更許可一覧

No.	文書番号 日付	記念物名	申請日・申請理由	場所・所有者等	申請者	指示内容
1	文第106号 平成23年4月21日	史跡 出立王子跡	標識設置 平成23年4月12日	田辺市芳養 大神社	田辺市	許可
2	文第106号の(2) 平成23年4月21日	史跡 芳養王子跡	標識設置 平成23年4月12日	田辺市元町 田辺市	田辺市	許可
3	文第106号の(3) 平成23年6月8日	天然記念物 桂樹	倒木の除去及び残存幹の延 命措置としての調整伐 平成23年6月1日	紀の川市西脇 飯盛財産区	紀の川市	許可
4	文第106号の(4) 平成23年6月27日	天然記念物 奥の院の大杉林	危険木の伐採 平成23年6月20日	伊都郡高野町高野山 (宗) 金剛峯寺	(宗) 金剛峯寺	許可
5	文第106号の(5) 平成23年8月3日	天然記念物 熊野三所神社の社叢	避難経路の整備 平成23年7月26日	西牟婁郡白浜町 (宗) 熊野三所神社	瀬戸一丁目町内会	許可
6	文第106号の(6) 平成23年8月17日	史跡 三谷坂	確認調査 平成23年8月16日	伊都郡かつらぎ町大字三谷 かつらぎ町	和歌山県	許可
7	文第106号の(7) 平成23年8月24日	天然記念物 奥の院の大杉林	枯死木の伐採 平成23年8月4日	伊都郡高野町高野山 (宗) 金剛峯寺	(宗) 金剛峯寺	許可
8	文第106号の(8) 平成23年9月22日	史跡 中世農耕用水路跡文覚井	工事用道路設置に伴う水路 改修 平成23年9月9日	伊都郡かつらぎ町笠田東 文覚井水利組合	国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所	許可
9	文第106号の(9) 平成23年9月26日	史跡 川辺王子	確認調査 平成23年9月1日	和歌山市川辺 力侍神社	和歌山市	許可
10	文第106号の(10) 平成23年10月19日	史跡 塩屋王子跡	狛犬の整備 平成23年9月28日	御坊市塩屋町 (宗) 塩屋王子神社	(宗) 塩屋王子神社	許可
11	文第106号の(11) 平成23年10月24日	天然記念物 十五社の樟樹	フェンスの設置 平成23年9月22日	伊都郡かつらぎ町笠田東 薬師講	かつらぎ町	許可
12	文第106号の(12) 平成23年11月4日	史跡 車駕之古址古墳	景石の撤去 平成23年11月1日	和歌山市木ノ本 和歌山市	和歌山市	許可
13	文第106号の(13) 平成23年12月12日	史跡 中世農耕用水路跡文覚井	災害により崩壊した水路の 復旧 平成23年11月18日	伊都郡かつらぎ町萩原 かつらぎ町	かつらぎ町	許可
14	文第106号の(14) 平成23年12月12日	史跡 川辺王子跡	トイレ棟、浄化槽設置及び 配管 平成23年11月29日	和歌山市川辺 力侍神社	和歌山市	許可
15	文第106号の(15) 平成23年1月27日	天然記念物 長保寺の林叢	危険木の伐採 平成24年1月10日	海南市下津町 (宗) 長保寺	(宗) 長保寺	許可
16	文第106号の(16) 平成24年1月27日	史跡 水軒堤防	雑木の伐採、不法占拠物件 及び廃棄物の除去 平成23年12月12日	和歌山市西浜 和歌山県	和歌山県	許可
17	文第106号の(17) 平成24年2月24日	史跡 鬮籠神社（新熊野鬮籠権現 社）境内	避難路の設置 平成24年2月14日	田辺市湊 (宗) 鬮籠神社	(宗) 鬮籠神社	許可
18	文第106号の(18) 平成24年3月9日	天然記念物 奥の院大杉林	枯損木の伐採 平成24年2月24日	伊都郡高野町高野山 (宗) 金剛峯寺	(宗) 金剛峯寺	許可
19	文第106号の(19) 平成24年3月14日	史跡 川辺王子跡	案内板の設置 平成24年2月28日	和歌山市川辺 力侍神社	和歌山県	許可

埋蔵文化財関係届出等件数一覧

文化財 保護法 根拠 法令名	指示内容等	道	鉄	河	港	学	住	個	工	店	兼	そ	宅	土	公	ガ	農	農	そ	自	保	学	遺	計
		路	道	川	湾	校	宅	人	場	舗	用	他	地	地	園	ス	業	業	他	然	存	術	跡	
第93条	発掘調査						16	31		7	2	8	8			1		3	3	1				80
	工事立会						5	90		5	4	15	2				6	1	15					143
	慎重工事						13	49	1	3		7	4				20	1	11					109
	その他																							0
第94条	発掘調査	8		1		2						1			1			2						15
	工事立会	4				4						2			1		6		12					29
	慎重工事	7				2						2		1			2		11	1				26
	その他																							0
合 計		19	0	1	0	8	34	170	1	15	6	35	14	1	2	1	34	7	52	2	0	0	0	402
第92条	試掘・確認調査																							0
	本発掘調査	10					4	3		4	1	2	1						2					27
第99条	試掘・確認調査	9		1	1	2	8	27		3	1	8	8		1			1	7	1				78
	本発掘調査						1	1																2
合 計		19	0	1	1	2	13	31	0	7	2	10	9	0	1	0	0	1	9	1	0	0	0	107

県内市町村埋蔵文化財関係届出件数一覧

市町村名	発掘の届出・通知				発掘調査の届出・報告		市町村名	発掘の届出・通知				発掘調査の届出・報告	
	第93条	増減	第94条	増減	第92条	第99条		第93条	増減	第94条	増減	第92条	第99条
和歌山市	137	▲34	19	3	22	37	日高町	0	▲2	0	0	-	-
海南市	21	6	2	1	-	9	由良町	0	0	0	0	-	-
紀美野町	2	▲2	4	4	-	-	日高川町	6	6	1	0	-	-
紀の川市	24	3	3	1	-	6	印南町	0	0	0	0	-	-
岩出市	37	▲2	7	3	1	1	みなべ町	1	0	1	1	-	-
橋本市	6	▲1	1	▲4	-	-	田辺市	28	1	9	▲5	1	5
九度山町	0	▲2	0	0	-	-	白浜町	2	0	2	1	1	-
高野町	5	▲1	8	4	-	-	上富田町	0	0	0	0	-	-
かつらぎ町	21	8	6	▲6	1	1	すさみ町	0	0	0	0	-	-
有田市	1	▲2	0	▲2	-	-	串本町	2	1	0	0	-	-
有田川町	11	▲10	0	▲4	-	3	新宮市	9	▲4	2	1	-	-
湯浅町	0	0	0	0	-	-	那智勝浦町	1	▲3	1	1	-	-
広川町	0	0	0	0	-	-	太地町	0	▲1	0	0	-	-
御坊市	17	▲2	3	3	-	4	古座川町	0	0	0	0	-	-
美浜町	1	▲4	1	1	1	-	北山村	0	0	0	0	-	-
合 計							332	▲45	70	3	27	66	

※市町村名…専門職員配備（平成23年度）

埋蔵文化財発掘の届出（文化財保護法第93条）一覧1

No.	届出等の種類 根拠法令	遺跡の名称 時代・種類 所在地	届出等の日付	教育委員会による処理		備考
				文書番号 指示の日付	指示事項	
1	工事等の届出 第93条	井辺遺跡／弥生・散布地 和歌山市井辺字浮長134-21、135-5	平成23年3月23日	文第43号 平成23年4月5日	浄化槽立会	
2	工事等の届出 第93条	太田・黒田遺跡、太田城跡／弥生～奈良・集落跡、安土桃山・城館跡 和歌山市太田2丁目7-6	平成23年3月29日	文第43号の(2) 平成23年4月5日	慎重工事	
3	工事等の届出 第93条	西飯降Ⅱ遺跡／弥生～古代・散布地 伊都郡かつらぎ町大字西飯降字中垣内95-1、字東ノ谷112-1	平成23年3月30日	文第43号の(3) 平成23年4月5日	確認調査	
4	工事等の届出 第93条	田辺城跡／近世・城跡 田辺市上屋敷町一丁目29番8、29番15、29番16	平成23年4月1日	文第43号の(4) 平成23年4月7日	工事立会	
5	工事等の届出 第93条	田辺城下町遺跡／江戸・散布地 田辺市湊字地下1091-1、1093-1	平成23年4月4日	文第43号の(5) 平成23年4月7日	確認調査	
6	工事等の届出 第93条	堅田遺跡／弥生～古墳初頭、奈良、平安・集落跡、部衙跡 御坊市園字野田94番1	平成23年4月4日	文第43号の(6) 平成23年4月7日	慎重工事	
7	工事等の届出 第93条	天田古墳群／古墳・古墳群 御坊市塩屋町北塩屋字北漆719番16	平成23年3月31日	文第43号の(7) 平成23年4月7日	浄化槽立会	
8	工事等の届出 第93条	市江遺跡／弥生～古墳・散布地 西牟婁郡白浜町日置字楠ノ上1440番1	平成23年3月28日	文第43号の(8) 平成23年4月8日	工事立会	
9	工事等の届出 第93条	和歌山城跡／近世・城館跡 和歌山市八番丁41～西汀丁23	平成23年4月4日	文第43号の(9) 平成23年4月8日	慎重工事	
10	工事等の届出 第93条	和歌山城跡／近世・城館跡 和歌山市八番丁12	平成23年4月5日	文第43号の(10) 平成23年4月8日	慎重工事	
11	工事等の届出 第93条	根来寺遺跡／平安～中世、近世・寺院跡 岩出市根来2027-2	平成23年4月5日	文第43号の(11) 平成23年4月8日	慎重工事	
12	工事等の届出 第93条	太田・黒田遺跡、太田城跡／弥生～奈良・集落跡、安土桃山・城館跡 和歌山市黒田1丁目2番8	平成23年4月11日	文第43号の(12) 平成23年4月21日	本発掘調査	
13	工事等の届出 第93条	木ノ本Ⅰ遺跡／散布地 和歌山市西庄字芝58番1の一部、58番3	平成23年4月11日	文第43号の(13) 平成23年4月21日	慎重工事	
14	工事等の届出 第93条	六十谷遺跡／縄文～弥生・散布地 和歌山市六十谷244地先～326地先、直川1地先～14地先	平成23年4月12日	文第43号の(14) 平成23年4月21日	慎重工事	
15	工事等の届出 第93条	六十谷遺跡／縄文～弥生・散布地 和歌山市六十谷244地先～326地先	平成23年4月12日	文第43号の(15) 平成23年4月21日	慎重工事	
16	工事等の届出 第93条	東郷遺跡／弥生・集落跡 御坊市藤田町藤井字宮田1924-5、1924-7	平成23年4月12日	文第43号の(16) 平成23年4月21日	確認調査	
17	工事等の届出 第93条	井辺遺跡／弥生・散布地 和歌山市神前37-19	平成23年4月13日	文第43号の(17) 平成23年4月22日	慎重工事	
18	工事等の届出 第93条	中黒Ⅱ遺跡／弥生～奈良・散布地 岩出市中黒字前島550-18	平成23年4月15日	文第43号の(18) 平成23年4月22日	慎重工事	
19	工事等の届出 第93条	中黒Ⅱ遺跡／弥生～奈良・散布地 岩出市中黒字前島550-15	平成23年4月15日	文第43号の(19) 平成23年4月22日	慎重工事	
20	工事等の届出 第93条	中黒Ⅱ遺跡／弥生～奈良・散布地 岩出市中黒字前島550-10	平成23年4月15日	文第43号の(20) 平成23年4月22日	慎重工事	
21	工事等の届出 第93条	天田古墳群／古墳・古墳群 御坊市塩屋町北塩屋字北漆716番6、717番5、717番4	平成23年4月15日	文第43号の(21) 平成23年4月22日	浄化槽立会	
22	工事等の届出 第93条	井辺遺跡／弥生・散布地 和歌山市井辺144-69	平成23年4月20日	文第43号の(22) 平成23年4月25日	慎重工事	
23	工事等の届出 第93条	根来寺遺跡／平安～中世、近世・寺院跡 岩出市根来字根来2347-208の一部、2027-5	平成23年4月19日	文第43号の(23) 平成23年4月27日	工事立会	
24	工事等の届出 第93条	金剛峯寺遺跡／平安～寺院跡 伊都郡高野町高野山地内	平成23年4月20日	文第43号の(24) 平成23年4月27日	慎重工事	
25	工事等の届出 第93条	佐野遺跡／弥生～古墳・散布地 新宮市佐野字井関後1358-17	平成23年4月21日	文第43号の(25) 平成23年4月27日	浄化槽立会	
26	工事等の届出 第93条	亀川遺跡／弥生～古墳・集落跡 海南市且来260-2	平成23年4月21日	文第43号の(26) 平成23年5月6日	確認調査	
27	工事等の届出 第93条	岩内Ⅲ遺跡／古墳・集落、古墳群 御坊市岩内86、85の一部	平成23年4月21日	文第43号の(27) 平成23年5月6日	浄化槽立会	
28	工事等の届出 第93条	岩橋遺跡／散布地 和歌山市岩橋字小路1086番1	平成23年4月27日	文第43号の(28) 平成23年5月11日	確認調査	
29	工事等の届出 第93条	鳴神Ⅳ遺跡／弥生～江戸・散布地 和歌山市鳴神字亀字田627-1、628-1、629-1、629-2、629-7	平成23年4月28日	文第43号の(29) 平成23年5月11日	浄化槽、エレベータ 部分本発掘調査	
30	工事等の届出 第93条	中黒Ⅰ遺跡／弥生～奈良・集落 岩出市中黒字高塚499-1	平成23年4月25日	文第43号の(30) 平成23年5月11日	確認調査	
31	工事等の届出 第93条	荒田遺跡／弥生、中世・散布地 岩出市森字四ツツ132番1	平成23年4月25日	文第43号の(31) 平成23年5月11日	工事立会	
32	工事等の届出 第93条	和歌山城跡／近世・城館跡 和歌山市三番丁54	平成23年5月2日	文第43号の(32) 平成23年5月11日	慎重工事	
33	工事等の届出 第93条	佐野遺跡／弥生～古墳・散布地 新宮市大字佐野字井関後1394番18	平成23年5月10日	文第43号の(33) 平成23年5月12日	慎重工事	
34	工事等の届出 第93条	井辺遺跡／弥生・散布地 和歌山市井辺字山貫144-69	平成23年5月6日	文第43号の(34) 平成23年5月12日	浄化槽立会	
35	工事等の届出 第93条	木ノ本Ⅰ遺跡／散布地 和歌山市西庄字芝58番2	平成23年5月9日	文第43号の(35) 平成23年5月12日	慎重工事	
36	工事等の届出 第93条	太田城水攻め堀跡／戦国～江戸・堤跡 和歌山市秋月字石原28-6	平成23年5月9日	文第43号の(36) 平成23年5月12日	慎重工事	
37	工事等の届出 第93条	下佐々Ⅲ遺跡／縄文、古代～中世・散布地 海草郡紀美野町下佐々字唐戸1018番5	平成23年5月11日	文第43号の(37) 平成23年5月16日	工事立会	
38	工事等の届出 第93条	岡村遺跡／縄文～奈良・集落跡 海南市岡田字下佃496番10	平成23年5月11日	文第43号の(38) 平成23年5月16日	慎重工事	
39	工事等の届出 第93条	且来Ⅳ遺跡／古墳・散布地 海南市且来字北塚128-1の一部	平成23年5月16日	文第43号の(39) 平成23年5月19日	本発掘調査	
40	工事等の届出 第93条	且来Ⅳ遺跡／古墳・散布地 海南市且来字北塚128-1の一部	平成23年5月16日	文第43号の(40) 平成23年5月19日	本発掘調査	
41	工事等の届出 第93条	且来Ⅳ遺跡／古墳・散布地 海南市且来字北塚128-1の一部	平成23年5月16日	文第43号の(41) 平成23年5月19日	本発掘調査	
42	工事等の届出 第93条	新宮城跡（丹鶴城跡）／近世・城跡 新宮市池田1丁目3番2	平成23年5月13日	文第43号の(42) 平成23年5月19日	浄化槽立会	

埋蔵文化財発掘の届出（文化財保護法第93条）一覧2

No.	届出等の種類 根拠法令	遺跡の名称 時代・種類 所在地	届出等の日付	教育委員会による処理		備考
				文書番号 指示の日付	指示事項	
43	工事等の届出 第93条	川辺遺跡／縄文～中世・集落跡 和歌山市川辺字葉師堂 283 - 14	平成 23 年 5 月 12 日	文第 43 号の (43) 平成 23 年 5 月 20 日	浄化槽立会	
44	工事等の届出 第93条	和歌山城跡／近世・城館跡 和歌山市十三番丁 24 番、25 番	平成 23 年 5 月 16 日	文第 43 号の (44) 平成 23 年 5 月 20 日	確認調査	
45	工事等の届出 第93条	井辺遺跡／弥生・散布地 和歌山市神前 136 - 4	平成 23 年 5 月 18 日	文第 43 号の (45) 平成 23 年 5 月 26 日	浄化槽立会	
46	工事等の届出 第93条	桶見遺跡／旧石器・古墳・散布地 和歌山市大谷字地ノ谷 283 番 1、283 番 4	平成 23 年 4 月 27 日	文第 43 号の (46) 平成 23 年 5 月 26 日	工事立会	
47	工事等の届出 第93条	海神城跡／中世・城館跡 紀の川市神領字西浦 272 番 1	平成 23 年 5 月 13 日	文第 43 号の (47) 平成 23 年 5 月 31 日	工事立会	
48	工事等の届出 第93条	鷲ノ森遺跡、本願寺跡／弥生～江戸・散布地、中世～寺院跡 和歌山市鷲ノ森東ノ丁 9 番の一部、鷲ノ森片町 6 番 3	平成 23 年 5 月 25 日	文第 43 号の (48) 平成 23 年 5 月 31 日	慎重工事	
49	工事等の届出 第93条	鳴神Ⅲ遺跡／散布地 和歌山市鳴神字惣垣内 551 - 1 の一部、551 - 4	平成 23 年 5 月 26 日	文第 43 号の (49) 平成 23 年 6 月 1 日	確認調査	
50	工事等の届出 第93条	粟島遺跡／奈良～平安・散布地 紀の川市東大井字八千堂 264、265、261 - 3、258 - 5	平成 23 年 5 月 23 日	文第 43 号の (50) 平成 23 年 6 月 1 日	確認調査	
51	工事等の届出 第93条	尼寺南城跡／中世・城館跡 紀の川市貴志川町上野山字北畑 158 - 32	平成 23 年 5 月 25 日	文第 43 号の (51) 平成 23 年 6 月 1 日	慎重工事	
52	工事等の届出 第93条	下佐々Ⅲ遺跡／縄文、古代～中世・散布地 海草郡紀美野町下佐々字唐戸瀬 1018 番 5	平成 23 年 5 月 30 日	文第 43 号の (52) 平成 23 年 6 月 1 日	確認調査	
53	工事等の届出 第93条	新宮十郎屋敷跡／中世・館跡 新宮市熊野地 1 丁目 5532 - 86・87	平成 23 年 6 月 1 日	文第 43 号の (53) 平成 23 年 6 月 7 日	浄化槽立会	
54	工事等の届出 第93条	崖の鼻遺跡／弥生・散布地 有田市糸我町西字宮ノ上 612 - 1	平成 23 年 6 月 1 日	文第 43 号の (54) 平成 23 年 6 月 7 日	工事立会	
55	工事等の届出 第93条	奥山田遺跡／弥生～鎌倉・散布地 和歌山市新庄字宮之内 181 番 1 の一部	平成 23 年 5 月 30 日	文第 43 号の (55) 平成 23 年 6 月 7 日	工事立会	
56	工事等の届出 第93条	太田・黒田遺跡、太田城跡／弥生～奈良・集落跡、安土桃山・城館跡 和歌山市太田 2 丁目 2 - 20	平成 23 年 5 月 31 日	文第 43 号の (56) 平成 23 年 6 月 7 日	慎重工事	
57	工事等の届出 第93条	太田・黒田遺跡、太田城跡／弥生～奈良・集落跡、安土桃山・城館跡 和歌山市太田 2 丁目 2 - 17	平成 23 年 6 月 1 日	文第 43 号の (57) 平成 23 年 6 月 7 日	慎重工事	
58	工事等の届出 第93条	金剛峯寺遺跡／平安～寺院跡 伊都郡高野町高野山 228 番地	平成 23 年 5 月 30 日	文第 43 号の (58) 平成 23 年 6 月 7 日	工事立会	
59	工事等の届出 第93条	且来Ⅴ遺跡／弥生・散布地 海南市且来 144 - 2	平成 23 年 6 月 7 日	文第 43 号の (59) 平成 23 年 6 月 20 日	浄化槽立会	
60	工事等の届出 第93条	川辺遺跡／縄文～中世・集落跡 和歌山市藤田字流 16 - 21、16 - 31	平成 23 年 6 月 7 日	文第 43 号の (60) 平成 23 年 6 月 20 日	慎重工事	
61	工事等の届出 第93条	関戸遺跡／弥生～室町・散布地 和歌山市関戸 4 丁目 2 - 50	平成 23 年 6 月 10 日	文第 43 号の (61) 平成 23 年 6 月 20 日	慎重工事	
62	工事等の届出 第93条	明王寺遺跡／奈良～室町・散布地 和歌山市明王寺字六ノ坪 16 番 1	平成 23 年 6 月 10 日	文第 43 号の (62) 平成 23 年 6 月 20 日	工事立会	
63	工事等の届出 第93条	西飯降Ⅱ遺跡／縄文～古代・散布地 伊都郡かつらぎ町大字西飯降字東本 136 番 5	平成 23 年 6 月 9 日	文第 43 号の (63) 平成 23 年 6 月 20 日	浄化槽立会	
64	工事等の届出 第93条	荒田遺跡／弥生、中世・散布地 岩出市森字四ツヤ 132 番 1	平成 23 年 6 月 3 日	文第 43 号の (64) 平成 23 年 6 月 20 日	確認調査	
65	工事等の届出 第93条	上尾遺跡／弥生～古墳・散布地 紀の川市桃山町調月字北上ノ台 769 番 115・117	平成 23 年 6 月 10 日	文第 43 号の (65) 平成 23 年 6 月 20 日	慎重工事	
66	工事等の届出 第93条	川辺遺跡／縄文～中世・集落跡 和歌山市川辺神ノ本 190 - 6	平成 23 年 6 月 13 日	文第 43 号の (66) 平成 23 年 6 月 20 日	慎重工事	
67	工事等の届出 第93条	法徳寺遺跡／弥生～古墳・散布地 日高郡日高川町大字小熊字法徳寺 2340 番 7	平成 23 年 6 月 14 日	文第 43 号の (67) 平成 23 年 6 月 20 日	浄化槽立会	
68	工事等の届出 第93条	根来寺遺跡／平安～中世、近世・寺院跡 岩出市山田字太子コウ 89 - 52	平成 23 年 6 月 3 日	文第 43 号の (68) 平成 23 年 6 月 22 日	確認調査	
69	工事等の届出 第93条	垂井榎塚遺跡／弥生・散布地 橋本市隅田町垂井字榎木塚 531 番	平成 23 年 5 月 27 日	文第 43 号の (69) 平成 23 年 6 月 22 日	工事立会	
70	工事等の届出 第93条	名古曾庵寺跡／奈良・寺院跡 橋本市高野口町名古曾字大石 160 番 5	平成 23 年 6 月 10 日	文第 43 号の (70) 平成 23 年 6 月 22 日	浄化槽立会	
71	工事等の届出 第93条	大塚遺跡／縄文～鎌倉・散布地 日高郡みなべ町東吉田字兵之尻 250 番地の一部	平成 23 年 6 月 20 日	文第 43 号の (71) 平成 23 年 6 月 27 日	慎重工事	
72	工事等の届出 第93条	太田・黒田遺跡、太田城跡／弥生～奈良・集落跡、安土桃山・城館跡 和歌山市太田 2 丁目 10 番 13	平成 23 年 6 月 17 日	文第 43 号の (72) 平成 23 年 6 月 27 日	慎重工事	
73	工事等の届出 第93条	岩橋Ⅱ遺跡／古墳～室町・散布地 和歌山市岩橋字布川 1392 - 1	平成 23 年 6 月 21 日	文第 43 号の (73) 平成 23 年 6 月 27 日	確認調査	
74	工事等の届出 第93条	野田地区遺跡／先石器～中世・寺院跡ほか 有田郡有田川町大字天満字中溝町 601 - 5	平成 23 年 6 月 22 日	文第 43 号の (74) 平成 23 年 6 月 27 日	工事立会	
75	工事等の届出 第93条	村里遺跡／縄文・散布地 有田郡有田川町大字吉原字谷口 233 番	平成 23 年 6 月 23 日	文第 43 号の (75) 平成 23 年 6 月 27 日	慎重工事	
76	工事等の届出 第93条	田辺市城下町遺跡／江戸・散布地 田辺市湊字地下 1027 - 1	平成 23 年 6 月 23 日	文第 43 号の (76) 平成 23 年 6 月 30 日	工事立会	
77	工事等の届出 第93条	田辺市城下町遺跡／江戸・散布地 田辺市湊字地下 1032 - 1	平成 23 年 6 月 23 日	文第 43 号の (77) 平成 23 年 6 月 30 日	工事立会	
78	工事等の届出 第93条	西飯降Ⅱ遺跡／縄文～古代・散布地 伊都郡かつらぎ町妙妙寺 906 - 2	平成 23 年 6 月 20 日	文第 43 号の (78) 平成 23 年 6 月 30 日	浄化槽立会	
79	工事等の届出 第93条	佐野遺跡／弥生～古墳・散布地 新宮市佐野字根地原 946 - 3・6	平成 23 年 6 月 24 日	文第 43 号の (79) 平成 23 年 6 月 30 日	慎重工事	
80	工事等の届出 第93条	亀川遺跡／弥生～古墳・散布地 海南市且来字神田 258 番 2	平成 23 年 6 月 27 日	文第 43 号の (80) 平成 23 年 7 月 1 日	工事立会	
81	工事等の届出 第93条	木ノ本Ⅲ遺跡／散布地 和歌山市梅原字金山 297 番 1、297 番 3 の一部	平成 23 年 6 月 22 日	文第 43 号の (81) 平成 23 年 7 月 1 日	確認調査	
82	工事等の届出 第93条	鳴神Ⅵ遺跡／弥生～江戸・散布地 和歌山市秋月字川田 78 番 10	平成 23 年 6 月 23 日	文第 43 号の (82) 平成 23 年 7 月 1 日	慎重工事	
83	工事等の届出 第93条	池田遺跡／縄文？・散布地 和歌山市六十谷 1234 - 7	平成 23 年 6 月 24 日	文第 43 号の (83) 平成 23 年 7 月 1 日	工事立会	
84	工事等の届出 第93条	野田地区遺跡／先石器～中世・寺院跡ほか 有田郡有田川町大字野田字保寿 395 - 2	平成 23 年 5 月 30 日	文第 43 号の (84) 平成 23 年 7 月 1 日	本発掘調査	

埋蔵文化財発掘の届出（文化財保護法第93条）一覧3

No.	届出等の種類 根拠法令	遺跡の名称 時代・種類 所在地	届出等の日付	教育委員会による処理		備考
				文書番号 指示の日付	指示事項	
85	工事等の届出 第93条	根来寺遺跡／平安～中世、近世・寺院跡 岩出市根来2286-2	平成23年6月22日	文第43号の(85) 平成23年7月6日	工事立会	
86	工事等の届出 第93条	田辺城下町遺跡／古墳、中世、近世・散布地 田辺市中屋敷町68の一部、68-3の一部	平成23年6月27日	文第43号の(86) 平成23年7月8日	工事立会	
87	工事等の届出 第93条	佐野遺跡／弥生～古墳・集落跡 伊都郡かつらぎ町佐野字本564-1	平成23年6月28日	文第43号の(87) 平成23年7月8日	慎重工事	
88	工事等の届出 第93条	木ノ本Ⅱ遺跡／散布地 和歌山市木ノ本字津輪384番	平成23年6月30日	文第43号の(88) 平成23年7月8日	慎重工事	
89	工事等の届出 第93条	太田城水攻め堤跡／戦国～江戸・堤跡 和歌山市出水字敷下90番4	平成23年6月30日	文第43号の(89) 平成23年7月8日	確認調査	
90	工事等の届出 第93条	山口遺跡／弥生～平安・集落跡 和歌山市谷字鳥居前151	平成23年7月4日	文第43号の(90) 平成23年7月8日	浄化槽立会	
91	工事等の届出 第93条	高井遺跡／縄文・散布地 和歌山市直川字高井垣内1219-5	平成23年7月4日	文第43号の(91) 平成23年7月8日	浄化槽立会	
92	工事等の届出 第93条	大日山Ⅰ遺跡／古墳～奈良・集落跡 和歌山市井辺字大日392番外13筆	平成23年7月5日	文第43号の(92) 平成23年7月11日	慎重工事	
93	工事等の届出 第93条	木ノ本Ⅱ遺跡／散布地 和歌山市木ノ本字別所934番13	平成23年7月6日	文第43号の(93) 平成23年7月12日	確認調査	
94	工事等の届出 第93条	岩橋遺跡／散布地 和歌山市岩橋字小路1037番、1038番 和歌山市岩橋字宮ノ段974番4	平成23年7月6日	文第43号の(94) 平成23年7月12日	確認調査	
95	工事等の届出 第93条	根来寺遺跡／平安～中世、近世・寺院跡 岩出市根来1048-12	平成23年7月6日	文第43号の(95) 平成23年7月12日	浄化槽立会	
96	工事等の届出 第93条	根来寺遺跡／平安～中世、近世・寺院跡 岩出市根来1048-6	平成23年6月24日	文第43号の(96) 平成23年7月12日	浄化槽立会	
97	工事等の届出 第93条	津井切遺跡／弥生～中世・散布地 御坊市藤田町吉田津井切868	平成23年7月6日	文第43号の(97) 平成23年7月12日	浄化槽立会	
98	工事等の届出 第93条	堅田遺跡／弥生～古墳初頭、奈良、平安・集落跡、郡衙跡 御坊市箇字西郡25-3	平成23年7月1日	文第43号の(98) 平成23年7月15日	浄化槽立会	
99	工事等の届出 第93条	秋月遺跡／弥生～平安・散布地 和歌山市太田4丁目6-16	平成23年7月7日	文第43号の(99) 平成23年7月15日	慎重工事	
100	工事等の届出 第93条	時雨山遺跡／弥生～奈良・散布地 橋本市神野々字東光寺之段118-70、109-117	平成23年6月29日	文第43号の(100) 平成23年7月15日	慎重工事	
101	工事等の届出 第93条	岡田Ⅱ遺跡／弥生～中世・散布地 紀の川市西井阪字菅井71番4	平成23年7月1日	文第43号の(101) 平成23年7月15日	浄化槽立会	
102	工事等の届出 第93条	粟島遺跡／奈良～平安・散布地 紀の川市東大井字正覚77-46、77-47	平成23年7月6日	文第43号の(102) 平成23年7月15日	浄化槽立会	
103	工事等の届出 第93条	岩橋遺跡／散布地 和歌山市岩橋字小路1043-11	平成23年7月11日	文第43号の(103) 平成23年7月19日	浄化槽立会	
104	工事等の届出 第93条	矢倉城跡／中世・城跡 新宮市谷王子451-22、451-23、451-24、451-25、451-26、451-27	平成23年6月27日	文第43号の(104) 平成23年7月19日	工事立会	
105	工事等の届出 第93条	田殿尾中遺跡／弥生～室町・集落跡 有田郡有田町尾中89	平成23年7月19日	文第43号の(105) 平成23年7月21日	工事立会	
106	工事等の届出 第93条	金剛峯寺遺跡／平安～寺院跡 伊都郡高野町高野山千手院谷601番2の一部、723番1の一部	平成23年7月15日	文第43号の(106) 平成23年7月25日	工事立会	
107	工事等の届出 第93条	岡田Ⅱ遺跡／弥生～中世・散布地 紀の川市西井阪字花井151-1の一部	平成23年7月15日	文第43号の(107) 平成23年7月25日	浄化槽立会	
108	工事等の届出 第93条	吉田遺跡／弥生～奈良・散布地 和歌山市平岡字山端354番1、354番3	平成23年7月20日	文第43号の(108) 平成23年8月1日	確認調査	
109	工事等の届出 第93条	府中Ⅳ遺跡／弥生～古墳・集落跡 和歌山市府中市長通り318番6	平成23年7月19日	文第43号の(109) 平成23年8月1日	浄化槽立会	
110	工事等の届出 第93条	薬師谷遺跡／縄文・散布地 和歌山市朝日字柏木970番7	平成23年7月19日	文第43号の(110) 平成23年8月1日	確認調査	
111	工事等の届出 第93条	山名氏土居跡／中世・城跡跡 海南市大野中101	平成23年7月25日	文第43号の(111) 平成23年8月1日	工事立会	
112	工事等の届出 第93条	東浜田遺跡／縄文～中世・散布地 伊都郡かつらぎ町東浜田131-1、131-2	平成23年7月21日	文第43号の(112) 平成23年8月1日	確認調査	
113	工事等の届出 第93条	中飯降遺跡／弥生～中世・散布地 伊都郡かつらぎ町大字中飯降字城山469、464-2	平成23年7月25日	文第43号の(113) 平成23年8月1日	確認調査	
114	工事等の届出 第93条	佐野遺跡／弥生～古墳・散布地 新宮市佐野字井関後1394-17	平成23年7月22日	文第43号の(114) 平成23年8月1日	慎重工事	
115	工事等の届出 第93条	田辺城下町遺跡／江戸・散布地 田辺市湊字地下1037-1 1037-3	平成23年7月25日	文第43号の(115) 平成23年8月1日	工事立会	
116	工事等の届出 第93条	荒田遺跡／弥生、中世・散布地 岩出市大字森136-5	平成23年7月22日	文第43号の(116) 平成23年8月2日	浄化槽立会	
117	工事等の届出 第93条	藤並地区遺跡／先土器～鎌倉・散布地 有田郡有田町天満287-8、13	平成23年7月28日	文第43号の(117) 平成23年8月2日	慎重工事	
118	工事等の届出 第93条	東大人遺跡／弥生～中世・散布地 御坊市塩屋町南塩屋240	平成23年7月25日	文第43号の(118) 平成23年8月2日	慎重工事	
119	工事等の届出 第93条	三田古墳群／古墳・古墳群 和歌山市田尻824-7～三葛1134-20	平成23年7月26日	文第43号の(119) 平成23年8月2日	工事立会	
120	工事等の届出 第93条	田辺城下町遺跡／江戸・散布地 田辺市下屋敷町73番34	平成23年7月27日	文第43号の(120) 平成23年8月2日	工事立会	
121	工事等の届出 第93条	関戸遺跡／弥生～室町・散布地 和歌山市関戸3丁目7-29	平成23年7月27日	文第43号の(121) 平成23年8月3日	慎重工事	
122	工事等の届出 第93条	岩内Ⅱ遺跡／散布地 御坊市岩内950-25	平成23年8月3日	文第43号の(122) 平成23年8月10日	浄化槽立会	
123	工事等の届出 第93条	岩内Ⅱ遺跡／散布地 御坊市熊野字夏目56番1他地先	平成23年8月3日	文第43号の(123) 平成23年8月10日	慎重工事	
124	工事等の届出 第93条	粟島遺跡／奈良～平安・散布地 紀の川市東大井字正覚77番9、77番10	平成23年8月3日	文第43号の(124) 平成23年8月10日	浄化槽立会	
125	工事等の届出 第93条	六十谷遺跡／縄文～弥生・散布地 和歌山市六十谷字宮ノ東366-1	平成23年7月27日	文第43号の(125) 平成23年8月10日	本発掘調査・浄化槽立会・慎重工事	
126	工事等の届出 第93条	吉田遺跡／弥生～奈良・集落 岩出市吉田字渡り92番2	平成23年8月4日	文第43号の(126) 平成23年8月10日	慎重工事	

埋蔵文化財発掘の届出（文化財保護法第93条）一覧4

No.	届出等の種類 根拠法令	遺跡の名称 時代・種類 所在地	届出等の日付	教育委員会による処理		備考
				文書番号 指示の日付	指示事項	
127	工事等の届出 第93条	井辺遺跡・弥生・散布地 和歌山市神前字笠松109番11の一部	平成23年8月9日	文第43号の(127) 平成23年8月11日	工事立会	
128	工事等の届出 第93条	時雨山遺跡・弥生～奈良・散布地 橋本市神野々字東光寺之段118-62	平成23年8月5日	文第43号の(128) 平成23年8月17日	慎重工事	
129	工事等の届出 第93条	西飯降Ⅱ遺跡／縄文～古代・散布地 伊都郡かつらぎ町大字西飯降字東本136-5	平成23年8月10日	文第43号の(129) 平成23年8月17日	浄化槽立会	
130	工事等の届出 第93条	粟島遺跡／奈良～平安・散布地 紀の川市東大井字正覚77-45	平成23年8月12日	文第43号の(130) 平成23年8月17日	浄化槽立会	
131	工事等の届出 第93条	田辺城下町遺跡／江戸・散布地 田辺市湊1031-1	平成23年8月17日	文第43号の(131) 平成23年8月24日	浄化槽立会	
132	工事等の届出 第93条	中黒Ⅱ遺跡／弥生～奈良・散布地 岩出市中黒字前島550-53	平成23年8月24日	文第43号の(132) 平成23年8月31日	慎重工事	
133	工事等の届出 第93条	堅田遺跡・弥生～古墳初頭、奈良、平安・集落跡、郡衙跡 御坊市園字西部24-1	平成24年8月25日	文第43号の(133) 平成23年9月5日	本発掘調査	
134	工事等の届出 第93条	太田城跡、太田黒田遺跡／安土桃山・城館跡、弥生～奈良・集落跡 和歌山市太田248	平成23年8月26日	文第43号の(134) 平成23年9月5日	立会工事	
135	工事等の届出 第93条	元遺跡／弥生～中世・散布地 紀の川市桃山町元字東嶋458番	平成23年8月25日	文第43号の(135) 平成23年9月5日	慎重工事	
136	工事等の届出 第93条	金剛峯寺遺跡／平安～・寺社跡 伊都郡高野町高野山字谷上98、99番地	平成23年8月30日	文第43号の(136) 平成23年9月5日	工事立会	
137	工事等の届出 第93条	山吹丁遺跡／弥生～古墳・散布地 和歌山市本町6丁目56番	平成23年8月30日	文第43号の(137) 平成23年9月5日	慎重工事	
138	工事等の届出 第93条	尼寺南城跡／中世・城館跡 紀の川市貴志川町上野山字北畑158-28	平成23年8月25日	文第43号の(138) 平成23年9月7日	慎重工事	
139	工事等の届出 第93条	田辺城下町遺跡／江戸・散布地 田辺市湊字地下1089番8、1089番9	平成23年8月31日	文第43号の(139) 平成23年9月7日	浄化槽立会	
140	工事等の届出 第93条	榎原遺跡／古墳・散布地 和歌山市榎原69～榎原330	平成23年9月1日	文第43号の(140) 平成23年9月7日	慎重工事	
141	工事等の届出 第93条	木ノ本Ⅰ遺跡／散布地 和歌山市西庄233-13～西庄233-3	平成23年9月1日	文第43号の(141) 平成23年9月7日	慎重工事	
142	工事等の届出 第93条	且来Ⅳ遺跡／古墳・集落跡 海南市且来字北塚128-11	平成23年9月5日	文第43号の(142) 平成23年9月9日	本発掘調査	
143	工事等の届出 第93条	津奈Ⅱ遺跡／古墳～奈良・散布地 和歌山市秋月瀬見田483番1、483番3、484番1、484番3	平成23年9月6日	文第43号の(143) 平成23年9月15日	確認調査	
144	工事等の届出 第93条	岩橋Ⅱ遺跡／古墳～室町・散布地 和歌山市岩橋字南垣内1295番8	平成23年9月9日	文第43号の(144) 平成23年9月15日	浄化槽立会	
145	工事等の届出 第93条	府中遺跡／散布地 和歌山市府中宇森脇1094-7、1094-4	平成23年9月12日	文第43号の(145) 平成23年9月15日	浄化槽立会	
146	工事等の届出 第93条	矢ノ熊祭祀遺跡／古墳・祭祀跡 東牟婁郡串本町串本187	平成23年9月5日	文第43号の(146) 平成23年9月16日	慎重工事	
147	工事等の届出 第93条	岡村遺跡／縄文～奈良・集落跡 海南市岡田字下佃496番7	平成23年9月15日	文第43号の(147) 平成23年9月21日	慎重工事	
148	工事等の届出 第93条	鳥居遺跡／縄文・散布地 海南市鳥居272-8	平成23年9月16日	文第43号の(148) 平成23年9月22日	浄化槽立会	
149	工事等の届出 第93条	井辺遺跡・弥生・散布地 和歌山市神前字曾根田35-5、35-6	平成23年9月14日	文第43号の(149) 平成23年9月22日	確認調査（浄化槽部 分）、慎重工事	
150	工事等の届出 第93条	藤並地区遺跡／先土器～鎌倉・散布地 有田郡有田町天満116-1	平成23年9月8日	文第43号の(150) 平成23年9月26日	確認調査	
151	工事等の届出 第93条	元遺跡／弥生～中世・散布地 紀の川市桃山町元字中田398-1	平成23年9月14日	文第43号の(151) 平成23年9月26日	浄化槽立会	
152	工事等の届出 第93条	元遺跡／弥生～中世・散布地 紀の川市桃山町元460-7	平成23年9月20日	文第43号の(152) 平成23年9月26日	慎重工事	
153	工事等の届出 第93条	且来Ⅵ遺跡／弥生～奈良・集落跡 海南市且来字北塚128番17	平成23年9月26日	文第43号の(153) 平成23年9月29日	本発掘調査	
154	工事等の届出 第93条	和歌山城跡／近世・城館跡 和歌山市六番丁37	平成23年9月26日	文第43号の(154) 平成23年9月29日	慎重工事	
155	工事等の届出 第93条	川辺遺跡／縄文～中世・集落跡 和歌山市藤田字流16-11	平成23年9月26日	文第43号の(155) 平成23年9月29日	慎重工事	
156	工事等の届出 第93条	山崎遺跡／古墳～中世・散布地 岩出市金屋字八幡285-1	平成23年9月19日	文第43号の(156) 平成23年9月30日	工事立会	
157	工事等の届出 第93条	田井・西川遺跡／縄文、弥生・散布地 日高郡美浜町田井字齊津呂156-2	平成23年9月26日	文第43号の(157) 平成23年10月5日	工事立会	
158	工事等の届出 第93条	西田井遺跡、北田井遺跡／弥生～中世・集落跡、弥生～古墳・集落跡 和歌山市北字馬場添160	平成23年10月7日	文第43号の(158) 平成23年10月14日	浄化槽立会	
159	工事等の届出 第93条	西田井遺跡／弥生～中世・集落跡 和歌山市西田井字森ノ前256番2、256番5、265番1、266番1	平成23年10月11日	文第43号の(159) 平成23年10月14日	記録保存目的 発掘調査	
160	工事等の届出 第93条	高井遺跡／縄文・散布地 和歌山市直川字高井垣内1228番3、1229番5	平成23年10月11日	文第43号の(160) 平成23年10月14日	慎重工事	
161	工事等の届出 第93条	岡村古墳群／古墳・古墳群 海南市岡田字辨天935	平成23年10月7日	文第43号の(161) 平成23年10月14日	浄化槽立会	
162	工事等の届出 第93条	岡村古墳群／古墳・古墳群 海南市岡田934、1177	平成23年10月11日	文第43号の(162) 平成23年10月14日	工事立会	
163	工事等の届出 第93条	西飯降Ⅱ遺跡／散布地 伊都郡かつらぎ町大字西飯降字中垣内95番の1の一部	平成23年10月4日	文第43号の(163) 平成23年10月14日	浄化槽立会	
164	工事等の届出 第93条	笠田東遺跡／鎌倉・散布地 伊都郡かつらぎ町笠田東白ひげ989-1	平成23年10月5日	文第43号の(164) 平成23年10月14日	工事立会	
165	工事等の届出 第93条	西飯降Ⅱ遺跡／散布地 伊都郡かつらぎ町大字西飯降字中垣内95番の6	平成23年10月12日	文第43号の(165) 平成23年10月14日	基礎外周及び 浄化槽立会	
166	工事等の届出 第93条	西飯降Ⅱ遺跡／散布地 伊都郡かつらぎ町大字西飯降字中垣内95番の8、字東ノ谷112番3	平成23年10月12日	文第43号の(166) 平成23年10月14日	浄化槽立会	
167	工事等の届出 第93条	宇田森遺跡／集落跡 和歌山市永穂字北在339番3、340番3の一部、340番4の一部	平成23年10月11日	文第43号の(167) 平成23年10月19日	確認調査	
168	工事等の届出 第93条	六十谷遺跡／散布地 和歌山市六十谷363-2	平成23年10月11日	文第43号の(168) 平成23年10月19日	工事立会	

埋蔵文化財発掘の届出（文化財保護法第93条）一覧5

No.	届出等の種類 根拠法令	遺跡の名称 時代・種類 所在地	届出等の日付	教育委員会による処理		備考
				文書番号 指示の日付	指示事項	
169	工事等の届出 第93条	尼寺南城跡/城館跡 紀の川市貫志川町上野山字北畑153番1、153番2、159番1、159番2	平成23年10月11日	文第43号の(169) 平成23年10月19日	確認調査	
170	工事等の届出 第93条	粟島遺跡/奈良～平安・散布地 紀の川市東大井字正覚77番19、77番20	平成23年10月11日	文第43号の(170) 平成23年10月19日	浄化槽立会	
171	工事等の届出 第93条	府中遺跡/散布地 和歌山市府中中小山1149番11	平成23年10月13日	文第43号の(171) 平成23年10月19日	工事立会	
172	工事等の届出 第93条	高井遺跡/縄文・散布地 和歌山市直川字高井垣内1219番6	平成23年10月14日	文第43号の(172) 平成23年10月19日	工事立会	
173	工事等の届出 第93条	稲成遺跡/弥生・岩陰 田辺市稲成町611-1の一部	平成23年10月20日	文第43号の(173) 平成23年10月25日	慎重工事	
174	工事等の届出 第93条	大古I遺跡/縄文～鎌倉・散布地 西牟婁郡白浜町大古146-1	平成23年10月12日	文第43号の(174) 平成23年10月25日	浄化槽立会	
175	工事等の届出 第93条	時雨山遺跡/弥生～奈良・散布地 橋本市神野々字東光寺之段99-12、99-18	平成23年10月18日	文第43号の(175) 平成23年10月25日	慎重工事	
176	工事等の届出 第93条	中黒II遺跡/弥生～奈良・散布地 岩出市中黒字前島550-12	平成23年10月14日	文第43号の(176) 平成23年10月27日	慎重工事	
177	工事等の届出 第93条	法然寺遺跡/散布地 和歌山市六十谷字西出垣内985-5、985-7、985-8	平成23年10月18日	文第43号の(177) 平成23年10月27日	工事立会	
178	工事等の届出 第93条	府中遺跡/散布地 和歌山市府中森脇1094番9	平成23年10月25日	文第43号の(178) 平成23年11月1日	浄化槽立会	
179	工事等の届出 第93条	西飯降II遺跡/散布地 伊都郡かつらぎ町大字西飯降字中垣内95-7	平成23年10月17日	文第43号の(179) 平成23年11月1日	浄化槽立会	
180	工事等の届出 第93条	和歌山城跡/近世・城館跡 和歌山市六番丁	平成23年10月26日	文第43号の(180) 平成23年11月1日	慎重工事	
181	工事等の届出 第93条	鷺ノ森遺跡、本願寺跡/弥生～江戸・散布地、中世～寺院跡 和歌山市鷺ノ森堂前丁3	平成23年10月26日	文第43号の(181) 平成23年11月1日	慎重工事	
182	工事等の届出 第93条	最上遺跡/弥生～中世・集落跡 紀の川市桃山町最上字東上ノ段613-1	平成23年10月24日	文第43号の(182) 平成23年11月1日	浄化槽立会	
183	工事等の届出 第93条	土生城跡/中世・城館跡 日高郡日高川町大字土生字城之内586-1	平成23年10月28日	文第43号の(183) 平成23年11月7日	工事立会	
184	工事等の届出 第93条	岡村古墳群/古墳・古墳群 海南市岡田字辨天935番	平成23年10月27日	文第43号の(184) 平成23年11月7日	確認調査	
185	工事等の届出 第93条	東浜田遺跡/縄文～中世・散布地 伊都郡かつらぎ町大字東浜田字中井田129-3	平成23年10月27日	文第43号の(185) 平成23年11月8日	浄化槽立会	
186	工事等の届出 第93条	山崎遺跡/古墳～中世・散布地 岩出市赤垣内宮128-2	平成23年10月26日	文第43号の(186) 平成23年11月8日	浄化槽立会	
187	工事等の届出 第93条	根来寺遺跡/平安～中世、近世・寺院跡 岩出市根来寺字家廻り1351番2の一部	平成23年11月1日	文第43号の(187) 平成23年11月8日	確認調査	
188	工事等の届出 第93条	府中遺跡/散布地 和歌山市府中森脇1139番地、1140番地、1132番地の一部	平成23年10月28日	文第43号の(188) 平成23年11月8日	浄化槽立会	
189	工事等の届出 第93条	太田城水攻め堤跡/戦国～江戸・堤跡 和歌山市黒田字東川田2番11	平成23年10月31日	文第43号の(189) 平成23年11月8日	慎重工事	
190	工事等の届出 第93条	府中IV遺跡、島井遺跡/弥生～古墳・集落跡、散布地 和歌山市府中御坊71番、71番1、水路 和歌山市府中島居山344番5の一部	平成23年11月2日	文第43号の(190) 平成23年11月8日	確認調査	
191	工事等の届出 第93条	花山古墳群/古墳・古墳群 和歌山市岩橋字花山1690-11	平成23年11月7日	文第43号の(191) 平成23年11月8日	慎重工事	
192	工事等の届出 第93条	八丁田圃遺跡/縄文～鎌倉・散布地 田辺市秋津町字西八町224-11	平成23年11月2日	文第43号の(192) 平成23年11月10日	浄化槽立会	
193	工事等の届出 第93条	鳴神VI遺跡/弥生～江戸・散布地 和歌山市秋月字川田78-11	平成23年11月4日	文第43号の(193) 平成23年11月10日	工事立会	
194	工事等の届出 第93条	鳴神V遺跡/弥生～平安・散布地 和歌山市鳴神字惣垣内549-5の一部	平成23年11月7日	文第43号の(194) 平成23年11月10日	浄化槽立会	
195	工事等の届出 第93条	丁ノ町・妙寺遺跡/弥生～中世・散布地 伊都郡かつらぎ町丁ノ町864-1	平成23年10月31日	文第43号の(195) 平成23年11月14日	浄化槽立会	
196	工事等の届出 第93条	且来VI遺跡/弥生～奈良・集落跡 海南市且来字北塚128-16	平成23年11月8日	文第43号の(196) 平成23年11月14日	浄化槽立会	
197	工事等の届出 第93条	東大人遺跡/弥生～中世・散布地 御坊市塩屋町南塩屋336-1の一部	平成23年11月7日	文第43号の(197) 平成23年11月14日	便槽立会	
198	工事等の届出 第93条	木ノ本小学校II遺跡/古墳・散布地 和歌山市木の本324-17	平成23年11月9日	文第43号の(198) 平成23年11月14日	工事立会	
199	工事等の届出 第93条	佐野遺跡/弥生～古墳・散布地 新宮市佐野字井関後1394-21	平成23年11月11日	文第43号の(199) 平成23年11月17日	慎重工事	
200	工事等の届出 第93条	田辺城下町遺跡/江戸・散布地 田辺市南新町145-1他5筆、今福町18-2、18-3、145-7	平成23年11月9日	文第43号の(200) 平成23年11月17日	工事立会	
201	工事等の届出 第93条	太田・黒田遺跡/弥生～奈良・集落跡 和歌山市黒田字門田155番4	平成23年11月9日	文第43号の(201) 平成23年11月17日	慎重工事	
202	工事等の届出 第93条	井辺遺跡/弥生・散布地 和歌山市神前字宮出152番1	平成23年11月14日	文第43号の(202) 平成23年11月17日	確認調査	
203	工事等の届出 第93条	三百瀬遺跡/縄文・散布地 日高郡日高川町大字三百瀬字古田534番	平成23年11月7日	文第43号の(203) 平成23年11月17日	浄化槽立会	
204	工事等の届出 第93条	堅田遺跡/弥生～古墳初頭、奈良、平安・集落跡、郡衙跡 御坊市湯川町財部字深田646-11、646-12、646-24	平成23年11月16日	文第43号の(204) 平成23年11月25日	確認調査	
205	工事等の届出 第93条	吉田遺跡/弥生～奈良・集落 岩出市吉田字渡り92番32、92番144	平成23年11月17日	文第43号の(205) 平成23年11月25日	慎重工事	
206	工事等の届出 第93条	島井遺跡、府中IV遺跡/散布地、弥生～古墳・集落跡 和歌山市府中島居山344番3の一部、344番4、344番5の一部	平成23年11月17日	文第43号の(206) 平成23年11月25日	確認調査	
207	工事等の届出 第93条	井辺前山古墳群/古墳・古墳群 和歌山市森小字穂字東原谷912、916-2、1790、1790-1	平成23年11月17日	文第43号の(207) 平成23年11月25日	慎重工事	
208	工事等の届出 第93条	且来V遺跡/弥生・散布地 海南市且来54-6	平成23年11月18日	文第43号の(208) 平成23年11月29日	工事立会	
209	工事等の届出 第93条	高山寺貝塚遺跡/縄文・貝塚 田辺市稲成町393、387	平成23年11月24日	文第43号の(209) 平成23年11月29日	確認調査	
210	工事等の届出 第93条	矢ノ熊遺跡/縄文～弥生・散布地 東牟婁郡牟婁町牟婁字江川生187	平成24年11月22日	文第43号の(210) 平成23年12月5日	浄化槽立会	

埋蔵文化財発掘の届出（文化財保護法第93条）一覧6

No.	届出等の種類 根拠法令	遺跡の名称 時代・種類 所在地	届出等の日付	教育委員会による処理		備考
				文書番号 指示の日付	指示事項	
211	工事等の届出 第93条	今市仮城跡／中世・城館跡 海南市日方字井松原1179番1	平成24年11月25日	文第43号の(211) 平成23年12月5日	浄化槽立会	
212	工事等の届出 第93条	上尾遺跡／弥生～古墳・散布地 紀の川市桃山町調月字北上ノ台769-154	平成23年11月18日	文第43号の(212) 平成23年12月5日	浄化槽立会	
213	工事等の届出 第93条	和田遺跡／弥生・散布地 和歌山市和田字折橋556-6、556-7	平成23年11月28日	文第43号の(213) 平成23年12月5日	確認調査	
214	工事等の届出 第93条	井辺遺跡／弥生・散布地 和歌山市神前字桃ノ本188番-1、189番-1	平成23年11月25日	文第43号の(214) 平成23年12月5日	確認調査	
215	工事等の届出 第93条	西田井遺跡／弥生～中世・集落跡 和歌山市西田井字森ノ前265-1、266-1	平成23年9月16日	文第43号の(215) 平成23年12月1日	本発掘調査	
216	工事等の届出 第93条	東浜田遺跡／縄文～中世・散布地 伊都郡かつらぎ町東浜田38-5	平成23年11月16日	文第43号の(216) 平成23年12月7日	浄化槽立会	
217	工事等の届出 第93条	チョウ塚遺跡／弥生～古墳・散布地 紀の川市打田字上芝206-1	平成23年11月24日	文第43号の(217) 平成23年12月7日	擁壁工事立会	
218	工事等の届出 第93条	府中遺跡／散布地 和歌山市府中字森脇1094-5、1096-1の一部	平成23年11月10日	文第43号の(218) 平成23年12月9日	工事立会	
219	工事等の届出 第93条	西庄Ⅲ遺跡／古墳～鎌倉・散布地 和歌山市西庄字東畑768番5、10	平成23年11月29日	文第43号の(219) 平成23年12月9日	確認調査	
220	工事等の届出 第93条	和歌山城跡／近世・城館跡 和歌山市岡山丁36	平成23年11月30日	文第43号の(220) 平成23年12月9日	確認調査	
221	工事等の届出 第93条	太田・黒田遺跡／弥生～奈良・集落跡 和歌山市黒田172-1～黒田170-1	平成23年12月1日	文第43号の(221) 平成23年12月12日	工事立会	
222	工事等の届出 第93条	神前遺跡／弥生・散布地 和歌山市神前字西ノ垣内433-4	平成23年12月5日	文第43号の(222) 平成23年12月12日	確認調査	
223	工事等の届出 第93条	小松原Ⅰ遺跡／縄文～平安・散布地 御坊市湯川町小松原字中黒坪16-22	平成23年12月7日	文第43号の(223) 平成23年12月12日	浄化槽立会	
224	工事等の届出 第93条	花山古墳群／古墳・古墳群 和歌山市栗栖字音浦822番2の一部、849番の一部、850番1の一部、 850番3の一部、850番4の一部、850番5、851番の一部、853番1 の一部、853番2の一部、854番1の一部、854番2、855番1の一部、 855番2、855番3の一部、856番の一部、856番1の一部、857番1 の一部、857番2の一部、858番、865番の一部、和歌山市出島字音 浦330番の一部、331番、332番、333番、334番	平成23年12月5日	文第43号の(224) 平成23年12月12日	確認調査	
225	工事等の届出 第93条	六十谷遺跡／縄文～弥生・散布地 和歌山市六十谷1040-5～1032-1、748～358、325-5～1地先	平成23年12月6日	文第43号の(225) 平成23年12月13日	撤去工事立会	
226	工事等の届出 第93条	六十谷遺跡／縄文～弥生・散布地 和歌山市六十谷1040-5～1032-1、748～358、325-5～1地先	平成23年12月6日	文第43号の(226) 平成23年12月13日	撤去工事立会	
227	工事等の届出 第93条	土生城跡／中世・城館跡 日高郡日高川町土生字城之内586-5	平成23年12月9日	文第43号の(227) 平成23年12月13日	駐車場工事立会	
228	工事等の届出 第93条	榎原遺跡／古墳・散布地 和歌山市木ノ本字沖ノ城462番5、467番5	平成23年12月5日	文第43号の(228) 平成23年12月19日	慎重工事	
229	工事等の届出 第93条	神前Ⅱ遺跡／古墳～室町・散布地 和歌山市神前字宮出164-1、164-2、164-5	平成23年12月5日	文第43号の(229) 平成23年12月19日	確認調査	
230	工事等の届出 第93条	太田・黒田遺跡、太田城跡／弥生～奈良・集落跡、安土桃山・城館跡 和歌山市太田1丁目1-2	平成23年12月7日	文第43号の(230) 平成23年12月19日	慎重工事	
231	工事等の届出 第93条	旧成道寺跡／鎌倉・寺院跡 有田郡有田川町糸野598番地	平成23年12月7日	文第43号の(231) 平成23年12月19日	工事立会	
232	工事等の届出 第93条	山口遺跡／弥生～平安・集落跡 和歌山市里字牛ノ原193番	平成23年11月18日	文第43号の(232) 平成23年12月19日	慎重工事	
233	工事等の届出 第93条	根来寺遺跡／平安～中世、近世・寺院跡 岩出市根来字家廻り1048番10	平成23年12月12日	文第43号の(233) 平成23年12月19日	浄化槽立会	
234	工事等の届出 第93条	磯脇遺跡／中世・散布地 和歌山市本脇318-1、318-2	平成23年12月16日	文第43号の(234) 平成23年12月28日	確認調査	
235	工事等の届出 第93条	和歌山城跡／近世・城館跡 和歌山市十三番丁24	平成23年12月20日	文第43号の(235) 平成23年12月28日	慎重工事	
236	工事等の届出 第93条	中黒Ⅱ遺跡／弥生～奈良・散布地 岩出市中黒字前島550-44の一部	平成23年12月15日	文第43号の(236) 平成23年12月28日	慎重工事	
237	工事等の届出 第93条	中黒Ⅱ遺跡／弥生～奈良・散布地 岩出市中黒字前島550-44の一部	平成23年12月15日	文第43号の(237) 平成23年12月28日	慎重工事	
238	工事等の届出 第93条	中黒Ⅱ遺跡／弥生～奈良・散布地 岩出市中黒字前島550-40	平成23年12月15日	文第43号の(238) 平成23年12月28日	慎重工事	
239	工事等の届出 第93条	中黒Ⅱ遺跡／弥生～奈良・散布地 岩出市中黒字前島550-56	平成23年12月15日	文第43号の(239) 平成23年12月28日	慎重工事	
240	工事等の届出 第93条	鳴神Ⅱ遺跡／弥生～平安・用水路跡 和歌山市鳴神41-5の一部	平成23年12月20日	文第43号の(240) 平成23年12月28日	確認調査	
241	工事等の届出 第93条	川辺遺跡／縄文～中世・集落跡 和歌山市川辺字池ノ尻169番1、水路	平成23年12月22日	文第43号の(241) 平成23年12月28日	確認調査	
242	工事等の届出 第93条	鳴神Ⅵ遺跡／弥生～江戸・散布地 和歌山市秋月字川田78番10	平成23年12月26日	文第43号の(242) 平成23年12月28日	慎重工事	
243	工事等の届出 第93条	鬮雞神社境内遺跡／中世・出土地 田辺市湊字神田655番	平成23年12月1日	文第43号の(243) 平成23年12月28日	確認調査	
244	工事等の届出 第93条	田屋遺跡／弥生～古墳・集落跡 和歌山市田屋字塞ノ門140番1、144番5、147番8、147番9、148番5	平成24年12月26日	文第43号の(244) 平成24年1月6日	慎重工事	
245	工事等の届出 第93条	中黒Ⅰ遺跡／弥生～奈良・散布地 岩出市吉田字一本木273番1	平成24年12月23日	文第43号の(245) 平成24年1月6日	工事立会	
246	工事等の届出 第93条	山崎遺跡／古墳～中世・散布地 岩出市金屋字八幡285-1	平成24年12月28日	文第43号の(246) 平成24年1月13日	工事立会	
247	工事等の届出 第93条	東田中神社遺跡／弥生～中世・散布地 紀の川市打田字城ノ本19番5、60番3、先水路	平成24年12月22日	文第43号の(247) 平成24年1月13日	浄化槽立会	
248	工事等の届出 第93条	速玉大社境内遺跡／縄文、奈良～室町・散布地、祭祀跡 新宮市船町1丁目2番1号	平成24年1月6日	文第43号の(248) 平成24年1月13日	工事立会	
249	工事等の届出 第93条	太田・黒田遺跡、太田城跡／弥生～奈良・集落跡、安土桃山・城館跡 和歌山市太田3丁目4番3	平成24年12月22日	文第43号の(249) 平成24年1月16日	慎重工事	
250	工事等の届出 第93条	神前遺跡／弥生・散布地 和歌山市神前字馬乗免534番3	平成24年12月26日	文第43号の(250) 平成24年1月16日	慎重工事	

埋蔵文化財発掘の届出（文化財保護法第93条）一覧7

No.	届出等の種類 根拠法令	遺跡の名称 時代・種類 所在地	届出等の日付	教育委員会による処理		備考
				文書番号 指示の日付	指示事項	
251	工事等の届出 第93条	西庄Ⅲ遺跡／古墳～鎌倉・散布地 和歌山市西庄743-1の一部	平成24年12月28日	文第43号の(251) 平成24年1月18日	工事立会	
252	工事等の届出 第93条	田辺城下町遺跡／江戸・散布地 田辺市湊字地下1029-1	平成24年1月11日	文第43号の(252) 平成24年1月18日	浄化槽立会	
253	工事等の届出 第93条	八丁田圃遺跡／縄文～鎌倉・散布地 田辺市秋津町字東八町409-20	平成24年1月11日	文第43号の(253) 平成24年1月27日	慎重工事	
254	工事等の届出 第93条	榎原遺跡／古墳・散布地 和歌山市木ノ本字沖ノ城462-6の一部	平成24年1月5日	文第43号の(254) 平成24年1月27日	慎重工事	
255	工事等の届出 第93条	太田・黒田遺跡、太田城跡／弥生～奈良・集落跡、安土桃山・城館跡 和歌山市太田3丁目3-3～太田3丁目4-3	平成24年1月18日	文第43号の(255) 平成24年2月1日	慎重工事	
256	工事等の届出 第93条	鳴神Ⅴ遺跡／弥生～平安・散布地 和歌山市秋月字城堀204-7	平成24年1月18日	文第43号の(256) 平成24年2月1日	慎重工事	
257	工事等の届出 第93条	太田・黒田遺跡／弥生～奈良・集落跡 和歌山市黒田1丁目2-17～黒田1丁目2-21	平成24年1月19日	文第43号の(257) 平成24年2月1日	慎重工事	
258	工事等の届出 第93条	岩橋千塚古墳群／古墳・古墳群 和歌山市鳴神155番4	平成24年1月20日	文第43号の(258) 平成24年2月1日	工事立会	
259	工事等の届出 第93条	且来Ⅵ遺跡／弥生～奈良・集落跡 海南市且来129	平成24年1月20日	文第43号の(259) 平成24年2月1日	浄化槽立会	
260	工事等の届出 第93条	金剛峯寺遺跡／平安～寺院跡 伊都郡高野町高野山618番地	平成24年1月23日	文第43号の(260) 平成24年2月1日	工事立会	
261	工事等の届出 第93条	神前Ⅱ遺跡／古墳～室町・散布地 和歌山市神前字宮出164-1、164-2、164-5	平成24年1月6日	文第43号の(261) 平成24年2月1日	本発掘調査	
262	工事等の届出 第93条	那智山坊跡／平安～鎌倉・寺院跡 東牟婁郡那智勝浦町大字那智山下畑谷495-12番地	平成24年1月24日	文第43号の(262) 平成24年2月6日	慎重工事	
263	工事等の届出 第93条	上尾遺跡／弥生～古墳・散布地 紀の川市桃山町調月字北上ノ台769番88	平成24年1月16日	文第43号の(263) 平成24年2月6日	慎重工事	
264	工事等の届出 第93条	鳴神Ⅵ遺跡／弥生～江戸・散布地 和歌山市秋月78-10の一部	平成24年1月17日	文第43号の(264) 平成24年2月6日	慎重工事	
265	工事等の届出 第93条	木ノ本Ⅲ遺跡／散布地 和歌山市梅原字金山295番3	平成24年1月16日	文第43号の(265) 平成24年2月6日	慎重工事	
266	工事等の届出 第93条	藤並地区遺跡／先土器～鎌倉・散布地 有田郡有田川町大字天満字夙浦町164番1	平成24年1月26日	文第43号の(266) 平成24年2月6日	慎重工事	
267	工事等の届出 第93条	根来寺遺跡／平安～中世、近世・寺院跡 岩出市安上字西畑602番、603番1	平成24年1月27日	文第43号の(267) 平成24年2月6日	確認調査	
268	工事等の届出 第93条	根来寺遺跡／平安～中世、近世・寺院跡 岩出市根来字洞尾227-1外13筆	平成24年1月12日	文第43号の(268) 平成24年2月6日	確認調査	
269	工事等の届出 第93条	山崎遺跡／古墳～中世・散布地 岩出市赤垣内字宮125番1	平成24年1月26日	文第43号の(269) 平成24年2月6日	浄化槽・擁壁 工事立会	
270	工事等の届出 第93条	田辺城下町遺跡／江戸・散布地 田辺市湊1050-1	平成24年1月24日	文第43号の(270) 平成24年2月6日	浄化槽立会	
271	工事等の届出 第93条	太田・黒田遺跡、太田城跡／弥生～奈良・集落跡、安土桃山・城館跡 和歌山市太田3丁目4番6	平成24年12月26日	文第43号の(271) 平成24年2月6日	本発掘調査	
272	工事等の届出 第93条	木ノ本Ⅰ遺跡／散布地 和歌山市西庄字東池ノ内84番27	平成24年1月25日	文第43号の(272) 平成24年2月6日	慎重工事	
273	工事等の届出 第93条	津奈Ⅱ遺跡／古墳～奈良・散布地 和歌山市津奈字奥ノ畑5番35	平成24年1月27日	文第43号の(273) 平成24年2月6日	浄化槽立会	
274	工事等の届出 第93条	木ノ本Ⅱ遺跡／散布地 和歌山市木ノ本字余所垣内650番6	平成24年1月31日	文第43号の(274) 平成24年2月6日	確認調査	
275	工事等の届出 第93条	井辺前山古墳群／古墳・古墳群 和歌山市井辺字嘉勢淵674-5、675-2	平成24年1月26日	文第43号の(275) 平成24年2月6日	工事立会	
276	工事等の届出 第93条	岩内Ⅲ遺跡／古墳・集落、古墳群 御坊市岩内831、832、840	平成24年2月1日	文第43号の(276) 平成24年2月6日	慎重工事	
277	工事等の届出 第93条	粉河寺遺跡／奈良～寺院跡 紀の川市粉河寺寺川3288番1、3289-1	平成24年1月30日	文第43号の(277) 平成24年2月7日	慎重工事	
278	工事等の届出 第93条	八丁田圃遺跡／縄文～鎌倉・散布地 田辺市秋津町404-7	平成24年1月30日	文第43号の(278) 平成24年2月7日	浄化槽立会	
279	工事等の届出 第93条	田辺城下町遺跡／江戸・散布地 田辺市中屋敷町90-1、90-2、89-1	平成24年1月31日	文第43号の(279) 平成24年2月7日	確認調査	
280	工事等の届出 第93条	道成寺遺跡／奈良～現代・寺院跡 日高郡日高川町鐘巻1738	平成24年1月20日	文第43号の(280) 平成24年2月13日	工事立会	
281	工事等の届出 第93条	丁ノ町・妙寺遺跡／弥生～中世・散布地 伊都郡かつらぎ町大字丁ノ町字北島居田804番6、804番7	平成24年2月6日	文第43号の(281) 平成24年2月13日	慎重工事	
282	工事等の届出 第93条	西飯降Ⅱ遺跡／縄文～古代・散布地 伊都郡かつらぎ町大字西飯降字中垣内95番3	平成24年2月6日	文第43号の(282) 平成24年2月13日	浄化槽立会	
283	工事等の届出 第93条	中黒Ⅰ遺跡／弥生～奈良・散布地 岩出市吉田字石橋7番、10番1	平成24年2月6日	文第43号の(283) 平成24年2月13日	慎重工事	
284	工事等の届出 第93条	秋月遺跡／弥生～平安・散布地 和歌山市太田568-6	平成24年2月1日	文第43号の(284) 平成24年2月13日	慎重工事	
285	工事等の届出 第93条	藤並地区遺跡／先土器～鎌倉・散布地 有田郡有田川町大字生字池下ノ段371-13の一部	平成24年2月8日	文第43号の(285) 平成24年2月15日	浄化槽立会	
286	工事等の届出 第93条	笠田東遺跡／鎌倉・散布地 伊都郡かつらぎ町大字笠田東字北芝939番1の一部	平成24年2月9日	文第43号の(286) 平成24年2月15日	確認調査	
287	工事等の届出 第93条	東洪田遺跡／縄文～中世・散布地 伊都郡かつらぎ町東洪田34番地	平成24年2月10日	文第43号の(287) 平成24年2月22日	慎重工事	
288	工事等の届出 第93条	藤並地区遺跡／先土器～鎌倉・散布地 有田郡有田川町大字天満字東風垣内町289番地7筆	平成24年2月13日	文第43号の(288) 平成24年2月22日	確認調査	
289	工事等の届出 第93条	田辺城跡／近世・城跡 田辺市上屋敷3丁目94-75	平成24年2月13日	文第43号の(289) 平成24年2月22日	工事立会	
290	工事等の届出 第93条	鳴神Ⅳ遺跡／弥生～江戸・散布地 和歌山市鳴神字有馬田963番38、963番43	平成24年2月13日	文第43号の(290) 平成24年2月22日	慎重工事	
291	工事等の届出 第93条	今市仮城跡／中世・城館跡 海南市日方字井松原1179番1	平成24年2月13日	文第43号の(291) 平成24年2月22日	確認調査	
292	工事等の届出 第93条	笠田東遺跡／鎌倉・散布地 伊都郡かつらぎ町大字笠田東字北芝939番1の一部	平成24年2月16日	文第43号の(292) 平成24年2月23日	工事立会	

埋蔵文化財発掘の届出（文化財保護法第93条）一覧8

No.	届出等の種類 根拠法令	遺跡の名称 時代・種類 所在地	届出等の日付	教育委員会による処理		備考
				文書番号 指示の日付	指示事項	
293	工事等の届出 第93条	西飯降Ⅱ遺跡／縄文・散布地 伊都郡かつらぎ町大字妙寺字大道ノ上 904、905	平成24年2月17日	文第43号の(293) 平成24年2月23日	確認調査	
294	工事等の届出 第93条	八丁田圃遺跡／縄文・鎌倉・散布地 田辺市秋津町字東八町 399-25	平成24年2月17日	文第43号の(294) 平成24年2月28日	浄化槽立会	
295	工事等の届出 第93条	山吹丁遺跡／弥生～古墳・散布地 和歌山市本町4丁目28番	平成24年2月14日	文第43号の(295) 平成24年2月28日	慎重工事	
296	工事等の届出 第93条	粉河寺遺跡／奈良～寺院 紀の川市粉河字寺川 3288番1、3289-1	平成24年2月13日	文第43号の(296) 平成24年2月29日	本発掘調査	
297	工事等の届出 第93条	田辺城跡／近世・城跡 田辺市上屋敷一丁目33番5	平成24年2月23日	文第43号の(297) 平成24年2月29日	工事立会	
298	工事等の届出 第93条	田辺城跡／近世・城跡 田辺市上屋敷一丁目33番4	平成24年2月23日	文第43号の(298) 平成24年2月29日	工事立会	
299	工事等の届出 第93条	園部Ⅱ遺跡／散布地 和歌山市園部字宮山 1581-31	平成24年2月13日	文第43号の(299) 平成24年2月29日	確認調査	
300	工事等の届出 第93条	遍照寺境内遺跡／中世・寺院跡 岩出市北大池字村中 269番地	平成24年2月17日	文第43号の(300) 平成24年2月29日	確認調査	
301	工事等の届出 第93条	且来Ⅰ遺跡／縄文・集落跡 海南市岡田字垣添 19番1、19番3	平成24年2月24日	文第43号の(301) 平成24年2月29日	確認調査	
302	工事等の届出 第93条	土生城跡／中世・館跡 日高郡日高川町大字土生城之内 586番1	平成24年2月27日	文第43号の(302) 平成24年2月29日	工事立会	
303	工事等の届出 第93条	田屋遺跡／弥生～古墳・集落跡 和歌山市田屋字塞ノ門 141番	平成24年2月3日	文第43号の(303) 平成24年3月6日	慎重工事	
304	工事等の届出 第93条	松岡土居屋敷跡／中世・城館跡 橋本市兩田町下兵庫字 344番1	平成24年2月10日	文第43号の(304) 平成24年3月6日	確認調査	
305	工事等の届出 第93条	粟島遺跡／奈良～平安・散布地 紀の川市東大井字粟嶋 419-30	平成24年2月27日	文第43号の(305) 平成24年3月6日	慎重工事	
306	工事等の届出 第93条	川辺遺跡／縄文～中世・集落跡 和歌山市川辺字寺西 174番4、175番1	平成24年2月27日	文第43号の(306) 平成24年3月6日	確認調査(建物)、 浄化槽立会	
307	工事等の届出 第93条	井辺遺跡／弥生・散布地 和歌山市神前字笠松 114番12、114番15	平成24年2月28日	文第43号の(307) 平成24年3月6日	慎重工事	
308	工事等の届出 第93条	津泰Ⅱ遺跡／古墳～奈良・散布地 和歌山市秋月字瀬見田 483番1、484番1	平成24年2月24日	文第43号の(308) 平成24年3月6日	本発掘調査	
309	工事等の届出 第93条	田辺城跡／近世・城跡 田辺市上屋敷1丁目33-2	平成24年2月27日	文第43号の(309) 平成24年3月6日	工事立会	
310	工事等の届出 第93条	八丁田圃遺跡／縄文～鎌倉・散布地 田辺市秋津町 335-6地先～秋津町 305-6地先	平成24年2月29日	文第43号の(310) 平成24年3月6日	工事立会	
311	工事等の届出 第93条	根来寺遺跡／平安～中世、近世・寺院跡 岩出市根来字押地 1026番1、1026番3	平成24年2月24日	文第43号の(311) 平成24年3月9日	確認調査	
312	工事等の届出 第93条	根来寺遺跡／平安～中世、近世・寺院跡 岩出市根来字東谷 2230-4の一部、2232の一部	平成24年2月29日	文第43号の(312) 平成24年3月9日	確認調査	
313	工事等の届出 第93条	西国分Ⅱ遺跡、岡田遺跡／奈良・散布地、縄文～奈良・散布地 岩出市岡田字中溝 199番1外 23筆	平成24年2月20日	文第43号の(313) 平成24年3月9日	確認調査	
314	工事等の届出 第93条	和歌山城跡／近世・城館跡 和歌山市片岡町1丁目1-32、1-36、1-39、1-56、1-59	平成24年2月28日	文第43号の(314) 平成24年3月9日	慎重工事	
315	工事等の届出 第93条	鳴神Ⅵ遺跡／弥生～江戸・散布地 和歌山市秋月字川田 78番1の一部	平成24年2月29日	文第43号の(315) 平成24年3月9日	慎重工事	
316	工事等の届出 第93条	岩橋千塚古墳群／古墳・古墳群 和歌山市岩橋字案 1464番	平成24年3月2日	文第43号の(316) 平成24年3月12日	慎重工事	
317	工事等の届出 第93条	井辺遺跡／弥生・散布地 和歌山市井辺 144-36	平成24年3月5日	文第43号の(317) 平成24年3月12日	慎重工事	
318	工事等の届出 第93条	田辺城下町遺跡／江戸・散布地 田辺市湊 1030	平成24年3月2日	文第43号の(318) 平成24年3月12日	工事立会	
319	工事等の届出 第93条	田辺城下町遺跡／江戸・散布地 田辺市湊 1059-1、1059-2、1059-4	平成24年3月2日	文第43号の(319) 平成24年3月12日	工事立会	
320	工事等の届出 第93条	松原Ⅱ遺跡／散布地 和歌山市馬場 50	平成24年3月6日	文第43号の(320) 平成24年3月12日	確認調査	
321	工事等の届出 第93条	岩内Ⅱ遺跡／散布地 御坊市熊野字夏目 17番地	平成24年3月6日	文第43号の(321) 平成24年3月12日	駐車場及び 浄化槽工事立会	
322	工事等の届出 第93条	秋月遺跡／弥生～平安・散布地 和歌山市有家字ソリハシ 87番6	平成24年3月7日	文第43号の(322) 平成24年3月12日	確認調査	
323	工事等の届出 第93条	旧吉備中学校校庭遺跡／弥生～鎌倉・集落跡 有田郡有田川町大字野田字政田 145番5、154番2	平成24年3月8日	文第43号の(323) 平成24年3月23日	慎重工事	
324	工事等の届出 第93条	太田・黒田遺跡／弥生～奈良・集落跡 和歌山市黒田字堤下 26番1及び黒田字門田 165番1の各一部	平成24年3月12日	文第43号の(324) 平成24年3月23日	工事立会	
325	工事等の届出 第93条	岩橋高柳遺跡／古墳、中近世・集落 和歌山市岩橋字中沼 904番1	平成24年3月12日	文第43号の(325) 平成24年3月23日	確認調査	
326	工事等の届出 第93条	武住遺跡／縄文・散布地 田辺市本宮町武住 10	平成24年3月13日	文第43号の(326) 平成24年3月23日	工事立会	
327	工事等の届出 第93条	蔵井戸古墳群／古墳・古墳群 御坊市名田町野島 3549番地2	平成24年3月22日	文第43号の(327) 平成24年3月30日	工事立会	
328	工事等の届出 第93条	根来寺遺跡／平安～中世、近世・寺院跡 岩出市根来字家廻り 1035、1036-1番地	平成24年3月19日	文第43号の(328) 平成24年3月30日	工事立会	
329	工事等の届出 第93条	八岡山城跡／中世・城跡 紀の川市貴志川町岸宮字八岡 990番4	平成24年3月16日	文第43号の(329) 平成24年3月30日	慎重工事	
330	工事等の届出 第93条	尼ヶ辻遺跡／室町・散布地 岩出市根来字中溝 918番1、920番1、922番、923番、930番、935番	平成24年3月19日	文第43号の(330) 平成24年3月30日	確認調査	
331	工事等の届出 第93条	木ノ本Ⅲ遺跡／散布地 和歌山市梅原字金山 297-7	平成24年3月21日	文第43号の(331) 平成24年3月30日	慎重工事	
332	工事等の届出 第93条	六十谷遺跡／縄文～弥生・散布地 和歌山市六十谷 244地先～六十谷 358地先	平成24年3月23日	文第43号の(332) 平成24年3月30日	慎重工事	

埋蔵文化財発掘の届出（文化財保護法第94条） 一覧1

No.	届出等の種類 根拠法令	遺跡の名称 時代・種類 所在地	届出等をした者	届出等の日付	教育委員会による処理		備考
					文書番号 指示の日付	指示事項	
1	工事等の届出 第94条	南部高校遺跡／弥生～古墳・散布地 日高郡みなべ町芝407	和歌山県知事	平成23年4月14日	文第114号 平成23年4月25日	工事立会	
2	工事等の届出 第94条	荒見廃寺／奈良・寺院跡 紀の川市荒見437番地	紀の川市長	平成23年4月28日	文第114号の(2) 平成23年5月6日	本発掘調査	
3	工事等の届出 第94条	城ヶ森遺跡／弥生・散布地 和歌山市吉礼地内	和歌山市長	平成23年5月18日	文第114号の(3) 平成23年5月24日	確認調査	
4	工事等の届出 第94条	六十谷遺跡／縄文～弥生・散布地 和歌山市六十谷358地先	西日本電信電話株式会社 和歌山支店長	平成23年5月26日	文第114号の(4) 平成23年6月1日	慎重工事	
5	工事等の届出 第94条	金剛峯寺遺跡／平安～・寺院跡 伊都郡高野町高野山字千手院谷600番地先（町道五ノ室線・町道鷺谷線・県道高野橋本線）	高野町長	平成23年5月20日	文第114号の(5) 平成23年6月7日	工事立会	
6	工事等の届出 第94条	山口古墳群、上野古墳群／古墳・古墳群 和歌山市谷、和歌山市北別所、和歌山市上野	国土交通省近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所長	平成23年6月1日	文第114号の(6) 平成23年6月15日	慎重工事	
7	工事等の届出 第94条	根来寺遺跡／平安～中世、近世・寺院跡 岩出市根来1456番地	岩出市長	平成23年6月8日	文第114号の(7) 平成23年6月15日	慎重工事	
8	工事等の届出 第94条	田屋遺跡／弥生～古墳・集落跡 和歌山市直川地内	和歌山市長	平成23年6月7日	文第114号の(8) 平成23年6月15日	擁壁部分確認調査、照明灯設置部分工事立会	
9	工事等の届出 第94条	西飯降Ⅱ遺跡／弥生～古代・散布地 伊都郡かつらぎ町大字妙寺857	かつらぎ町長	平成23年5月18日	文第114号の(9) 平成22年5月3日	確認調査	
10	工事等の届出 第94条	西の側遺跡／縄文～中世・散布地 紀の川市貴志川町岸宮1175-2、1198-2、1201-2、1202-2、1221-2、1251-3、1252-2、1358-2、1361-2紀の川市道西6号線、西21号線、丸85号線	近畿農政局紀伊平野農業水利事業建設所長	平成23年6月16日	文第114号の(10) 平成23年6月20日	確認調査	
11	工事等の届出 第94条	秋葉山貝塚／奈良・貝塚 和歌山市秋葉町4-11地先	和歌山県知事	平成23年5月25日	文第114号の(11) 平成23年7月12日	確認調査	
12	工事等の届出 第94条	神田遺跡／弥生～古墳・散布地 田辺市湊562	田辺市長	平成23年7月4日	文第114号の(12) 平成23年7月12日	本校舎建築及び浄化槽確認調査	
13	工事等の届出 第94条	田屋遺跡／弥生～古墳・集落跡 和歌山市田屋地内	近畿農政局紀伊平野農業水利事業建設所長	平成23年7月11日	文第114号の(13) 平成23年7月22日	確認調査	
14	工事等の届出 第94条	金剛峯寺遺跡／平安～・寺院跡 伊都郡高野町高野山486番地	高野町長	平成23年7月1日	文第114号の(14) 平成23年7月25日	慎重工事	
15	工事等の届出 第94条	根来寺遺跡／平安～中世、近世・寺院跡 岩出市根来2306-1、2270	岩出市長	平成23年8月8日	文第114号の(15) 平成23年8月17日	本発掘調査	
16	工事等の届出 第94条	金剛峯寺遺跡／平安～・寺院跡 伊都郡高野町高野山地内	伊都振興局建設部長	平成23年8月5日	文第114号の(16) 平成23年8月19日	工事立会	
17	工事等の届出 第94条	田中遺跡、滝本遺跡／縄文～中世、近世・散布地 日高郡日高川町大字船津（一帯）	日高振興局建設部長	平成23年8月5日	文第114号の(17) 平成23年8月19日	慎重工事	
18	工事等の届出 第94条	田辺城下町遺跡／江戸・散布地 田辺市湊、北新町地内	田辺市長	平成23年8月30日	文第114号の(18) 平成23年9月7日	工事立会	
19	工事等の届出 第94条	金剛峯寺遺跡／平安～・寺院跡 伊都郡高野町高野山地内	伊都振興局建設部長	平成23年8月26日	文第114号の(19) 平成23年9月7日	県立会	
20	工事等の届出 第94条	太田、黒田遺跡、太田城跡／弥生～奈良・集落跡、安土桃山・城館跡 和歌山市太田1丁目13-16	和歌山市公営企業管理者	平成23年9月7日	文第114号の(20) 平成23年9月15日	工事立会	
21	工事等の届出 第94条	根来寺遺跡／平安～中世、近世・寺院跡 岩出市根来地内	岩出市長	平成23年9月8日	文第114号の(21) 平成23年9月16日	慎重工事	
22	工事等の届出 第94条	八丁田圃遺跡、目座遺跡／縄文～鎌倉・散布地、弥生・散布地 田辺市秋津町	国土交通省 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所長	平成23年9月9日	文第114号の(22) 平成23年9月16日	慎重工事	
23	工事等の届出 第94条	岩橋千塚古墳群／古墳・古墳群 和歌山市岩橋1411	和歌山県立紀伊風土記の丘館長	平成23年8月31日	文第114号の(23) 平成23年9月21日	慎重工事	
24	工事等の届出 第94条	田辺城下町遺跡／江戸・散布地 田辺市北新町	田辺市長	平成23年9月30日	文第114号の(24) 平成23年10月6日	工事立会	
25	工事等の届出 第94条	田辺城下町遺跡／江戸・散布地 田辺市中屋敷町	田辺市長	平成23年9月30日	文第114号の(25) 平成23年10月6日	工事立会	
26	工事等の届出 第94条	田辺城下町遺跡／江戸・散布地 田辺市下屋敷南新町	田辺市長	平成23年9月30日	文第114号の(26) 平成23年10月6日	工事立会	
27	工事等の届出 第94条	田辺城下町遺跡／江戸・散布地 田辺市南新町	田辺市長	平成23年9月30日	文第114号の(27) 平成23年10月6日	工事立会	
28	工事等の届出 第94条	和歌山城跡／近世・城館跡 和歌山市岡山丁3-1	和歌山県知事 和歌山県警察本部警務部会計課長	平成23年10月5日	文第114号の(28) 平成23年10月13日	慎重工事	
29	工事等の届出 第94条	根来寺遺跡／平安～中世、近世・寺院跡 岩出市安土地内、岩出市根来地内	国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所長	平成23年10月13日	文第114号の(29) 平成23年10月27日	慎重工事	
30	工事等の届出 第94条	吉原遺跡／弥生～平安・散布地 日高郡美浜町大字吉原958番地	美浜町長	平成23年10月21日	文第114号の(30) 平成23年10月28日	工事立会	
31	工事等の届出 第94条	小松原Ⅱ遺跡／弥生～中世・集落跡 御坊市湯川町小松原字中黒坪15番2	御坊市長	平成23年10月26日	文第114号の(31) 平成23年10月28日	工事立会	
32	工事等の届出 第94条	西飯降Ⅱ遺跡、丁ノ町・妙寺遺跡／縄文～古代・散布地、弥生～中世・散布地 伊都郡かつらぎ町大字妙寺・丁ノ町地内	かつらぎ町長	平成23年10月26日	文第114号の(32) 平成23年11月8日	慎重工事	
33	工事等の届出 第94条	東大人遺跡／弥生～中世・散布地 御坊市塩屋町南塩屋地内	御坊市長	平成23年11月7日	文第114号の(33) 平成23年11月14日	工事立会	
34	工事等の届出 第94条	小松原Ⅱ遺跡、湯川氏館跡／弥生～中世・集落・散布地・城館跡 御坊市湯川町小松原43-1	和歌山県知事	平成23年11月9日	文第114号の(34) 平成23年11月15日	慎重工事	

埋蔵文化財発掘の届出（文化財保護法第94条） 一覧2

No.	届出等の種類 根拠法令	遺跡の名称 時代・種類 所在地	届出等をした者	届出等の日付	教育委員会による処理		備考
					文書番号 指示の日付	指示事項	
35	工事等の届出 第94条	根来寺遺跡／平安～中世、近世・寺院跡 岩出市安上地内、岩出市根来地内	国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所長	平成23年11月14日	文第114号の(35) 平成23年11月25日	慎重工事	
36	工事等の届出 第94条	鳴神II遺跡／弥生～平安・用水路跡 和歌山市鳴神付近	西日本高速道路株式会社 関 西支社 和歌山管理事務所長	平成23年11月15日	文第114号の(36) 平成23年11月25日	慎重工事	
37	工事等の届出 第94条	且来城跡／中世・城館跡 海南市且来城ノ内3	海南市長	平成23年11月14日	文第114号の(37) 平成23年11月25日	工事立会	
38	工事等の届出 第94条	神前遺跡／弥生・散布地 和歌山市和田地内	和歌山県知事	平成23年10月3日	文第114号の(38) 平成23年11月25日	本発掘調査	
39	工事等の届出 第94条	矢倉城跡／中世・城跡 新宮市新宮字谷王子490-2、他	東牟婁振興局 新宮建設部長	平成23年11月28日	文第114号の(39) 平成23年12月5日	慎重工事	
40	工事等の届出 第94条	日座遺跡、八丁田圃遺跡／弥生・散布地、縄文～鎌 倉・散布地 田辺市秋津町字東八町地内	田辺市長	平成23年11月25日	文第114号の(40) 平成23年12月5日	確認調査	
41	工事等の届出 第94条	秋月遺跡／弥生～平安・散布地 和歌山市太田127	和歌山県知事	平成23年12月1日	文第114号の(41) 平成23年12月9日	県立会	
42	工事等の届出 第94条	田ノ口遺跡／古墳・散布地 西牟婁郡白浜町十九洲地内	国土交通省 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所長	平成23年11月29日	文第114号の(42) 平成23年12月12日	本発掘調査	
43	工事等の届出 第94条	笠田東遺跡／鎌倉・散布地 伊都郡かつらぎ町笠田東825	和歌山県知事	平成23年12月7日	文第114号の(43) 平成23年12月15日	テニスコートフェン ス、投擲圃い、 砂場・高鉄 棒立会	
44	工事等の届出 第94条	秋月遺跡／弥生～平安・散布地 和歌山市太田127番地先	和歌山市公営企業管理者	平成23年12月9日	文第114号の(44) 平成23年12月15日	工事立会	
45	工事等の届出 第94条	佐野遺跡／弥生～古墳・散布地 新宮市佐野1005	和歌山県知事	平成23年12月13日	文第114号の(45) 平成23年12月19日	慎重工事	
46	工事等の届出 第94条	東家遺跡／弥生～中世・集落跡 橋本市東家160	橋本市市長	平成23年12月14日	文第114号の(46) 平成23年12月21日	工事立会	
47	工事等の届出 第94条	坊の原寺院／鎌倉・寺院跡 海草郡紀美野町動木1515	和歌山県知事	平成23年12月7日	文第114号の(47) 平成23年12月26日	慎重工事	
48	工事等の届出 第94条	瀬ノ上遺跡／旧石器・出土地 海草郡紀美野町動木地内	和歌山県知事	平成23年12月19日	文第114号の(48) 平成23年12月26日	慎重工事	
49	工事等の届出 第94条	鳴神IV遺跡／弥生～江戸・散布地 和歌山市鳴神地内	和歌山市市長	平成23年12月16日	文第114号の(49) 平成23年12月28日	工事立会	
50	工事等の届出 第94条	鳴神IV遺跡／弥生～江戸・散布地 和歌山市鳴神地内	和歌山市市長	平成23年12月16日	文第114号の(50) 平成23年12月28日	工事立会	
51	工事等の届出 第94条	丁ノ町・妙寺遺跡／弥生～中世・散布地 伊都郡かつらぎ町大字丁ノ町地内	かつらぎ町長	平成23年12月20日	文第114号の(51) 平成23年12月28日	慎重工事	
52	工事等の届出 第94条	海南第二中学校校庭遺跡／弥生・散布地 海南市日方924-3地先	和歌山県知事	平成23年12月16日	文第114号の(52) 平成23年12月28日	工事立会	
53	工事等の届出 第94条	岩橋千塚古墳群／古墳・古墳群 和歌山市岩橋1411	和歌山県立紀伊風土記の丘 館長	平成23年12月23日	文第114号の(53) 平成23年12月28日	慎重工事	
54	工事等の届出 第94条	瀬ノ上遺跡／旧石器・出土地 海草郡紀美野町動木地内	和歌山県知事	平成24年1月4日	文第114号の(54) 平成24年1月13日	確認調査	
55	工事等の届出 第94条	下丹生谷遺跡／古墳～江戸・散布地 紀の川市下丹生谷地内	和歌山県知事	平成23年12月26日	文第114号の(55) 平成24年1月18日	慎重工事	
56	工事等の届出 第94条	田辺城下町遺跡、鬮鶏神社遺跡／江戸・散布地、中 世・出土地 田辺市湊字地下、湊字塔ノ内、湊字神田	和歌山県知事	平成23年12月14日	文第114号の(56) 平成24年1月24日	確認調査	
57	工事等の届出 第94条	中田遺跡／室町・散布地 海草郡紀美野町中田字浴田803番	和歌山県知事	平成24年1月12日	文第114号の(57) 平成24年1月26日	工事立会	
58	工事等の届出 第94条	横地山城跡・二河城の森／中世・砦跡 東牟婁郡智勝浦町市屋及び二河	国土交通省 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所長	平成24年1月19日	文第114号の(58) 平成24年2月2日	慎重工事	
59	工事等の届出 第94条	中黒I遺跡／弥生～奈良・散布地 岩出市中黒地内	岩出市長	平成24年1月5日	文第114号の(59) 平成24年2月6日	工事立会	
60	工事等の届出 第94条	鳴神IV遺跡／弥生～江戸・散布地 和歌山市鳴神1059番地の6	和歌山市市長	平成24年1月27日	文第114号の(60) 平成24年2月14日	工事立会	
61	工事等の届出 第94条	平井II遺跡／弥生～中世・散布地 和歌山市平井地内	国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所長	平成24年2月9日	文第114号の(61) 平成24年2月22日	確認調査	
62	工事等の届出 第94条	金剛峯寺遺跡／平安～・寺院跡 伊都郡高野町高野山44-9、43の一部	日本放送協会 和歌山放送局 局長	平成24年2月20日	文第114号の(62) 平成24年2月28日	慎重工事	
63	工事等の届出 第94条	東浜田遺跡／縄文～中世・散布地 伊都郡かつらぎ町大字東浜田151-1 かつらぎ町立 浜田小学校敷地内	かつらぎ町長	平成24年2月16日	文第114号の(63) 平成24年3月9日	慎重工事	
64	工事等の届出 第94条	要害ヶ城跡（要害山城跡）／中世・城跡 白浜町富田1604、1654、1655、1657他	国土交通省 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所長	平成24年2月10日	文第114号の(64) 平成24年3月13日	慎重工事	
65	工事等の届出 第94条	西国分I遺跡、西国分廃寺／奈良・散布地、奈良・寺院跡 岩出市西国分569-5、576-3、610-2、634-2、640-2、 644-2、648-2、650-2、656-2、663-3	岩出市長	平成24年3月5日	文第114号の(65) 平成24年3月23日	工事立会	
66	工事等の届出 第94条	東浜田遺跡／縄文～中世・散布地 伊都郡かつらぎ町東浜田29-5、31-5、34-9番地先	和歌山県知事	平成24年3月1日	文第114号の(66) 平成24年3月23日	本発掘調査	
67	工事等の届出 第94条	金剛峯寺遺跡／平安～・寺院跡 伊都郡高野町高野山246-1地先	西日本電信電話株式会社 和歌山支店長	平成24年3月16日	文第114号の(67) 平成24年3月29日	工事立会	
68	工事等の届出 第94条	金剛峯寺遺跡／平安～・寺院跡 伊都郡高野町高野山734地先	西日本電信電話株式会社 和歌山支店長	平成24年3月16日	文第114号の(68) 平成24年3月29日	工事立会	
69	工事等の届出 第94条	金剛峯寺遺跡／平安～・寺院跡 伊都郡高野町高野山768地先	西日本電信電話株式会社 和歌山支店長	平成24年3月16日	文第114号の(69) 平成24年3月29日	工事立会	
70	工事等の届出 第94条	六十谷遺跡／縄文～弥生・散布地 和歌山市六十谷244地先～六十谷358地先	西日本電信電話株式会社 和歌山支店長	平成24年3月23日	文第114号の(70) 平成24年3月30日	慎重工事	

埋蔵文化財発掘調査の届出（文化財保護法第92条） 一覧1

No.	遺跡の名称 時代・種類 所在地	届出をした者	届出の 日付	調査の目的 種別	面積	調査期間	教育委員会による処理	
							文書番号 指示等の日時	備考
1	井辺遺跡 弥生・散布地 和歌山市井辺144-46	財団法人和歌山市都市整備公社 理事長	平成23年4月15日	開発目的 本発掘調査	55.1㎡	平成23年4月18日 ～ 平成23年5月20日	文第109号 平成23年4月22日	
2	井辺遺跡 弥生・散布地 和歌山市神前字笠松103番地他	公益財団法人和歌山県文化財センター 理事長	平成23年4月14日	開発目的 本発掘調査	1711㎡	平成23年4月18日 ～ 平成23年6月13日	文第109号の(2) 平成23年4月22日	
3	六十谷遺跡 縄文・弥生・散布地 和歌山市六十谷地内	公益財団法人和歌山県文化財センター 理事長	平成23年4月14日	開発目的 本発掘調査	857㎡	平成23年5月2日 ～ 平成23年7月5日	文第109号の(3) 平成23年4月22日	
4	神前遺跡、井辺遺跡 弥生・散布地、弥生・散布地 和歌山市神前字笠松18番地の1他	公益財団法人和歌山県文化財センター 理事長	平成23年4月14日	開発目的 本発掘調査	1322㎡	平成23年4月18日 ～ 平成23年9月10日	文第109号の(4) 平成23年4月22日	
5	井辺遺跡 弥生・散布地 和歌山市神前字笠松112番1	財団法人和歌山市都市整備公社 理事長	平成23年5月11日	開発目的 本発掘調査	20.11㎡	平成23年5月16日 ～ 平成23年5月27日	文第109号の(5) 平成23年5月24日	
6	太田・黒田遺跡 弥生～奈良・集落跡 和歌山市太田1丁目2番8	財団法人和歌山市都市整備公社 理事長	平成23年5月24日	開発目的 本発掘調査	162.29㎡	平成23年5月31日 ～ 平成23年7月31日	文第109号の(6) 平成23年5月31日	
7	稲成I遺跡、八丁田圃遺跡、目座遺跡 古墳・散布地、縄文～鎌倉・散布地、 弥生・散布地 田辺市稲成町字峯ノ原930-2、 926-3、923-3、929-2、927、 秋津町字東八町395-9、394-6、 8、393-6、392-2・5・6、425- 5、391-3、426-5、390-5・2、 389-3、427-3、430-3、432-3、 433-3	公益財団法人和歌山県文化財センター 理事長	平成23年5月26日	開発目的 本発掘調査	2118㎡	平成23年6月1日 ～ 平成23年11月15日	文第109号の(7) 平成23年6月10日	
8	大古II遺跡、安宅本城跡 弥生・散布地、中世・城跡 西牟婁郡白浜町大古字尾鼻126-3、 180-1・3、179-3・1、177-4・5、 170-3・4、168-1・4、169-3・4、 西牟婁郡白浜町安宅字清水695-2、 615-3	公益財団法人和歌山県文化財センター 理事長	平成23年5月26日	開発目的 本発掘調査	1742㎡	平成23年6月1日 ～ 平成23年11月30日	文第109号の(8) 平成23年6月10日	
9	和田II遺跡 古墳・散布地 日高郡美浜町和田1203番地	公益財団法人和歌山県文化財センター 理事長	平成23年5月26日	開発目的 本発掘調査	609㎡	平成23年6月20日 ～ 平成23年8月31日	文第109号の(9) 平成23年6月15日	
10	鳴神IV遺跡 弥生～江戸・散布地 和歌山市鳴神字亀宇田627-1他4筆	財団法人和歌山市都市整備公社 理事長	平成23年6月13日	開発目的 本発掘調査	278.99㎡	平成23年6月15日 ～ 平成23年7月29日	文第109号の(10) 平成23年6月20日	
11	根来寺遺跡 平安～中世、近世・寺院跡 岩出市根来地内	公益財団法人和歌山県文化財センター 理事長	平成23年6月16日	開発目的 本発掘調査	9500㎡	平成23年7月15日 ～ 平成24年2月25日	文第109号の(11) 平成23年6月27日	
12	岩橋遺跡 古墳 古墳 和歌山市岩橋1086番1	財団法人和歌山市都市整備公社 理事長	平成23年6月30日	開発目的 本発掘調査	34.84㎡	平成23年7月11日 ～ 平成23年7月22日	文第109号の(12) 平成23年7月6日	
13	田屋遺跡 弥生～古墳 集落跡 和歌山市直川地内	財団法人和歌山市都市整備公社 理事長	平成23年7月29日	開発目的 本発掘調査	59.4㎡	平成23年8月1日 ～ 平成23年8月19日	文第109号の(13) 平成23年8月5日	
14	和歌山城跡 近世 城館跡 和歌山市2番丁1	公益財団法人和歌山県文化財センター 理事長	平成23年8月1日	開発目的 本発掘調査	2528㎡	平成23年8月3日 ～ 平成24年2月29日	文第109号の(14) 平成23年8月31日	
15	和歌山城跡 近世 城館跡 和歌山市13番丁24.25	財団法人和歌山市都市整備公社 理事長	平成23年8月26日	開発目的 本発掘調査	101.165㎡	平成23年9月5日 ～ 平成23年10月10日	文第109号の(15) 平成23年9月5日	
16	六十谷遺跡 縄文～弥生 散布地 和歌山市六十谷366-1	財団法人和歌山市都市整備公社 理事長	平成23年8月31日	開発目的 本発掘調査	32.52㎡	平成23年9月5日 ～ 平成23年9月30日	文第109号の(16) 平成23年9月5日	

## 埋蔵文化財発掘調査の届出（文化財保護法第92条）一覧 2

No.	遺跡の名称 時代・種類 所在地	届出をした者	届出の 日付	調査の目的 種別	面積	調査期間	教育委員会による処理	
							文書番号 指示等の日時	備考
17	薬師谷遺跡 縄文・散布地 和歌山市朝日 970 番 7	財団法人和歌山市都市整備公社 理事長	平成 23 年 10 月 17 日	開発目的 本発掘調査	70.3㎡	平成 23 年 10 月 19 日 ～ 平成 23 年 11 月 18 日	文第 109 号の (17) 平成 23 年 10 月 19 日	
18	神前遺跡 弥生・散布地 和歌山市神前字馬乗免 541-2、貝原 628-1 他	公益財団法人和歌山県文化財センター 理事長	平成 23 年 10 月 13 日	開発目的 本発掘調査	1803㎡	平成 23 年 11 月 1 日 ～ 平成 24 年 1 月 14 日	文第 109 号の (18) 平成 23 年 10 月 24 日	
19	井辺遺跡 弥生・散布地 和歌山市神前 35 番 5、6	財団法人和歌山市都市整備公社 理事長	平成 23 年 10 月 21 日	開発目的 本発掘調査	37.75㎡	平成 23 年 10 月 24 日 ～ 平成 23 年 11 月 14 日	文第 109 号の (19) 平成 23 年 10 月 27 日	
20	西庄遺跡 古墳～平安・散布地 和歌山市本脇字田井田坪 20 番地 他	財団法人和歌山市都市整備公社 理事長	平成 23 年 10 月 26 日	開発目的 本発掘調査	325㎡	平成 23 年 11 月 1 日 ～ 平成 24 年 1 月 27 日	文第 109 号の (20) 平成 23 年 11 月 9 日	
21	西洪田遺跡 古墳～奈良・散布地 伊都郡かつらぎ町西洪田 258 番 2 他	公益財団法人和歌山県文化財センター 理事長	平成 23 年 9 月 7 日	開発目的 本発掘調査	1140㎡	平成 23 年 9 月 26 日 ～ 平成 23 年 12 月 28 日	文第 109 号の (21) 平成 24 年 1 月 16 日	
22	西田井遺跡 弥生～中世・集落跡 和歌山市西田井字森ノ前 256 番 2、 265 番 1、266 番 1	財団法人和歌山市都市整備公社 理事長	平成 24 年 1 月 4 日	開発目的 本発掘調査	311.56㎡	平成 24 年 1 月 16 日 ～ 平成 24 年 3 月 31 日	文第 109 号の (22) 平成 24 年 1 月 18 日	
23	岩橋遺跡 散布地 和歌山市岩橋 1037 番、1038 番、974 番 4	財団法人和歌山市都市整備公社 理事長	平成 24 年 1 月 10 日	開発目的 本発掘調査	542.195㎡	平成 24 年 1 月 23 日 ～ 平成 24 年 5 月 19 日	文第 109 号の (23) 平成 24 年 2 月 3 日	
24	井辺遺跡 弥生・散布地 和歌山市神前字桃ノ木 188 番-1、189 番-1	財団法人和歌山市都市整備公社 理事長	平成 24 年 2 月 6 日	開発目的 本発掘調査	140㎡	平成 24 年 2 月 13 日 ～ 平成 24 年 3 月 14 日	文第 109 号の (24) 平成 24 年 2 月 22 日	
25	津泰Ⅱ遺跡 古墳～奈良・散布地 和歌山市秋月字瀬見田 483 番 1、 483 番 3、484 番 1、484 番 3	財団法人和歌山市都市整備公社 理事長	平成 24 年 3 月 2 日	開発目的 本発掘調査	1136㎡	平成 24 年 3 月 8 日 ～ 平成 24 年 5 月 31 日	文第 109 号の (25) 平成 24 年 3 月 9 日	
26	六十谷遺跡 縄文～弥生・散布地 和歌山市六十谷 366 番地、他	公益財団法人和歌山県文化財センター 理事長	平成 24 年 2 月 28 日	開発目的 本発掘調査	444㎡	平成 24 年 3 月 30 日 ～ 平成 24 年 6 月 20 日	文第 109 号の (26) 平成 24 年 3 月 9 日	
27	神前Ⅱ遺跡 古墳～室町・散布地 和歌山市神前字宮出 164 番-1、164 番-2、164 番-5	財団法人和歌山市都市整備公社 理事長	平成 24 年 3 月 15 日	開発目的 本発掘調査	137.58㎡	平成 24 年 3 月 21 日 ～ 平成 24 年 5 月 7 日	文第 109 号の (27) 平成 24 年 3 月 29 日	

埋蔵文化財発掘調査の報告（文化財保護法第99条） 一覧1

No.	遺跡の名称 時代・種類 所在地	調査を行った 地方公共団体	届出の日付	調査の目的 種別	面積	調査期間	備考
1	岩内Ⅱ遺跡 散布地 御坊市熊野44-4、45、48-1、48-4	御坊市教育委員会	平成23年3月22日	開発対応 確認調査	約80㎡	平成23年3月22日 ～ 平成23年3月23日	
2	津秦遺跡 弥生・散布地 和歌山市津秦98番7	和歌山市教育委員会	平成23年3月30日	開発対応 確認調査	10㎡	平成23年2月3日 ～ 平成23年2月3日	
3	明王寺遺跡 奈良～室町・散布地 和歌山市明王寺16番1	和歌山市教育委員会	平成23年3月30日	開発対応 確認調査	60㎡	平成23年3月24日 ～ 平成23年3月25日	
4	磯脇遺跡 中世・散布地 和歌山市本脇64-1	和歌山市教育委員会	平成23年3月30日	開発対応 確認調査	20㎡	平成23年3月23日 ～ 平成23年3月23日	
5	有功遺跡 散布地 和歌山市六十谷1117番1	和歌山市教育委員会	平成23年4月1日	開発対応 確認調査	30㎡	平成23年3月22日 ～ 平成23年3月22日	
6	西国分Ⅱ遺跡 奈良・散布地 岩出市西国分字筋本689番1	岩出市教委教員会	平成23年4月11日	開発対応 本発掘調査	139㎡	平成23年3月3日 ～ 平成23年4月28日	
7	河南中学校北方遺跡 散布地 和歌山市和佐中143、145-1・3、146-1・2・3、 147-1・2、148、153-1、161-3・13、162-4	和歌山市教育委員会	平成23年4月13日	開発対応 確認調査	70㎡	平成23年4月6日 ～ 平成23年4月7日	
8	井辺遺跡 弥生・散布地 和歌山市井辺144-46	和歌山市教育委員会	平成23年4月13日	開発対応 確認調査	10㎡	平成23年4月4日 ～ 平成23年4月4日	
9	田辺城下町遺跡 江戸・散布地 田辺市湊字地下1091-1、1093-1	田辺市教育委員会	平成23年4月15日	開発対応 確認調査	約30～40㎡	平成23年4月21日 ～ 平成23年4月28日	
10	荒見庵寺 奈良・寺院跡 紀の川市粉河字荒見437	紀の川市教育委員会	平成23年4月15日	遺跡確認 確認調査	719㎡	平成23年4月18日 ～	
11	岩橋遺跡 散布地 和歌山市岩橋1086番1	和歌山市教育委員会	平成23年5月26日	開発対応 確認調査	10㎡	平成23年5月25日 ～ 平成23年5月25日	
12	和歌山城跡 近世・城館跡 和歌山市13番丁24、25	和歌山市教育委員会	平成23年6月2日	開発対応 確認調査	10㎡	平成23年6月9日 ～ 平成23年6月9日	
13	鳴神Ⅲ遺跡 散布地 和歌山市鳴神551-1・4	和歌山市教育委員会	平成23年6月13日	開発対応 確認調査	10㎡	平成23年6月2日 ～ 平成23年6月2日	
14	鳴神Ⅲ遺跡 散布地 和歌山市鳴神551-1・4	和歌山市教育委員会	平成23年6月13日	開発対応 本発掘調査	95.15㎡	平成23年6月13日 ～ 平成23年7月9日	
15	粟島遺跡 奈良～平安・散布地 紀の川市東大井字粟島420、421、422、428	紀の川市教育委員会	平成23年1月14日	開発対応 確認調査	10,698㎡	平成22年12月6日 ～ 平成22年12月6日	
16	岡田Ⅱ遺跡 弥生～中世・散布地 紀の川市下井阪字花井611、605-1・2・3・4	紀の川市教育委員会	平成23年1月21日	開発対応 確認調査	2721.8㎡	平成23年1月20日 ～ 平成23年1月20日	
17	東郷遺跡 弥生・集落跡 御坊市藤田町藤井字宮田1924-5、1924-7	御坊市教育委員会	平成23年5月13日	開発対応 確認調査	10㎡	平成23年5月13日 ～ 平成23年5月13日	
18	且来Ⅵ遺跡 弥生～奈良 集落跡 海南市且来字北塚128番1の一部	海南市教育委員会	平成23年6月20日	開発対応 確認調査	36㎡	平成23年6月1日 ～ 平成23年7月1日	
19	且来Ⅵ遺跡 弥生～奈良 集落跡 海南市且来字北塚128番1の一部	海南市教育委員会	平成23年6月20日	開発対応 確認調査	36㎡	平成23年6月1日 ～ 平成23年7月1日	
20	且来Ⅵ遺跡 弥生～奈良 集落跡 海南市且来字北塚128番1の一部	海南市教育委員会	平成23年6月20日	開発対応 確認調査	36㎡	平成23年6月13日 ～ 平成23年7月8日	
21	田屋遺跡 弥生～古墳・散布地 和歌山市直川地内	和歌山市教育委員会	平成23年7月11日	開発対応 確認調査	20㎡	平成23年7月12日 ～ 平成23年7月12日	
22	太田城水攻め堤跡 中世・堤跡 和歌山市出水90番4	和歌山市教育委員会	平成23年7月20日	開発対応 確認調査	20㎡	平成23年7月14日 ～ 平成23年7月14日	
23	野田地区遺跡 先土器～中世・寺院ほか 有田郡有田川町野田395-2	有田川町教育委員会	平成23年7月21日	開発対応 確認調査	56㎡	平成23年7月21日 ～ 平成23年7月29日	

埋蔵文化財発掘調査の報告（文化財保護法第99条）一覧 2

No.	遺跡の名称 時代・種類 所在地	調査を行った 地方公共団体	届出の日付	調査の目的 種別	面積	調査期間	備考
24	城ヶ森遺跡 弥生・散布地 和歌山市吉礼地内	和歌山市教育委員会	平成23年7月27日	開発対応 確認調査	30㎡	平成23年8月1日 ～ 平成23年8月1日	
25	木ノ本Ⅲ遺跡 散布地 和歌山市梅原297番1、297番3	和歌山市教育委員会	平成23年7月27日	開発対応 確認調査	30㎡	平成23年7月25日 ～ 平成23年7月25日	
26	太田城水攻め堤跡 中近世・堤跡 和歌山市黒田地内、出水地内	和歌山市教育委員会	平成23年7月22日	開発対応 確認調査	18㎡	平成23年7月22日 ～ 平成23年7月22日	
27	神田遺跡 江戸・散布地 田辺市湊字神田562	田辺市教育委員会	平成23年7月26日	開発対応 確認調査	189㎡	平成23年8月1日 ～ 平成23年8月12日	
28	木ノ本Ⅱ遺跡 散布地 和歌山市木ノ本字別所934番13	和歌山市教育委員会	平成23年8月3日	開発対応 確認調査	10㎡	平成23年7月28日 ～ 平成23年7月28日	
29	吉田遺跡 弥生～奈良・散布地 和歌山市平岡354番1・3	和歌山市教育委員会	平成23年8月26日	開発対応 確認調査	10㎡	平成23年8月25日 ～ 平成23年8月25日	
30	鷺ノ森遺跡、鷺ノ森竊跡、本願寺跡 弥生～江戸・散布地、奈良～平安・窯跡、 中世～寺院跡 和歌山市鷺ノ森周辺	和歌山市教育委員会	平成23年8月26日	開発対応 遺跡確認	56㎡	平成23年8月2日 ～ 平成23年8月17日	
31	岩橋遺跡 散布地 和歌山市岩橋1037番、1038番、974番4	和歌山市教育委員会	平成23年8月30日	開発対応 確認調査	60㎡	平成23年8月30日 ～ 平成23年8月31日	
32	粟島遺跡 奈良～平安 散布地 紀の川市東大井字八千堂264、265、261-3、258-5	紀の川市教育委員会	平成23年6月10日	開発対応 確認調査	396.44㎡	平成23年6月21日	
33	且来Ⅵ遺跡 弥生～奈良・集落跡 海南市且来字北塚128番11の一部	海南市教育委員会	平成23年9月26日	開発対応 確認調査	50㎡	平成23年9月20日 ～ 平成23年10月7日	
34	藤並地区遺跡 先土器～鎌倉・散布地 有田郡有田川町天満116-1	有田川町教育委員会	平成23年9月28日	開発対応 確認調査	20㎡	平成23年9月28日 ～ 平成23年9月29日	
35	薬師谷遺跡 縄文・散布地 和歌山市朝日970番7	和歌山市教育委員会	平成23年10月5日	開発対応 確認調査	10㎡	平成23年9月26日 ～ 平成23年9月26日	
36	川辺遺跡 縄文～中世・集落跡 和歌山市川辺61	和歌山市教育委員会	平成23年10月12日	開発対応 確認調査	18㎡	平成23年9月29日 ～ 平成23年11月15日	
37	亀川遺跡 弥生～古墳・集落跡 海南市且来260-2	海南市教育委員会	平成23年9月29日	開発対応 確認調査	12㎡	平成23年10月12日 ～ 平成23年10月19日	
38	井辺遺跡 弥生・散布地 和歌山市神前曾根田35番5、35番6	和歌山市教育委員会	平成23年10月3日	開発対応 確認調査	14㎡	平成23年10月4日 ～ 平成23年10月4日	
39	粟島遺跡 奈良～平安 散布地 紀の川市西井阪字花井151-1の一部	紀の川市教育委員会	平成23年10月19日	開発対応 確認調査	311.83㎡	平成23年9月26日 ～ 平成23年9月28日	
40	堅田遺跡 弥生～古墳初頭、奈良、平安・集落跡、郡衛跡 御坊市蘭字西郡24-1	御坊市教育委員会	平成23年10月11日	開発対応 確認調査	519.36㎡	平成23年10月11日 ～ 平成23年10月21日	
41	且来Ⅵ遺跡 弥生～奈良・集落跡 海南市且来字北塚128番17	海南市教育委員会	平成23年11月14日	開発対応 確認調査	16㎡	平成23年11月14日 ～ 平成23年11月18日	
42	高山寺貝塚 縄文・貝塚 田辺市稲成町387、393	田辺市教育委員会	平成23年12月6日	自然崩壊	10㎡	平成23年12月8日 ～ 平成23年12月28日	
43	和田遺跡 弥生・散布地 和歌山市和田字折橋556-6、556-7	和歌山市教育委員会	平成23年12月14日	開発対応 遺跡確認	8㎡	平成23年12月13日 ～ 平成23年12月13日	
44	丁ノ町・妙寺遺跡 縄文～中世・荒蕪地 伊都郡かつらぎ町大字丁ノ町地内	かつらぎ町教育委員会	平成23年12月19日	開発対応 遺跡確認	24.25㎡	平成23年12月18日 ～ 平成23年12月18日	
45	西庄Ⅲ遺跡 古墳～鎌倉・散布地 和歌山市西庄字東畑768番5、10	和歌山市教育委員会	平成23年12月22日	開発対応 確認調査	10㎡	平成23年12月16日 ～ 平成23年12月16日	
46	神前遺跡 弥生・散布地 和歌山市神前字西ノ垣内433-4	和歌山市教育委員会	平成23年12月26日	開発対応 確認調査	10㎡	平成23年12月26日 ～ 平成23年12月26日	

埋蔵文化財発掘調査の報告（文化財保護法第99条）一覧3

No.	遺跡の名称 時代・種類 所在地	調査を行った 地方公共団体	届出の日付	調査の目的 種別	面積	調査期間	備考
47	井辺遺跡 弥生・散布地 和歌山市神前字桃ノ本188番-1、189番-1	和歌山市教育委員会	平成24年1月11日	開発対応 確認調査	60㎡	平成24年1月6日 ～ 平成24年1月10日	
48	岡村古墳群 古墳・古墳 海南市岡田字辨天935号	海南市教育委員会	平成24年1月16日	開発対応 確認調査	12㎡	平成24年1月16日 ～ 平成24年1月27日	
49	神前Ⅱ遺跡 古墳～室町・散布地 和歌山市神前字宮出164-1、164-2、164-5	和歌山市教育委員会	平成24年1月23日	開発対応 確認調査	60㎡	平成24年1月16日 ～ 平成24年1月17日	
50	田辺城下町遺跡 近世・散布地 田辺市中屋敷町90-1、90-2、89-1	田辺市教育委員会	平成24年2月13日	開発対応 確認調査	30㎡	平成24年2月15日 ～ 平成24年2月24日	
51	鳴神Ⅱ遺跡 弥生～平安・用水路跡 和歌山市鳴神41-5	和歌山市教育委員会	平成24年2月13日	開発対応 確認調査	10㎡	平成24年2月3日 ～ 平成24年2月3日	
52	今市仮城跡 中世・城館跡 海南市日方1179番1	海南市教育委員会	平成24年2月27日	開発対応 確認調査	12㎡	平成24年2月27日 ～ 平成24年3月2日	
53	宇田森遺跡 弥生・集落跡 和歌山市永徳字北在339番3、340番4の一部	和歌山市教育委員会	平成24年2月24日	開発対応 確認調査	40㎡	平成24年2月1日 ～ 平成24年2月2日	
54	井辺遺跡 弥生・散布地 和歌山市神前字宮出152番1	和歌山市教育委員会	平成24年1月31日	開発対応 確認調査	60㎡	平成24年1月24日 ～ 平成24年1月25日	
55	磯脇遺跡 中世・散布地 和歌山市本脇318-1、318-2	和歌山市教育委員会	平成24年3月1日	開発対応 確認調査	42.25㎡	平成24年2月17日 ～ 平成24年2月17日	
56	津秦Ⅱ遺跡 古墳～奈良・散布地 和歌山市秋月字瀬見田483番1、483番3、484番1、 484番3	和歌山市教育委員会	平成24年2月29日	開発対応 確認調査	40㎡	平成23年12月1日 ～ 平成23年12月2日	
57	關鷄神社遺跡 中世・出土地 田辺市湊字神田655番地	田辺市教育委員会	平成24年3月2日	開発対応 確認調査	6㎡	平成24年3月5日 ～ 平成24年3月9日	
58	井辺遺跡 弥生・散布地 和歌山市井辺、津秦地区	和歌山市教育委員会	平成24年3月6日	開発対応 確認調査	214㎡	平成23年12月19日 ～ 平成24年2月17日	
59	鳥井遺跡、府中Ⅳ遺跡 弥生～古墳・集落跡 和歌山市府中71番、71番1、344番5	和歌山市教育委員会	平成24年3月8日	開発対応 確認調査	40㎡	平成24年2月20日 ～ 平成24年2月20日	
60	木ノ本Ⅱ遺跡 中世・散布地 和歌山市木ノ本650番6	和歌山市教育委員会	平成24年3月13日	開発対応 確認調査	2.55㎡	平成24年2月24日 ～ 平成24年2月24日	
61	堅田遺跡 弥生～古墳初頭、奈良、平安・集落跡、郡衙跡 御坊市湯川町財部字深田646-11、646-12、646-24	御坊市教育委員会	平成24年3月14日	開発対応 確認調査	20㎡	平成24年1月17日 ～ 平成24年1月18日	
62	藤並地区遺跡 先土器～鎌倉・散布地 有田郡有田川町天満289-7他	有田川町教育委員会	平成24年3月19日	開発対応 確認調査	70㎡	平成24年3月19日 ～ 平成24年3月27日	
63	岩橋Ⅱ遺跡 古墳～室町・散布地 和歌山市岩橋1392-1	和歌山市教育委員会	平成24年3月21日	開発対応 確認調査	10.14㎡	平成23年6月24日 ～ 平成23年6月24日	
64	亀川遺跡 弥生～古墳・集落跡 海南市且来234-1、234-2	海南市教育委員会	平成24年3月23日	開発対応 確認調査	42㎡	平成24年3月22日 ～ 平成24年3月30日	
65	府中Ⅳ遺跡 弥生～古墳・集落跡 和歌山市府中344-3、344-4、344-5	和歌山市教育委員会	平成24年3月26日	開発対応 確認調査	120㎡	平成24年2月21日 ～ 平成24年2月22日	

出土文化財認定通知（文化財保護法第102条）一覧 1

No	物件名	発見場所 遺跡の名称 時代・種類	発見日	認定日	認定者	発見者	土地所有者	保管場所	備考
1	土器類（弥生土器・突帯文土器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・青磁・国産陶磁器） コンテナ 60箱 石器（石鏃・石棒・磨製石斧・石庖丁・スクレイパー等） コンテナ 44箱（約2500点） 木製品（容器・農具・楽器・武器・建築部材等） 約400点 金属製品（銅環・鉄斧） 3点	西牟婁郡すさみ町周参見 立野遺跡 弥生～古墳・散布地	平成22年7月23日 ～ 平成23年3月9日	平成23年4月5日	和歌山県 教育委員会	公益財団法人 和歌山県 文化財センター	国土交通省	公益財団法人 和歌山県文化財センター 整理事務所	
2	土師器、須恵器、瓦器、 近世陶磁器、鉄釘 遺物袋4袋	有田郡有田川町天満758-1 野田地区遺跡 先土器～中世・寺院跡ほか	平成22年7月13日 ～ 平成23年3月11日	平成23年4月8日	和歌山県 教育委員会	有田川町 教育委員会	個人	有田川町教育委員会管理棟	
3	弥生土器、土師器、須恵器、 黒色土器、瓦器、石器 等 コンテナ 11箱	有田郡有田川町下津野674番他 旧吉備中学校校庭遺跡 弥生～鎌倉時代・集落跡	平成22年9月1日 ～ 平成23年3月11日	平成23年4月8日	和歌山県 教育委員会	有田川町 遺跡調査会	有田川町長	有田川町教育委員会管理棟	
4	土師器、磁器 コンテナ 1箱	西牟婁郡上富田町朝来 塗屋城跡 中世～近世・城跡	平成23年1月7日 ～ 平成23年3月18日	平成23年4月11日	和歌山県 教育委員会	公益財団法人 和歌山県 文化財センター	国土交通省	公益財団法人 和歌山県文化財センター 整理事務所	
5	陶磁器、土師質土器、鉄滓、 碁石等 コンテナ 3箱	西牟婁郡白浜町富田1655番地、 1656番地1 要害山城跡 中世・城跡	平成23年2月10日 ～ 平成23年3月30日	平成23年4月21日	和歌山県 教育委員会	白浜町 教育委員会	白浜町長	白浜町 教育委員会	
6	土師器、須恵器 1カゴ	海南市岡田496番1、498番3 岡村遺跡 縄文～奈良・集落跡	平成22年4月26日	平成23年5月16日	和歌山県 教育委員会	海南市 教育委員会	個人	海南市文化財保存 作業所	
7	弥生土器、土師器 1カゴ	海南市且来252 亀川遺跡 弥生～古墳・集落跡	平成23年5月17日	平成23年5月16日	和歌山県 教育委員会	海南市 教育委員会	個人	海南市文化財保存 作業所	
8	土師器 1カゴ	海南市且来652-3 亀川遺跡 弥生～古墳・集落跡	平成22年6月9日	平成23年5月16日	和歌山県 教育委員会	海南市 教育委員会	個人	海南市文化財保存 作業所	
9	土師器、須恵器 3点	海南市且来101-3 且来VI遺跡 弥生～奈良・集落跡	平成22年10月19日	平成23年5月16日	和歌山県 教育委員会	海南市 教育委員会	ながみね農業 協同組合	海南市文化財保存 作業所	
10	須恵器、土師器、弥生土器、 軒丸瓦、丸瓦、平瓦 コンテナ（28リットル） 10箱	紀の川市荒見394 荒見庵寺 奈良・寺院跡	平成23年6月16日	平成23年7月12日	和歌山県 教育委員会	紀の川市 教育委員会	個人	紀の川市歴史民俗 資料館	
11	弥生土器、土師器、須恵器、 国産陶磁器、石器、 金属製品、木製品 コンテナ 12箱	和歌山市神前地内 六十谷遺跡 弥生～鎌倉	平成23年4月21日 ～ 平成23年7月15日	平成23年8月3日	和歌山市 教育委員会	公益財団法人 和歌山県 文化財センター	和歌山県知事	公益財団法人 和歌山県文化財センター 整理事務所	
12	弥生土器、土師器、須恵器、 瓦器、石器 コンテナ 19箱	和歌山市六十谷372番地他 六十谷遺跡 弥生～鎌倉	平成23年5月6日 ～ 平成23年8月5日	平成23年8月18日	和歌山市 教育委員会	公益財団法人 和歌山県 文化財センター	和歌山県知事	公益財団法人 和歌山県文化財センター 整理事務所	
13	弥生土器、土師器、須恵器、 瓦器、中世土師器、 石器他 コンテナ 4箱	和歌山市鳴神字亀宇田 鳴神IV遺跡 弥生～室町	平成23年6月22日 ～ 平成23年8月18日	平成23年8月22日	和歌山市 教育委員会	財団法人 和歌山市 都市整備公社	個人	和歌山市文化財取 蔵庫	
14	備前焼、瓦、中国製磁器、 美濃瀬戸灰釉、土師器皿、 土師質土器、瓦質土管、 銅製品、鉄製品 コンテナ 103箱、墓石 14	岩出市根来地内 根来寺遺跡 平安～中世、近世・寺院跡	平成23年4月13日 ～ 平成23年8月22日	平成23年9月15日	和歌山県 教育委員会	公益財団法人 和歌山県 文化財センター	宗教法人 新 義真言宗総本 山根来寺	公益財団法人 和歌山県文化財センター 整理事務所	
15	須恵器、土師器、黒色土器、 瓦器、陶磁器、瓦、 銀貨 コンテナ 10箱	日高郡美浜町和田地内 和田II遺跡 古墳・散布地	平成23年6月14日 ～ 平成23年8月24日	平成23年9月20日	和歌山県 教育委員会	公益財団法人 和歌山県 文化財センター	和歌山県知事	公益財団法人 和歌山県文化財センター 整理事務所	
16	土師器、須恵器、黒色土器、 中世土師器、国産陶磁器他 コンテナ 1/4箱	和歌山市直川 田屋遺跡 古墳～江戸	平成23年8月5日 ～ 平成23年8月19日	平成23年10月12日	和歌山市 教育委員会	財団法人 和歌山市 都市整備公社	和歌山市長	和歌山市文化財取 蔵庫	
17	弥生土器、土師器、須恵器、 瓦器、中世土師器、 石器他 コンテナ 26箱	和歌山市小豆島 田屋遺跡 弥生～鎌倉	平成23年3月29日 ～ 平成23年8月18日	平成23年10月12日	和歌山市 教育委員会	財団法人 和歌山市 都市整備公社	個人	和歌山市文化財取 蔵庫	

出土文化財認定通知（文化財保護法第102条）一覧 2

No.	物件名	発見場所 遺跡の名称 時代・種類	発見日	認定日	認定者	発見者	土地所有者	保管場所	備考
18	弥生土器、土師器、須恵器、瓦器、中世須恵器、中世土師器、輸入陶磁器、国産陶磁器、瓦、土錘、火打石、壁土 コンテナ3箱	和歌山市岩橋 岩橋遺跡 弥生～江戸	平成23年8月5日 ～ 平成23年8月19日	平成23年10月12日	和歌山市 教育委員会	財団法人 和歌山市 都市整備公社	個人	和歌山市文化財収 蔵庫	
19	土器類（弥生土器・土師器・須恵器・製塩土器・緑釉陶器・黒色土器・青磁・国産陶磁器） 石器（石鍬・石斧・石包丁・スクレイパー・礫石器） コンテナ36箱	西牟婁郡白浜町大古・安宅 大古Ⅱ遺跡、安宅本城跡 弥生・散布地、中世・城跡	平成23年5月23日 ～ 平成23年10月1日	平成23年10月27日	和歌山県 教育委員会	公益財団法人 和歌山県 文化財センター	国土交通省	公益財団法人 和歌山県文化財セ ンター 整理事務所	
20	須恵器、土師器	紀の川市西大井151 岡田Ⅱ遺跡 弥生～中世・散布地	平成23年9月28日	平成23年10月27日	和歌山県 教育委員会	紀の川市 教育委員会	個人	紀の川市歴史民俗 資料館	
21	弥生土器、土師器、須恵器、瓦器、中世須恵器、中世土師器、国産陶器、輸入陶磁器、瓦、石器他 コンテナ5箱	和歌山市神前字笠松18番地1地 内 井辺遺跡、神前遺跡 弥生・散布地	平成23年4月18日 ～ 平成23年10月7日	平成23年11月2日	和歌山市 教育委員会	公益財団法人 和歌山県 文化財センター	和歌山県知事	公益財団法人 和歌山県 文化財センター 整理事務所	
22	弥生土器、石器、須恵器、土師器 コンテナ20箱	田辺市秋津町、稲成町地内 八丁田圃遺跡、目座遺跡、稲成 1遺跡 縄文～鎌倉・散布地、弥生・散 布地、古墳・散布地	平成23年5月20日 ～ 平成23年11月26日	平成23年12月6日	和歌山県 教育委員会	公益財団法人 和歌山県 文化財センター	国土交通省	和歌山県文化財セ ンター 整理事務所	
23	弥生土器、土師器、須恵器、瓦器、中世須恵器、国産陶器、輸入陶磁器、瓦、石器 他 コンテナ5箱	和歌山市六十谷366-1 六十谷遺跡 縄文～弥生・集落跡	平成23年9月6日 ～ 平成23年12月5日	平成23年12月26日	和歌山市 教育委員会	財団法人 和歌山市 都市整備公社	個人	財団法人 和歌山市 都市整備公社	
24	弥生土器、土師器、須恵器、瓦器、中世土師器、国産陶磁器、石器 他 コンテナ7箱	和歌山市黒田1丁目2-8 太田・黒田遺跡 弥生～奈良・集落跡	平成23年5月31日 ～ 平成23年11月30日	平成23年12月26日	和歌山市 教育委員会	財団法人 和歌山市 都市整備公社	個人	財団法人 和歌山市 都市整備公社	
25	弥生土器、土師器、須恵器、黒色土器、瓦器、中世土師器、輸入陶磁器、国産陶磁器、瓦、石器、木製品 他 コンテナ4箱	和歌山市朝日970番地7 薬師谷遺跡 縄文・散布地	平成23年10月19日 ～ 平成24年1月11日	平成24年1月31日	和歌山市 教育委員会	財団法人 和歌山市 都市整備公社	個人	財団法人 和歌山市 都市整備公社	
26	土師器、須恵器、黒色土器、瓦器、土師質土器、中世土師器、近世土師器、国産陶器、輸入陶磁器、瓦 他 コンテナ18箱	和歌山市十三番丁24、25 和歌山城跡 近世・城館跡	平成23年9月1日 ～ 平成24年1月18日	平成24年2月6日	和歌山市 教育委員会	財団法人 和歌山市 都市整備公社	個人	財団法人 和歌山市 都市整備公社	
27	土師器、須恵器、黒色土器、瓦器、中世土師器、中世須恵器、瓦器、輸入磁器、国産陶磁器、瓦、石器、土製品 他 コンテナ7箱	和歌山市本脇字田井田坪20番 地 他 西庄遺跡 古墳～平安・散布地	平成23年11月9日 ～ 平成24年1月31日	平成24年2月14日	和歌山市 教育委員会	財団法人 和歌山市 都市整備公社	個人	財団法人 和歌山市 都市整備公社	
28	中世土師器、瓦質土器、中世陶器 他 コンテナ35箱	和歌山市一番丁3 史跡和歌山城 近世・城館跡	平成23年11月14日 ～ 平成24年2月23日	平成24年3月6日	和歌山市 教育委員会	財団法人 和歌山市 都市整備公社	和歌山市長	財団法人 和歌山市 都市整備公社	
29	弥生土器、土師器、土製品、石器、瓦 他 コンテナ6箱	和歌山市神前35番5、6 井辺遺跡 弥生・散布地	平成23年10月24日 ～ 平成24年2月23日	平成24年3月6日	和歌山市 教育委員会	財団法人 和歌山市 都市整備公社	個人	財団法人 和歌山市 都市整備公社	
30	石斧	日高郡みなべ町東本庄字小倉谷 口909番7	平成24年2月20日	平成24年3月9日	和歌山県 教育委員会	個人	個人	みなべ町 教育委員会	
31	弥生土器、土師器、須恵器、瓦器、木製品、鉄製品、土製品、石器、骨、土壌サンプル 他 コンテナ57箱 木製品4点	和歌山市神前字馬乗免541-2、 原628-1、632-2、633、634-2 神前遺跡 弥生・散布地	平成23年11月1日 ～ 平成24年2月29日	平成24年3月13日	和歌山市 教育委員会	公益財団法人 和歌山県 文化財センター	和歌山県知事	公益財団法人 和歌山県文化財セ ンター 整理事務所	

平成 23 年度

和歌山県内における埋蔵文化財の調査成果

市町村教育委員会による調査一覧1  
和歌山市

No	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積	文化庁・県教育委員会による指示		実施機関	調査経緯	調査内容
					文書番号	指示事項			
1	田屋遺跡	和歌山市田屋 102-1 他	H23.3.29 ～ 5.23	1469.55㎡	文第 60 号の (18) 平成 22 年 4 月 27 日	本発掘調査	(財)和歌山市 都市整備公社	店舗	遺構 竪穴建物 4 棟・掘立柱建物 1 棟・ 溝・土坑等(古墳) 遺物 なし
2	井辺遺跡	和歌山市井辺 144-46	H23.4.4	8.16㎡	文第 60 号の (371) 平成 23 年 3 月 30 日	確認調査	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 落ち込み(古墳初頭) 遺物 多量の土器
3	河南中学校北 方遺跡	和歌山市和佐中 143 他	H23.4.6 ～ 4.7	59.47㎡	文第 60 号の (323) 平成 23 年 2 月 10 日	確認調査	和歌山市 教育委員会	農業関係	遺構 溝 1 条(中世遺構面 2 面) 遺物 なし
4	井辺遺跡	和歌山市井辺 134-21 他	H23.4.12	3.60㎡	文第 43 号の (29) 平成 23 年 4 月 5 日	浄化槽部分 工事立会	和歌山市 教育委員会	個人住宅	第 12 次調査で確認した落ち込みの埋土 を確認
5	井辺遺跡	和歌山市井辺 144-46	H23.4.18 ～ 5.19	42.09㎡	文第 60 号の (371) 平成 23 年 3 月 30 日	本発掘調査	(財)和歌山市 都市整備公社	個人住宅	遺構 なし 遺物 土器(弥生後期～古墳初頭)
6	鳴神Ⅳ遺跡	和歌山市鳴神 627-1	H23.4.22	25㎡	文第 43 号の (29) 平成 23 年 5 月 11 日	確認調査	和歌山市 教育委員会	店舗	過去の調査成果と現状を対応させるため 遺構面のレベル確認
7	高井遺跡	和歌山市直川 1219-18	H23.5.11	2.40㎡	文第 60 号の (342) 平成 23 年 2 月 25 日	浄化槽部分 工事立会	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 土師器小片
8	河南中学校北 方遺跡	和歌山市和佐中 143 他	H23.5.16	36㎡	文第 60 号の (323) 平成 23 年 2 月 10 日	工事立会	和歌山市 教育委員会	農業関係	遺構 なし 遺物 土師器小片
9	井辺遺跡	和歌山市神前 112-1	H23.5.16 ～ 5.20	20.11㎡	文第 60 号の (315) 平成 23 年 2 月 10 日	本発掘調査	(財)和歌山市 都市整備公社	集合住宅	遺構 溝 1 条(古墳初頭) 遺物 なし
10	府中Ⅳ遺跡	和歌山市府中 318	H23.5.17	3.25㎡	文第 60 号の (300) 平成 23 年 1 月 31 日	浄化槽部分 工事立会	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
11	井辺遺跡	和歌山市神前 136-4	H23.5.20	3.45㎡	文第 43 号の (45) 平成 23 年 5 月 26 日	浄化槽部分 工事立会	和歌山市 教育委員会	店舗	遺構 なし 遺物 土師器小片
12	岩橋遺跡	和歌山市岩橋 1086-1	H23.5.25	11.18㎡	文第 43 号の (28) 平成 23 年 5 月 11 日	確認調査	和歌山市 教育委員会	集合住宅	遺構 溝 2 条 遺物 なし
13	鳴神Ⅲ遺跡	和歌山市鳴神 551-1、 551-4	H23.5.30	15.41㎡	文第 43 号の (49) 平成 23 年 6 月 1 日	確認調査	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 古墳中期～鎌倉以降 遺物 なし
14	太田・黒田遺 跡	和歌山市黒田 1 丁目 2-8	H23.5.31 ～ 8.2	147.17㎡	文第 43 号の (12) 平成 23 年 4 月 21 日	本発掘調査	(財)和歌山市 都市整備公社	個人住宅・ 店舗	遺構 生活面 7 面(弥生前期～平安) 遺物 なし
15	寺内古墳群	和歌山市吉礼 1119 他	H23.6.1	13.5㎡	文第 60 号の (334) 平成 23 年 2 月 17 日	工事立会	和歌山市 教育委員会	店舗	遺構 なし 遺物 なし
16	鳴神Ⅱ遺跡	和歌山市鳴神 135-10 他	H23.6.2	4.08㎡	文第 60 号の (330) 平成 23 年 2 月 10 日	浄化槽部分 工事立会	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
17	有功遺跡	和歌山市六十谷 1118-7	H23.6.6	4.19㎡	文第 60 号の (312) 平成 23 年 1 月 31 日	浄化槽部分 工事立会	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 溝 2 条 遺物 なし
18	楠見遺跡	和歌山市大谷 283 番 1、 283 番 4	H23.6.6	4.13㎡	文第 43 号の (46) 平成 23 年 5 月 26 日	工事立会	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 土師器小片
19	和歌山城跡	和歌山市十三番丁 24、25	H23.6.9	5.25㎡	文第 43 号の (44) 平成 23 年 5 月 20 日	確認調査	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 和歌山市城北堀南側の土塁 遺物 近世陶磁器・瓦
20	六十谷遺跡	和歌山市六十谷 457-4	H23.6.13	3.15㎡	文第 60 号の (302) 平成 23 年 1 月 20 日	浄化槽部分 工事立会	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
21	鳴神Ⅲ遺跡	和歌山市鳴神 551-1、551-4	H23.6.13 ～ 6.29	86.28㎡	文第 43 号の (49) 平成 23 年 6 月 1 日	本発掘調査	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 溝 2 条(古墳中～後期)・溝 1 条(鎌 倉) 遺物 なし
22	鳴神Ⅵ遺跡	和歌山市秋月 78-1	H23.6.22	1.20㎡	文第 60 号の (314) 平成 23 年 2 月 10 日	工事立会	和歌山市 教育委員会	電話通信	盛土内施工
23	鳴神Ⅳ遺跡	和歌山市鳴神 627-1	H23.6.22 ～ 7.11	275.71㎡	文第 43 号の (29) 平成 23 年 5 月 11 日	本発掘調査	(財)和歌山市 都市整備公社	店舗	遺構 溝(古墳～平安)・畝状遺構(鎌倉) 遺物 なし
24	岩橋Ⅱ遺跡	和歌山市岩橋 1392-1	H23.6.24	10.14㎡	文第 43 号の (73) 平成 23 年 6 月 27 日	確認調査	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 瓦器小片
25	川辺遺跡	和歌山市川辺 283-14	H23.7.4	4.20㎡	文第 43 号の (43) 平成 23 年 5 月 20 日	浄化槽部分 工事立会	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 土師器小片
26	岩橋遺跡	和歌山市岩橋 1086-1	H23.7.6 ～ 7.22	34.84㎡	文第 43 号の (28) 平成 23 年 5 月 11 日	本発掘調査	(財)和歌山市 都市整備公社	集合住宅	遺構 ビット・土坑(弥生後期末～古墳 初頭) 遺物 土坑(近世) 遺物 なし
27	池田遺跡	和歌山市六十谷 1234-7	H23.7.10	2.88㎡	文第 43 号の (83) 平成 23 年 7 月 1 日	工事立会	和歌山市 教育委員会	ガス管理設	遺構 なし 遺物 なし
28	田屋遺跡	和歌山市直川地内	H23.7.12	10.75㎡	文第 114 号の (8) 平成 23 年 6 月 15 日	確認調査	和歌山市 教育委員会	公園造成	遺構 溝 1 条 遺物 土師器・瓦器小片
29	太田城水攻め 堤跡	和歌山市出水 90-4	H23.7.14	13.70㎡	文第 43 号の (89) 平成 23 年 7 月 8 日	確認調査	和歌山市 教育委員会	宅地造成	遺構 なし 遺物 瓦器・土師器・陶磁器小片
30	太田城水攻め 堤跡	和歌山市出水地内	H23.7.22	20.77㎡	文第 57 号の (6) 平成 22 年 5 月 12 日	確認調査	和歌山市 教育委員会	道路建設	遺構 なし 遺物 なし
31	木ノ本Ⅲ遺跡	和歌山市梅原 297-1、297-3	H23.7.25	27.9㎡	文第 43 号の (81) 平成 23 年 7 月 1 日	確認調査	和歌山市 教育委員会	宅地造成	遺構 溝(中世以降)・土坑(古墳か) 遺物 なし
32	吉田遺跡	和歌山市平岡 354-1、354-3	H23.7.26	1.44㎡	文第 43 号の (111) 平成 23 年 8 月 1 日	工事立会	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
33	木ノ本Ⅱ遺跡	和歌山市木ノ本 934-13	H23.7.28	5㎡	文第 43 号の (93) 平成 23 年 7 月 12 日	確認調査	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 土師器小片
34	城ヶ森遺跡	和歌山市吉礼地内	H23.8.1	25㎡	文第 114 号の (3) 平成 23 年 5 月 24 日	確認調査	和歌山市 教育委員会	河川改修	遺構 なし 遺物 なし

市町村教育委員会による調査一覧2

No	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積	文化庁・県教育委員会による指示		実施機関	調査経緯	調査内容
					文書番号	指示事項			
35	鷺ノ森遺跡	和歌山市鷺ノ森南ノ丁	H23.8.2 ～ 8.17	60㎡	-	-	和歌山市 教育委員会	遺跡内容確 認	遺構 溝・瓦溜り・磁石 土師器・須恵器・近世陶磁器 他
36	田屋遺跡	和歌山市直川地内	H23.8.5 ～ 8.11	59.4㎡	文第114号の(8) 平成23年6月15日	本発掘調査	(財)和歌山市 都市整備公社	公園造成	遺構 溝1条(平安以降) 遺物 なし
37	井辺遺跡	和歌山市神前119-9	H23.8.10	3㎡	文第60号の(367) 平成23年3月22日	浄化槽部分 工事立会	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
38	川辺遺跡	和歌山市川辺33-9	H23.8.11	3.5㎡	文第60号の(291) 平成23年1月13日	浄化槽部分 工事立会	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 落ち込み1基(中世) 遺物 なし
39	奥山田遺跡	和歌山市新庄181-1	H23.8.17	8.4㎡	文第43号の(55) 平成23年6月7日	工事立会	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
40	井辺遺跡	和歌山市井辺144-46	H23.8.17	2.88㎡	文第60号の(371) 平成23年3月30日	浄化槽部分 工事立会	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 瓦器・土師器
41	井辺遺跡	和歌山市神前109-11	H23.8.18	20.48㎡	文第43号の(127) 平成23年8月11日	浄化槽部分 工事立会	和歌山市 教育委員会	店舗	遺構 土坑2基(時期不明) 遺物 なし
42	井辺遺跡	和歌山市井辺144-69	H23.8.23	2.4㎡	文第43号の(34) 平成23年5月12日	浄化槽部分 工事立会	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 土師器
43	西庄遺跡	和歌山市本脇20 他	H23.8.23 ～ 8.29	73.68㎡	文第60号の(311) 平成23年1月31日	確認調査	和歌山市 教育委員会	宅地造成	遺構 溝(中世) 遺物 なし
44	吉田遺跡	和歌山市平岡354-1,354-3	H23.8.25	12㎡	文第43号の(108) 平成23年8月1日	確認調査	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 土師器
45	津秦遺跡	和歌山市津秦98-7	H23.8.28	3.6㎡	文第60号の(328) 平成23年2月10日	浄化槽部分 工事立会	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 土師器
46	岩橋遺跡	和歌山市岩橋1037 他	H23.8.30 ～ 8.31	49.48㎡	文第43号の(94) 平成23年7月12日	確認調査	和歌山市 教育委員会	宅地造成	遺構 ビット・溝(古墳後期) 遺物 なし
47	和歌山城跡	和歌山市十三番丁24,25	H23.9.1 ～ 10.12	94㎡	文第43号の(44) 平成23年5月20日	本発掘調査	(財)和歌山市 都市整備公社	個人住宅	遺構 和歌山城北堀南側の土塁・ビット・ 土坑遺物 瓦器・土師器・近世陶磁器・瓦
48	六十谷遺跡	和歌山市六十谷366-1	H23.9.6 ～ 9.28	32.52㎡	文第43号の(125) 平成23年8月10日	本発掘調査	(財)和歌山市 都市整備公社	個人住宅	遺構 溝・ビット(鎌倉) 遺物 なし
49	高井遺跡	和歌山市直川1219-5	H23.9.9	2.47㎡	文第43号の(91) 平成23年7月8日	浄化槽部分 工事立会	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 ビット1基(古墳～古代の可能性) 遺物 なし
50	川辺遺跡	和歌山市川辺地内	H23.9.22	6.45㎡	文第106号の(14) 平成23年12月12日	確認調査	和歌山市 教育委員会	トイレ設置	遺構 なし 遺物 土師器・瓦器等
51	薬師谷遺跡	和歌山市朝日970-7	H23.9.28	13.71㎡	文第43号の(110) 平成23年8月1日	確認調査	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 土師器小片
52	山口遺跡	和歌山市谷151	H23.9.28	3.92㎡	文第43号の(90) 平成23年7月8日	浄化槽部分 工事立会	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 土師器小片
53	井辺遺跡	和歌山市神前35-5, 35-6	H23.10.4	14㎡	文第43号の(149) 平成23年9月22日	確認調査	和歌山市 教育委員会	集合住宅	遺構 溝・土坑(古墳初頭) 遺物 弥生土器・土師器
54	太田・黒田遺跡	和歌山市太田248	H23.10.5	1.27㎡	文第43号の(134) 平成23年9月5日	工事立会	和歌山市 教育委員会	ガス管理設	遺構 なし(盛土内施工) 遺物 なし
55	薬師谷遺跡	和歌山市朝日970-7	H23.10.19 ～ 11.18	70.3㎡	文第43号の(110) 平成23年8月1日	本発掘調査	(財)和歌山市 都市整備公社	個人住宅	遺構 土坑(中世) 遺物 なし
56	明王寺遺跡	和歌山市明王寺16-1	H23.10.21	13.2㎡	文第43号の(62) 平成23年6月20日	工事立会	和歌山市 教育委員会	社会福祉施 設	遺構 溝1条(中世の可能性) 遺物 なし
57	井辺遺跡	和歌山市神前35-5, 35-6	H23.10.24 ～ 11.9	37.75㎡	文第43号の(149) 平成23年9月22日	本発掘調査	(財)和歌山市 都市整備公社	集合住宅	遺構 堅穴建物(弥生後期末～古墳初 頭)・井戸・溝 遺物 弥生土器・土師器
58	府中遺跡	和歌山市府中1139,1140, 1132の一部	H23.11.4	3.12㎡	文第43号の(188) 平成23年11月8日	浄化槽部分 工事立会	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 溝(中世) 遺物 瓦器・土師器
59	岩橋遺跡	和歌山市岩橋1034-11	H23.11.8	3.28㎡	文第43号の(103) 平成23年7月19日	浄化槽部分 工事立会	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 弥生土器・須恵器
60	西庄遺跡	和歌山市本脇宇田井田坪 20	H23.11.9 ～ 12.16	327.27㎡	文第60号の(311) 平成23年1月31日	本発掘調査	(財)和歌山市 都市整備公社	宅地造成	遺構 溝(中世) 遺物 瓦器・土師器・須恵器
61	府中遺跡	和歌山市府中1149-11	H23.11.10 ～ 11.28	26.6㎡	文第43号の(171) 平成23年10月19日	工事立会	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 溝(中世) 遺物 なし
62	史跡和歌山城	和歌山市一番丁	H23.11.14 ～ H24.2.20	200㎡	23受庁見本第4号の 604 平成23年7月15日	発掘調査	(財)和歌山市 都市整備公社	史跡整備	遺構 和歌山城二の丸御殿に関連する礎 石・根石・階段台石・石垣 遺物 近世陶磁器・土師器
63	六十谷遺跡	和歌山市六十谷363-2	H23.11.15	22㎡	文第43号の(168) 平成23年10月19日	工事立会	和歌山市 教育委員会	ガレージ	遺構 なし 遺物 弥生前～中期弥生土器
64	高井遺跡	和歌山市高井1219-6	H23.11.15, H24.2.8	21.34㎡	文第43号の(172) 平成23年10月19日	工事立会	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 土坑(中世) 遺物 須恵器・瓦器
65	津秦Ⅱ遺跡	和歌山市秋月483-1 他	H23.12.1 ～ 12.2	74.66㎡	文第43号の(143) 平成23年9月15日	確認調査	和歌山市 教育委員会	診療所	遺構 土坑・溝(中世) 遺物 土師器・須恵器・瓦器
66	法然寺遺跡	和歌山市六十谷985-5	H23.12.7	3.36㎡	文第43号の(177) 平成23年10月27日	浄化槽部分 工事立会	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
67	和田遺跡	和歌山市和田字折橋556- 6, 556-7	H23.12.13	7.53㎡	文第43号の(213) 平成23年12月5日	確認調査	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 土師器
68	川辺遺跡	和歌山市川辺地内	H23.12.14	30㎡	文第106号の(14) 平成23年12月12日	工事立会	和歌山市 教育委員会	トイレ設置	遺構 なし 遺物 土師器・須恵器・瓦器小片
69	西庄Ⅲ遺跡	和歌山市西庄768-5,768- 10	H23.12.16	8.2㎡	文第43号の(219) 平成23年12月9日	確認調査	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 土師器・瓦器

市町村教育委員会による調査一覧3

No.	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積	文化庁・県教育委員会による指示		実施機関	調査経緯	調査内容
					文書番号	指示事項			
70	太田城跡 太田・黒田遺跡	和歌山市太田 424-7	H23.12.16	5 m <sup>2</sup>	文第 114 号の (20) 平成 23 年 9 月 15 日	工事立会	和歌山市 教育委員会	ポンプ場・ 水道管撤去	遺構 遺物 なし なし
71	井辺遺跡	和歌山市井辺、津秦地内	H23.12.19 ～ H24.7.17	214.4 m <sup>2</sup>	文第 57 号の (7) 平成 22 年 5 月 12 日	確認調査	和歌山市 教育委員会	道路建設	遺構 遺物 溝(弥生後期末～古墳初頭) 弥生土器・土師器
72	神前遺跡	和歌山市神前 432	H23.12.26	10.5 m <sup>2</sup>	文第 43 号の (222) 平成 23 年 12 月 12 日	確認調査	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 遺物 なし なし
73	井辺遺跡	和歌山市神前 188-1、189-1	H24.1.6 ～ 1.10	63.09 m <sup>2</sup>	文第 43 号の (214) 平成 23 年 12 月 5 日	確認調査	和歌山市 教育委員会	店舗	遺構 遺物 溝(弥生後期末～古墳) 弥生土器・土師器
74	神前Ⅱ遺跡	和歌山市神前 164-1、164-2、164-5	H24.1.16 ～ 1.17	71.1 m <sup>2</sup>	文第 43 号の (229) 平成 23 年 12 月 19 日	確認調査	和歌山市 教育委員会	店舗	遺構 遺物 溝(弥生後期末～古墳) 弥生土器・土師器
75	西田井遺跡	和歌山市西田井 256-2 他	H24.1.17 ～ 3.30	311.56 m <sup>2</sup>	文第 43 号の (215) 平成 23 年 12 月 1 日	本発掘調査	(財)和歌山市 都市整備公社	店舗	遺構 遺物 大溝(室町)・竪穴建物(古墳) 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・ 陶磁器
76	川辺遺跡	和歌山市川辺 169-1	H24.1.19 ～ 1.20	39.71 m <sup>2</sup>	文第 43 号の (241) 平成 23 年 12 月 28 日	確認調査	和歌山市 教育委員会	宅地造成	遺構 遺物 土坑(近世) 近世陶磁器
77	岩橋遺跡	和歌山市岩橋 1037 他	H24.1.23	49.48 m <sup>2</sup>	文第 43 号の (94) 平成 23 年 7 月 12 日	本発掘調査	(財)和歌山市 都市整備公社	宅地造成	遺構 遺物 溝・ビット・土坑(古墳～平安) 土師器・須恵器
78	秋月遺跡	和歌山市太田 127	H24.1.24	5 m <sup>2</sup>	文第 114 号の (44) 平成 23 年 12 月 15 日	工事立会	和歌山市 教育委員会	水道管設置	遺構 遺物 なし 土師器
79	井辺遺跡	和歌山市神前 152-1	H24.1.24 ～ 1.25	57.84 m <sup>2</sup>	文第 43 号の (202) 平成 23 年 11 月 17 日	確認調査	和歌山市 教育委員会	集合住宅	遺構 遺物 なし 土師器小片
80	岩橋Ⅱ遺跡	和歌山市岩橋 1295-8	H24.1.26	3.46 m <sup>2</sup>	文第 43 号の (144) 平成 23 年 9 月 15 日	浄化槽部分 工事立会	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 遺物 なし なし
81	宇田森遺跡	和歌山市永穂 339-3、340-3、340-4 の一部	H24.2.1 ～ 2.2	38.55 m <sup>2</sup>	文第 43 号の (167) 平成 23 年 10 月 19 日	確認調査	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 遺物 土坑(弥生)・溝(中世) 弥生土器・土師器・瓦器
82	鳴神Ⅱ遺跡	和歌山市鳴神 41-5	H24.2.3	3.88 m <sup>2</sup>	文第 43 号の (240) 平成 23 年 12 月 28 日	確認調査	和歌山市 教育委員会	ガレージ	遺構 遺物 なし 土師器・瓦器小片
83	西田井遺跡 北田井遺跡	和歌山市北馬場添 160	H24.2.6	4.48 m <sup>2</sup>	文第 43 号の (158) 平成 23 年 10 月 14 日	浄化槽部分 工事立会	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 遺物 溝 2 条(弥生) 弥生土器(弥生後期)
84	井辺遺跡	和歌山市神前 188-1、189-1	H24.2.13 ～ 3.12	140 m <sup>2</sup>	文第 43 号の (214) 平成 23 年 12 月 5 日	本発掘調査	(財)和歌山市 都市整備公社	店舗	遺構 遺物 溝(古墳) 土師器・須恵器・瓦器
85	磯脇遺跡	和歌山市本脇 318-1、318-2	H24.2.17	42.25 m <sup>2</sup>	文第 43 号の (234) 平成 23 年 12 月 28 日	確認調査	和歌山市 教育委員会	宅地造成	遺構 遺物 中世ビット・土坑 土師器・瓦器・輸入陶磁器・土製 品
86	鳥井遺跡 府中Ⅳ遺跡	和歌山市府中 71、71-1	H24.2.20	32.36 m <sup>2</sup>	文第 43 号の (206) 平成 23 年 11 月 25 日	確認調査	和歌山市 教育委員会	宅地造成	遺構 遺物 溝(古墳前期以前) 土師器
87	府中Ⅳ遺跡	和歌山市府中 344-3、344-4、344-5	H24.2.21 ～ 2.22	119.58 m <sup>2</sup>	文第 43 号の (190) 平成 23 年 11 月 8 日	確認調査	和歌山市 教育委員会	宅地造成	遺構 遺物 ビット等(時期不明) なし
88	木ノ本Ⅱ遺跡	和歌山市木ノ本 650-6	H24.2.24	2.55 m <sup>2</sup>	文第 43 号の (274) 平成 24 年 2 月 6 日	確認調査	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 遺物 なし なし
89	岩橋千塚古墳 群	和歌山市鳴神 155-4	H24.2.28	10 m <sup>2</sup>	文第 60 号の (286) 平成 23 年 1 月 4 日	工事立会	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 遺物 なし なし
90	太田・黒田遺跡	和歌山市黒田 172-1 他	H24.3.1	3.5 m <sup>2</sup>	文第 43 号の (221) 平成 23 年 12 月 12 日	工事立会	和歌山市 教育委員会	ガス管理設	遺構 遺物 なし なし
91	神前Ⅱ遺跡	和歌山市神前 164-1、164-2、164-5	H24.3.2	36.74 m <sup>2</sup>	文第 43 号の (229) 平成 23 年 12 月 19 日	本発掘調査	和歌山市 教育委員会	店舗	遺構 遺物 溝(古墳以降) 土師器
92	栄谷遺跡	和歌山市栄谷 846、847	H24.3.14	4.32 m <sup>2</sup>	文第 60 号の (370) 平成 23 年 3 月 30 日	浄化槽部分 工事立会	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 遺物 なし なし
93	神前Ⅱ遺跡	和歌山市神前 164-1、164-2、164-5	H24.3.21 ～	137.56 m <sup>2</sup>	文第 43 号の (229) 平成 23 年 12 月 19 日	本発掘調査	(財)和歌山市 都市整備公社	店舗	遺構 遺物 溝(古墳) 土師器
94	太田・黒田遺跡	和歌山市太田 1丁目 10-13	H24.3.22	20 m <sup>2</sup>	-	-	和歌山市 教育委員会	兼用住宅	遺構 遺物 溝・土坑(弥生) 弥生土器・土師器
95	秋月遺跡	和歌山市有家字ソリハシ 87-6	H24.3.26	8.8 m <sup>2</sup>	文第 60 号の (322) 平成 23 年 2 月 10 日	確認調査	和歌山市 教育委員会	個人住宅	遺構 遺物 土坑(平安後期～鎌倉) 黒色土器・土師器・瓦器
96	川辺遺跡	和歌山市川辺寺西 174-4、175-1	H24.3.27	18.3 m <sup>2</sup>	文第 60 号の (306) 平成 23 年 1 月 26 日	確認調査	和歌山市 教育委員会	倉庫	遺構 遺物 なし 土師器
97	岩橋高柳遺跡	和歌山市岩橋 904-1	H24.3.30	8.28 m <sup>2</sup>	文第 60 号の (325) 平成 23 年 2 月 10 日	確認調査	和歌山市 教育委員会	携帯基地局	遺構 遺物 溝 1 条(中世) 土師器

海南市

No.	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積	文化庁・県教育委員会による指示		実施機関	調査経緯	調査内容
					文書番号	指示事項			
1	且来Ⅵ遺跡	海南市且来字北塚 128-1 の一部	H23.6.1 ～ 6.15	36 m <sup>2</sup>	文第 43 号の (40) 平成 23 年 5 月 19 日	発掘調査	海南市 教育委員会	個人住宅	遺構 遺物 なし 土師器・須恵器
2	且来Ⅵ遺跡	海南市且来字北塚 128-1 の一部	H23.6.1 ～ 6.15	36 m <sup>2</sup>	文第 43 号の (41) 平成 23 年 5 月 19 日	発掘調査	海南市 教育委員会	個人住宅	遺構 遺物 土坑・ビット 土師器・須恵器
3	且来Ⅵ遺跡	海南市且来字北塚 128-1 の一部	H23.6.16 ～ 6.27	36 m <sup>2</sup>	文第 43 号の (39) 平成 23 年 5 月 19 日	発掘調査	海南市 教育委員会	個人住宅	遺構 遺物 土坑・ビット 土師器・須恵器
4	山名氏土居跡	海南市大野中 101	H23.8.2	3 m <sup>2</sup>	文第 43 号の (111) 平成 23 年 8 月 1 日	浄化槽部分 工事立会	海南市 教育委員会	浄化槽埋設	遺構 遺物 なし なし
5	且来Ⅵ遺跡	海南市且来 128-11	H23.9.26 ～ 9.28	24 m <sup>2</sup>	文第 43 号の (142) 平成 23 年 9 月 9 日	発掘調査	海南市 教育委員会	個人住宅	遺構 遺物 土坑・ビット 土師器・須恵器
6	亀川遺跡	海南市且来 258-2	H23.9.30	9 m <sup>2</sup>	文第 43 号の (80) 平成 23 年 7 月 1 日	工事立会	海南市 教育委員会	個人住宅	遺構 遺物 なし なし

市町村教育委員会による調査一覧 4

No	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積	文化庁・県教育委員会による指示		実施機関	調査経緯	調査内容
					文書番号	指示事項			
7	岡村古墳群	海南省岡田 934、1177	H23.10.17	20㎡	文第 43 号の (162) 平成 23 年 10 月 14 日	工事立会	海南省教育委員会	農地整備	遺構 なし 遺物 なし
8	亀川遺跡	海南省且来 260-2	H23.10.17 ～ 10.18	12㎡	文第 43 号の (26) 平成 23 年 5 月 6 日	確認調査	海南省教育委員会	個人住宅	遺構 ビット 遺物 土器細片
9	且来VI遺跡	海南省且来字北塚 128-17	H23.11.15 ～ 11.17	16㎡	文第 43 号の (153) 平成 23 年 9 月 29 日	本発掘調査	海南省教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
10	且来V遺跡	海南省且来 54-6	H23.12.9	3㎡	文第 43 号の (208) 平成 23 年 11 月 29 日	浄化槽部分 工事立会	海南省教育委員会	浄化槽埋設	遺構 なし 遺物 なし
11	且来城跡	海南省且来城ノ内 3	H23.12.12	20㎡	文第 43 号の (37) 平成 23 年 11 月 25 日	工事立会	海南省教育委員会	水路整備	遺構 なし 遺物 なし
12	岡村古墳群	海南省岡田字辨天 935	H24.1.18	8㎡	文第 43 号の (184) 平成 23 年 11 月 7 日	確認調査	海南省教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 土器細片
13	且来VI遺跡	海南省且来字北塚 128-16	H24.1.26	3㎡	文第 43 号の (196) 平成 24 年 11 月 14 日	浄化槽部分 工事立会	海南省教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 土器細片
14	今市仮城跡	海南省日方 1179-1	H24.2.7	12㎡	文第 43 号の (291) 平成 24 年 2 月 22 日	確認調査	海南省教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
15	且来VI遺跡	海南省且来 129	H24.2.10	3㎡	文第 43 号の (259) 平成 24 年 2 月 1 日	浄化槽部分 工事立会	海南省教育委員会	浄化槽埋設	遺構 なし 遺物 なし
16	鳥居遺跡	海南省鳥居 272-8	H24.3.9	3㎡	文第 43 号の (148) 平成 23 年 9 月 22 日	浄化槽部分 工事立会	海南省教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
17	亀川遺跡	海南省且来 234-1、234-2	H24.3.22 ～ 3.28	30㎡	-	-	海南省教育委員会	遺跡確認	遺構 なし 遺物 なし

紀の川市

No	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積	文化庁・県教育委員会による指示		実施機関	調査経緯	調査内容
					文書番号	指示事項			
1	荒見庵寺 推定地(試掘)	紀の川市荒見 437	H23.4.18 ～ 4.26	90㎡	-	-	紀の川市教育委員会	-	遺構 落込み(弥生～中世) 遺物 弥生土器・古代瓦・土師器・須恵器・瓦器
2	荒見庵寺	紀の川市荒見 437	H23.5.9 ～ 5.26	47㎡	文第 114 号の (2) 平成 23 年 5 月 6 日	本発掘調査	紀の川市教育委員会	市道建設	遺構 落込み(弥生～中世) 遺物 弥生土器・古代瓦・土師器・須恵器・瓦器
3	海神城跡	紀の川市神領 272-1	H23.6.21	1㎡	文第 43 号の (47) 平成 23 年 5 月 31 日	工事立会	紀の川市教育委員会	電話基地造成	遺構 なし 遺物 なし
4	粟島遺跡(5次)	紀の川市東大井 264、 265 他	H23.6.21	4㎡	文第 43 号の (50) 平成 23 年 6 月 1 日	確認調査	紀の川市教育委員会	農業用倉庫	遺構 なし 遺物 なし
5	最上遺跡	紀の川市最上 612-7	H23.6.24	2㎡	文第 60 号の (337) 平成 23 年 2 月 22 日	浄化槽部分 工事立会	紀の川市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
6	岡田II遺跡(2次)	紀の川市西井阪 151	H23.9.26 ～ 9.28	44㎡	文第 43 号の (107) 平成 23 年 7 月 25 日	工事立会/ 本発掘調査	紀の川市教育委員会	個人住宅	遺構 溝(古墳)、落込み 遺物 須恵器・土師器
7	粟島遺跡	紀の川市東大井 77-45	H23.10.27	2㎡	文第 43 号の (130) 平成 23 年 8 月 17 日	浄化槽部分 工事立会	紀の川市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
8	粟島遺跡	紀の川市東大井 77-9、10	H23.11.1	2㎡	文第 43 号の (124) 平成 23 年 8 月 10 日	浄化槽部分 工事立会	紀の川市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
9	岡田II遺跡	紀の川市西井阪 71-4	H23.11.8	2㎡	文第 43 号の (101) 平成 23 年 7 月 15 日	浄化槽部分 工事立会	紀の川市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
10	粟島遺跡	紀の川市東大井 77-19、 20	H23.12.14	2㎡	文第 43 号の (170) 平成 23 年 10 月 19 日	浄化槽部分 工事立会	紀の川市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
11	尼寺南城跡(2次)	紀の川市上野山 153-1、2 他	H23.12.19 ～ H24.1.11	65㎡	文第 43 号の (169) 平成 23 年 10 月 19 日	確認調査	紀の川市教育委員会	分譲住宅	遺構 落込み、旧畦溝 遺物 陶器・瓦(中世?)
12	チョウ塚遺跡	紀の川市打田 206-1	H23.12.20	3㎡	文第 43 号の (217) 平成 23 年 12 月 7 日	工事立会	紀の川市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
13	上尾遺跡	紀の川市調月 769-154	H23.12.28	3㎡	文第 43 号の (212) 平成 23 年 12 月 5 日	工事立会	紀の川市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
14	最上遺跡	紀の川市最上 613-1	H24.2.2	4㎡	文第 43 号の (182) 平成 23 年 11 月 1 日	浄化槽部分 工事立会	紀の川市教育委員会	介護施設	遺構 なし 遺物 なし
15	元遺跡	紀の川市元 398-1	H24.2.16	3㎡	文第 43 号の (151) 平成 23 年 9 月 26 日	浄化槽部分 工事立会	紀の川市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし

岩出市

No	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積	文化庁・県教育委員会による指示		実施機関	調査経緯	調査内容
					文書番号	指示事項			
1	西国分II遺跡	西国分字筋本 689 番	H23.4.7 ～ 4.8	31.3㎡	文第 60 号の (301) 平成 23 年 1 月 20 日	発掘調査	岩出市教育委員会	集合住宅	遺構 なし 遺物 なし
2	尼ヶ辻遺跡	根来字中溝 861-1	H23.4.11	3.2㎡	文第 60 号の (294) 平成 23 年 1 月 13 日	工事立会	岩出市教育委員会	店舗	遺構 なし 遺物 なし
3	荒田遺跡	森字四ツヤ 132 番 1	H23.6.24	113.6㎡	文第 43 号の (64) 平成 23 年 6 月 20 日	確認調査	岩出市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
4	中黒I遺跡	中黒字高塚 499-1	H23.7.8	38.27㎡	文第 43 号の (30) 平成 23 年 5 月 11 日	確認調査	岩出市教育委員会	集合住宅	遺構 なし 遺物 なし
5	根来寺遺跡	根来 2286-2	H23.8.25	1.98㎡	文第 43 号の (85) 平成 23 年 7 月 6 日	工事立会	岩出市教育委員会	その他開発 受水槽設置	遺構 なし 遺物 なし
6	根来寺遺跡	根来 1048-6	H23.9.22	5.04㎡	文第 43 号の (96) 平成 23 年 7 月 12 日	浄化槽部分 工事立会	岩出市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし

市町村教育委員会による調査一覧5

No	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積	文化庁・県教育委員会による指示		実施機関	調査経緯	調査内容
					文書番号	指示事項			
7	山崎遺跡	金屋字八幡 285-1	H23.12.14、12.15、12.22、12.23	132㎡	文第 43 号の (156) 平成 23 年 9 月 30 日	工事立会	岩出市教育委員会	宅地造成	遺構 なし 遺物 須恵器・土師器
8	根来寺遺跡	根来 1048-12	H23.12.15	3.22㎡	文第 43 号の (95) 平成 23 年 7 月 12 日	浄化槽部分 工事立会	岩出市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
9	根来寺遺跡	根来字家廻り 1351 番 2 の一部	H23.12.19	20.72㎡	文第 43 号の (187) 平成 23 年 11 月 8 日	確認調査	岩出市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 中・近世陶磁器
10	山崎遺跡	金屋字八幡 285-1	H24.1.23、3.8	76.42㎡	文第 43 号の (246) 平成 24 年 1 月 13 日	工事立会	岩出市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
11	山崎遺跡	赤垣内 125 番 1	H24.2.22、2.24	141㎡	文第 43 号の (269) 平成 24 年 2 月 6 日	工事立会	岩出市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
12	根来寺遺跡	安上字西畑602番、603番1	H24.3.14	50㎡	文第 43 号の (267) 平成 24 年 2 月 6 日	確認調査	岩出市教育委員会	宅地造成	遺構 なし 遺物 なし

かつらぎ町

No	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積	文化庁・県教育委員会による指示		実施機関	調査経緯	調査内容
					文書番号	指示事項			
1	中飯降遺跡	伊都郡かつらぎ町中飯降 1427	H23.4.7	3㎡	文第 43 号の (289) 平成 23 年 3 月 12 日	浄化槽部分 工事立会	かつらぎ町教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
2	西飯降Ⅱ遺跡	伊都郡かつらぎ町西飯降 1249-1	H23.4.26	16㎡	文第 60 号の (255) 平成 22 年 11 月 30 日	確認調査	かつらぎ町教育委員会	携帯電話基地局	遺構 なし 遺物 なし
3	丁ノ町・妙寺遺跡	伊都郡かつらぎ町丁ノ町地内	H23.5.10	54.85㎡	文第 57 号の (65) 平成 23 年 3 月 16 日	確認調査	かつらぎ町教育委員会	道路改良	遺構 なし 遺物 土器小片
4	西飯降Ⅱ遺跡	伊都郡かつらぎ町西飯降 95-1、112-1	H23.5.13、5.16～5.20、6.1、8.1	300㎡	文第 43 号の (3) 平成 23 年 4 月 5 日	確認調査 (その後立会・本調査)	かつらぎ町教育委員会	宅地造成	遺構 溝、ビット 遺物 瓦器、土師器
5	中飯降遺跡	伊都郡かつらぎ町中飯降 464-2、463	H23.8.9	12㎡	文第 43 号の (113) 平成 23 年 8 月 1 日	確認調査	かつらぎ町教育委員会	ポリヤス倉庫	遺構 なし 遺物 なし
6	東浜田遺跡	伊都郡かつらぎ町東浜田 131-1、2	H23.8.30	48㎡	文第 43 号の (112) 平成 23 年 8 月 1 日	確認発掘調査 後本調査	かつらぎ町教育委員会	農業用倉庫	遺構 ビット、土坑 遺物 土器
7	西飯降Ⅱ遺跡	伊都郡かつらぎ町妙寺857	H23.9.7、9.8	64㎡	文第 114 号の (19) 平成 23 年 6 月 20 日	確認調査	かつらぎ町教育委員会	学校改築	遺構 なし 遺物 なし
8	東浜田遺跡	伊都郡かつらぎ町東浜田 151-1	H23.9.12～10.26	690㎡	文第 60 号の (64) 平成 22 年 6 月 16 日	本発掘調査	かつらぎ町教育委員会	学校改築	遺構 堅穴建物、土坑 遺物 弥生土器、土師器、白玉
9	笠田東遺跡	伊都郡かつらぎ町笠田東 989-1	H23.10.30	40㎡	文第 43 号の (164) 平成 23 年 10 月 14 日	立会調査	かつらぎ町教育委員会	電気	遺構 なし 遺物 なし
10	西飯降Ⅱ遺跡	伊都郡かつらぎ町西飯降 95-1	H23.11.22	3㎡	文第 43 号の (163) 平成 23 年 10 月 14 日	浄化槽部分 工事立会	かつらぎ町教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
11	西飯降Ⅱ遺跡	伊都郡かつらぎ町西飯降 95-6	H23.11.28、H24.1.19	23㎡	文第 43 号の (165) 平成 23 年 10 月 14 日	浄化槽部分 工事立会	かつらぎ町教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
12	東浜田遺跡	伊都郡かつらぎ町東浜田 129-3	H23.12.8	4㎡	文第 43 号の (185) 平成 23 年 11 月 8 日	浄化槽部分 工事立会	かつらぎ町教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
13	西飯降Ⅱ遺跡	伊都郡かつらぎ町西飯降 95-8	H23.12.20	4㎡	文第 43 号の (166) 平成 23 年 10 月 14 日	浄化槽部分 工事立会	かつらぎ町教育委員会	個人住宅	遺構 ビット 遺物 なし
14	西飯降Ⅱ遺跡	伊都郡かつらぎ町西飯降 136-5	H23.12.21	3㎡	文第 43 号の (129) 平成 23 年 8 月 17 日	浄化槽部分 工事立会	かつらぎ町教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 土器小片
15	西飯降Ⅱ遺跡	伊都郡かつらぎ町西飯降 95-7	H24.1.11	3㎡	文第 43 号の (179) 平成 23 年 11 月 1 日	浄化槽部分 工事立会	かつらぎ町教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
16	笠田東遺跡	伊都郡かつらぎ町笠田東 939-1	H24.2.27	10㎡	文第 43 号の (292) 平成 24 年 2 月 23 日	立会調査	かつらぎ町教育委員会	宅地造成	遺構 なし 遺物 なし
17	西飯降Ⅱ遺跡	伊都郡かつらぎ町妙寺904、905	H24.3.12～3.14	112㎡	文第 43 号の (293) 平成 24 年 2 月 23 日	確認調査	かつらぎ町教育委員会	宅地造成	遺構 ビット 遺物 瓦器、土師器
18	笠田東遺跡	伊都郡かつらぎ町笠田東 939-1	H24.3.26	20㎡	文第 43 号の (286) 平成 24 年 2 月 15 日	確認調査	かつらぎ町教育委員会	個人住宅	遺構 溝、土坑、ビット 遺物 古代瓦・須恵器、弥生土器

橋本市

No	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積	文化庁・県教育委員会による指示		実施機関	調査経緯	調査内容
					文書番号	指示事項			
1	名古曾廃寺跡	橋本市高野口町名古曾 1605	H23.11.21	約 3㎡	文第 43 号の (70) 平成 23 年 6 月 22 日	浄化槽部分 工事立会	橋本市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
2	東家遺跡	橋本市東家 160	H23.12.27	約 20㎡	文第 114 号の (46) 平成 23 年 12 月 21 日	工事立会	橋本市教育委員会	校舎解体	遺構 なし 遺物 なし

高野町

No	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積	文化庁・県教育委員会による指示		実施機関	調査経緯	調査内容
					文書番号	指示事項			
1	金剛峯寺遺跡	伊都郡高野町高野山 600	H24.1.11～1.13	15043㎡	文第 114 号の (5) 平成 23 年 6 月 7 日	工事立会	高野町教育委員会	電線地下埋設	遺構 なし 遺物 なし
2	史跡 金剛峯寺境内	伊都郡高野町高野山 553	H23.4.17	6㎡	23 受庁財第 4 号の 1205 平成 23 年 12 月 9 日	工事立会	高野町教育委員会	墓所改修	遺構 なし 遺物 石造物
3	史跡 金剛峯寺境内	伊都郡高野町高野山 152	H23.4.24	3㎡	23 受庁財第 4 号の 2107 平成 24 年 3 月 16 日	工事立会	高野町教育委員会	階段・欄設置	遺構 なし 遺物 なし
4	史跡 金剛峯寺境内	伊都郡高野町高野山 47	H23.5.18、5.19	300㎡	23 受庁財第 4 号の 1603 平成 24 年 1 月 20 日	工事立会	高野町教育委員会	駐車場	遺構 なし 遺物 なし
5	金剛峯寺遺跡	伊都郡高野町高野山 228	H23.6.22	400㎡	文第 43 号の (58) 平成 23 年 6 月 7 日	工事立会	高野町教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし

市町村教育委員会による調査一覧6

No	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積	文化庁・県教育委員会による指示		実施機関	調査経緯	調査内容
					文書番号	指示事項			
6	金剛峯寺遺跡	伊都郡高野町高野山 601、723	H23.8.1	200㎡	文第 43 号の (106) 平成 23 年 7 月 25 日	工事立会	高野町教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
7	史跡 金剛峯寺境内	伊都郡高野町高野山 553	H23.10.25	1㎡	23 受付財第 4 号の 776 平成 23 年 9 月 16 日	工事立会	高野町教育委員会	墓地基礎修復	遺構 なし 遺物 なし
8	史跡 金剛峯寺境内	伊都郡高野町高野山 553	H23.11.8	20㎡	23 受付財第 4 号の 777 平成 23 年 9 月 16 日	工事立会	高野町教育委員会	遊歩道修復、 側溝設置	遺構 なし 遺物 なし
9	史跡 金剛峯寺境内	伊都郡高野町高野山 553	H23.11.10	3㎡	23 受付財第 4 号の 1170 平成 23 年 10 月 21 日	工事立会	高野町教育委員会	墓石建立	遺構 なし 遺物 なし
10	金剛峯寺遺跡	伊都郡高野町高野山 98、99	H23.12.1	1600㎡	文第 43 号の (136) 平成 23 年 9 月 5 日	工事立会	高野町教育委員会	作業道設置	遺構 なし 遺物 なし
11	史跡 金剛峯寺境内	伊都郡高野町高野山 21	H23.12.6	200㎡	23 受付財第 4 号の 2055 平成 24 年 3 月 16 日	工事立会	高野町教育委員会	作業道設置	遺構 なし 遺物 なし
12	金剛峯寺遺跡	伊都郡高野町高野山 618	H24.2.24	1㎡	文第 43 号の (260) 平成 24 年 2 月 1 日	工事立会	高野町教育委員会	井戸建設	遺構 なし 遺物 なし
13	史跡 金剛峯寺境内	伊都郡高野町高野山奥院 21	H24.3.1 ～ 4.9	800㎡	23 受付財第 4 号の 1602 平成 24 年 1 月 20 日	工事立会	高野町教育委員会	作業道設置	遺構 なし 遺物 なし
14	史跡 金剛峯寺境内	伊都郡高野町高野山 425-1	H24.6.15 ～ 11.1	50㎡	23 受付財第 4 号の 2108 平成 24 年 3 月 16 日	工事立会	高野町教育委員会	防災設備改修	遺構 なし 遺物 土器類

有田市

No	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積	文化庁・県教育委員会による指示		実施機関	調査経緯	調査内容
					文書番号	指示事項			
1	崖の鼻遺跡	有田市糸我町西字宮ノ上 612-1	H23.8.2	1.4㎡	文第 43 号の (54) 平成 23 年 6 月 7 日	工事立会	有田市教育委員会	携帯電話無線基地局(铁塔敷設工事)	遺構 周溝の一部 遺物 近世陶磁器片、近世瓦片等

有田川町

No	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積	文化庁・県教育委員会による指示		実施機関	調査経緯	調査内容
					文書番号	指示事項			
1	野田地区遺跡	有田郡有田川町野田 395-2	H23.7.21 ～ 7.26	35.8㎡	文第 43 号の (84) 平成 23 年 7 月 4 日	本発掘調査	有田川町教育委員会	個人住宅	遺構 溝(中世) 遺物 土師器・瓦器・中世陶器・輪郭口・石製品
2	藤並地区遺跡	有田郡有田川町天満 116-1	H23.7.21 ～ 7.26	17㎡	文第 43 号の (150) 平成 23 年 9 月 26 日	確認調査	有田川町教育委員会	個人住宅	遺構 水田関連遺構(中世) 遺物 縄文土器・須恵器・土師器・瓦器
3	天満 1 遺跡	有田郡有田川町天満 601-5	H23.7.24	13.6㎡	文第 43 号の (74) 平成 23 年 6 月 27 日	工事立会	有田川町教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
4	田殿尾中遺跡	有田郡有田川町尾中 89	H23.7.29	6㎡	文第 43 号の (105) 平成 23 年 7 月 21 日	工事立会	有田川町教育委員会	浄化槽埋設	遺構 なし 遺物 なし
5	藤並地区遺跡	有田郡有田川町土生 371-13	H24.2.28	7.04㎡	文第 43 号の (285) 平成 24 年 2 月 15 日	浄化槽部分 工事立会	有田川町教育委員会	店舗	遺構 なし 遺物 なし
6	藤並地区遺跡	有田郡有田川町天満 289-7 他	H24.3.19 ～ 3.22	92㎡	文第 43 号の (288) 平成 24 年 2 月 22 日	確認調査	有田川町教育委員会	店舗	遺構 溝・水田関連遺構(中世) 遺物 土師器・瓦器・須恵器・染付磁器・サヌカイト剥片
7	旧道成寺跡	有田郡有田川町糸我野 598	H24.4.2、4.4	80㎡	文第 43 号の (231) 平成 23 年 12 月 19 日	工事立会	有田川町教育委員会	観音堂建設	遺構 なし 遺物 土師器・須恵器・瓦器・銭貨

御坊市

No	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積	文化庁・県教育委員会による指示		実施機関	調査経緯	調査内容
					文書番号	指示事項			
1	東郷遺跡	御坊市藤田町藤井字宮田 1924-5・7	H23.5.13	10㎡	文第 43 号の (16) 平成 23 年 4 月 21 日	確認調査	御坊市教育委員会	個人住宅	遺構 竈 遺物 なし
2	岩内Ⅲ遺跡	御坊市岩内 86、85 の一部	H23.6.13	4.16㎡	文第 43 号の (27) 平成 23 年 5 月 6 日	浄化槽部分 工事立会	御坊市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
3	津井切遺跡	御坊市藤田町吉田字津井切 868	H23.7.13	4㎡	文第 43 号の (47) 平成 23 年 7 月 12 日	浄化槽部分 工事立会	御坊市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
4	天田古墳群	御坊市塩屋町北塩屋字北湊 719 番 16	H23.7.21	4.14㎡	文第 43 号の (7) 平成 23 年 4 月 7 日	浄化槽部分 工事立会	御坊市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
5	堅田遺跡	御坊市湯川町財部字西郡 25-3	H23.9.6、9.7	10.5㎡	文第 43 号の (98) 平成 23 年 7 月 15 日	浄化槽部分 工事立会	御坊市教育委員会	店舗兼用住宅	遺構 なし 遺物 なし
6	天田古墳群	御坊市塩屋町北塩屋字北湊 716 番 6、717 番 5・4	H23.10.11	5.04㎡	文第 43 号の (21) 平成 23 年 4 月 22 日	浄化槽部分 工事立会	御坊市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
7	堅田遺跡	御坊市園字西郡 24-1	H23.10.11、10.12	77.84㎡	文第 43 号の (133) 平成 23 年 8 月 10 日	基礎・浄化槽工事部分 本発掘調査	御坊市教育委員会	店舗兼用住宅	遺構 なし 遺物 土器片
8	岩内Ⅱ遺跡	御坊市岩内 950-25	H23.12.13	3.2㎡	文第 43 号の (122) 平成 23 年 8 月 10 日	浄化槽部分 工事立会	御坊市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
9	東大人遺跡	御坊市塩屋町南塩屋地内	H23.12 ～ H24.1	15㎡	文第 43 号の (33) 平成 23 年 11 月 14 日	工事立会	御坊市教育委員会	下水道工事	遺構 なし 遺物 なし
10	小松原Ⅱ遺跡	御坊市湯川町小松原字中黒坪 15 番 2	H24.1.16	10.95㎡	文第 43 号の (31) 平成 23 年 10 月 28 日	工事立会	御坊市教育委員会	学校施設(テニスコート整備)	遺構 なし 遺物 土器片
11	堅田遺跡	御坊市湯川町財部字深田 646-11・12・24	H24.1.17、1.18	20㎡	文第 43 号の (204) 平成 23 年 11 月 25 日	確認調査	御坊市教育委員会	診療所建設	遺構 なし 遺物 土器片

田辺市

No	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積	文化庁・県教育委員会による指示		実施機関	調査経緯	調査内容
					文書番号	指示事項			
1	田辺城下町遺跡	田辺市湊 1091-1、1093-1	H23.4.21 ～ 4.26	31.7㎡	文第 43 号の (5) 平成 23 年 4 月 7 日	確認調査	田辺市教育委員会	集合住宅	遺構 なし 遺物 なし

市町村教育委員会による調査一覧7

No	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積	文化庁・県教育委員会による指示		実施機関	調査経緯	調査内容
					文書番号	指示事項			
2	田辺城下町遺跡	田辺市下屋敷町 73-6	H23.6.1、6.2、7.4	32.79㎡	文第 60 号の (374) 平成 23 年 3 月 31 日	工事立会	田辺市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
3	田辺城跡	田辺市上屋敷 2 丁目地内	H23.6.10 ~ 6.15	95㎡	文第 57 号の (67) 平成 23 年 3 月 31 日	工事立会	田辺市教育委員会	市道改良工事	遺構 なし 遺物 なし
4	西菖蒲谷遺跡	田辺市文里 2 丁目 651-43	H23.6.29	4.32㎡	文第 60 号の (339) 平成 23 年 2 月 24 日	浄化槽部分 工事立会	田辺市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
5	田辺城下町遺跡	田辺市中屋敷町 109-3、110-4、110-8	H23.7.1	7.22㎡	文第 60 号の (351) 平成 23 年 3 月 9 日	浄化槽部分 工事立会	田辺市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
6	大西谷遺跡	田辺市秋津町 1712-3	H23.7.4	5.12㎡	文第 60 号の (288) 平成 23 年 1 月 4 日	浄化槽部分 工事立会	田辺市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
7	田辺城下町遺跡	田辺市中屋敷町 68 の一部、68-3 の一部	H23.7.21	65.7㎡	文第 43 号の (86) 平成 23 年 7 月 8 日	工事立会	田辺市教育委員会	倉庫	遺構 なし 遺物 なし
8	田辺城跡	田辺市上屋敷 2 丁目 184-11	H23.7.25	4.68㎡	文第 60 号の (299) 平成 23 年 1 月 20 日	浄化槽部分 工事立会	田辺市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
9	八丁田圃遺跡	田辺市秋津町 231-8	H23.7.29	5.4㎡	文第 60 号の (347) 平成 23 年 3 月 7 日	浄化槽部分 工事立会	田辺市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
10	田辺城下町遺跡	田辺市湊 1027-1	H23.7.29、9.22	10.23㎡	文第 43 号の (76) 平成 23 年 6 月 30 日	工事立会	田辺市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
11	神田遺跡	田辺市湊 562 (田辺市立第二小学校)	H23.8.1 ~ 8.6、11.24	144.55㎡	文第 114 号の (12) 平成 23 年 7 月 12 日	確認調査 工事立会	田辺市教育委員会	新校舎及び仮設校舎	遺構 なし 遺物 なし
12	田辺城跡	田辺市上屋敷 1 丁目 29-8、29-15、29-16	H23.8.3	10㎡	文第 43 号の (4) 平成 23 年 4 月 7 日	工事立会	田辺市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
13	田辺城下町遺跡	田辺市下屋敷町 73-34	H23.9.17	2.55㎡	文第 43 号の (120) 平成 23 年 8 月 2 日	工事立会	田辺市教育委員会	携帯電話アンテナ設備設置工事	遺構 なし 遺物 なし
14	田辺城下町遺跡	田辺市北新町地内	H23.9.30、10.1	35㎡	文第 114 号の (24) 平成 23 年 10 月 6 日	工事立会	田辺市教育委員会	水道工事	遺構 なし 遺物 なし
15	田辺城下町遺跡	田辺市湊 1037-1、1037-3	H23.10.7	3.6㎡	文第 43 号の (115) 平成 23 年 8 月 1 日	工事立会	田辺市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
16	田辺城下町遺跡	田辺市南新町地内	H23.10.17 ~ 10.23	40㎡	文第 114 号の (27) 平成 23 年 10 月 16 日	工事立会	田辺市教育委員会	水道工事	遺構 なし 遺物 なし
17	田辺城下町遺跡	田辺市湊、北新町地内	H23.10.19 ~ 10.20	49㎡	文第 114 号の (18) 平成 23 年 9 月 7 日	工事立会	田辺市教育委員会	市道改良工事	遺構 なし 遺物 なし
18	田辺城下町遺跡	田辺市中屋敷町地内	H23.10.19 ~ 10.21	24㎡	文第 114 号の (25) 平成 23 年 10 月 6 日	工事立会	田辺市教育委員会	水道工事	遺構 なし 遺物 なし
19	田辺城下町遺跡	田辺市湊 1032-1	H23.10.28	16.92㎡	文第 43 号の (77) 平成 23 年 6 月 30 日	工事立会	田辺市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
20	田辺城下町遺跡	田辺市湊 1031-1	H23.11.10	4.42㎡	文第 43 号の (131) 平成 23 年 8 月 24 日	浄化槽部分 工事立会	田辺市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
21	田辺城下町遺跡	田辺市下屋敷町、南新町地内	H23.11.24	56㎡	文第 114 号の (26) 平成 23 年 10 月 6 日	工事立会	田辺市教育委員会	水道工事	遺構 なし 遺物 なし
22	高山寺貝塚	田辺市稲成町 393、387	H23.12.9 ~ 12.24	5㎡	文第 43 号の (209) 平成 23 年 11 月 29 日	確認調査	田辺市教育委員会	災害復旧	遺構 なし 遺物 縄文土器・石器
23	日座遺跡 八丁田圃遺跡	田辺市秋津町字東八町地内	H24.1.27	4.2㎡	文第 114 号の (40) 平成 23 年 12 月 5 日	確認調査	田辺市教育委員会	市道改良工事	一部立会調査、確認調査は H24 年度 遺構 なし、遺物 なし
24	田辺城下町遺跡	田辺市中屋敷町 90-1、90-2、89-1	H24.2.16 ~ 2.21	26.7㎡	文第 43 号の (279) 平成 24 年 2 月 7 日	確認調査	田辺市教育委員会	集合住宅	遺構 なし 遺物 なし
25	田辺城下町遺跡	田辺市南新町 145-1 他 5 筆、今福町 18-2、18-3、145-7	H24.2.28	76.5㎡	文第 43 号の (200) 平成 23 年 11 月 17 日	工事立会	田辺市教育委員会	薬局棟	遺構 なし 遺物 なし
26	田辺城跡	田辺市上屋敷 1 丁目 33-5	H24.3.6、3.21、3.26	80㎡	文第 43 号の (297) 平成 24 年 2 月 29 日	工事立会	田辺市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
27	田辺城跡	田辺市上屋敷 1 丁目 33-4	H24.3.6、3.26	40㎡	文第 43 号の (298) 平成 24 年 2 月 29 日	工事立会	田辺市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
28	鬮雞神社境内遺跡	田辺市湊 655	H24.3.7 ~ 3.12	6.8㎡	文第 43 号の (243) 平成 23 年 12 月 28 日	確認調査	田辺市教育委員会	鳥居設置工事	遺構 なし 遺物 なし
29	田辺城跡	田辺市上屋敷 3 丁目 94-75	H24.3.8	10.12㎡	文第 43 号の (289) 平成 24 年 2 月 22 日	工事立会	田辺市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
30	田辺城跡	田辺市上屋敷 1 丁目 33-2	H24.3.17、3.19	11.5㎡	文第 43 号の (309) 平成 24 年 3 月 6 日	工事立会	田辺市教育委員会	共同住宅併用事務所	遺構 なし 遺物 なし
31	田辺城下町遺跡	田辺市湊 1030	H24.3.26	11.82㎡	文第 43 号の (318) 平成 24 年 3 月 12 日	工事立会	田辺市教育委員会	店舗兼用住宅	遺構 なし 遺物 なし

白浜町

No	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積	文化庁・県教育委員会による指示		実施機関	調査経緯	調査内容
					文書番号	指示事項			
1	市江遺跡	白浜町日置 1440 番地の 1	H23.10.5	2.26㎡	文第 43 号の (8) 平成 23 年 4 月 8 日	工事立会	白浜町教育委員会	携帯電話基地局設置	遺構 なし 遺物 なし

新宮市

No	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積	文化庁・県教育委員会による指示		実施機関	調査経緯	調査内容
					文書番号	指示事項			
1	新宮十郎屋敷跡	新宮市熊野地 1 丁目 5532-86、87	H23.6.10	2.25㎡	文第 43 号の (53) 平成 24 年 6 月 7 日	浄化槽部分 工事立会	新宮市教育委員会	店舗	遺構 なし 遺物 なし
2	佐野遺跡	新宮市佐野井関後 1358-17	H23.8.9	4㎡	文第 43 号の (25) 平成 23 年 4 月 27 日	浄化槽部分 工事立会	新宮市教育委員会	個人住宅	遺構 なし 遺物 なし
3	矢倉城跡	新宮市谷王子 451-22 ~ 27	H23.11.1	20㎡	文第 43 号の (104) 平成 23 年 7 月 19 日	浄化槽部分 工事立会	新宮市教育委員会	その他建物(幼稚園)	遺構 なし 遺物 なし
4	速玉大社境内遺跡	新宮市船町 1 丁目 2 番 1 号	H24.1.24	0.3㎡	文第 43 号の (248) 平成 24 年 1 月 13 日	工事立会	新宮市教育委員会	その他建物(看板設置)	遺構 なし 遺物 なし

公益財団法人和歌山県文化財センターによる調査一覧

No	遺跡名	調査年月日	所在地	調査面積	指示文書番号	調査経緯	調査内容
1	根来寺遺跡	H23.2.2 ~ H24.3.26	岩出市根来	795㎡	文第 39 号の (8)	旧県会議事堂移築	遺構 子院の石垣・石組井戸・排水施設・半地下式倉庫・通路 遺物 土師器・輸入陶磁器・国産陶器・瓦
2	井辺遺跡	H23.2.22 ~ H23.8.31	和歌山市神前	1,812㎡	文第 109 号の (2)	道路改良	遺構 弥生時代終末期～古墳時代前期の竪穴建物 3 棟・掘立柱建物 1 棟・溝・土坑 遺物 弥生土器・土師器・須恵器
3	神前遺跡、井辺遺跡	H23.2.22 ~ H23.10.31	和歌山市神前	3,940㎡	文第 109 号の (4)	道路改良	遺構 神前遺跡：弥生時代～古墳時代の溝 10 数条・谷状地形・鎌倉時代の溝・耕作痕 井辺遺跡：弥生時代後期～古墳時代初頭の溝・自然流路・古墳時代後期の畝状遺構・土坑列 遺物 弥生土器・土師器・木製品・青銅製品
4	六十谷遺跡	H23.3.29 ~ H23.9.30	和歌山市六十谷	786㎡	文第 109 号の (3)	道路改良	遺構 弥生時代後期の土器棺墓・古墳時代中期の竪穴建物 遺物 弥生土器・須恵器・土師器・瓦器・石器（石鏃・石錐）
5	稲成 I 遺跡、八丁田圃遺跡	H23.4.7 ~ H23.11.22	田辺市稲成・秋津町	1,968㎡	文第 109 号の (7)	高速道路	遺構 八丁田圃遺跡：古代～中世の水田・畦畔・弥生時代の溝・土坑 稲成 I 遺跡：古墳時代の竪穴建物 2 棟・掘立柱建物 1 棟 遺物 八丁田圃遺跡：弥生土器 稲成 I 遺跡：土師器・須恵器
6	大古 II 遺跡、安宅本城跡	H23.4.7 ~ H23.11.30	白浜町大古・安宅	1,836㎡	文第 109 号の (8)	高速道路	遺構 大古 II 遺跡：弥生時代の土坑・古代の掘立柱建物・室町時代の井戸・安宅本城跡：古代の自然流路 遺物 須恵器・緑釉陶器・青磁・備前焼・瓦質土器
7	和歌山城跡	H23.4.7 ~ H23.11.30	和歌山市二番丁	2,760㎡	文第 109 号の (14)	和歌山地簡裁庁舎建設	遺構 武家屋敷に伴う井戸・暗渠・柱列・土坑及び中世の土墳墓 遺物 近世陶磁器・瓦
8	和田 II 遺跡	H23.4.27 ~ H23.9.16	日高郡美浜町和田	609㎡	文第 109 号の (9)	道路改良	遺構 古代末から中世の土坑・ピット・流路 遺物 初期須恵器・土師器・瓦器
9	根来寺遺跡	H23.4.28 ~ H24.3.23	岩出市根来	8,964㎡	文第 109 号の (11)	高速道路	遺構 子院の敷地区画に伴う溝（石組溝・暗渠）・石垣・敷地の間を南北方向に通る古道・石組井戸・地下式倉庫の入り口階段部 遺物 土師器・瓦器・陶磁器・瓦・金属製品（銭貨・鉄砲玉ほか）・漆器・石造物（五輪塔・宝篋印塔ほか）
10	西洪田遺跡	H23.8.24 ~ H24.1.31	かつらぎ町西洪田	975㎡	文第 109 号の (21)	道路改良	遺構 古墳時代の竪穴建物・溝 遺物 弥生土器・土師器・須恵器
11	岩野河遺跡	H23.9.15 ~ H24.3.20	和歌山市神前	1,921㎡	文第 109 号の (18)	道路改良	遺構 弥生時代前期の井戸 3 基・溝 1 条・中期の溝 6 条・土坑 2 基・庄内式期から古墳時代の掘立柱建物 2 棟・竪穴建物 1 棟・土坑・平安時代末～室町時代の掘立柱建物 1 棟・大溝 2 条・井戸 2 基・土坑 4 基 遺物 弥生土器・土師器・瓦器

県教育委員会による調査一覧

No	遺跡名	調査件名	所在地	調査年月日	調査経緯	調査種類	調査面積	調査内容	時代
1	金剛峯寺遺跡	11-94-16・19	伊都郡高野町高野山地区内	H23.10.18・H23.11.29	道路維持修繕	工事立会	8.7㎡	遺構遺物 なし 陶磁器・土師器	近世
2	慈尊院Ⅱ遺跡	10-93-348	伊都郡九度山町慈尊院地区内	H23.5.9	個人住宅	工事立会	4㎡	遺構遺物 なし 土師器	-
3	県指定史跡三谷坂	-	伊都郡かつらぎ町三谷地区内	H23.8.22～H23.8.25	道路建設	確認調査	16.2㎡	遺構遺物 溝状(車輪の轍) 近現代の陶磁器、鏝	近現代
4	東浜田遺跡	09-94-49	伊都郡かつらぎ町東浜田29-1・31-2	H23.11.29～H 23.12.5	道路改良工事	試掘確認調査	79.3㎡	遺構遺物 ビット 土師器・石器	-
5	笠田東遺跡	10-94-36・11-94-43	伊都郡かつらぎ町笠田東 825	2012/1/24・2011/9/15	テニスコート等、渡り廊下	工事立会	12㎡、14㎡	遺構遺物 なし なし	-
6	下丹生谷遺跡	11-94-12	紀の川市下丹生谷 344-1	H 23.12.13・H 23.12.14	基盤整備事業	確認調査	4㎡	遺構遺物 なし 陶磁器	近世
7	粉河寺遺跡	06-94-1	紀の川市粉河地区内	H 23.5.17・H 23.7.3	砂防工事	工事立会	10㎡	遺構遺物 なし なし	-
8	貴志城跡	09-94-86	紀の川市貴志川神戸・長原地区内	H23.3.30	下水道	工事立会	5㎡	遺構遺物 なし なし	-
9	西の側遺跡	11-94-10	紀の川市貴志川岸宮地区内	H23.7.25～H23.7.28	農業関係(水路)	試掘確認調査	56.4㎡	遺構遺物 なし なし	-
10	栗島遺跡	-	紀の川市東大井字角田地区内	H 23.8.17～H 23.8.26	倉庫建設	確認調査	176.6㎡	遺構遺物 溝・土坑・石積み・ビット 土師器・瓦	古代
11	根来寺遺跡、不動寺谷遺跡	09-94-70・74	岩出市根来安上地区内・紀の川市西三谷地区内	H 24.1.19～H 24.2.20	高速道路	確認調査	145.64㎡	遺構遺物 石組溝・石積み・古道 土師器	中世
12	秋月遺跡	11-94-41	和歌山市太田 122	H23.12.23	水道	工事立会	7㎡	遺構遺物 流路 土師器・須恵器・瓦器	古墳・中世
13	田屋遺跡	11-94-13	和歌山市田屋地区内	H 23.11.1～H 23.11.9	農業関係	確認調査	29.3㎡	遺構遺物 土坑・ビット 土師器・瓦器・瓦質土器	古代～中世
14	六十谷遺跡(第5次)	06-94-35	和歌山市六十谷地区内	H23.7.11～H23.7.13	道路改良	確認調査・工事立会	10㎡ 工事立会 29㎡	遺構遺物 ビット 土師器・瓦器	中世
14	六十谷遺跡(第6次)	06-94-35	和歌山市六十谷地区内	H24.2.23～H24.2.27	道路改良工事	確認調査	10㎡	遺構遺物 ビット・溝状遺構 弥生土器・土師器	弥生～古墳
14	六十谷遺跡	06-94-35	和歌山市六十谷地区内	H23.10.13	擁壁工事	工事立会	9.6㎡	遺構遺物 溝状遺構・ビット 土師器・瓦器	中世
15	平井Ⅱ遺跡	-	和歌山市平井地区内	H24.1.14	高速道路	試掘調査・工事立会	100㎡	遺構遺物 土坑・溝・ビット 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・白磁	-
16	和歌山城跡	10-94-4	和歌山市二番丁1番地	H24.3.3	庁舎建設	工事立会	21㎡	遺構遺物 土坑・石敷 陶磁器・瓦	近世
17	和田遺跡	10-94-13	和歌山市和田地区内	H 24.3.1～H 24.3.27	道路改良工事	試掘確認調査	270㎡	遺構遺物 土坑・ビット・溝状遺構・落ち込み 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・石器	弥生～中世
18	海南第二中学校校庭	11-94-52	海南市日方 924-3 地先	H23.6.2	堤防修繕	工事立会	10㎡	遺構遺物 溝・土坑 土師器・須恵器・黒色土器	古代～中世
19	中田遺跡	11-94-57	海草郡紀美野町中田地区内	H23.6.21	地滑り防止工事	工事立会	36㎡	遺構遺物 なし なし	-
20	下佐々Ⅲ遺跡	10-93-52	海草郡紀美野町下佐々字唐戸瀬地区内	H23.4.8・H23.11.7	個人住宅	確認調査	11㎡	遺構遺物 なし 土師器・瓦器	中世
21	崎山屋敷跡	10-94-63	有田郡有田町井口字西慶中地区内	H23.8.29	道路改良	工事立会	197㎡	遺構遺物 なし なし	-
22	田井・西川遺跡	11-93-157・372	日高郡美浜町田井地区内	H23.4.8・H23.11.7	農業用倉庫、宅地造成	試掘確認調査・工事立会	7㎡、21㎡	遺構遺物 なし なし	-
23	法徳寺遺跡	11-93-67	日高郡日高川町小熊字法徳寺地区内	H23.12.19	個人住宅	試掘確認調査・工事立会	4.7㎡	遺構遺物 なし 土師器	-
24	土生城跡	11-93-227・302	日高郡日高川町土生字城ノ内地区内	H24.3.1	駐車場	工事立会	15㎡	遺構遺物 土坑・溝・ビット 土師器	古墳
25	三百瀬遺跡	11-93-203	日高郡日高川町三百瀬字古田地区内	H23.8.10	個人住宅	工事立会	5.44㎡	遺構遺物 なし なし	-
26	道成寺遺跡	11-93-280	日高郡日高川町鐘巻 1738	H23.5.23～H23.5.31	下水道	工事立会	2㎡	遺構遺物 なし なし	-
27	南部高校遺跡	11-94-1	日高郡みなべ町芝 407	H23.6.6～H23.7.6	電気・水道管設置	工事立会	4.2㎡	遺構遺物 溝状遺構 なし	-
28	西の野遺跡	10-94-58	田辺市中芳養地区内	H23.5.23～H23.5.31	道路改築	試掘確認調査	85㎡	遺構遺物 なし 土師器・須恵器・瓦器	中世
29	稲成遺跡、目座遺跡、田ノ口遺跡	09-94-43～46	田辺市稲成・上万呂・白浜町十九洲地区内	H23.6.6～H23.7.6	高速道路建設	試掘確認調査	310.8㎡	遺構遺物 溝状遺構・ビット・落ち込み 土師器・須恵器・山茶碗・磁器・鉄器	-
30	笠嶋遺跡	09-94-50	東牟婁郡串本町串本字掘南生地区内、清水生地区内	H23.9.26	道路改良	工事立会	10㎡	遺構遺物 なし なし	-
31	矢ノ熊遺跡	11-93-210	東牟婁郡串本町字江川生地区内	H24.3.13	集合住宅	工事立会	6㎡	遺構遺物 なし なし	-
32	旧大池熱帯植物園内遺跡	10-93-349	東牟婁郡太地町大池 1285-1	H23.4.15	解体・伐根	工事立会	4㎡	遺構遺物 なし なし	-

# 1 金剛峯寺遺跡

(調査件名：11-94-16・19)

種別：工事立会

遺構：なし

所在地：伊都郡高野町高野山地内

遺物：陶磁器・土師器

＜調査の経緯＞ 国道480号線道路維持修繕（側溝改修）工事に伴い、2箇所（16・19地点）の工事立会を実施した。

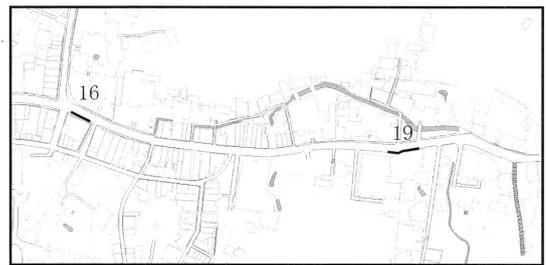
＜調査の成果＞ 16地点では、1層コンクリート又はアスファルト、2層路盤床、3層造成土、4層近世以降の堆積土、5層地山を検出した。大半の範囲がすでにNTT配線により攪乱されており、5層上面を精査したものの遺構及び遺物は一切確認されなかった。

19地点では、1層アスファルトと碎石、2層近現代堆積土とみられる土壌を検出した。2-4層では近世末遺物を含むシルト質土を検出し、遺構面を形成する面は確認されなかった。また、一部の範囲はすでに歩道側溝により攪乱されていた。

2箇所とも埋蔵文化財が確認されなかったため、慎重工事を施工者に指示した。



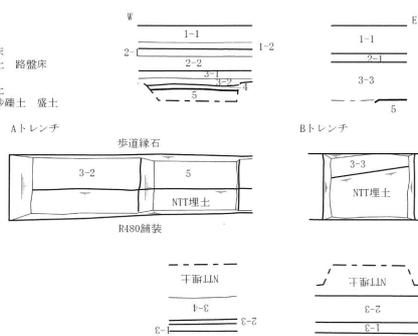
遺跡位置図



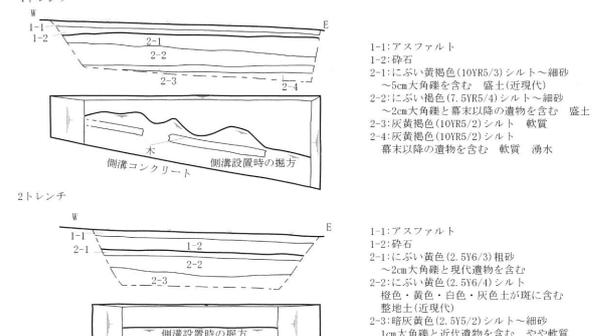
調査位置図 S=1/5,000

(11-94-16)

- 1-1: コンクリート (歩道緑石)
- 1-2: コンクリート
- 1-3: アスファルト
- 2-1: 灰色 (N6/) 砂礫土 路盤床
- 2-2: 灰オリーブ (S15/2) 砂礫土 路盤床
- 2-3: 砕石及び砂礫土
- 3-1: 黄色 (S17/6) 砂礫土 盛土
- 3-2: にぶい黄褐色 (10YR7/4) 砂礫土 盛土
- 3-3: 橙色 (5YR7/6) 砂礫土
- 盛土: しまりなし
- 3-4: 灰褐色 (5Y6/2) 粗砂
- ※5cm以下雜含む 盛土か?
- 4: 黒褐色～灰褐色 (10YR3～4/1) 砂質土 炭化物混
- 5: 黄色 (5Y7/6) 砂礫土 地山



(11-94-19)



立会箇所平面図・土層図 S=1/80

# 2 慈尊院Ⅱ遺跡

(調査件名：10-93-348)

種別：工事立会

遺構：なし

所在地：伊都郡九度山町慈尊院地内

遺物：土師器



遺跡位置図



調査位置図 S=1/5,000

### 3 県指定史跡三谷坂

(調査件名：10-93-115)

種 別：確認調査

遺構：溝（車輪の轍）

所在地：伊都郡かつらぎ町三谷地内

遺物：近現代の陶磁器・鋳

#### <調査の経緯>

大規模農道建設に先立ち、工事建設予定地の県指定史跡三谷坂の道の現状を把握するために、長さ1.8m幅1.8mのトレンチを5箇所設定し、確認調査を実施した。

#### <三谷坂の概要>

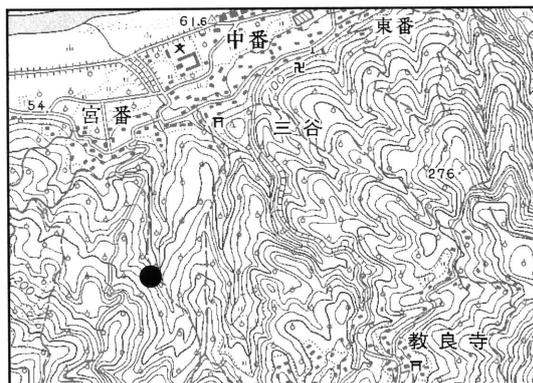
三谷坂は、かつらぎ町大字三谷に所在する。紀ノ川南岸において東西に細く延びる比較的未発達な低位段丘を入口とし、紀伊山地の尾根筋を通り、いったん天野盆地を経たのち高野山参詣道の町石道に合流する古道である。

丹生総神主が丹生酒殿神社・丹生都比売神社間を行き来するときに通ったことから「天野道」とも称され、また、大正十三年（1924）、丹生都比売神社が官幣大社・正一位に昇格したことを記念する昇格報告祭の際に、奉迎した勅使が通ったことから「勅使坂ちよくしぎか」と呼ばれることもある。

町石道よりも水はけがよいこと、また大門口に通ずる参詣道のうち慈尊院から六本杉までの町石道を通るルートや西国街道に比べて近道であること、迂回せずに丹生都比売神社に参詣できることから、とくに神仏習合が進展した平安中期以降、頻繁に利用されたようである。

この坂が参籠のルートとしても利用されたことは記録に残っている。

白河天皇の第四王子である覚法法親王の「御室御所覚法法親王高野山御参籠日記」久安三年（1147）五月の記述に、「三谷坂は木陰にして深き泥なし 道ほど近しかたがた神妙の由 上下よろこびをなす」（『又続宝簡集』）とあり、三谷坂は急峻な



遺跡位置図



写真1 三谷坂登り口



写真2 三谷坂遠景



写真3 笠石

道ではあるが、木陰があり、水はけがよく、近道であったことが、知られる。

三谷坂の起点には丹生酒殿神社があり、天野地区と紀ノ川流域を結ぶ重要な道で、丹生都比売神社の起源が金剛峯寺より古いとされていることから、高野山町石道の造営以前から存在していた可能性が高い。

現在の道は、麓から丘陵の中腹にかけて果樹栽培の作業道となっているが、上部では、杉の植林地内を地道が続いている。三谷坂は大規模な改変はされておらず、古代からのルートと形状を保持しているものと考えられる。

近年、かつらぎ町等によって、平成の町石道として、道の整備がなされ、説明板などが設置されている。

#### <調査の方法>

調査地点は、三谷坂の麓にある丹生酒殿神社から西に約50m下った「天野大社参道 明治十八年七月」の銘がある石造道標が位置する登り口分岐点から約800m上った地点で、標高178m前後である。昔、弘法大師が高野山に登っている時に、大師の笠が飛ばされて、その笠がひっかかっていたという故事がある笠石の西側に隣接する。笠石は結晶片岩製で高さ約2.0m・一辺15cmほどの角柱に扁平な長さ約50cmの長方形の板石を突き通した石造物で、柱の上部には仏の像が彫り出されている。

調査地点の農道は、幅約1.8mの簡易舗装されたコンクリート道で、約25mの間隔で長さ1.5m・幅1.8mのトレンチを5箇所を設定して、南側から第1～5トレンチとした。コンクリート路盤を機械で粉碎して除去し、包含層及び遺構を人力掘削した。



写真4 トレンチ1



写真5 トレンチ2

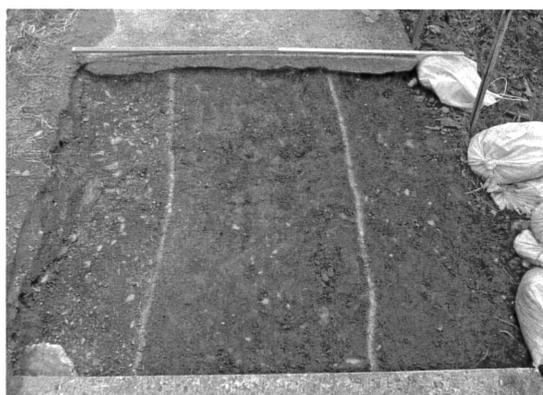


写真6 トレンチ3

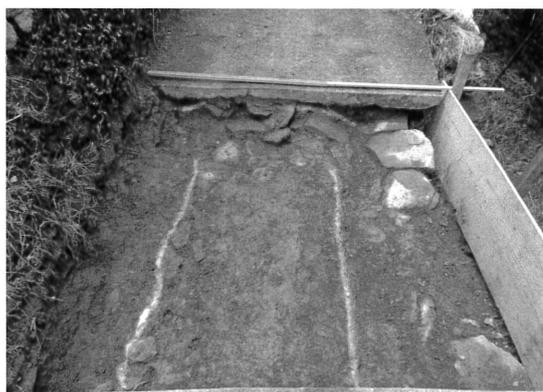


写真7 トレンチ4

**基本土層** 第1層：黄褐色5Y5/6砂質土（2～5cmの円礫少量含む）。

第2層：にぶい黄色2.5Y6/4砂質土（2～5cmの円礫少量含む）。

第3層：黄橙色10YR7/8色弱質土（地山）。

溝上層：灰色5Y5/1砂質土（2～5cmの円礫少量含む）。

溝下層：明黄褐色2.5Y6/6砂質土（2～5cmの円礫少量含む）。

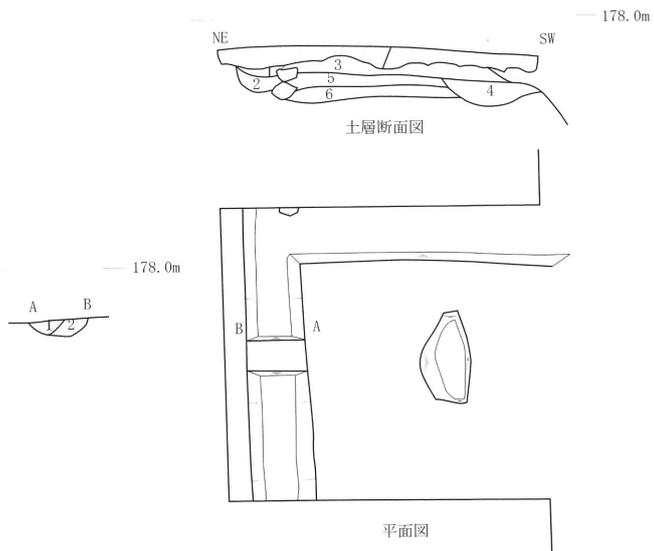


写真8 トレンチ5

**調査内容** ◎第1トレンチ 東端で、南北方向の幅約30cm・深さ6cmの浅いU字状の溝を検出した。近現代の国産陶磁器が少量出土した。

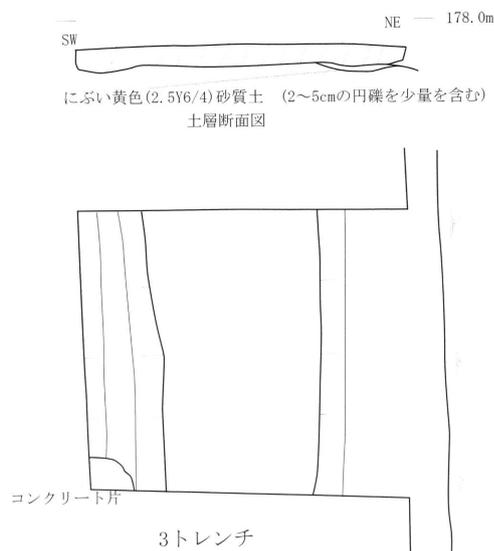
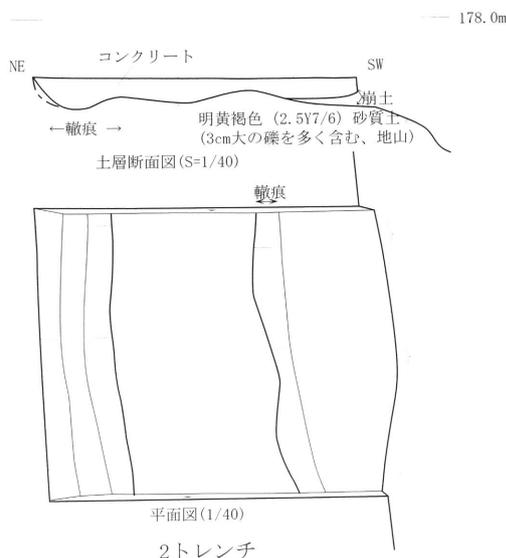
◎第2トレンチ 東端で、南北方向の幅約30cm・深さ6cmの浅いU字状の溝を検出した。西端で南北方向の深さ6cmの浅いU字状の落ち込みを検出した。両者とも車輪の轍だと推定される。両者の間隔は上端で約0.8mである。出土遺物は無し。

◎第3トレンチ 東端で、南北方向の幅約30cm・深さ6cmの浅いU字状の溝を検出した。西端で南北方向の深さ5cmの浅いU字状の落ち込みを検出した。両者とも車輪の轍だと推定される。両者の間隔は上端で約0.8m～0.9mである。出土遺物は無し。



- 1トレンチ 土層
- 1: 灰色(5Y5/1)砂質土 (2～5cmの円礫を多く含む)
  - 2: 明黄褐色(2.5Y6/6)弱砂質土 (2～5cmの円礫を多く含む)
  - 3: 黄褐色(2.5Y6/5)砂質土 (2cm～5cmの円礫少量を含む)
  - 4: にぶい黄褐色(10YR5/4)砂質土 (礫・コンクリート片多く含む)
  - 5: にぶい黄色(2.5Y6/4)砂質土 (2～5cmの円礫を多く含む)
  - 6: 黄橙色(10YR7/8)弱粘着土 (地山)

1トレンチ



トレンチ平面図・断面図 S=1/40

◎第4トレンチ 東端で、南北方向の幅約30cm・深さ6cmの浅いU字状の溝を検出した。西端で、南北方向の深さ8cmの浅いU字状の落ち込みを検出した。

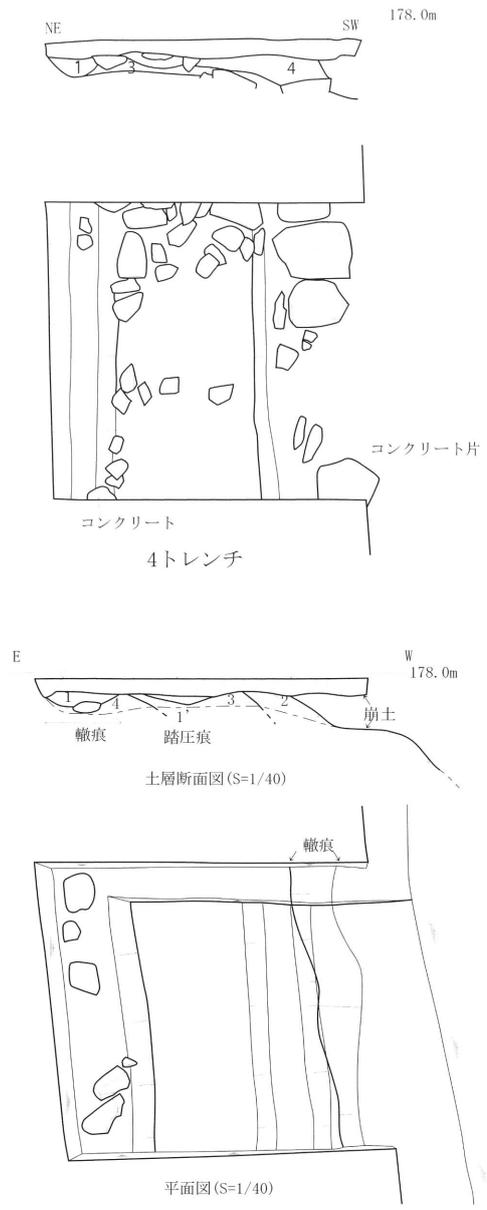
落ち込みの中には、平坦面を上にした一辺30～40cm程の結晶片岩が3石据えられていた。両者とも車輪の轍だと推定される。両者の間隔は上端で約0.7m～0.8mである。近代の陶器の甕の破片が1点出土した。

◎第5トレンチ 東端で、南北方向の幅約40cm・深さ12cmの浅いU字状の溝を検出した。溝の中には、平坦面を上にした一辺10～20cm程の石材が5石据えられていた。西端で南北方向の約35cm・深さ6cmの浅いU字状の溝を検出した。両者とも車輪の轍だと推定される。両者の間隔は上端で約0.6mである。近現代の国産陶磁器少量と銚子が1点出土した。

<調査の所見>

上記のとおり、各トレンチで道路に平行する自動車の轍と考えられる浅い溝を道路の両端で検出した。地元の人々の話では、戦後に道路を整備し、その後、ダイハツ社製ミゼットと呼ばれていたオート三輪車を農耕車として使用していたと言ひ、周辺の民家で、廃車となったミゼットが見られた。ミゼットは、昭和32～47年まで製造されており、全幅が1.2m、車輪幅は約1.0mである。各トレンチで検出された溝の幅とほぼ合致する。

道路は、元来1.2mほどの幅であったが谷川に土砂を盛って拡張している事が判明した。現状では、地山面で戦後の路面であり、それより古い道路路面は、検出できなかった。



- 5トレンチ土層
- 1: にぶい暗色(2.5Y6/3)砂質土 (1～2cm大の円礫を含む、コンクリートの施行時の整地土)
  - 1\*: 浅黄色(2.5Y7/4)砂質土 (1～2cm大の円礫を含む、コンクリートの施行時の整地土)
  - 2: オリーブ黄色 (5Y6/3) 砂質土 (5mm大の礫わずかに含む、地山)
  - 3: 明黄褐色(10YR7/6)粘質土 (よくしまっている、地山)
  - 4: 明黄褐色(2.5Y7/6)砂質土 (2～3cm大の円礫が多く含む、地山)

5トレンチ トレンチ平面図・断面図 S=1/40

#### 4 東渋田遺跡

(調査件名：09-94-49)

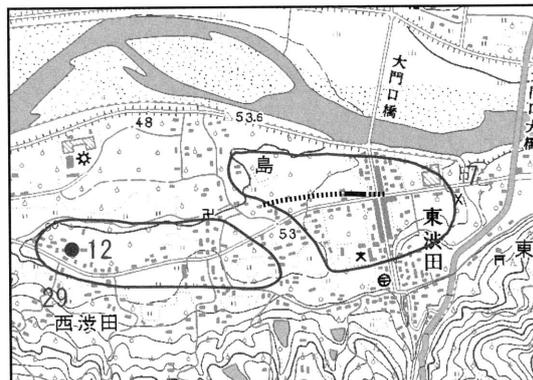
種別：試掘確認調査

遺構：ピット

所在地：伊都郡かつらぎ町東渋田29-1・31-2

遺物：土師器・石器

<調査の経緯> 和歌山県による県道東和歌山橋本線道路改良事業に伴い、現県道との接続道路及び駐在所の移転が計画されたが、その予定地の一部が周知の埋蔵文化財包蔵地である東渋田遺跡に該当したため、事業者と協議を行った結果、試掘確認調査を実施することとなった。

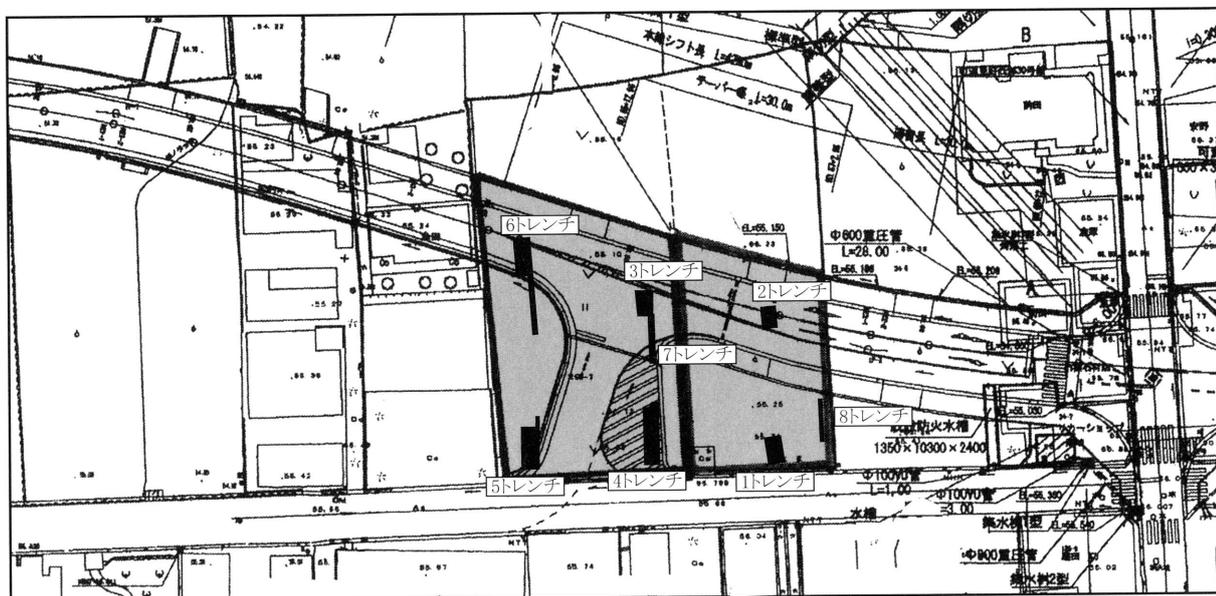


調査位置図

東渋田遺跡は、紀ノ川南岸の段丘上に立地し、弥生時代から中世の散布地として知られ、周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲は東西300m、南北150mに及ぶ。今回の調査対象地は、遺跡のほぼ中央付近に位置し、調査以前は水田として利用されていた。

<既往の調査> 既往の調査としては、県道を挟んだ南側で工事立会及び町教育委員会による確認調査が実施されており、古墳時代以前かと思われるピット等が検出されている。また、渋田小学校でも町教育委員会による確認調査で遺構が検出され、平成22年度及び平成23年度に本発掘調査が実施されている。この他、小学校北西側の立会調査では竪穴住居跡が検出されており、遺跡は渋田小学校のグラウンドから北～北西の範囲に展開しているものと推定される。一方、遺跡北東側についてのデータは十分でないが、工事立会では遺構・遺物とも確認されていない。

<調査の成果> **基本土層** 堆積土層は次の6つの層に大別し、枝番で細分した。細分層は各トレンチ間において対応しない。1層：現耕作土、2層：水田造成土、3層：微量の遺物を含む褐灰色シルト～細砂層で4、5トレンチでのみ検出した。県道南側の調査で検出されている遺物包含層に対応する可能性高い。4層：灰黄色シルト層で7トレンチでのみ検出した。ベース土に比べ色調がやや暗くサヌカイトを含む。5層：黄色系のシルト層で遺構検出



トレンチ配置図 S=1/1,000

面である。4、5、6、7トレンチで検出した。第6層：砂礫層で自然堆積の無遺物層である。

**1トレンチ** 対象地南東部に設定した幅2.3m×長さ3.7mのトレンチである。現地盤の標高は約55.3mで、1、2、6層が堆積する。2層はベース土の可能性も考えられたため上面で精査したが、遺構は検出されなかった。2層から遺物の出土はなかったものの、攪拌され汚れた土であることから造成土と判断した。2層上面の標高は55.1m、6層上面の標高は54.7mである。遺構、遺物とも検出されなかった。

**2トレンチ** 対象地北東部に設定した幅2.1m×長さ3.0mのトレンチである。現地盤の標高は約55.3mで、1、2、6層が堆積する。2層上面で遺構は検出されなかった。2層は1トレンチと同様、造成土と判断した。6層は北西方向に緩く傾斜堆積する。2層上面及び6層上面の標高は55.1m、54.7～54.8mである。遺構、遺物とも検出されなかった。

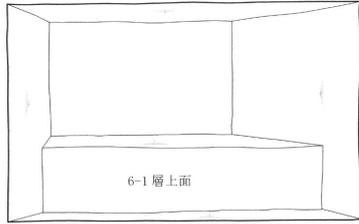
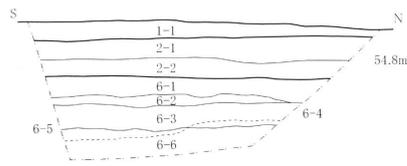
**3トレンチ** 対象地中央北側に設定した幅2.3m×長さ3.5mのトレンチである。現地盤の標高は約55.2mで、1、2、6層が堆積する。2層上面で遺構は検出されなかった。2層は1、2トレンチと同様、造成土と判断した。6層は2トレンチと同様、北西方向に緩く傾斜堆積する。2層上面及び6層上面の標高は55.0m、54.5mである。遺構、遺物とも検出されなかった。

**4トレンチ** 対象地中央南側に設定した幅2.1m×長さ8.0mのトレンチである。現地盤の標高は約55.2mで、1、3、5、6層が堆積する。3層は南端から2mの範囲にのみ認められ、これより北側は1層の直下が5層となる。5層は黄色系のシルト層で上面の標高が55.0mである。5層上面で精査を行ったところ、ピット6基、杭跡と考えられる小穴3基を検出した。遺物は3層からサヌカイト片と土師器小片が各1点出土した。ピット5基について部分掘削したが、遺物の出土はなかった。

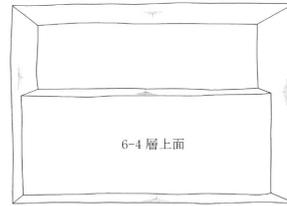
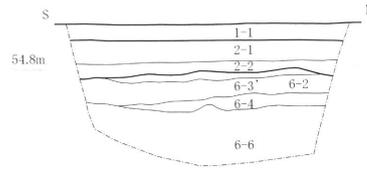
**5トレンチ** 対象地南西部に設定した幅2.4m×長さ7.1mのトレンチである。現地盤の標高は約55.2mで、1、3、5、6層が堆積する。3層は南端から6mの範囲に認められ、これより北側は1層の直下が5層となる。5層は黄色系のシルト層で上面の標高が55.0mである。5層上面で精査を行ったところ、ピット14基を検出した。ピット6基について部分掘削したところ、サヌカイト1点が出土した。この他、1、3層から土師器小片が2点出土した。

**6トレンチ** 対象地北西部に設定した最大幅2.3m×長さ13.0mのトレンチである。5トレンチで検出した遺構の展開状況及び土層対応関係を確認するため、幅80cmで南側に約8m拡張した。現地盤の標高は約55.2mで、1、2、5、6層が堆積する。5層は南端部で5トレンチと同様黄色系のシルト層が検出されたが、北方へ向かい落ち込む。この落ち込み部は2層により整地されている。南端部の5層上面の標高は55.0mである。狭小な範囲であったが、5層上面で精査を行ったところ、ピット1基を検出した。遺物の出土はなかった。

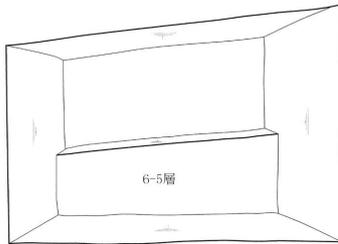
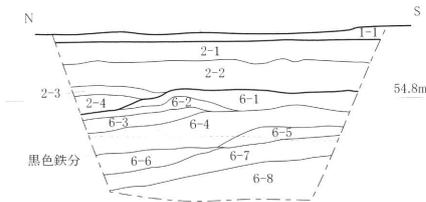
**7トレンチ** 3トレンチ南に設定した最大幅0.9m×長さ6.6mのトレンチである。4トレンチで検出した遺構の展開状況及び土層対応関係を確認するため設定した。現地盤の標高は約55.2mで、1、2、4、5、6層が堆積する。5層は南端部で5トレンチと同様黄色系のシルト層が検出されたが、南端から1m程で北方へ向かい落ち込む。この落ち込み部には4層が堆積した後、2層により整地されている。4層はベース土である5層に類似するがやや色調が暗く、サヌカイト片が出土した。南端部の5層上面の標高は55.0mである。この他、5層上面で杭跡を検出した以外遺構、遺物とも認められなかった。



1トレンチ



2トレンチ



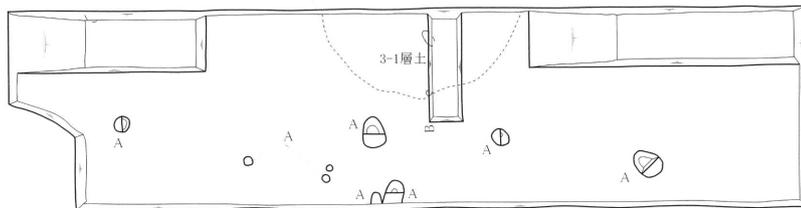
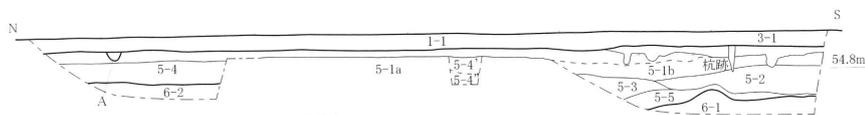
3トレンチ

1, 2トレンチ

- 1-1: 褐灰色(10YR4/1)細砂
- 2-1: 灰黄色(2.5Y6/2)シルト、鉄分中量
- 2-2: 灰黄褐色(10YR6/2)シルト、細砂含む、鉄分多量
- 6-1: 黄灰色(2.5Y6/1)中砂、鉄分中量
- 6-2: 黄灰色(2.5Y6/1)砂礫、~10cm大円礫多量
- 6-3: 黄灰色(2.5Y6/1)~灰白色(2.5Y7/1)粗砂、鉄分局所的に集中
- 6-3': 5-3層より鉄分多量、~2cm大円礫中量含む
- 6-4: にぶい黄褐色(10YR5/3)粗砂、上位に鉄分集中、黒色化
- 6-5: にぶい黄褐色(10YR5/3)砂礫、~5cm大円礫多量
- 6-6: にぶい黄褐色(10YR5/3)砂礫、南側上位に鉄分集中

3トレンチ

- 1-1: 褐灰色(10YR4/1)細砂
- 2-1: にぶい黄褐色(10YR6/3)細砂 鉄分中量と~2cm大円礫少量を含む
- 2-2: にぶい黄褐色(10YR6/3)細砂 2-1層よりやや粗い、鉄分中量を含む
- 2-3: にぶい黄褐色(10YR6/3)細砂~シルト 鉄分中量を含む
- 2-4: にぶい黄褐色(10YR6/3)細砂~シルト 2-3層よりやや粗い、鉄分中量を含む
- 6-1: にぶい黄褐色~にぶい黄褐色(10YR6/3~10YR5/3)粗砂 ~2cm大円礫中量を含む
- 6-2: にぶい黄褐色~にぶい黄褐色(10YR6/3~10YR5/3)粗砂 ~5cm大円礫中量を含む
- 6-3: にぶい黄褐色(10YR5/3)砂礫 ~5cm大円礫を含む
- 6-4: 褐灰色(10YR6/1)、にぶい黄褐色(10YR5/3)砂礫 ~2cm大円礫を含む 黒色化
- 6-5: 褐灰色(10YR6/1)、にぶい黄褐色(10YR5/3)粗砂 ~20cm大円礫を含む
- 6-6: 褐灰色(10YR6/1)、にぶい黄褐色(10YR5/3)砂礫 ~5cm大円礫を含む
- 6-7: 褐灰色(10YR6/1)、にぶい黄褐色(10YR5/3)砂礫 ~5cm大円礫を含む
- 6-8: 暗灰黄色(2.5Y5/2)粗砂 ~2cm大円礫を含む



4トレンチ

- 1-1: 褐灰色(10YR4/1)細砂 下に鉄分沈着
- 3-1: 褐灰色(7.5YR4/1)シルト~細砂、マンガン多量、局所的にベース土含む
- 5-1a: 浅黄色(2.5Y7/3)シルト、細砂と鉄分少量、上方からの影響(根等)大
- 5-1b: 浅黄色(2.5Y7/3)シルト、細砂と鉄分中量
- 5-2: 浅黄色(2.5Y7/3)シルト、鉄分中量
- 5-3: にぶい黄褐色(10YR6/4)シルト、鉄分中量
- 5-4: にぶい黄褐色(10YR6/4)細砂、粗砂・~2cm大円礫・鉄分中量含む
- 5-3' 5-3より鉄分多い

5-4', 5-3'に近い

- 5-4': 5-4'より鉄分多量
- 5-5: にぶい黄褐色(10YR5/4)シルト、~2cm大砂礫含む
- 6-1: にぶい黄褐色(10YR5/3)砂礫、~2cm大円礫と角礫含む
- 6-2: にぶい黄褐色(10YR5/3)

遺構埋土

- A: 褐灰色~灰黄褐色(10YR4/1~10YR4/2)シルト 礫少量を含む

4トレンチ

トレンチ平面図・断面図 S=1/80

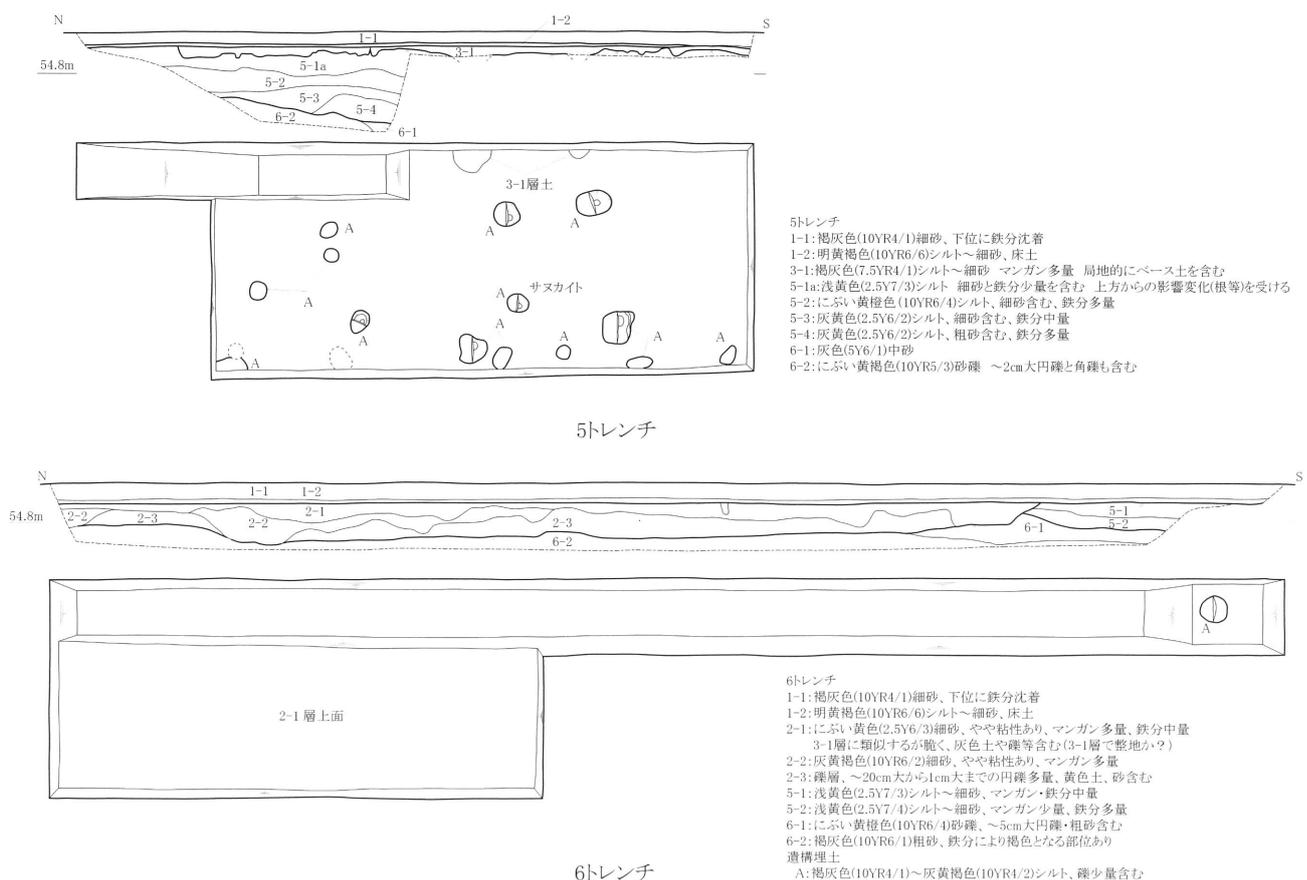
**8トレンチ** 対象地東端に設定した最大幅0.6m×長さ5.8mのトレンチである。現地盤の標高は約55.2～55.3mで、1、2、6層が堆積する。2層は粗砂を含み軟質で、6層は粗砂層で円礫を含む。2層上面及び6層上面の標高は55.1m、54.8mである。遺構、遺物とも検出されなかった。

<調査の所見> 上記のとおり、4、5トレンチと6トレンチ南端部で遺構を検出したが、これ以外のトレンチで遺構は検出されなかった。また、県道南側で検出された遺物包含層に連続すると考えられる3層は4、5トレンチでのみ確認されたが、いずれのトレンチでも南側での堆積が中心で、北側への広がりはいずれのトレンチ付近で途切れることが判明した。

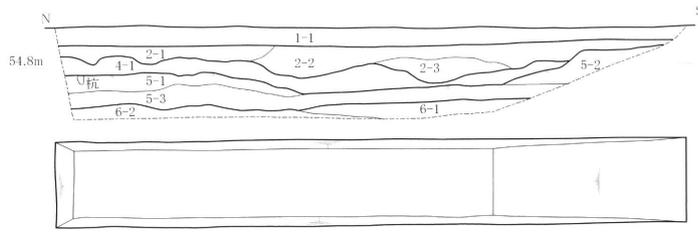
対象地は標高54.6m前後まで砂礫層（6層）が堆積するが、4、5トレンチ付近にのみその上部には黄色系シルト層（5層）が堆積し、遺構面を形成している。この周辺の落ち込み部には、前述の黄色系シルト層に類似する黄白色系の2層が堆積するが、この2層には攪拌された痕跡が認められたため造成土と判断した。なお、当初ベース土である可能性も考えられたため、2層上面でも精査を行ったが、遺構は検出されていない。

以上から遺構及び3層が検出された4、5、6トレンチ周辺に埋蔵文化財が展開しており、その他の範囲については埋蔵文化財が展開する可能性は極めて低い。

このため、4、5、6トレンチ周辺の工事に際しては、平成19年教育長通知「和歌山県における発掘調査等を要する場合の取扱い基準」に基づく記録保存目的の本発掘調査が必要と判断した。

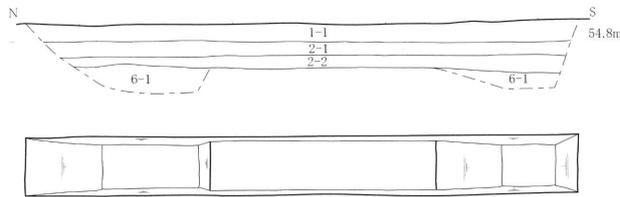


トレンチ平面図・断面図 S=1/80



- 7トレンチ
- 1-1: 褐灰色(10YR4/1)細砂、下に鉄分沈着
  - 2-1: にぶい黄色(2.5Y6/3)シルト、細砂含む、鉄分多量、軟質
  - 2-2: にぶい黄褐色(10YR6/4)シルト～細砂、鉄分多量、軟質
  - 2-3: にぶい黄色(2.5Y6/3)細砂、やや粘性あり、鉄分中量
  - 4-1: 灰黄色(2.5Y6/2)シルト、細砂含む、サヌカイト出土
  - 5-1: にぶい黄褐色(10YR6/3)シルト～細砂、鉄分中量
  - 5-2: 浅黄色(2.5Y7/3)シルト、細砂含む
  - 5-3: にぶい黄褐色(10YR6/3)シルト～細砂、鉄分中量、植物痕跡あり
  - 6-1: 褐灰色(10YR6/1)粗砂、鉄分により褐色となる部位あり
  - 6-2: 灰白色(2.5Y7/1)砂礫、～10cm大円礫含む

7トレンチ



- 8トレンチ
- 1-1: 褐灰色(10YR4/1)細砂
  - 2-1: 灰黄色(2.5Y6/2)シルト、粗砂多く含む、～2cm大円礫少量、鉄分中に含む、軟質
  - 2-2: 灰黄褐色(10YR6/2)粗砂、シルト含む、鉄分中量、～3cm大円礫少量を含む、軟質
  - 6-1: 灰黄褐色(10YR6/2)粗砂、鉄分多量、礫を含む

8トレンチ

トレンチ平面図・断面図 S=1/80

## 5 笠田東遺跡

種別：工事立会

所在地：伊都郡かつらぎ町笠田東825

＜調査の経緯＞ 10-94-36地点は、笠田高等学校の北館と中央棟を繋ぐ渡り廊下増築の基礎工事に伴い工事立会を実施した。一方、11-94-43地点は、笠田高等学校グラウンドのスポーツ施設増改築に伴う投擲囲い及びテニスコート改修に伴う工事立会を実施した。

＜調査の成果＞ 10-94-36地点では、3m四方の1トレンチと3m×1mの2トレンチの2箇所で行立会を実施した。

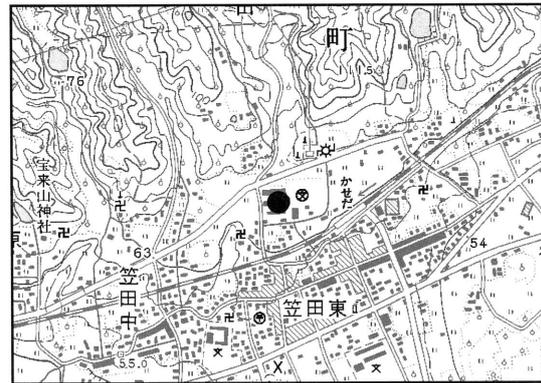
1層はコンクリート片等を含む近現代造成土で、2層は遺物等を含まない土壌で、このうち2-3層は土質・しまり具合等から地山と考えられる。

1トレンチでは現GL-0.9mまで1層が堆積し、その直下で2-3層を検出した。2トレンチでも、1トレンチ同様、現GL-0.9mまで1層が堆積していたが、1トレンチと異なり2-1・2層

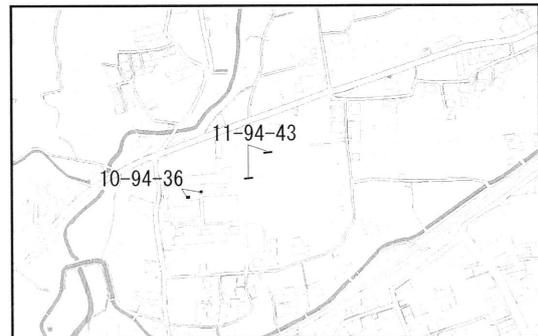
(調査件名：10-94-36、11-94-43)

遺構：なし

遺物：なし



遺跡位置図



調査配置図

も検出された。工事立会箇所周辺の校舎建築に際し、土壌整地が行われた結果、1トレンチでは2-1・2層が削平されたものと推定される。

また、いずれのトレンチでも2-3層は、北から南へと傾斜堆積していることが断面観察で確認され、遺物の出土も確認されなかった。そのため、周辺には埋蔵文化財が残存する公算が低いと判断し、施工者には慎重工事を指示した。

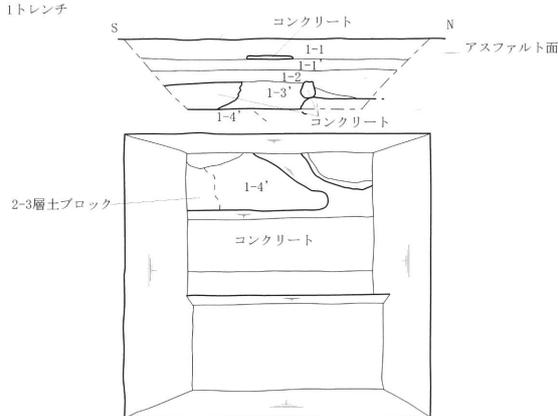
11-94-43地点では、投擲囲い工事箇所に1トレンチ、テニスコート南側囲い改修工事箇所に2トレンチで、いずれも0.8m×6mの範囲の立会を実施した。

1層はグラウンド造成のための粗砂、砂利及び砂礫土で、2層は2トレンチのみで確認されたグラウンド造成に伴い搬入されたとみられる整地土、3層は地山とみられる土壌である。

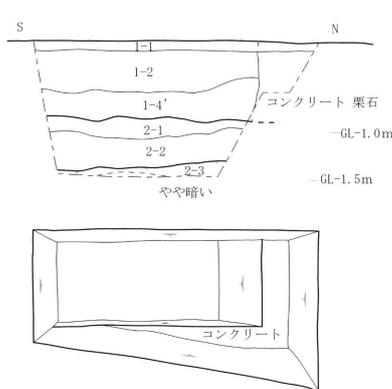
1トレンチでは、1層がグラウンドレベルから約40cm堆積しており、1層直下で3層を検出した。3層にはトレンチ中央部に幅1.5m程度のグラウンド造成前の近現代水路が掘削されていたことを確認した。2トレンチでは、1層がグラウンドレベルから約30cm、さらに整地土である2層も約30cm堆積して、3層を検出した。周辺地形を勘案すると、標高の高いとみられる1トレンチ周辺では地山を削平するとともに、標高が低い南側の2トレンチ周辺では盛土を行うことにより、グラウンドレベルを平坦に合わせたと推定される。いずれのトレンチでも遺構、遺物ともに確認されなかったため、施工者には慎重工事を指示した。

(10-94-36)

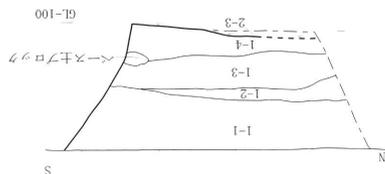
1トレンチ



2トレンチ



001-79



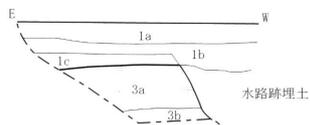
- 1-1: 黄褐色(2.5Y5/3)細砂 砂礫と斑に黄色土と明褐色土を含む 盛土
- 1-1': にぶい黄色(2.5Y6/4)細砂〜シルト 斑に黄色土と明褐色土(黄色土の比率が高い)を含む
- 1-2: 明黄褐色(2.5Y6/6)細砂 暗褐色土斑を含む
- 1-3: 灰黄褐色(10YR5/2)粗砂 砂礫 プラスチック
- 1-3': 灰黄褐色(10YR5/2) 1-3層より砂礫が少なく細砂ベース
- 1-4: にぶい黄褐色(10YR6/4)細砂 炭とプラスチック型砕片と2-1層が斑を含む
- 1-4': にぶい黄褐色(10YR6/4)細砂 1-4層よりやや赤味 2-1層に砂礫が多く含む
- 2-1: オリーブ黄(5Y6/4)中砂 やや軟質
- 2-2: 灰オリーブ(5Y5/2)砂礫
- 2-3: 明黄褐色(10YR6/6)シルト〜細砂 地山

(11-94-43)

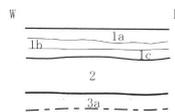
1トレンチ



2トレンチ



- 1a: にぶい黄褐色(10YR7/2)粗砂 グラウンド
- 1b: 砂利
- 1c: にぶい橙色(7.5YR7/3)砂礫土 盛土
- 2: にぶい橙色(7.5YR7/3)砂礫土
- 3a: 浅黄色(10YR8/3)シルト 地山
- 3b: 明褐色(7.5YR5/6)粗砂



トレンチ平面図・土層図 S=1/80

## 6 下丹生谷遺跡

(調査件名：11-94-12)

種別：確認調査

遺構：なし

所在地：紀の川市下丹生谷344-1

遺物：陶磁器

<調査の経緯> 和歌山県が計画した耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業に伴う確認調査を実施した。

<調査の成果> 下丹生谷遺跡は、丘陵頂部の周辺部を中心とするが、確認調査対象地にあたる包蔵地の西側は丘陵裾部から谷部にまで範囲が及ぶ。ただし、包蔵地西半部の大半は、急傾斜の斜面地であり、遺跡の展開は想定されなかったことから、依頼された確認調査対象地のうち、谷部平坦地の現在果樹園として利用されている範囲にトレンチを設定することとした。

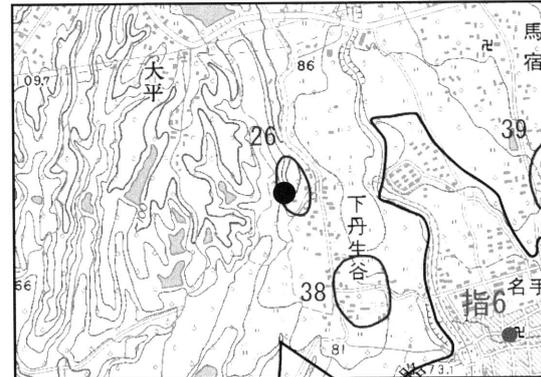
トレンチは2m×2mのトレンチを設定し、搬入路の幅員から重機の搬入が困難と判断されたため、人力による掘削を行った。

層位は、1層：表土(1a)と攪乱土(1b~d)、2層：耕作土(2a・2b)と耕作土以前の造成土(2c)、3層：地山の堆積を確認した。堆積状況から、果樹園として利用される以前には圃場として利用されていたことを確認した。圃場として利用される以前には、平坦面を造成するため南側の一部に造成土(2c)による地業が行われている。

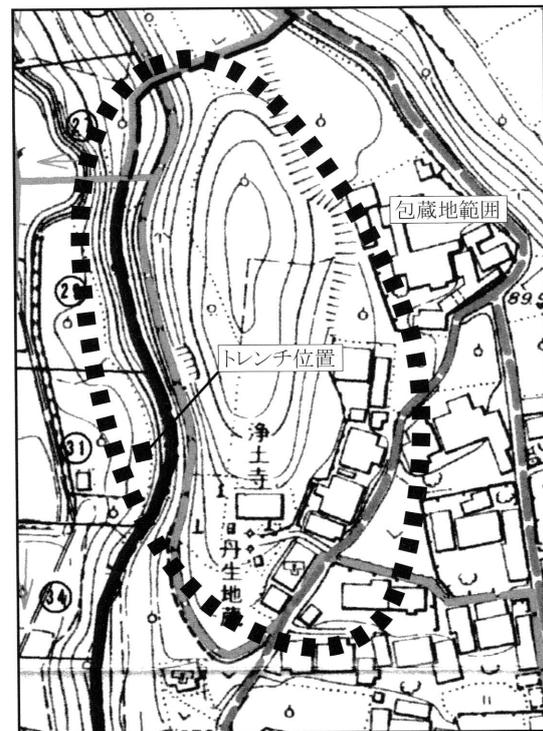
3層の地山は、現地表面から30cm程度の深度で検出され、3層上面を精査したものの攪乱以外は検出されなかった。

出土遺物は、2b層から土師器とみられる破片が数片と近世陶磁器片1片が採取されたのみである。

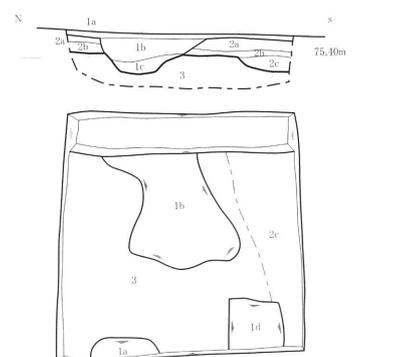
<調査の所見> 確認調査の結果、遺物は数片採取されたものの、遺構は検出されなかった。また、下丹生谷遺跡の西側は急斜面地から斜面裾部、西側谷部の平坦部という地形であるが、遺構の展開が想定できない急斜面地であり、また平坦部は今回の確認調査では遺構は確認されなかったことから、遺跡の中心は丘陵頂部の周辺と想定することができる。このことから、対象工事については慎重工事の措置が適当と判断した。



遺跡位置図



トレンチ配置図 S=1/2,500



- 1a 黒色(7.5v2-1)砂質土(表土)
- 1b 2:5a-黄褐色(10vR7-2)砂礫土(攪乱土)
- 1c 黒褐色(10vR3-1)砂質土・炭化物含む(攪乱土)
- 1d 2:5a-黄褐色(10vR7-2)砂礫土・黒色(7.5v2-1)砂質土10%混(攪乱土)
- 2a 黄灰色(2.5v6-1)シルト質土(耕作土)
- 2b 褐色(7.5vR7-4)シルト質土(表土)
- 2c 2:5a-黄褐色(7.5vR6-1)砂質土
- 3 2:5a-黄褐色(10vR6-3)砂質土・直径5~10mmの角礫3%含む

トレンチ平面図・断面図 S=1/100

## 7 粉河寺遺跡

(調査件名：06-94-1)

種別：工事立会

遺構：なし

所在地：紀の川市粉河地内

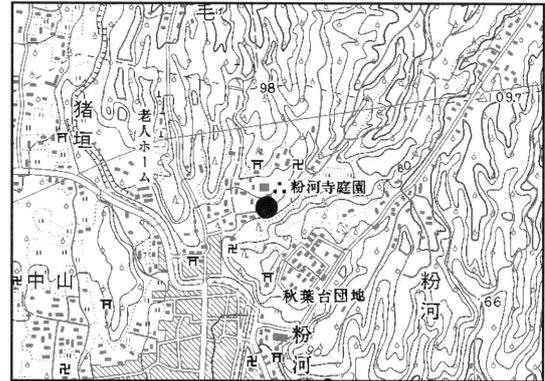
遺物：なし

＜調査の経緯＞ 長屋川河川改良工事に伴う工事立会をA、Bの2地点において実施した。

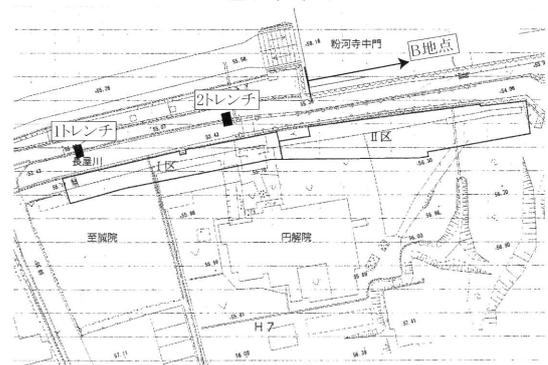
＜調査の成果＞ **A地点** 対象地である長屋川右岸に2か所のトレンチを設定して確認した。工事掘削深さまで掘削したが、これ以下については湧水が激しく断念せざるを得なかった。1、2トレンチとも工事前まで存在した近現代築造の石垣の胴木を検出した。堆積土層は、1層：盛土、2層：石垣設置後の堆積土、3層：石垣設置時の盛土、4層：石垣設置前の堆積土からなる。3層までは近現代の遺物を含むが、4層からの遺物の出土はなかった。4層は堆積状況から人為的な盛土ではなく、自然堆積土と判断された。

**B地点** 今回の工事範囲は現地確認の結果、掘削が現代盛土内に収まることが判明した。

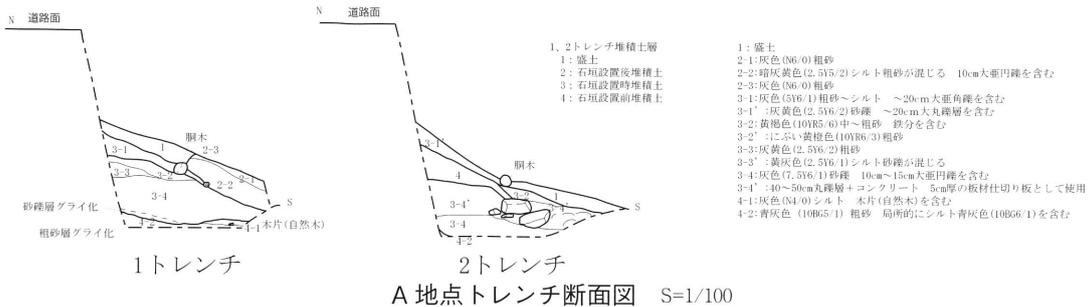
＜調査の所見＞ A、B両地点とも工事による埋蔵文化財への影響がないことが確認されたため、慎重工事の措置とした。



遺跡位置図



調査位置図 S=1/500



A地点トレンチ断面図 S=1/100

## 8 貴志城跡

(調査件名：09-94-86)

種別：工事立会

遺構：なし

所在地：紀の川市貴志川町神戸・長原地内

遺物：なし



遺跡位置図



調査位置図 S=1/5,000

## 9 西の側遺跡

(調査件名：11-94-10)

種別：試掘確認調査

遺構：なし

所在地：紀の川市貴志川町岸宮地内

遺物：なし

＜調査の経緯＞ 大和紀伊平野農業水利事業に伴う紀伊平野山田ダム建設工事に伴い試掘確認調査を実施することとなった。

＜調査の成果＞ **トレンチの配置** 市道上に計8箇所の特レンチを配置した。東端の8トレンチ以東にも遺跡範囲は続くが、谷状地形で埋蔵文化財は展開しないものと判断されることから調査区の設定は行っていない。

**基本土層** 1層：現有道路のアスファルト及び盛土、2層：旧道路面及びその盛土、3層：旧水田耕作土及びその造成土、4層：シルト層から砂礫層の河川及び湿地堆積土、5層：地山層。

**1トレンチ** 2-1層は近年まで機能していた旧道路面である。2-3～2-9層は道路建設の際の盛土で、これ以下には4層が堆積する。遺構、遺物とも検出されなかった。

**2トレンチ** 1、4層が堆積する。遺構、遺物とも検出されなかった。

**3トレンチ** 1、3、4層が堆積する。4層は河川堆積層である。遺構、遺物とも検出されなかった。

**4トレンチ** 1、3、4層が堆積する。4層は河川堆積層で、西側へ傾斜堆積する。遺構、遺物とも検出されなかった。

**5トレンチ** 1、4層が堆積する。道路造成のため1m近い盛土がある。4層はグライ化気味で南側へ傾斜堆積する。3、4トレンチから続く谷状地形内で、遺構、遺物とも検出されなかった。

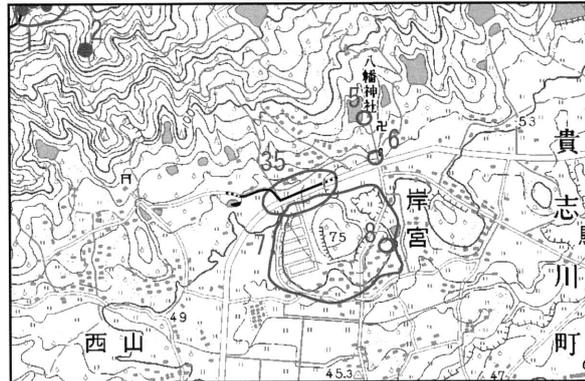
**6トレンチ** 1、4層が堆積する。道路造成のため1.4m程度の盛土がある。遺構、遺物とも検出されなかった。

**7トレンチ** 調査対象地の中で最も高い地点に位置する。1層の下が5層の地山層となる。南北の現地表面と道路面の高低差は1.5～2mあり、道路造成時に大きく削り取られたものと推定される。遺構、遺物とも検出されなかった。

**8トレンチ** 東側へ落ち込む傾斜部に位置する。1、3、5層が堆積する。60cm前後の厚さを持つ3層の下に5層が堆積する。5層上面の標高は53.6m前後で7トレンチより1m程度低く東側へ大きく落ち込んでいる。なお、5層上面は平坦面をなすが、これは直上に堆積する3-4層の存在から水田造成時に削平されたためと推定される。遺構、遺物とも検出されなかった。

＜調査の成果＞ 今回設定したトレンチでは、遺構、遺物ともに検出されなかった。

現地地形と調査成果と併せて旧地形を復元してみると、3トレンチから6トレンチは南北に延びる西側の谷状地形の内に位置しており、中でも3、4トレンチ及びやや南に下った5トレンチが谷の中心付近に相当すると考えられる。1トレンチ付近は小さな谷状地形で、2トレンチ付近はやや地



遺跡位置図

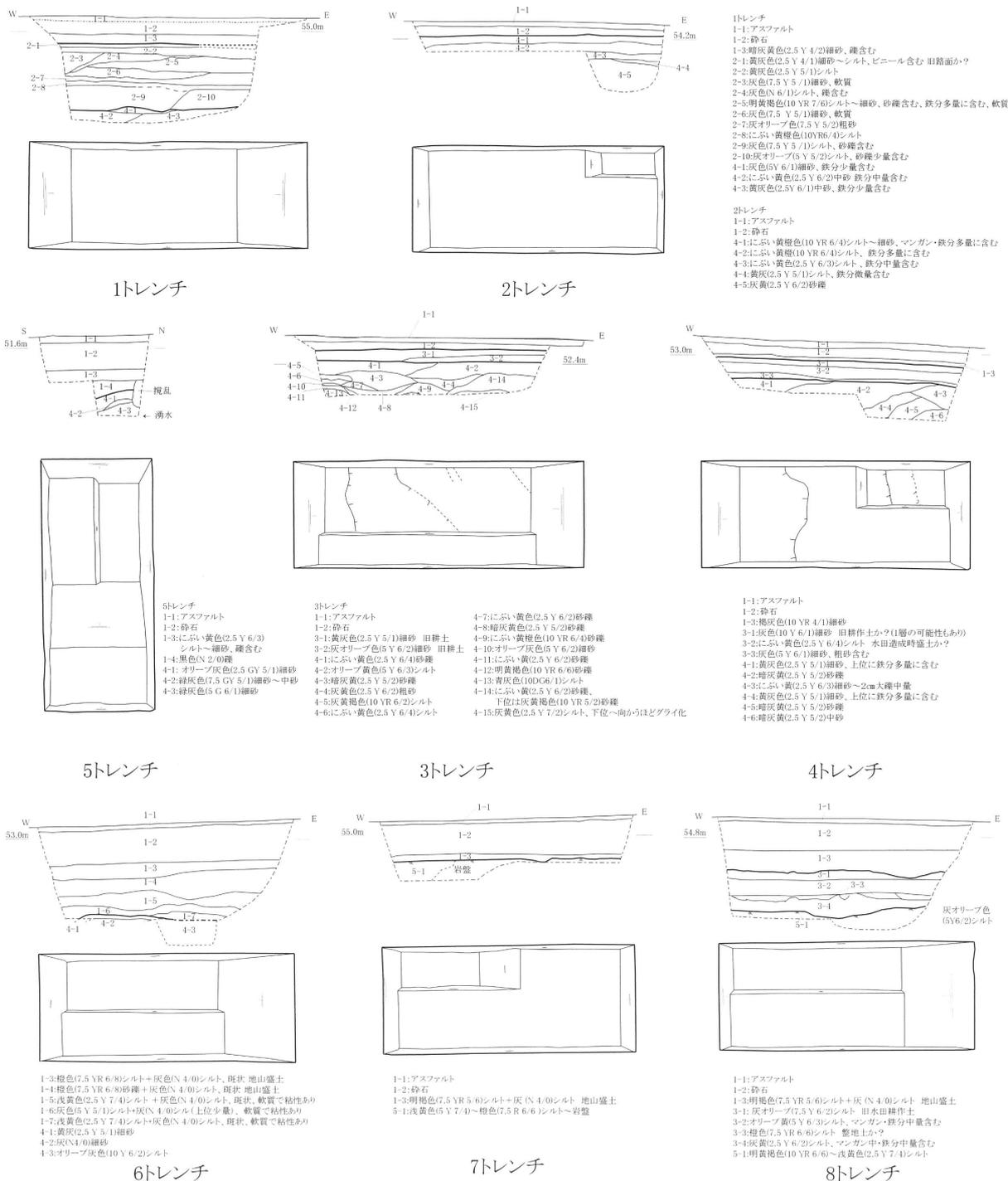


トレンチ配置図 S = 1/4,000

盤の安定した土層の堆積が確認される。ただ、この安定した堆積土下には砂礫層が認められ、ある時点で乾燥状態にあった微高地上の地形であったことがわかる。

一方、8トレンチの東側にも別の谷状地形が存在し、安定した地盤は北側の丘陵から南側の八岡山城が存在する丘陵に連続する7トレンチ付近のわずかな尾根部に限られる。地元の聞き取り調査によれば、この西の側遺跡で石鍬やサヌカイトが採集されたのは7トレンチ付近であり、この尾根部に遺跡が展開していることが推定される。ただし、今回の対象地域は現有道路部分であり道路工事の際に1.5~2m近く削平されているため、遺構が遺存する可能性は極めて低い。

以上のことから、工事対象範囲については、本発掘調査を要しない範囲と判断した。



トレンチ平面図・断面図 S=1/100

## 10 栗島遺跡

種 別：確認調査

所在地：紀の川市東大井字角田11番3・4・5

＜調査の経緯＞ 周知の埋蔵文化財包蔵地栗島遺跡の範囲内に位置する和歌山県土地開発公社の所有地において土地利用計画が検討された。協議の結果、事業者より事前に埋蔵文化財の分布状況を把握するための確認調査の依頼があり、確認調査を実施することとなった。

＜現況＞ 栗島遺跡周辺の地形は、紀の川右岸の河岸段丘上に立地する。北側に位置する和泉山脈から南流する小河川によって形成された南北に延びる谷状地形が存在し、この谷状地形には多くのため池が造られている。今回の対象地は角田小池の南側に位置し、現在ゲートボール場及び空き地となっている。

＜既往の調査＞ 遺跡の西半では、昭和62年度に財団法人和歌山県文化財センターにより宅地造成に伴う発掘調査により掘立柱建物群が検出され、那賀郡衙の可能性も指摘されている。このほか紀の川市教育委員会（旧打田町教育委員会含む）により、発掘調査及び工事立会が実施されており、古代に帰属する柱穴等が検出されている。今回の対象地付近である遺跡範囲の東半について詳しく見ると、対象地北西部で個人住宅建設に伴う工事立会が実施され、柱穴等の遺構が検出されているが、北東部の宅地造成部の工事立会では遺構の展開は確認されていない。

このように既往の調査からは、栗島遺跡の中心は西半にあり、東へ向かうほど希薄になる傾向が伺える。

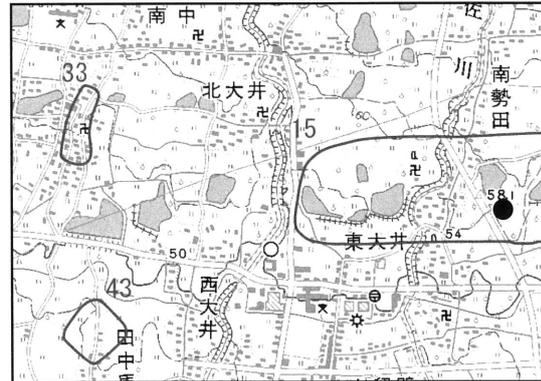
＜調査の成果＞ **調査の方法** 調査対象地に6箇所のトレンチを設定し調査を実施した。水平高さは西側を南北に走る県道泉佐野打田線の道路面を基準とした。

基本土層 1層：造成土（50cm大の角礫多量）、2層：旧耕作土及び造成前の盛土（盛土には現代のゴミ多量に含む）、3層：古代に帰属する遺物包含層（褐灰色系のシルト～細砂層）、4層：地山層（やや軟質）、5層：地山層。

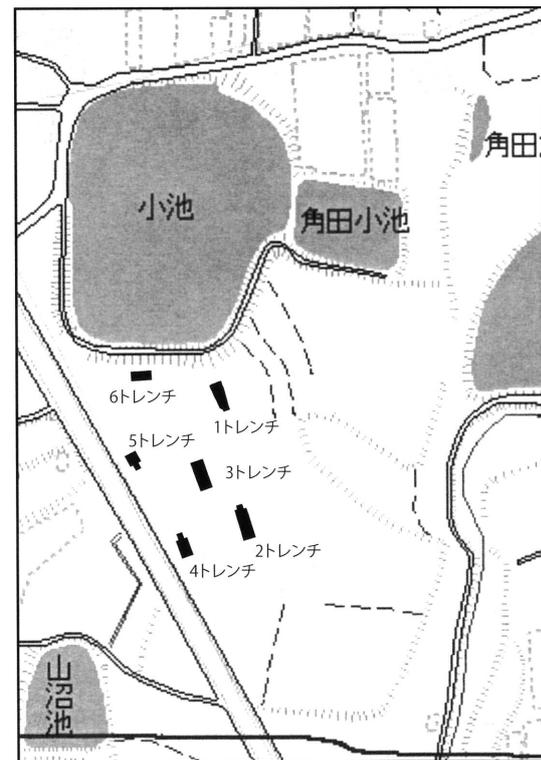
**1トレンチ** 調査対象地北東部に設定した最大長さ9.6m×最大幅4.2mのトレンチである。1層の盛土が140～150cm堆積する。4層及び5層は西北西に傾斜堆積する。4層の標高が高い南東部には3層の堆積は認められず、3層堆積後に削平されたものと推定される。

遺構：溝・土坑・石積み・ピット

遺物：土師器・瓦



遺跡位置図



トレンチ配置図 S=1/2,500

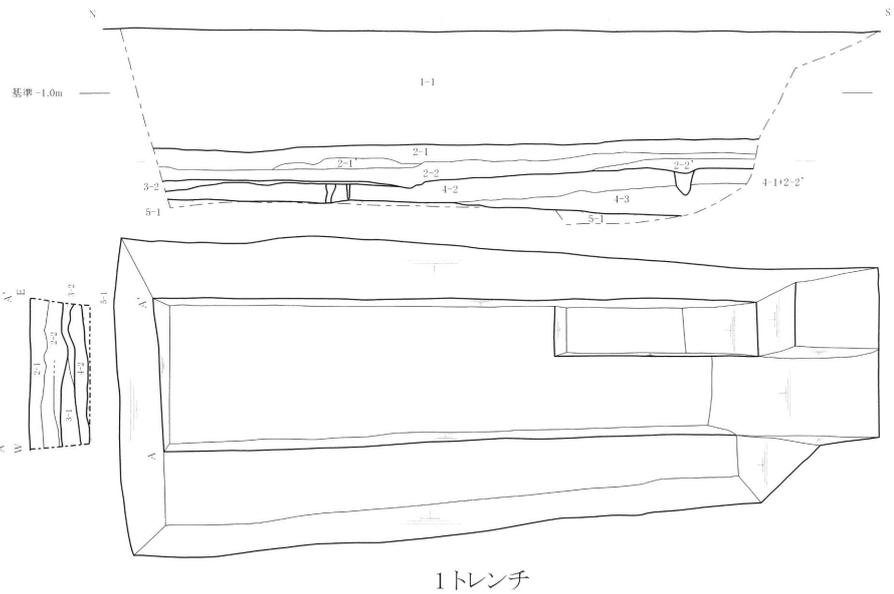
安定的な地盤を有する4-4、5-1層上面で精査したが、遺構は検出されなかった。この上面の高さは基準点から-2.4~-2.6mである。遺物は3層から少量の土師器が出土した。

**2トレンチ** 調査対象地南東部に設定した最大長さ11.9m×最大幅4.2mのトレンチである。1層の盛土が60cm堆積する。4層及び5層は北西方向に傾斜堆積するが上面はほぼ水平である。上面の高さは基準点から-1.0mである。3層は10cm余りの厚さで、北へ向かうほど薄くなる。

5層上面で精査したところ、北東から南西に延びる溝状遺構1条と土坑1基を検出した。溝状遺構を部分掘削したところ、浅い皿状の断面形状を呈し、埋土からは土師器片及び古代瓦が出土した。土坑は掘削していないが、埋土中に土師器片を含む。

**3トレンチ** 調査

対象地中央付近に設定した最大長さ10.0m×最大幅4.3mのトレンチである。1層の盛土は130~140cm堆積する。4層南端で北西方向に大きく落ち込んだ後、ほぼ平坦面を形成する。平坦面上面の高さは基準点から-2.7m~-2.8mである。3層は南端部でのみ確認された。4層南端部の傾斜変換点では石積みと木杭が設置されていることが確認された。石積み設置時に用いられた埋土から遺物の出土はなく時期の比定には至らなかったが、土質及び土色は3層に類似するため、古代まで遡る可能性も

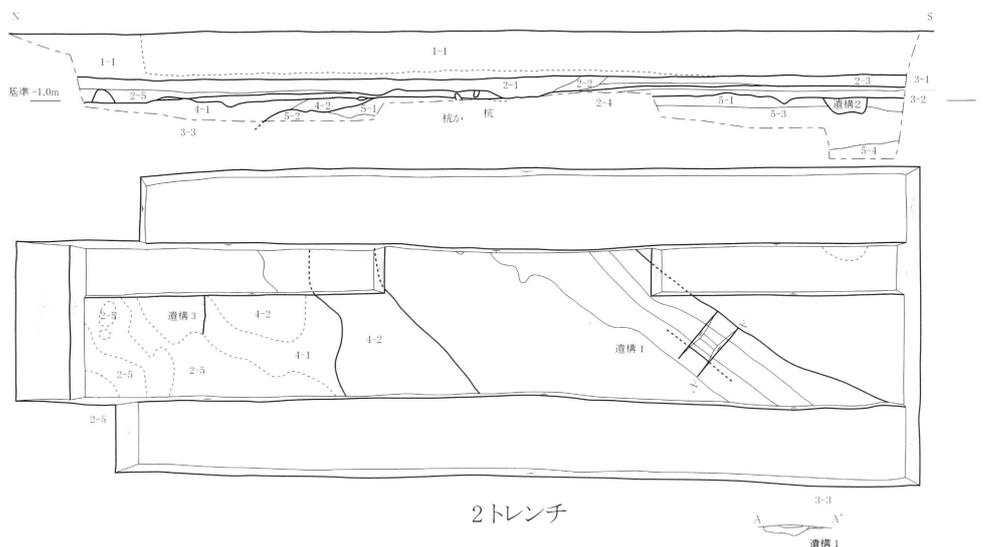


1トレンチ

- 1トレンチ  
 1-1: 盛土 ~50cm大の角礫を多量に含む  
 2-1: 黄灰色(2.5V4/1)細砂 ピーロールを含む  
 2-1': 2-1+2-2を境に含む  
 2-2: 灰黄色(2.5V6/2)シルト~細砂  
 鉄分中量に帯状に2~3層含む 旧耕作土  
 2-2': 灰オリーブ色(3.5V2/2)細砂 旧耕作土  
 3-1: 褐灰色(10YR6/1)シルト~細砂 土器粒を少量含む  
 西壁の半分のみに堆積する  
 3-2: 黄褐色(2.5V5/3)シルト 鉄分中量含む、須恵器出土  
 4-1: 2.5V1黄褐色(2.5V6/4~2.5V6/3)シルト、やや汚れる  
 4-2: 2.5V1黄褐色(2.5V6/4)シルト、やや硬質  
 4-3: 灰オリーブ色(7.5V6/2)シルト 緑色砂の塊を境に含む  
 5-1: 明黄褐色(2.5V6/6)シルト~細砂 鉄分を多量に含む  
 やや硬質

- 2トレンチ  
 堆積土層  
 1-1: 盛土 ~50cm 角礫を含む  
 2-1: 黄灰色(2.5V5/1)細砂 旧耕作土  
 2-2: 灰黄色(2.5V6/1)シルト~細砂  
 2-3: 黄灰色(2.5V6/1)シルト~細砂 鉄分を多く含む 旧耕作土  
 2-4: 黄灰色(2.5V6/1)シルト~粗砂 鉄分少量含む  
 3-1: 灰黄色(2.5V6/2)細砂 土器を含む  
 3-2: 灰黄色(2.5V6/2)細砂 3-1とはマンガン層で分けられる  
 3-3: 灰黄色(2.5V6/2)細砂 土器を含む 茶色粒多量を含む  
 4-1: 明黄褐色(2.5V6/6)シルト 砂粒を含む やや軟質  
 4-2: 2.5V1黄褐色(2.5V6/4)シルト

- 5-1: 明黄褐色(2.5V6/6)シルト  
 5-2: 2.5V1黄褐色(2.5V6/4)シルト  
 ~3cm大の緑色砂塊が多量に含む  
 5-3: 明黄褐色(10YR6/6)シルト  
 5-4: 灰黄色(2.5V7/2)シルト  
 マンガンもしくは未酸化の鉄分を多量に含む  
 遺構埋土  
 遺構1: 暗灰黄色(2.5V5/2)細砂 土器を含む  
 遺構2: 3-3+5-1を境に含む マンガン含まず  
 遺構3: 黄褐色(10YR5/6)シルト~細砂  
 土器と灰色粒を含む やや軟質



2トレンチ

トレンチ平面図・断面図 S=1/100

ある。

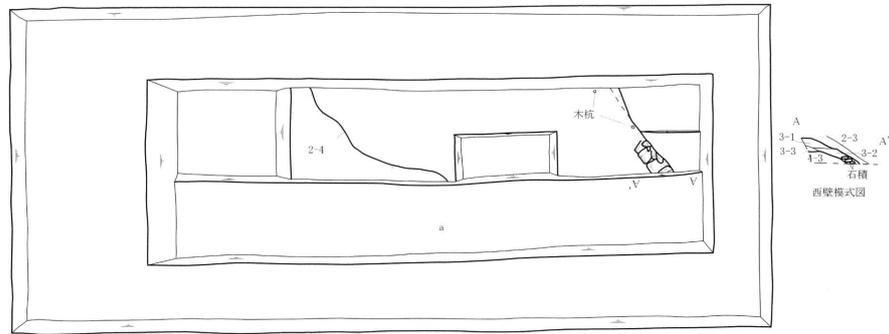
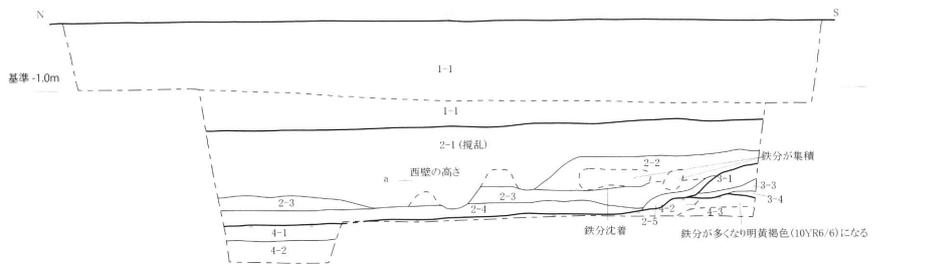
これ以外遺構、遺物は確認されなかった。

**4トレンチ** 調査対象地南西部に設定した最大長さ8.4m×最大幅4.0mのトレンチである。1層の盛土が190cm堆積する。4層は中央付近まではほぼ平坦面を形成した後、北西方向に落ち込む。平坦面上面の高さは基準点から-2.2m~-2.4mである。3層は10~20cm余りの厚さで全面に堆積する。

4層上面で精査したところ、中央付近でピット2基を検出した。いずれも3層を埋土としていることから、古代に帰属する可能性が高い。

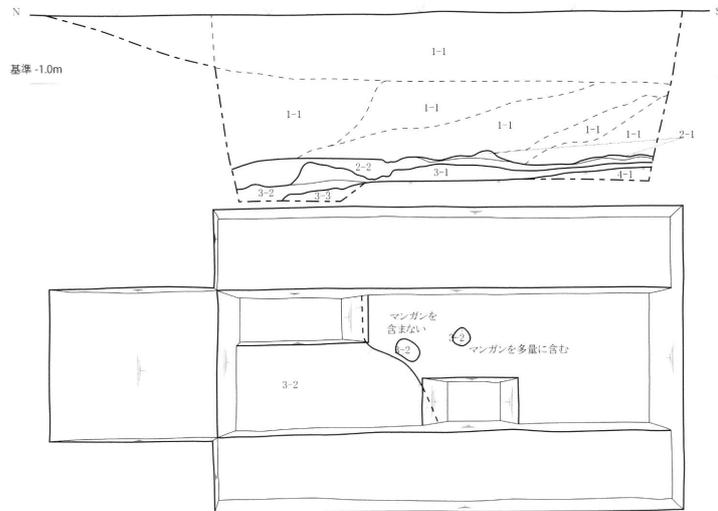
**5トレンチ** 調査対象地中央西部に設定した最大長さ6.0m×最大幅4.0mのトレンチである。

1層の盛土が230~240cm堆積する。この下には2層と4層が堆積する。4層上面の高さは基準点から-3.2mである。調査範囲が狭小で深度が深いことから十分な調査はできなかったが、遺構、遺物とも検出されなかった。



3トレンチ

**6トレンチ** 調査対象地北西部に設定した最大長さ6.8m×最大幅3.2mのトレンチである。1層の盛土が180~190cm堆積する。4層は東に大きく落ち込み、上面の高さは基準点から-1.7m~-2.4mである。遺構、遺物とも検出されなかった。



4トレンチ

- |  |   |
|--|---|
| <p>3トレンチ<br/>                 2-2: 灰色(7.5Y6/1)細砂 旧耕作土<br/>                 2-3: 灰色(5Y5/0)シルト 旧耕作土<br/>                 2-4: 灰色(5Y5/1)細砂~中砂 旧耕作土か? 土器含む<br/>                 2-5: 暗灰黄色(2.5Y5/2)細砂 土器粒と斑に2-4層を含む<br/>                 3-1: 灰黄色(2.5Y6/2)シルト~細砂 土器粒と鉄分を多量に含む<br/>                 3-2: 暗灰色(7.5Y6/1)細砂 空や硬質<br/>                 3-3: 灰黄褐色(10YR5/2)細砂 土器粒を含む<br/>                 3-4: にぶい黄色(2.5Y6/4)シルト 緑色気味の土含む<br/>                 4-1: オリーブ黄色(7.5Y6/3)シルト 砂雜混じる<br/>                 4-2: オリーブ灰色(2.5GY6/1)砂雜<br/>                 4-3: 灰白色(10Y7/1)細砂</p> | <p>4トレンチ<br/>                 2-1: 灰黄色(2.5Y6/2)シルト 黄灰色(2.5Y4/1)シルトが斑に含む<br/>                 2-2: 灰黄色(2.5Y6/2)シルト 鉄分多く含む 旧耕作土<br/>                 3-1: にぶい黄褐色(10YR5/4)シルト 細砂と土器・マンガン中量含む<br/>                 3-2: 灰黄褐色(10YR5/2) 4-1の黄色砂塊や土器・マンガン少量含む<br/>                 4-1: 明黄褐色(2.5Y6/6)粗砂 硬質</p> |
|--|---|

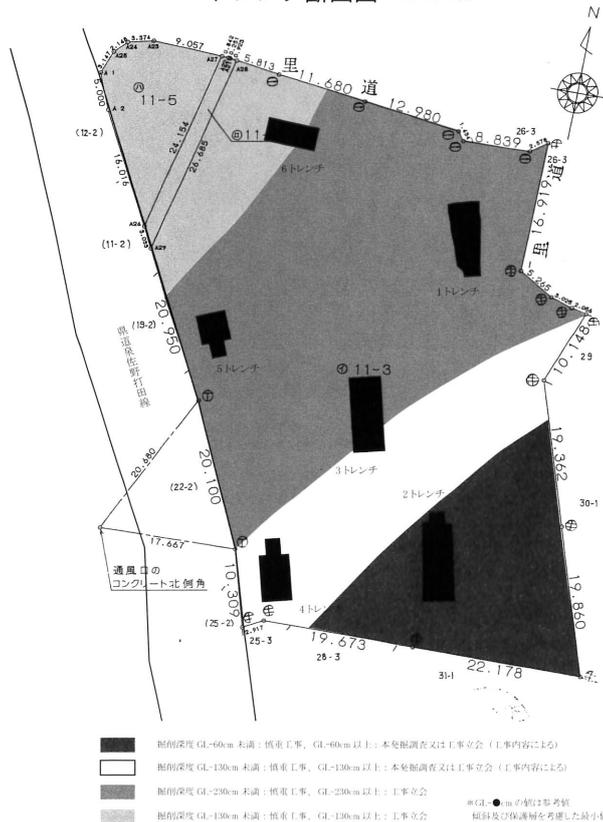
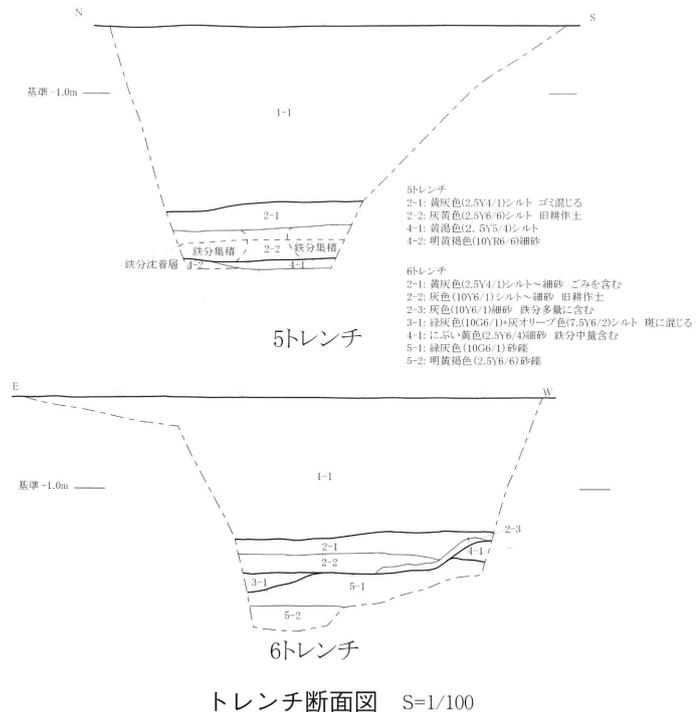
トレンチ平面図・断面図 S=1/100

＜調査の所見＞ 以上のとおり、2、3、4トレンチの4層あるいは5層上面に遺構が分布することを確認したが、検出高が大きく異なることから、対象地周辺の旧地形を復元した上で、埋蔵文化財の展開状況を判断したい。

4層上面の標高を比較すると、2トレンチがもっとも高く、基準点-1.0m、次いで6トレンチの-1.7~-2.4m、4トレンチの-2.2m~-2.4m、これより深いトレンチが1、3、5トレンチとなっている。県道西側の地形も併せて考えると、北東から南西方向に谷状地形が形成されているものと判断できる。谷状地形の南東側は2段落ちとなっており1トレンチの上段、4トレンチの中段を経て1、3、5トレンチの底面に至る。北西側は周辺地形と6トレンチの成果から2段程度が調査区内に位置しているものと推察される。この谷状地形は、角田小池から県道泉佐野打田線を横切り南南西に位置する山沼池に至りその後南へ延びる。

今回の対象地では、南東側の上段及び中段と、時期の確定はできなかったが中段と底面の境界部に遺構を検出した。一方で北西側では遺構の検出はできなかった。調査区が制限された結果である可能性も残るが、5、6トレンチで遺物包含層の堆積が認められず、遺物の出土もなかった点を考慮すると、仮に遺構が存在したとしてもその分布は希薄であるものと推定される。

以上から、土木工事において埋蔵文化財に影響を与える掘削深度を超える場合には、南東部については、その内容に応じて記録保存のための本発掘調査又は工事立会が、中央部及び北西部については、工事立会の措置が必要と判断される。



埋蔵文化財取扱図 S=1/500

# 11 京奈和自動車道（紀北西道路）関連遺跡2次調査

（調査件名：10-94-70・74）

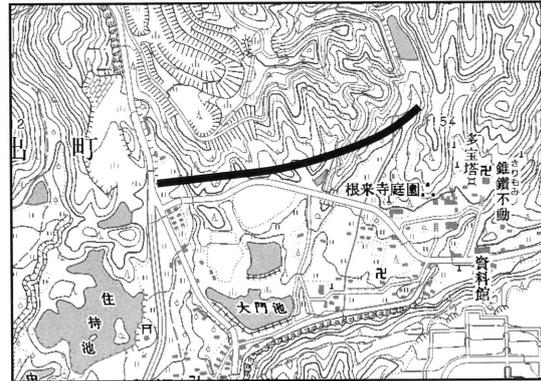
種別：確認調査

遺構：石積み・石組溝・古道

所在地：岩出市根来安上地内、紀の川市中三谷地内

遺物：土師器

＜調査の経緯＞ 京奈和自動車道紀北西道路建設予定地の一部が、紀の川市春日山城跡、不動寺谷遺跡及び岩出市根来寺遺跡という周知の埋蔵文化財包蔵地に該当したため、国土交通省と協議のうえ、平成23年12月時点で調査可能であった根来寺遺跡及び不動寺谷遺跡の一部を対象として実施した。なお、平成22年8～9月に1次調査として、根来寺遺跡の確認調査及び春日山城跡分布調査を実施しているため、今回は2次調査にあたる。

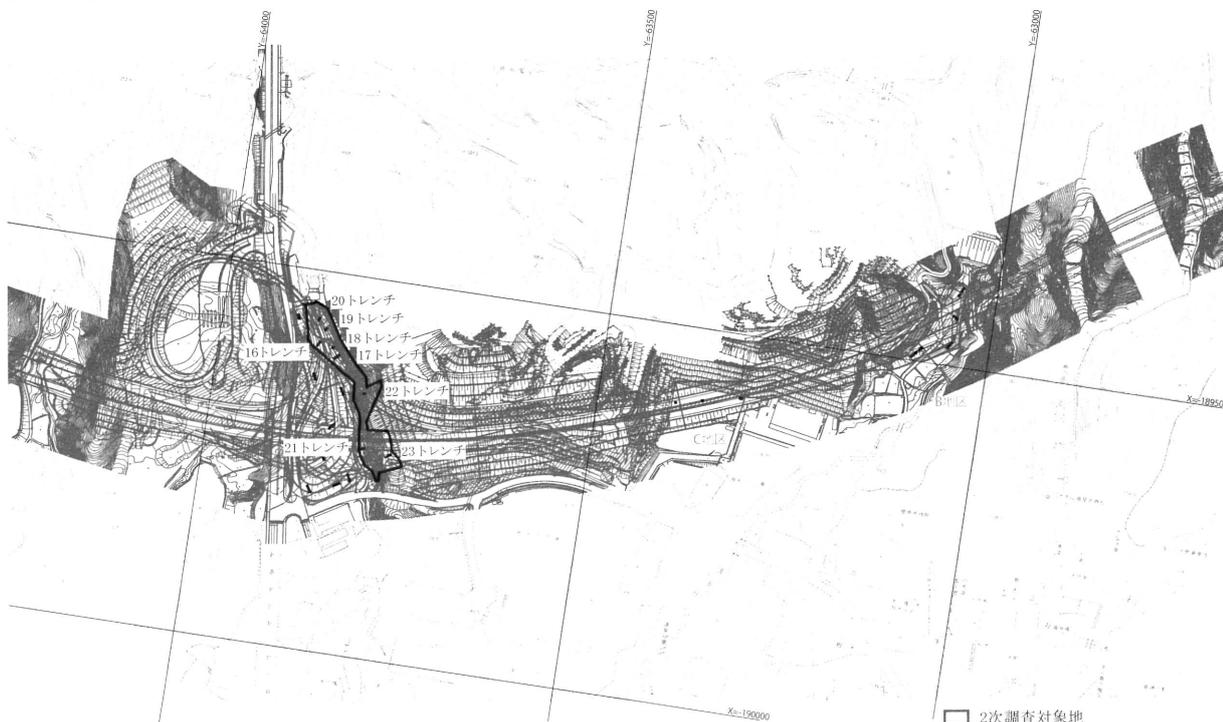


遺跡位置図（岩出市）

＜調査の成果＞ 岩出市根来寺遺跡と紀の川市不動寺谷遺跡に分けて報告する。

**根来寺遺跡** 紀ノ川右岸の和泉山脈山麓部に位置する。北は和泉山脈とそこから派生する幾つかの尾根、南は独立山塊状の通称「前山」と呼ばれる丘陵に挟まれているため、盆地状の地形を呈しており、要塞としての機能を併せ持つとされる。また、西側は根来街道（現在は県道泉佐野岩出線）に接しており、交通の要衝としての側面も認められる。根来寺遺跡の一部は根来寺境内として、平成19年2月6日に史跡に指定され、平成22年2月22日に追加指定されている。

根来寺遺跡は昭和51年度の広域営農団地農道整備に伴う発掘調査以来、30年以上にわたり160地点を超える箇所でも、発掘調査が実施されている。また1次調査では、紀北西道路地内の確認調査を3地区計15トレンチで実施している。2次調査対象地は1次調査A地区東側



根来寺遺跡 トレンチ配置図 S=1/10,000

□ 2次調査対象地  
\*1～15トレンチは1次調査

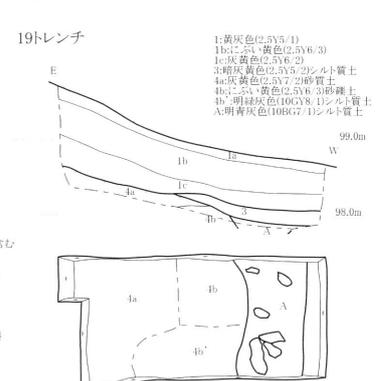
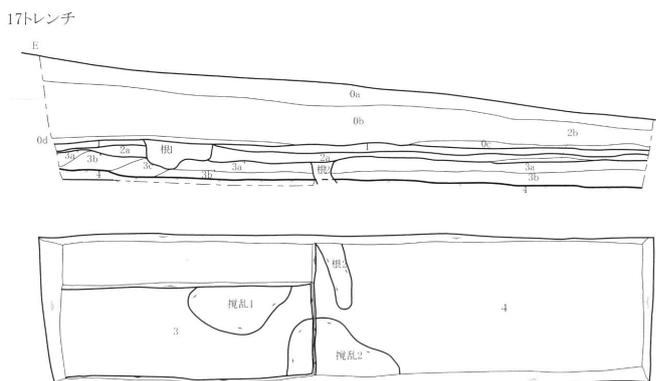
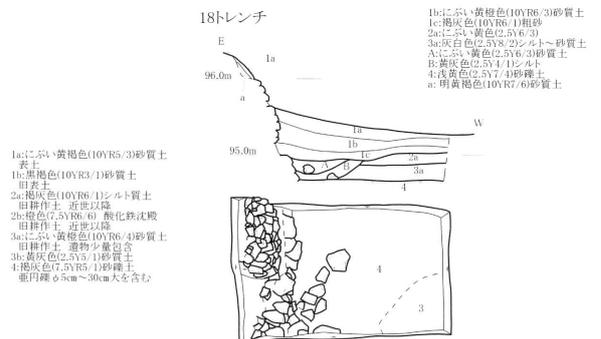
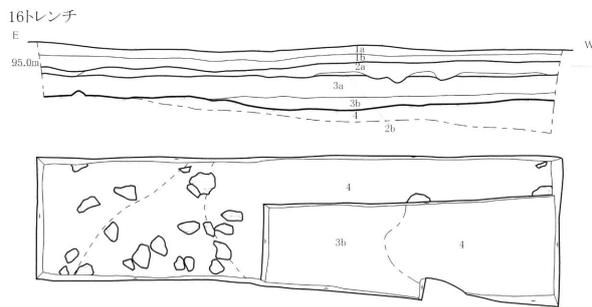
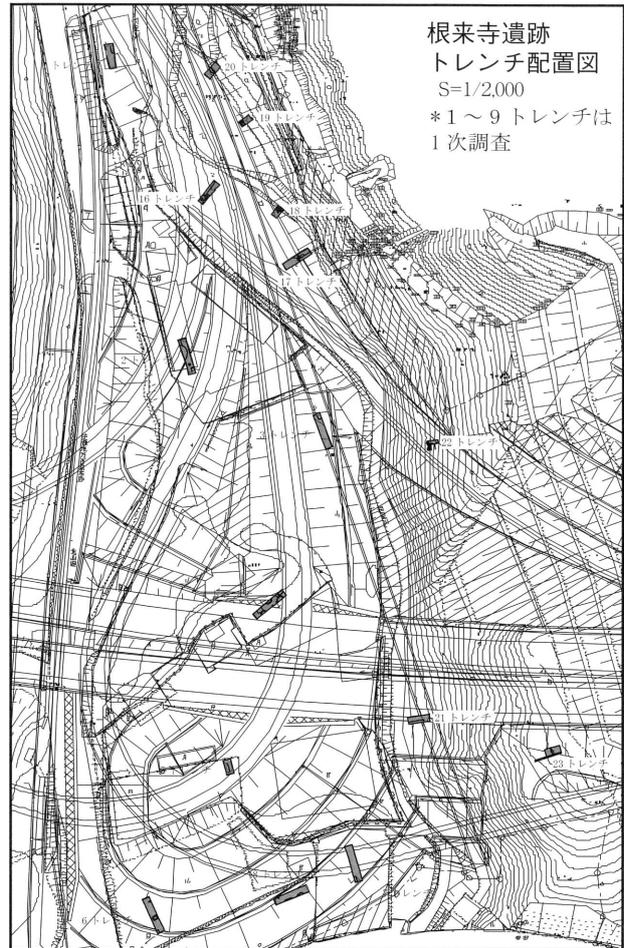
隣接地に該当し、トレンチ番号は1次調査を踏襲した。また、1次調査A・B地区は公益財団法人和歌山県文化財センターにより記録保存目的発掘調査が実施されている（公益財団法人和歌山県文化財センター2012『公益財団法人和歌山県文化財センター年報2011』）。

**調査の方法** 2次調査対象地は、1次調査A地区の洞尾川対岸の東側の地形改変を受けていない範囲が対象地である。16～21トレンチは、機械により掘削を、22・23トレンチは人力により掘削を行った。

**基本層序** 1層が表土、2層が耕作土、3層は耕作土以前の旧耕作土ないしは盛土及び崩土、4層が地山ないしは岩盤、以上4つに大別した。各大別層は、トレンチごとに細分した。

**16トレンチ** 約2m×約7mの南北方向に設定したトレンチである。洞尾川左岸の平坦面に配置した。現地表面から0.6～0.8mで洞尾川による水成堆積とみられる砂礫層の地山とみられる4層を検出した。4層上には2・3層がほぼ水平に堆積しており、旧耕作土と推定される。3b層及び4層上面で精査したものの遺構は検出されなかった。遺物は、3a層で土師器片を採取した。

**17トレンチ** 約2m×約8mの南北方向に設定したトレンチである。16トレンチと同じ平坦

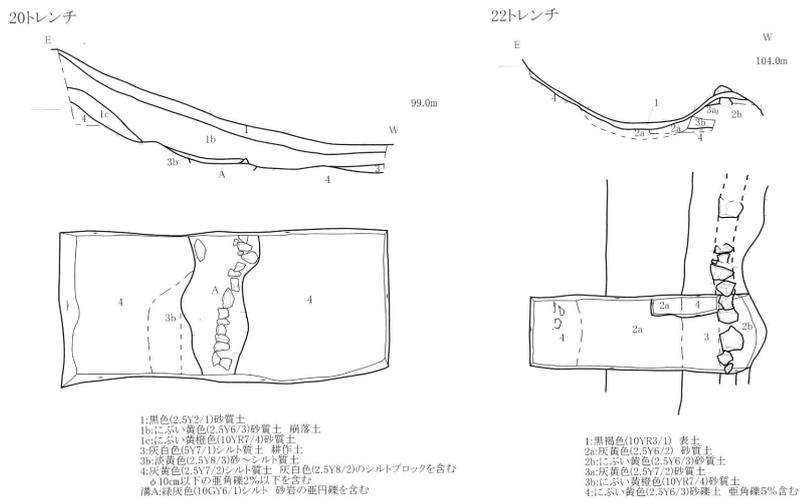


根来寺遺跡 トレンチ平面図・土層図 S=1/100

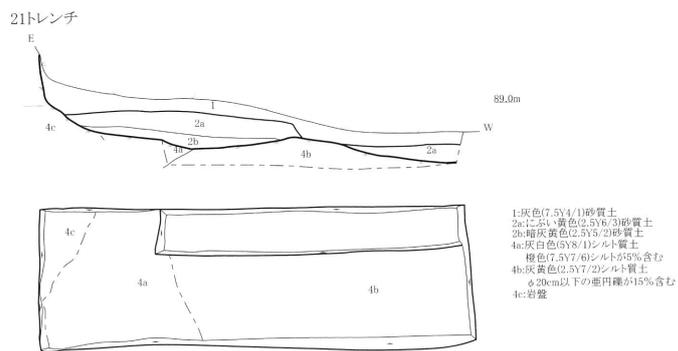
面の南側に配置した。東側丘陵の一部が崩れていたため、0.9m程度の崩落土（0層）が堆積していた。崩落土の下に、16トレンチ同様、2・3層がほぼ水平に堆積し、耕作地として利用されていたと推定される。なお、4層上面もほぼ水平の形状であることから、耕作地として利用する以前に地山が成形されていたとみられる。遺物は、3層で土師器細片を採集した。

**18トレンチ** 約2m×約1.5mの南北方向に設定したトレンチで、16・17トレンチと同一平坦面の東側斜面地との傾斜変換部に配置した。斜面部には、未加工の自然石を乱積みした野面積みの石積みを高さ約1.2mにわたり確認した。ただし、石積みの下部0.4mと上部0.8mとでは、石材の規格や傾斜角、崩壊度合い等に差異が認められる。なお、石積み全体の傾斜角は66°を測り、石積みとしてはそれほど直立していない。石積み方法、傾斜角度等から、近世以前に遡ると考えられる。

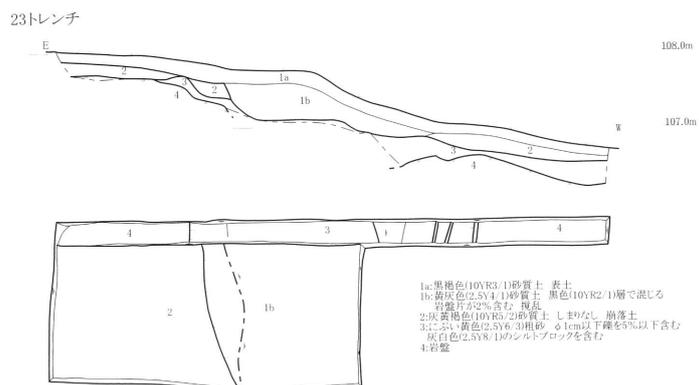
**19トレンチ** 約1.6m×約3.2mの東西方向に設定したトレンチである。16～18トレンチを設定した平坦面よりも一段高い平坦面の東側斜面との傾斜変換部に配置した。現地表面から1mで4層を検出したが、4層の傾斜変換地点では、青灰色系シルトを埋土とする幅0.8m程度の東側斜面との境界部に設けられた排水溝と推定される溝を検出した。



**20トレンチ** 約2m×約4mの東西方向に設定したトレンチである。19トレンチと同じ平坦面の傾斜変化部に配置した。現地表面から0.3～0.6mで4層を検出した。4層上面では、19トレンチ同様、4層の傾斜変換地点で幅0.6m程度の緑灰色シルトを埋土とする排水溝を検出した。



**21トレンチ** 約2m×約5mの洞尾川近接する左岸に東西方向に設定したトレンチである。東側には急傾斜の斜面が迫っている箇所に配置した。現地表面から0.5m前後で4層を検出したため、その上面で精査したものの、遺構は検出できなかった。



根来寺遺跡 トレンチ平面図・土層図 S=1/100

**22トレンチ** 約1m×約3mの洞尾川東側の丘陵傾斜地中腹に南北方向に設定したトレンチである。トレンチを設定した箇所は急峻な斜面地の中で緩斜面となっている箇所、急斜面から緩斜面に変化し、幅1m前後の浅いU字状を呈す平坦地にあたる。平坦地西端は0.4m前後の高さ盛り上り、その上部に礫が列状となる箇所があり、再び急傾斜で下り洞尾川に至る。トレンチ断面観察の結果、平坦に成形した4層上に3層を0.4m程度盛土すると同時に、その頂部に砂岩礫を列状に配置し、急峻な斜面の緩斜面地を成形により平坦地を造り出し、平坦地西端に盛土と石列を設け、古道として利用したと推定される。

また、昭和36(1961)年の航空写真でも、この古道とみられる陰影が確認されることから、周辺地に開発が及ぶ以前の少なくとも昭和年間まで機能していたとみられる。

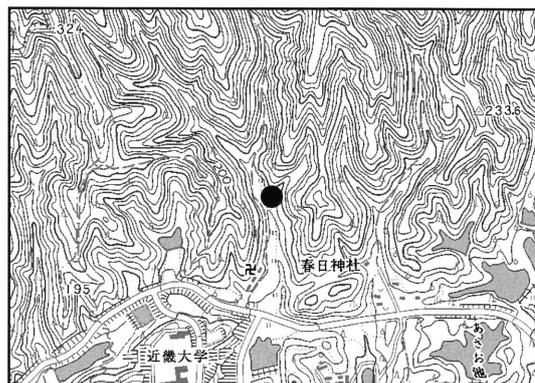
**23トレンチ** 約2m×約4mの東西方向に設定したトレンチである。一部下層の状況を確認するため、サブトレンチを0.4m×3mを延長した。現地表面から0.4m前後で4層の岩盤を検出した。

**小 結** 16~19トレンチは、洞尾川左岸の現況が平坦面の範囲に配置したトレンチで、この平坦地は造成された耕作地であったとみられる。また、出土遺物は土師器細片を除きほとんど認められないものの、平成23年度に洞尾川右岸で公益財団法人和歌山県文化財センターにより実施された発掘調査で検出された中世の圃場と同様の遺構と考えられ、圃場に関連した石組溝や石積み等の施設の存在も確認された。これらのことから、根来寺旧境内地内に生産域が計画的に配されたと推定される。22トレンチでは風吹峠側から続いてくるとみられる丘陵中腹に列石を配する古道を確認した。16~19トレンチ周辺では圃場とその関連施設、22・23トレンチを繋ぐ範囲には古道、という埋蔵文化財が展開する可能性が高い。これらに対し、21トレンチは丘陵裾が洞尾川左岸に迫る箇所で、埋蔵文化財が展開する可能性は一切確認できなかった。

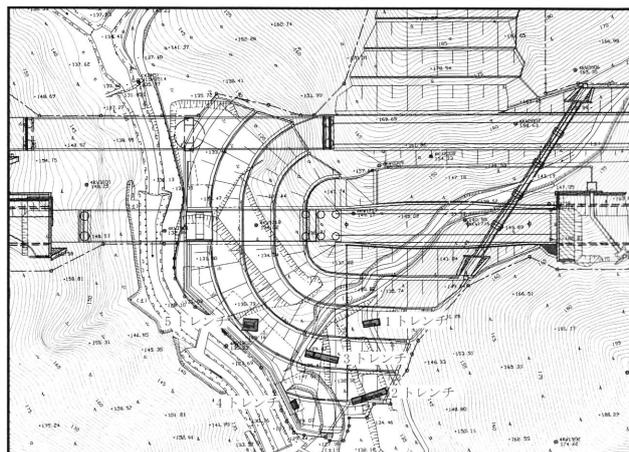
**不動寺谷遺跡** 和泉山脈から南へ延びる丘陵の間、不動寺谷川による開析谷内に位置する。遺跡では、『和歌山県埋蔵文化財包蔵地所在地図』地名表によると、縄文時代磨製石斧が表面採集されている出土地とされる。なお、谷東側の丘陵上には、春日山城跡が築城されており、トレンチ周辺では土師器の細片が表面採集された。

**調査の方法** 不動寺谷遺跡は出土地であることから、磨製石斧採集地点の周辺に、幅2m程度のトレンチを設定した。今回の調査対象地の大半の範囲は杉の植林されており、一部の地形は段々畑状を呈す。

**基本層序** 1層は表土、2層は1~4トレンチで検出した崩土や崩土を利用した造成土や耕作土、3層は4・5トレンチで検出した水成堆積、4層は2トレンチで検出した造成土、5層は地山、6層は岩盤の6つの層に大別した。このほか5トレンチでは現代盛土(0層)の堆積が認められた。



遺跡位置図 (紀の川市)



不動寺谷遺跡 トレンチ配置図 S=1/4,000

**1トレンチ** 最も丘陵側に位置する東西方向に設定したトレンチである。現地表面から1mで地山の5層を検出したが、傾斜堆積である。5層上面で精査したものの、遺構は検出されなかった。

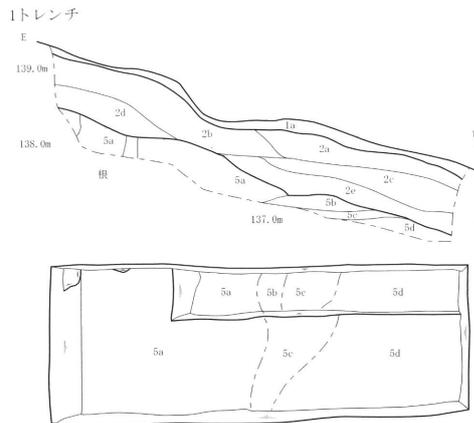
**2トレンチ** 東西方向に設定したトレンチである。2層が堆積しており、平坦面は耕作地に利用されていた。中央部では、最大2m以上にわたる崩土を利用した造成土の4層が堆積しており、耕作地とするために大規模な造成が行われたことを確認した。

**3トレンチ** 東西方向に設定した2×11mのトレンチである。上段部では2層直下の現地表面から0.4m程度で5層を検出した。下段では現地表面から1mの深度で岩盤である6層を検出した。

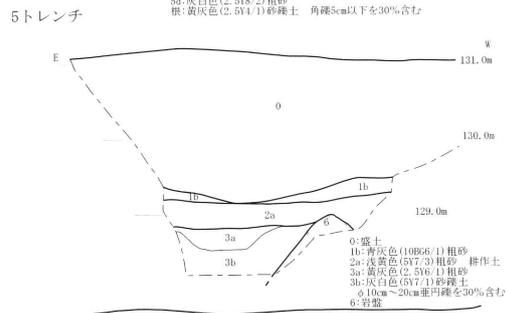
**4トレンチ** 不動寺谷川左岸に南北方向に配置したトレンチである。表土下で、水田耕作土の2層が堆積し、礫を多量に包含する河川堆積土の3層が認められ、現地表面から0.8~1m程度で岩盤を検出しており、不動寺谷川の流路の一部であった公算が高い。

**5トレンチ** 現地表面から約2mの厚さ現代盛土が堆積し、その下層に4トレンチ同様、1~3層が堆積し現地表面から3m以上の深度で、岩盤を検出し、4トレンチ同様不動寺谷川流路の一部であったと推定される。

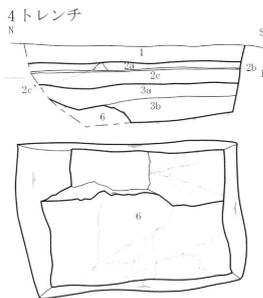
**小 結** いずれのトレンチでも遺構及び遺物は検出されず、埋蔵文化財が展開する可能性は著しく低い。



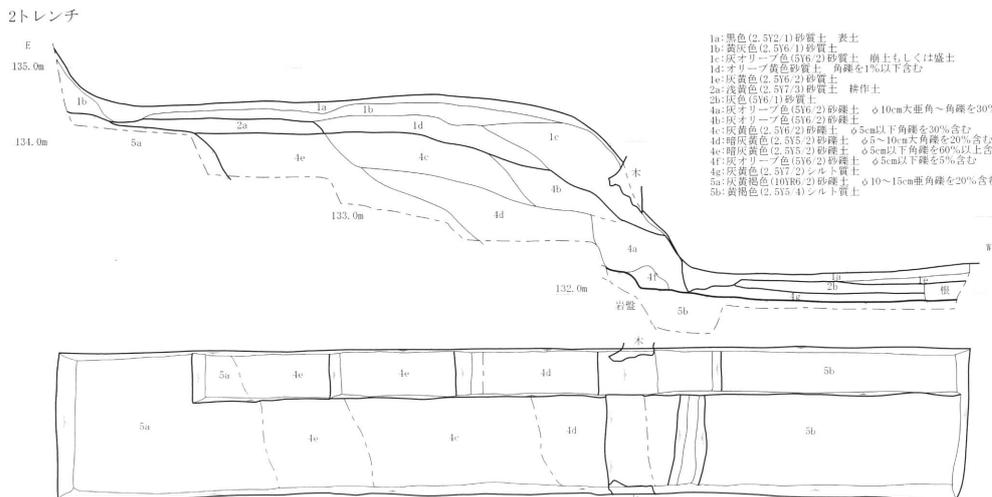
- 1a: 黒褐色(10YR3/1)砂質土 表土
- 2a: 灰黄色(2.5Y7/2)砂質土 φ10cm以下の礫を2%以下含む 崩土
- 2b: 灰黄色(2.5Y7/3)砂質土 角礫を5%以下含む 崩土
- 2c: 灰黄色(2.5Y7/3)砂質土 φ10cm大角礫を1%含む 崩土
- 2d: 灰黄色(2.5Y7/2)砂質土 10cm大角礫を40%含む 崩土
- 5a: 灰黄色(2.5Y6/2)砂質土 φ10cm以下礫を5%含む
- 5b: にぶい黄褐色(10YR7/2)砂質土 φ10cm大角礫を40%含む
- 5c: にぶい黄褐色(10YR7/4)砂質土 φ10cm大角礫を20%含む
- 5d: 灰白色(2.5Y8/2)粗砂
- 根: 灰黄色(2.5Y4/1)砂質土 角礫5cm以下を30%含む



- 0: 盛土
- 1a: 青灰色(10B6/1)粗砂
- 1b: 青灰色(5Y7/3)粗砂 耕作土
- 2a: 灰黄色(2.5Y6/1)粗砂
- 2b: 灰白色(5Y7/1)砂質土 φ10cm以下礫を30%含む
- 3a: 灰白色(5Y7/1)砂質土 φ10cm以下礫を30%含む
- 3b: 灰白色(5Y7/1)砂質土 φ10cm以下礫を30%含む
- 6: 岩盤



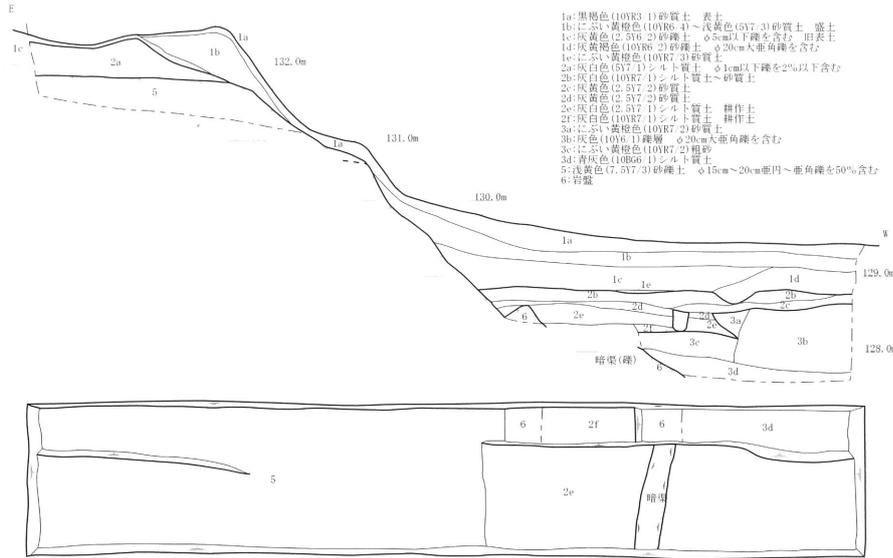
- 1: 灰灰色(2.5Y4/1)砂質土 表土
- 2a: 灰白色(10Y7/1)砂質土 耕作土
- 2b: 褐色(7.5YR6/6)シルト 床土
- 2c: 灰黄色(2.5Y7/3)砂質土 耕作土
- 2d: 灰黄色(2.5Y7/3)砂質土
- 3a: 地灰色(10YR6/1)砂質土 φ3cm以下角~垂角礫を20%含む 河川堆積土
- 3b: にぶい黄褐色(10YR7/2)砂質土 φ2cm以下垂角礫を5%含む
- 6: 岩盤



- 1a: 黒色(2.5Y2/1)砂質土 表土
- 1b: 灰黄色(2.5Y6/1)砂質土
- 1c: 灰オリーブ色(5Y6/2)砂質土 崩土もしくは盛土
- 1d: オリーブ黄色砂質土 角礫を1%以下含む
- 1e: 灰黄色(2.5Y6/2)砂質土
- 2a: 灰黄色(2.5Y7/3)砂質土 耕作土
- 2b: 灰色(5Y6/1)砂質土
- 4a: 灰オリーブ色(5Y6/2)砂質土 φ10cm大角礫~角礫を30%含む 崩土
- 4b: 灰オリーブ色(5Y6/2)砂質土
- 4c: 灰黄色(2.5Y6/2)砂質土 φ5cm以下角礫を20%含む
- 4d: 暗灰黄色(2.5Y5/2)砂質土 φ5~10cm大角礫を30%含む
- 4e: 暗灰黄色(2.5Y5/2)砂質土 φ5cm以下角礫を60%以上含む 崩土
- 5a: 灰オリーブ色(5Y6/2)砂質土 φ5cm以下礫を5%含む
- 5b: 灰黄色(2.5Y7/2)シルト質土
- 5c: 灰黄色(10YR6/2)砂質土 φ10~15cm垂角礫を20%含む
- 5d: 黄褐色(2.5Y5/4)シルト質土

不動寺谷遺跡 トレンチ平面図・土層図 S=1/100

3トレンチ



不動寺谷遺跡 トレンチ平面図・土層図 S=1/100

＜調査の所見＞ 根来寺遺跡では、洞尾川左岸の21トレンチを除く各トレンチで、埋蔵文化財が展開する可能性が確認されたため、記録保存目的の本発掘調査が必要と判断した。

一方、不動寺谷遺跡では、埋蔵文化財が展開することが確認されなかったことから、慎重工事の取扱いが適当と判断した。

12 秋月遺跡

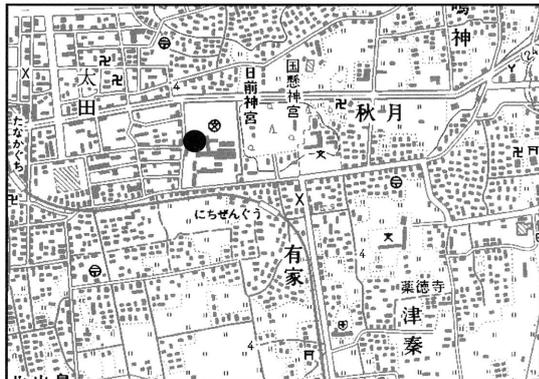
種別：工事立会

所在地：和歌山市太田122

(調査件名：11-94-41)

遺構：流路

遺物：土師器・須恵器・瓦器



遺跡位置図

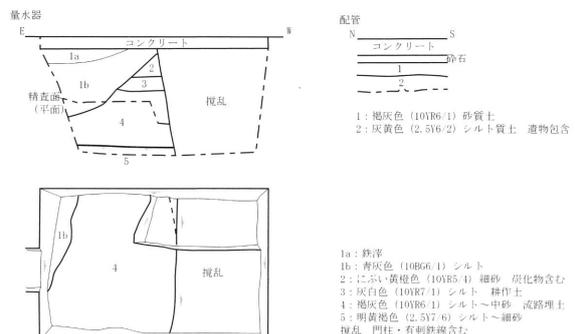
＜調査の経緯＞ 向陽高等学校が給水引込管改修工事を計画したため、掘削深度の深い量水器設置及び配管工事に立会を実施した。

＜調査の成果＞ 量水器設置箇所では、西半部は攪乱されていたが、1層近現代土、2層整地土、3層耕作土が堆積し、その下位で土師器（土埶）・須恵器を包含する4層を、現GLから-1.5m付近で地山とみられる5層を検出した。土質及び堆積状況から4層は流路埋土と推定される。



立会位置図

配管工事箇所では、現GL-0.6mまで掘削したところ、土師器や瓦器を包含するものの近現代盛土とみられる2層までしか掘削が及ばないことを確認したことから、施工者に慎重工事を指示した。



平面図・土層図 S=1/100

### 13 田屋遺跡

(調査件名：11-94-13)

種別：確認調査

遺構：土坑・ピット

所在地：和歌山市田屋地内

遺物：土師器・瓦器・瓦質土器

＜調査の経緯＞ 大和紀伊平野農業水利事業に伴い確認調査を実施した。高川に合流する六箇井水路の護岸改修部分を対象とした。

＜調査の成果＞ **基本土層** 1層：現耕作土又は表土、2層：現代盛土、3層：近世以降の旧耕作土、4層：遺物包含層、4-3層は第1遺構面を形成する。5層：自然堆積層（灰色～青灰色シルト～粘土）、6層：ベース土。

〔上流右岸〕**1トレンチ** 1、2、5層が堆積する。局所的な攪乱を受けている可能性が高い。

**2トレンチ** 1～4、6層が堆積する。4-1、2層は瓦器、土師器を包含する。6層上面で精査を行い、土坑2基及びピット1基を検出した。土坑2基について部分掘削したところ、埋土から瓦器、及び土師器が出土した。

**3トレンチ** 1～4、6層が堆積する。4-2層には瓦器及び土師器片が包含される。4-3層上面で精査を行ったところ、ピット2基を検出した。遺構1からは土師器及び瓦質土器が出土した。さらに6層上面で精査を行ったところ、土坑2基を検出し、埋土から土師器が出土した。

**4トレンチ** 1～4、6層が堆積する。4-1、2層には2トレンチに比べ少ないが、瓦器、土師器を包含する。6層上面で精査を行ったところ、遺構の可能性のある凹みを検出したが、遺物の出土はなかった。

〔上流左岸〕**5～7トレンチ** 4、6層はなくグライ化した5層が堆積する。遺構、遺物とも検出されなかった。

〔下流右岸〕**8トレンチ** 1、3、5、6層が堆積する。6層上面で精査を行ったが遺構、遺物とも検出されなかった。

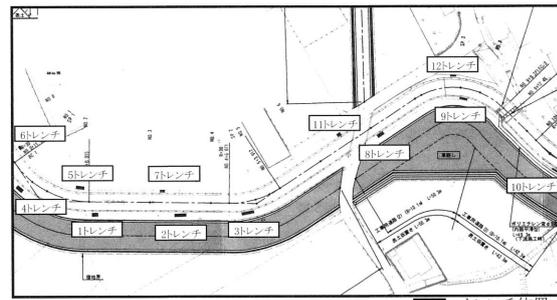
**9、10トレンチ** 1、3、5層が堆積する。遺構、遺物とも検出されなかった。

〔下流右岸〕**12トレンチ** 1、2、3、5層が堆積する。遺構、遺物とも検出されなかった。

＜調査の所見＞ 2、3、4トレンチで遺物包含層及び遺構を検出した。4トレンチでは明確な遺構は確認できなかったが、2、3トレンチ同様、遺物包含層及びベース土が確認されたことから、埋蔵文化財の展開する範囲と推定される。なお、3トレンチについては、4-3層上面と6層上面の2面で遺構が検出された。4-1、2層は瓦器を含む中世の遺物包含層であるが、3トレンチの4-4層は瓦器片を含まず黒色土器片を含むことから古代の遺物包含層と考えられる。



遺跡位置図

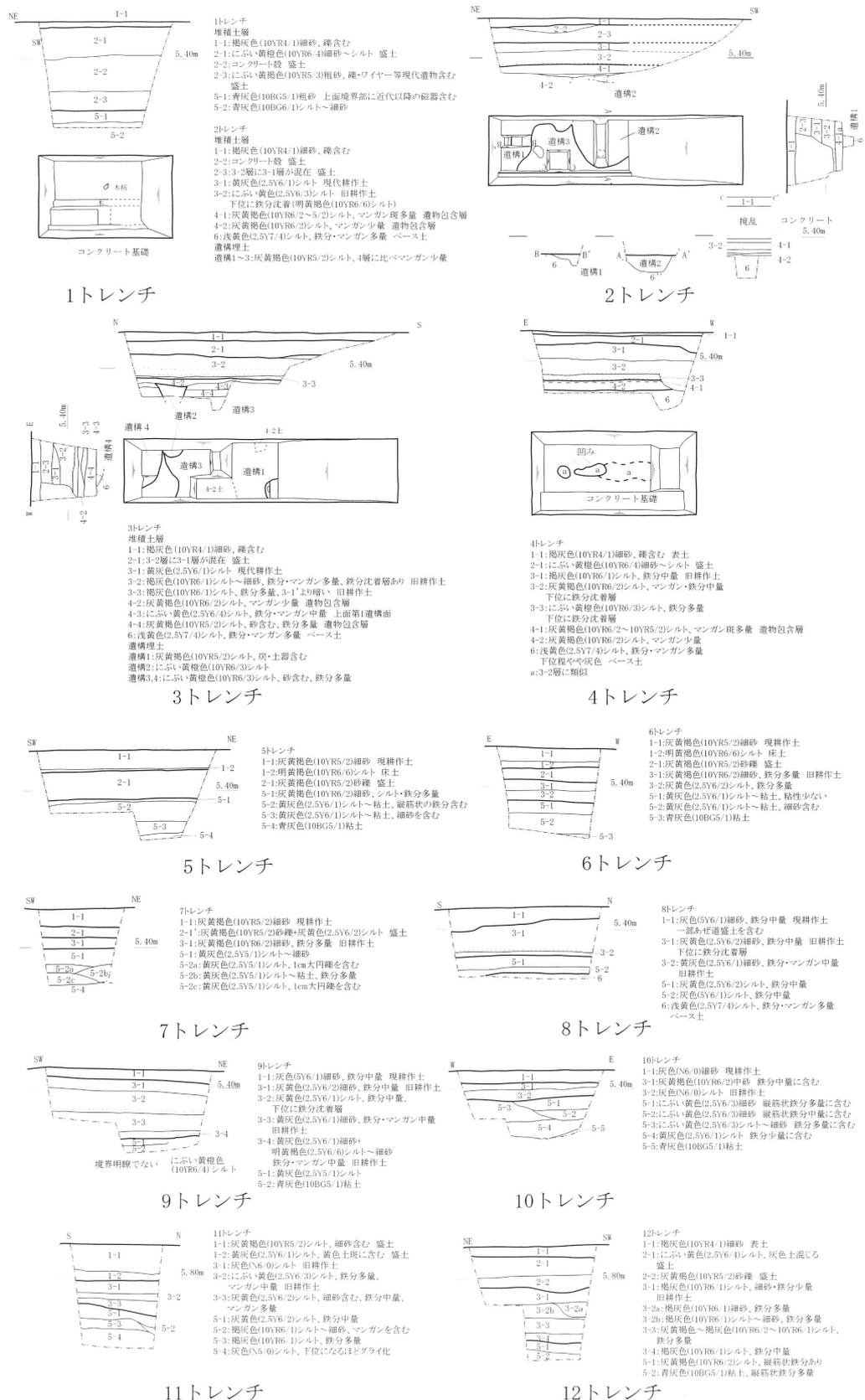


トレンチ配置図 S=1/2,500

8トレンチでは、6層を確認したものの、6層上面の標高は2~4トレンチに比べ低く、遺物包含層である4層の堆積もない。加えて遺物の出土も認められないことから微高地の縁辺部に位置しており、埋蔵文化財が展開する可能性は極めて低いと判断した。

また、左岸側及び下流右岸側では、グライ化土壤が堆積し、4層及び6層が認められないことから、埋蔵文化財の展開はないものと判断される。一方、水路内についても遺構面の高さを考えると、仮に埋蔵文化財が展開していたとしても既に損壊しているものと判断される。

以上より、6層をベース土とする微高地を形成する六箇井水路上流右岸側については、記録保存目的の本発掘調査の措置とし、左岸側及び下流右岸側と水路内については、慎重工事の措置とするのが適当であると判断した。



トレンチ平面図・断面図 S=1/100

## 14 六十谷遺跡

(調査件名：06-94-35)

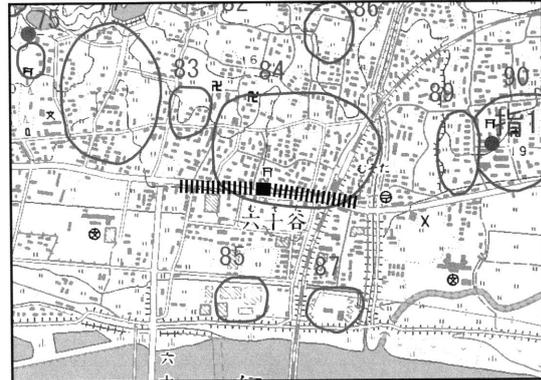
種別：試掘確認調査・工事立会

遺構：溝状遺構・ピット

所在地：和歌山市六十谷地内

遺物：弥生土器・土師器・瓦器

＜調査の経緯＞ 都市計画道路西脇山口線道路改良工事に伴う第5次確認調査と擁壁工事に伴う工事立会及び第6次試掘確認調査を実施した。調査対象地は段丘状地形上面で宅地及び神社として利用されている



遺跡位置図

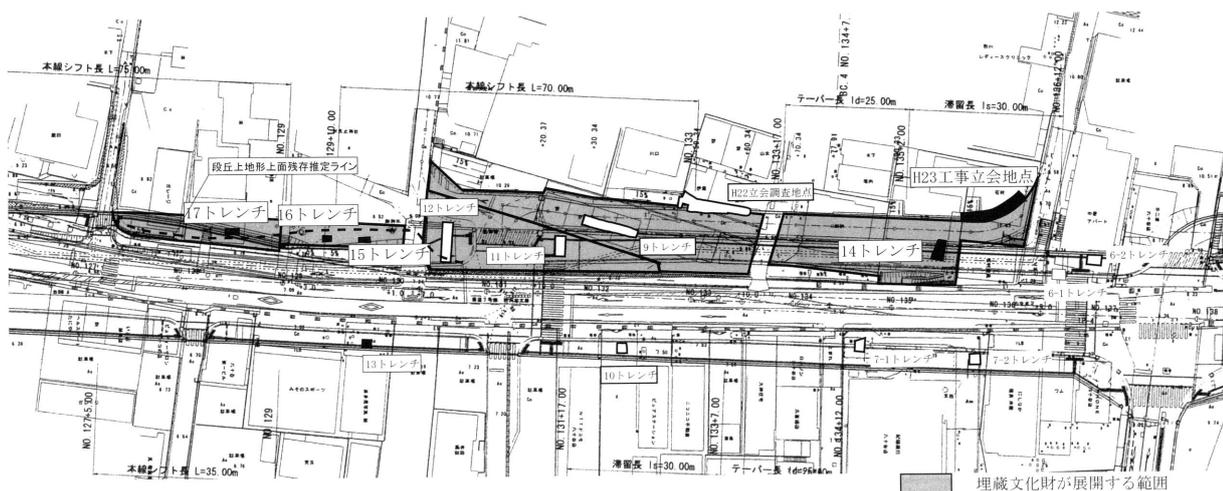
＜調査の成果＞ 第5次確認調査及び工事立会対象地は県道粉河加太線の北側約612㎡である。対象地南西部に14トレンチを配置し確認調査を実施した。工事立会は、擁壁工事影響範囲で幅約2.2m×長さ約14mの弓状の範囲が対象である。

**基本土層** 第1層：盛土、第2層：弥生時代～近世（近現代の可能性もあり）の遺物を含む堆積土、第3層：中世までの遺物を含む堆積土、第4層：砂礫層で地山。

**14トレンチ** 1層から4層が堆積する。4層上面で精査をおこなったところ、ピット等12基を検出した。検出面は緩やかに南へ傾斜する。遺構埋土には褐灰色細砂（埋土b）、3層類似土（埋土c）、3層土（埋土d）の3種類がある。遺構上面に3層が堆積することから、少なくとも中世以前の遺構と位置づけられる。

**工事立会** 掘削深度については原則として工事掘削範囲までが対象となるため、結果として遺構の完掘に至らない部分もあった。適宜サブトレンチを設定して下層確認を行った。1、2層の下で4層を確認した。4層上面で精査をおこなったところ、ピット1基と溝状遺構を検出した。溝状遺構は東肩を検出したが西側については工事範囲外に延びる。深さは工事掘削深度である標高9.0m付近まで（サブトレンチでは標高8.5m付近まで）掘削したが、溝底には至らなかった。溝状遺構断面は幅10m以上、深さは2m以上に復元される。出土遺物から中世以降に掘削されたものと判断できる。

**第6次試掘確認調査** 調査対象地が神社内であり、樹木等を避けての重機侵入及び掘削を



トレンチ配置図及び埋蔵文化財展開範囲 S=1/1,500

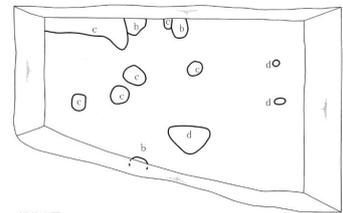
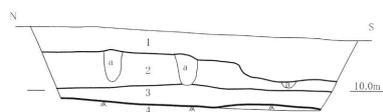
余儀なくされたため、最大長さ3m、最大幅1.4mの小トレンチを3箇所（15～17トレンチ）設定して調査を実施した。

**基本土層** 1層：表土、2層：近現代盛土、3層：近世以降の盛土、15、16トレンチで確認。4層：弥生時代末から古墳時代初頭の遺物包含層、5層：地山。16トレンチでは砂礫層、17トレンチでは黄色シルト層を検出。

**15トレンチ** 第1層から第3層が堆積する。第3層は3-1～3-4層に細分され、3-1、3-2層には近世以降の瓦が大量に含まれる。3-3、3-4層は、褐灰色及び黄灰色のシルト層で3-1、3-2層とは異なるが、便宜的に3層に含めた。わずかな掘削であったためか遺物の出土はなかった。掘削可能深度で5層は確認できず、このトレンチでは、近世以降の遺物以外、遺構、遺物とも確認されなかった。

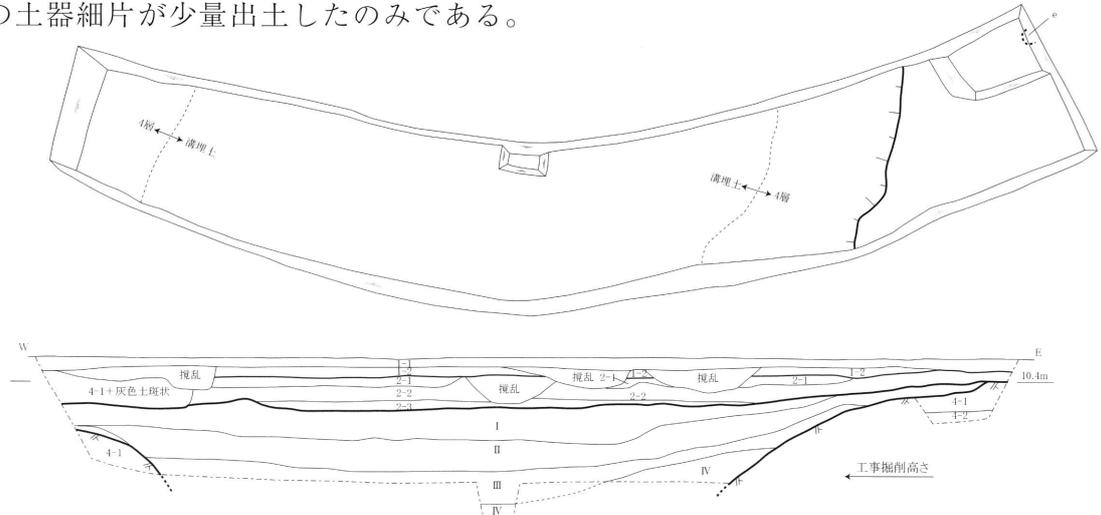
**16トレンチ** 第1層から第3層と第5層が堆積する。第3層は15トレンチと同様であるが、3-2'層は地山崩落土の可能性もある。3-2'層の下で5-2層を検出した。砂礫土で締まり、遺物を含まないことから地山と判断した。上面の標高は8.1m～7.2mで南側へ大きく傾斜堆積する。このトレンチでは、近世以降の遺物以外、遺構、遺物とも検出されなかった。

**17トレンチ** 第1層～第5層が堆積する。近現代の盛土層（第2層）の下に中世及び少量の近世の遺物を含む第3層、その下に弥生時代末から古墳時代初頭の遺物を含む第4層及び地山と認識する第5層が堆積する。第3層は15、16トレンチの第3層と土質が異なるが、上面が平坦に成形されていることなどから造成土と判断した。5-1層は、15、16トレンチの5-2層と異なり、明黄褐色を呈するシルト層である。5-1層上面で精査したところ、北東-南西方向に延びる溝状遺構1条とピット1基を検出した。埋土からは土師質の土器細片が少量出土したのみである。



堆積土層  
 1: にぶい、黄褐色(10YR5/3)細砂 盛土  
 2: にぶい、黄色(2.5Y6/3)シルト～細砂 やや軟質 弥生時代から近世の遺物含む  
 3: 黄褐色(2.5Y5/3)細砂 やや軟質あり 弥生時代から中世の遺物含む  
 4: 浅黄色(2.5Y7/4)～にぶい、黄色(2.5Y6/4)砂礫 上層と同色土斑を含む  
 遺構埋土  
 a: 暗灰黄色(2.5Y5/2)細砂 黄色ブロック含む 榊垣痕跡か?  
 b: 褐灰色(10YR4/1)細砂 遺物含む  
 c: 暗灰黄色(2.5Y5/2)～黄褐色(2.5Y5/3)細砂 遺物・炭含む 3層よりやや汚れる  
 d: 3層土

14トレンチ



堆積土層  
 1: 暗灰黄色(2.5Y5/2)細砂 (表土)  
 1-2: 1+黄色ブロック (盛土)  
 2-1: にぶい、黄褐色(10YR5/4)細砂、やや軟い、やや軟質、近世以降の遺物含む  
 2-2: にぶい、黄褐色(10YR5/4)細砂、やや軟質、近世以降の遺物含む  
 2-3: 明黄褐色(10YR6/3)細砂、やや軟質、近世以降の遺物含む  
 4-1: 浅黄色(2.5Y7/4)～にぶい、黄色(2.5Y6/4)砂礫  
 4-2: にぶい、黄色(2.5Y6/4)シルト～細砂  
 遺構埋土  
 I: 黄褐色(2.5Y5/3)～にぶい、黄褐色(10YR5/3)細砂、やや硬質、～2cm大の垂円礫中量・遺物含む  
 第5次確認調査14トレンチ第3層土層  
 II: 灰黄褐色(10YR6/2)細砂、～5cm大の垂円礫多量・黄色粒中量・遺物含む  
 III: 灰黄褐色(10YR5/2)～4(2)細砂、～3cm大の垂円礫多量・遺物含む  
 IV: 灰黄褐色(10YR4/2)細砂、～10cm大の垂円礫・4-1層多量・遺物含む  
 e: 褐灰色(10YR4/1)細砂

工事立会  
 第5次確認調査 トレンチ及び工事立会平面図・断面図 S=1/100

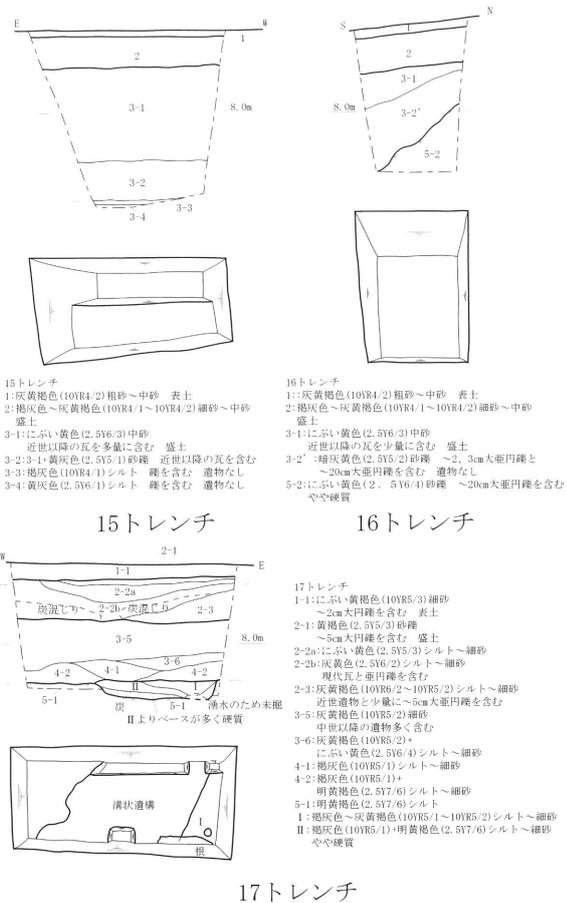
＜調査の所見＞ 上記のとおり、第5次確認調査及び工事立会では地山面である4層上面で埋蔵文化財を確認した。この調査区と同一平坦面を形成する範囲には埋蔵文化財が展開するものと考えられる。一方県道粉河加太線とほぼ同一レベルである調査対象地南東部及び南西部隣接地については、第2次確認調査成果からも埋蔵文化財の展開は極めて低いと考えられる。

第6次試掘確認調査では、15、16トレンチ付近では遺構を検出することはできず、16トレンチで地山が南へ急激に落ち込む状況が確認された。一方、17トレンチでは平坦な5-1層上面で遺構を検出した。この付近の地形は、15、16トレンチ付近の現地盤の高さを見ると、用地内に位置する2本の楠の大木を結ぶライン付近から南側へ傾斜していることから、このライン付近が中世以前の段丘状地形崖面と推測される。その後近世以降に第2、3層で造成することにより神社の敷地が拡張されたようである。

一方、17トレンチ付近については、遺構検出面の標高は、第3次から第5次確認調査の遺構検出面の高さと比べると、西側へ徐々に高さを下げていることが確認できる。現地盤の高さを見ると14トレンチ付近が最も高く、西方向に向かって標高を下げており、17トレンチ付近以西では西側に向かう程南西方向への傾斜が顕著となっている。さらに16トレンチでは砂礫層の崖面になっているのに対し、17トレンチではシルト層の平坦面となっていることも考え併せると、この付近の中世以前の地形は、南側へ張り出した扇状地の先端部が紀ノ川的作用等によって削り取られて崖面を形成したと考えられているが、今回の15、16トレンチ付近はその崖部にあたり、17トレンチ付近は南西方向の傾斜部で紀ノ川の浸食を逃れた部分に相当するものと推測される。

以上のことから、15、16トレンチ以北の段丘状地形上面及び河川による削平を受けていないと推測される17トレンチを含む段丘状地形上面の西側への傾斜部については、埋蔵文化財が展開するものと考えられる。なお、17トレンチより西側については、現有建物等のため、調査区を設定することはできなかったが、17トレンチ付近の地形が連続することから埋蔵文化財の展開範囲と推定される。

以上から、第5次調査付近及び第6次調査17トレンチ付近については、平成19年教育長通知「和歌山県における発掘調査等を要する場合の取扱い基準」により、記録保存目的の本発掘調査の取扱いが適当と判断した。15、16トレンチ付近以北については、工事施工範囲に存在する段丘状地形上面の平坦面が狭小であることから工事立会の措置とし、以南については段丘上地形下面に当たるため、慎重工事の措置とした。



第6次試掘確認調査 トレンチ平面図・断面図 S=1/100

15 平井Ⅱ遺跡

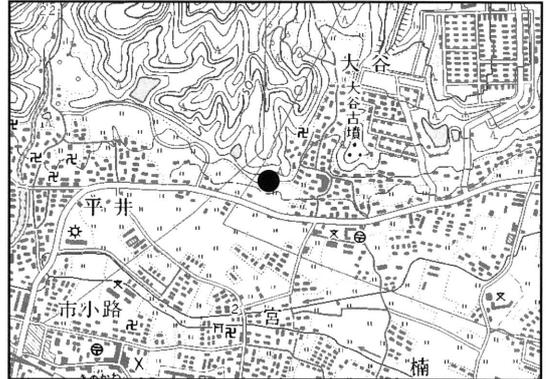
種別：試掘調査・工事立会

遺構：溝・土坑

所在地：和歌山市平井地内

遺物：弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・白磁

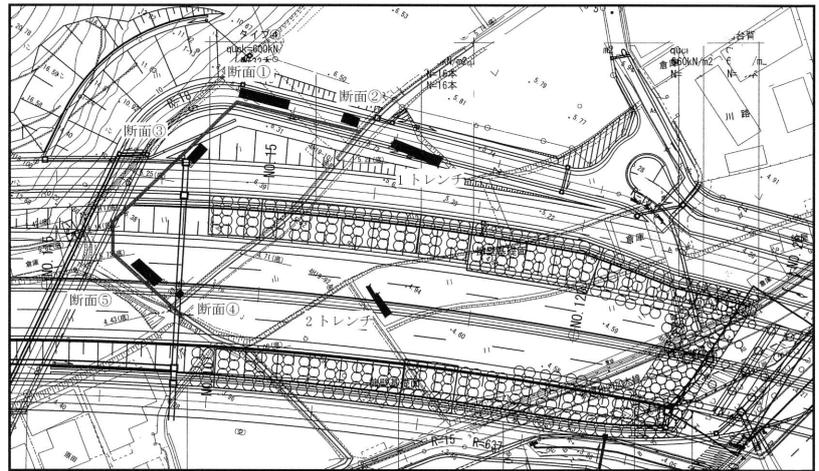
＜調査の経緯＞ 周知の埋蔵文化財包蔵地外で、国土交通省が第2阪和国道建設工事を着手した。工事箇所で遺物の出土が認められるとの通報を和歌山市教育委員会職員から受けたため、当委員会職員が現地確認を行い、既掘削範囲の断面調査及び工事立会を緊急に実施するとともに、国土交通省の協力を得て周辺の試掘調査を実施した。



遺跡位置図

＜工事立会の成果＞ 国道建設工事に伴う仮設水路設置工事により既に掘削されていた延長80mを対象として、5箇所

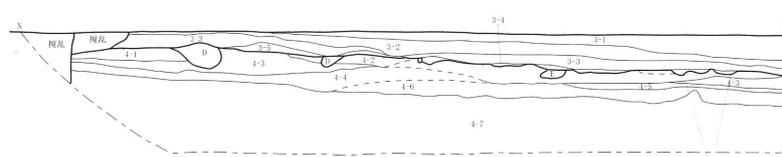
の断面調査を実施した。なお、工事立会箇所は、建設予定地外の北側に所在する丘陵の裾部に位置し、周辺地よりも1m以上標高が高い敷地に該当する。



調査区配置図 S=1/1,500

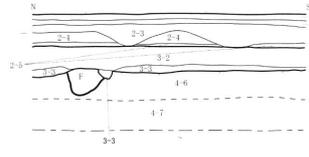
断面調査の結果、1層：表土、2層：耕作土、3層：灰褐色系土壌の遺物包含層、4層：地山の4つの大別層の堆積を確認した。

断面①



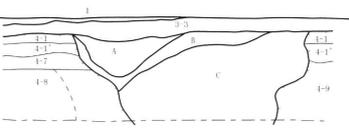
断面①  
 1: 灰褐色系(100R5-1)~100R5-2)雑砂 褐色粒と黄色粒と中世遺物を含む  
 2: 褐色系(100R1-1)雑砂 褐色土と黄色土と中世遺物を含む  
 3: 褐色系(100R1-1)雑砂 褐色土を含む  
 4: 灰褐色系(100R5-1)~100R5-2)シルト 褐色粒を含む  
 5: 灰褐色系(100R5-1)~100R5-2)砂礫  
 6: 1:5~1:5.5(黄褐色)100R6-3)シルト ややよこせれる

断面②



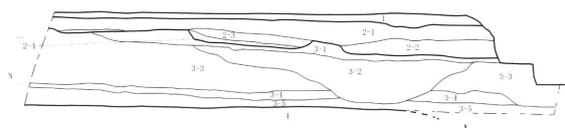
断面②  
 1: 耕作土・床土  
 2: 黄褐色(2.5)6-1)シルト~雑砂 雑土  
 3: 雑土層に黄褐色土と暗灰色土を含む  
 4: 土上りやや青味、黄味がある  
 5: 床土  
 6: 2: 灰褐色系(100R1-1)~100R1-2)シルト 褐色土と黄色土と中世遺物を含む  
 7: 褐色系(100R1-1)雑砂 褐色土を含む  
 8: 土上りやや青味、黄味がある  
 9: 砂礫層 ~20cm大断面円礫を含む  
 F: 灰褐色系(100R5-2)シルト 砂と土層を含む 遺構埋土

断面③



断面③  
 1: 灰褐色系(100R6-2)雑砂 粗砂と礫を含む  
 2: 褐色系(100R1-1)雑砂 土層土 部含む  
 3: 1:5~1:5.5(黄褐色)100R6-3)シルト ややよこせれる  
 4: 1:5~1:5.5(黄褐色)100R6-1)シルト 雑砂を含む  
 5: 1:5~1:5.5(黄褐色)100R6-2)雑砂 粗砂を含む  
 6: 灰褐色系(100R5-6)粗砂 グライ化  
 7: 灰褐色系(100R5-6)粗砂  
 8: 褐色系(100R1-1)雑砂 粗砂と土層を含む 遺構埋土  
 9: 1:5~1:5.5(黄褐色)100R6-1)シルト 左の層に砂を多量に含む 遺構埋土  
 10: 灰褐色系(100R1-2)シルト~10cm~20cm大断面 遺構埋土

断面④



断面⑤

断面④  
 1: 耕作土・床土  
 2: 灰褐色系(100R6-3)シルト 土層土  
 3: 1:5~1:5.5(黄褐色)100R6-3)シルト 土層土  
 4: 1:5~1:5.5(黄褐色)100R6-3)シルト 土層土を含む

断面⑤  
 1: 黄褐色(2.5)5-1)雑砂 鉄分とマンガンを含んでいる  
 2: 土層土層、可成り遺物を含む  
 3: 灰褐色系(100R1-2)雑砂  
 4: 明瞭な層(100R7-6)シルト 土層土層となる  
 5: 灰褐色系(100R5-2)雑砂 右の層に土師器や須恵器の遺物を含む  
 6: 2: 5~1:5.5(黄褐色)2.5)6-3)シルト~雑砂 ~3cm大断面円礫を少量に含む  
 7: 1:5~1:5.5(黄褐色)100R5-2)雑砂 粗砂  
 8: 灰褐色系(100R5-2)雑砂 ~6cm層に土層と多量に褐色粒と黄色粒を含む  
 9: 灰褐色系(100R1-1)雑砂~シルト ~3cm大断面円礫を少量に含む  
 10: ~6cm大断面円礫  
 11: 1:5~1:5.5(黄褐色)100R6-3)シルト 土層を含む

立会平面・土層図 S=1/100



16 和歌山城跡

(調査件名：10-94-4)

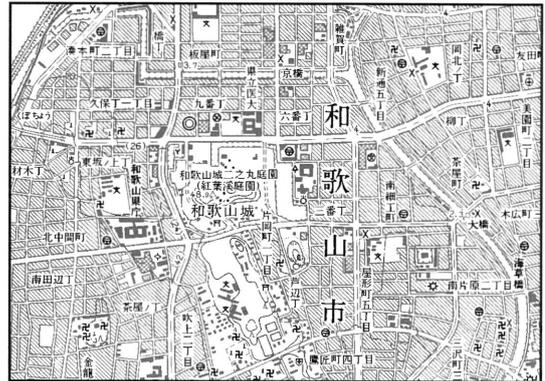
種別：工事立会

遺構：土坑・石敷

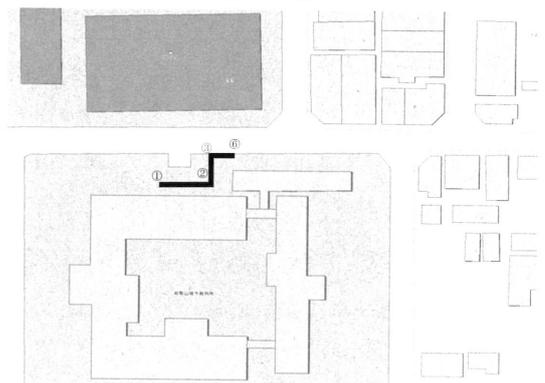
所在地：和歌山市二番町1番地

遺物：陶磁器・瓦

＜調査の経緯＞ 最高裁判所が和歌山地簡裁の庁舎新設工事を計画したが、その予定地の一部が周知の埋蔵文化財包蔵地である和歌山城跡に該当したため、文化財保護法第94条の規定に基づく手続きを経て、確認調査後、平成23年度に公益財団法人和歌山県文化財センターにより記録保存目的の本発掘調査が実施された。ただし、事業者との協議により、工事のうち配管設置等掘削範囲が狭小であり本発掘調査が適当でない部分については、当委員会で工事立会を実施することとされていたため、今回の仮設給排水のための配管設置に際し工事立会を実施するに至った。



遺跡位置図



調査区配置図 S=1/800

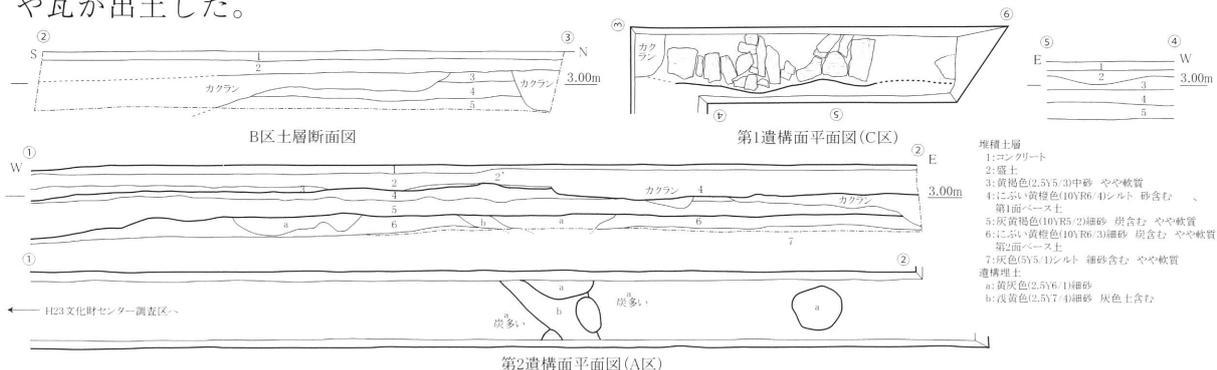
＜調査の成果＞ **調査の方法** 裁判所への進入車両の通路を確保する必要があったため、A区（東端除く）掘削後、C区、B区及びA区東端の掘削を行った。調査は標高3m付近にある第1遺構面の調査完了後、掘削深度面まで掘り下げて調査を実施した。

**基本層序** 1層：アスファルトを含む現代盛土、2層：褐色砂層、3層：A区は黄褐色シルト層、灰色土ブロック、砂礫混在、B、C区は黄褐色砂層（上面が第1遺構面）、4層：A区は灰褐色砂層（18世紀代の遺物多く包含する）、B、C区はやや締まる灰褐色砂層、5層：灰黄褐色砂層（上面が第2遺構面）。A、B区間の攪乱のため、3、4層のA区とB、C区間の関係は確認できなかった。

**第1遺構面** A区では、下層土が露出する部分があるが、明瞭な遺構は検出されなかった。東端部からB区北端部付近までは攪乱されている。C区では結晶片岩の石敷を全面で確認した。隙間なく敷かれるが、掘削範囲が狭小であるためその広がり及び性格は不明である。

遺物は、18世紀及び19世紀に帰属する陶磁器や瓦が出土した。

**掘削面（第2遺構面）** A区で土坑、ピット等を検出した。B区は南端部から中央付近まで攪乱されている。C区では明瞭な遺構は検出されなかった。遺物は18世紀後半を前後する陶磁器や瓦が出土した。



立会平面図・断面図 S=1/100

## 17 和田遺跡

(調査件名：10-94-13)

種 別：試掘確認調査

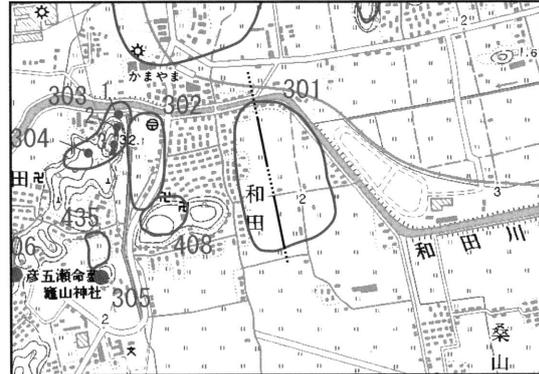
遺構：土坑・ピット・溝状遺構・落ち込み

所在地：和歌山市和田地内

遺物：弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・石器

＜調査の経緯＞ 和歌山県による秋月海南線道路改良事業に伴う第1次試掘確認調査を実施した。今回の調査対象地は和田川左岸で、遺跡中央を南北に縦断する。現在は水田として利用されている。

＜調査の成果＞ 今回の調査地点は南北約400mの範囲に広がっており、堆積土層も大きく異なることから、東西方向の現有道路を境として、南から1区、2区、3区、4区に分けて報告する（今回報告は1～3区）。



遺跡位置図

(1) 2区の調査成果 **基本土層** 1層：近現代耕作土、2層：灰白色シルト層で中世遺物を少量含む、3層：褐灰色～黄灰色シルト層、酸化植物痕跡と考えられる明黄褐色層を含む。3-1～3-3層に細分されるが凹凸激しく境界不明瞭、無遺物層。4層：浅黄色シルト層、部分的に3-3層類似層、及び明黄褐色シルト層がラミナ状に堆積する。無遺物層。5層：浅黄～灰黄シルト層で縦筋状鉄分含む。無遺物層。6層：グライ化した青灰色シルト層で無遺物層。

**1トレンチ** 1～6層がほぼ水平に堆積する。断面観察の結果、3層以下は土層上面の凹凸があり軟質であったが、杭跡が確認されたことから3-3層上面及び浅黄色シルト層である4層上面で精査を行った。3-3層上面で杭跡3基を検出したが、打ち込み面は4層の可能性もある。これ以外遺構は検出されず、遺物についても2層から瓦器、土師器、磁器が少量出土したものの、3層以下からの出土は認められなかった。

**2トレンチ** 1～6層が堆積する。3層は薄い局所的な堆積である。4層上面で精査を行ったところ、土坑2基、ピット2基、杭跡2基を検出した。土坑については、部分的に掘削したが、遺物の出土はなく、時期の比定はできなかった。2層上面からの掘り込みの可能性もある。ピット2基については、3層土を埋土とするが非常に浅く自然地形の凹部と判断した。遺物は、2層から瓦器、土師器片が少量出土したのみである。

**3トレンチ** 1～6層が堆積する。4層上面（東端のみ5層上面）で精査を行ったところ、3層類似土を埋土とするピットを検出した以外遺構は検出されなかった。これらピットについては、断面観察でも多数確認されたが、境界が不明瞭で形状も一定しないことから根痕と判断した。遺物の出土は認められなかった。

**4トレンチ** 1～6層が堆積する。4層上面のほか上位で黄橙色を呈する5層上面で精査を行った。4層上面で多数の植物痕跡を確認したが、遺構は検出されなかった。遺物は、2層から瓦器及び土師器が出土したのみである。

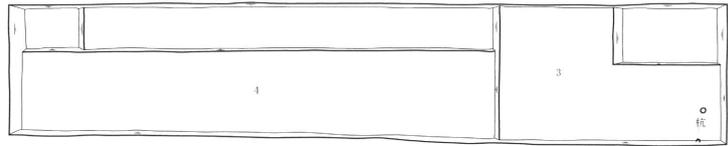
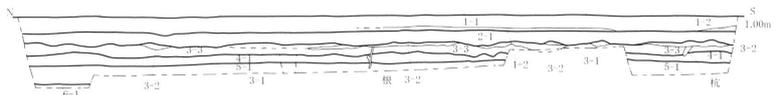
**5トレンチ** 2トレンチで帰属時期を判別できない土坑が検出されたことから、その展開状況及び帰属時期を確認するため設定したトレンチである。4層上面で精査を行ったが、遺構は検出されず、2トレンチと同一の状況であったため作図は行っていない。遺物は、2層から瓦器、須恵器及び土師器が出土した。

(2) 1区の調査成果 基本

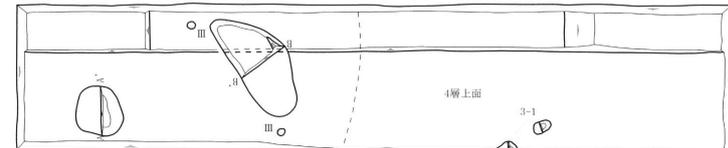
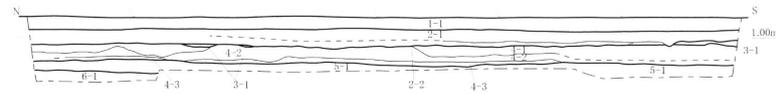
**土層** 1層：近現代耕作土、2層：黄灰色シルト層で中世遺物を少量含む、3層：黄灰色～暗灰黄色シルト層で植物痕跡多量。上位層との境界不明瞭な無遺物層がある。4層：にぶい黄色シルト層で無遺物層、5層：褐灰色～黄灰色シルト層で縦筋状鉄分含む無遺物層、6層：灰色シルト層でややグライ化した無遺物層。

**6トレンチ** 1～6層が堆積する。3層は下位の暗灰色層と上位の鉄分を多く含む黄灰色層に分けられるが、その境界は不明瞭で濃淡が大きいことから、植物の酸化によるものと判断できる。4層は、中央東側に鉄分を多量に含むやや安定した4-2層が堆積するが、その範囲は狭小である。4、5層は北半にのみ堆積し、南側には認められない。3～5層の南半は滞水環境にあったためかグライ化する。4層上面及び5、6層上面で精査を行った。4層上面では、北側に東西方向の浅い溝状の凹部を検出した。3層土を埋土とするが、浅く遺物の出土も認められないことから、人為的なものと判断するには至らなかった。遺物は、2層から瓦器及び土師器が出土した。

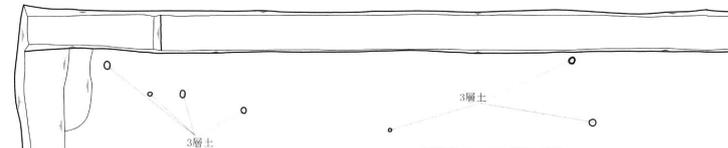
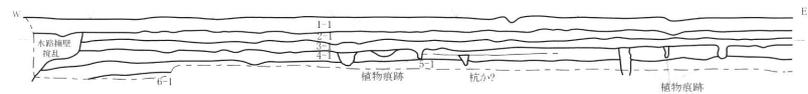
**7トレンチ** 1～6層が堆積する。6層は灰色シルト層で縦筋状の鉄分を含む。これ以外



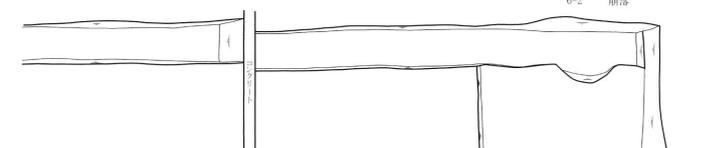
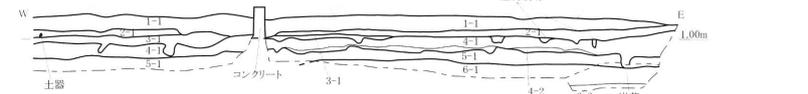
1トレンチ



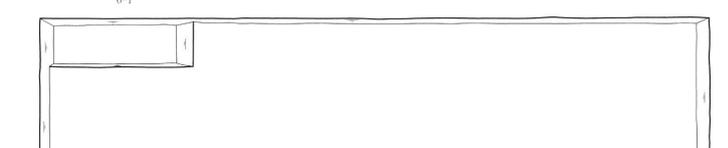
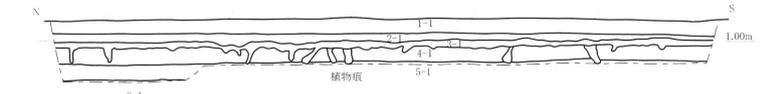
2トレンチ



3トレンチ



4トレンチ



5トレンチ

- |  |   |  |
|--|---|--|
| <p>1トレンチ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1-1: 暗灰黄色(2.5Y5/2)シルト 現耕作土</li> <li>1-2: 黄灰色(2.5Y6/1)シルト 細砂、鉄分少量含む</li> <li>2-1: 灰白色(10YR7/1)シルト 鉄分、遺物少量含む</li> <li>2-2: 灰白色(10YR7/1)シルト 鉄分、遺物少量含む</li> <li>3-1: 褐灰色(10YR5/1)シルト マンガン少量含む</li> <li>3-2: 明黄褐色(2.5Y6/6)シルト 鉄分多量、マンガン少量含む</li> <li>3-3: 黄灰色(2.5Y6/1)シルト 縦筋状鉄分中量含む</li> <li>4-1: 浅黄色(2.5Y7/4)シルト 黄灰色(2.5Y6/1)シルトと明黄褐色(2.5Y6/6)シルト含む</li> <li>5-1: 浅黄色～灰黄色(2.5Y7/3～2.5Y7/2)シルト</li> <li>6-1: 青灰(10BG6/1)中砂</li> <li>6-2: 灰褐色(10YR5/1)シルト</li> </ul> | <p>2トレンチ</p> <p>堆積土層</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1-1: 暗灰黄色(2.5Y5/2)と黄灰色(2.5Y6/1)シルト</li> <li>2-1: 灰白色(10YR7/1)シルト</li> <li>2-2: 灰白色(10YR7/1)シルト マンガン少量含む</li> <li>3-1: 黄灰色(2.5Y6/1)シルト</li> <li>4-1: 灰オリブ色(5Y6/2)シルト 縦筋状鉄分中量、黒色粒を多量に含む、黄灰色(2.5Y6/1)シルトと明黄褐色(2.5Y6/6)シルト含む</li> <li>4-2: オリーブ黄色(5Y6/4)シルト 鉄分多量に含む</li> <li>4-3: 明黄褐色(10YR6/8)シルト 植物痕あり</li> <li>5-1: 灰白色(5Y6/1)シルト</li> <li>6-1: オリーブ灰色(5Y6/1)細砂～中砂</li> </ul> <p>溜まり土</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1: 黄灰色(2.5Y6/1)シルト～粘土</li> <li>2: 灰白色(10YR7/1)シルト</li> <li>3: 明黄褐色(2.5Y6/6)シルト</li> <li>4: 黄灰色(2.5Y6/1)シルト</li> <li>5: 灰白色(10YR7/1)シルト</li> <li>6: 灰白色(10YR7/1)シルト</li> </ul> | <p>3トレンチ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1-1: 暗灰黄色(2.5Y5/2)シルト</li> <li>2-1: 灰白色(10YR7/1)シルト 上位にマンガンを含む</li> <li>3-1: 黄灰色(2.5Y6/1)シルト</li> <li>4-1: 浅黄色(2.5Y7/4)シルト</li> <li>4-2: 黄灰色(2.5Y6/1)シルト</li> <li>5-1: 浅黄色～灰黄色(2.5Y7/3～2.5Y7/2)シルト 上位に鉄分少量含む</li> <li>6-1: 灰白色(10YR6/0)細砂</li> <li>6-2: 青灰(10BG6/1)シルト～粗砂</li> </ul> |
|--|---|--|

トレンチ平面図・断面図 S=1/100

の層は6トレンチとほぼ同様の特徴を示す。3層上面及び5層上面で精査を行ったが、遺構は検出されなかった。遺物は、2層から土師器片が出土した。

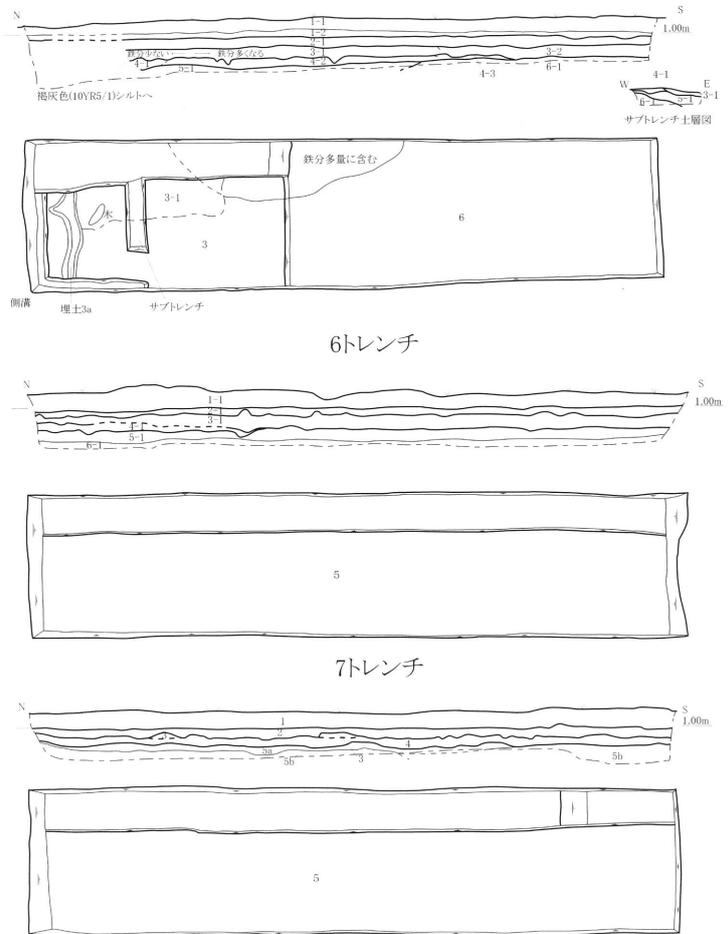
**8トレンチ** 1～5層が堆積する。2層下の3層は局所的に薄く堆積するのみである。4、5層はほぼ全面に堆積するが起伏が大きく平坦面を形成しない。4層上面及び5層上面で精査を行ったが遺構は検出されなかった。遺物は、2層から土師器が出土した。

**(3) 3区の調査成果 基本土層** 1層：近現代耕作土、2層：灰白色シルト層で須恵器、土師器片を含む。3層：明黄褐色～黄灰色シルト層、9、11トレンチで検出、4層：灰色系細砂で上面が第1遺構検出面。弥生時代末から古墳時代の遺物多量に含む。5層：明黄褐色シルト又は黄色系細砂でベース土。第2遺構検出面で9、11、15トレンチで検出した無遺物層、6層：灰色系シルト層で無遺物層。

**9トレンチ** 1～6層が堆積する。5層は黄褐色系のシルト層で南へ向かい傾斜しており、北半でのみ検出した。4層は主として灰色系の細砂層で、5層の傾斜に対応して南ほど厚く堆積する。3層は明黄褐色のシルト層で北端部にのみ堆積する。2層は局所的な堆積である。当初、北側から掘削をはじめ、ベース土と考えられる5層を確認したため、5層上面で精査しながら掘り進めたところ、南端部4層上面で土坑（遺構1）及び溝状遺構（遺構2）を検出した。

土坑を部分掘削したところ、古墳時代と思われる土師器甕が良好な状態で確認されたため、記録後埋め戻した。5層上面では、北半でピット、杭跡及び4層を埋土とする土坑を検出した。また、南半での落ち込みは溝状遺構となる可能性もある。遺物は、3層以上から須恵器及び土師器が、4層から弥生時代から古墳時代初頭の土師器が出土した。

**10トレンチ** 1、2、4層が堆積する。2層は9トレンチと異なり全域に分布する。4層は4-1から4-9層に細分したが、いずれも主として灰色系の細砂層である。標高0.4mまで掘削したが、5層及び6層は確認できなかった。2層上面及び4層上面で精査を行った。2層上面では近現代耕作土である1-2層を埋土とするピット及び土坑を検出したのみである。4層上面では2層を埋土とする浅い溝状の遺構を2条確認したが、断面が浅い皿



- |   |   |  |
|---|---|--|
| <p>6トレンチ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1-1:暗黄褐色(2.5V5/2)細砂 現耕作土</li> <li>1-2:黄灰色(2.5V5/1)細砂 旧耕作土</li> <li>2-1:黄灰色(2.5V6/1)シルト 遺物と鉄分とマンガン少量含む</li> <li>3-1:黄灰色～暗黄褐色(2.5V5/1～2.5V5/2)シルト 鉄分多量を含む 植物質により上位の層との境界不明瞭</li> <li>3-2:灰色(2.5V6/4)細砂 3-1よりグライ化</li> <li>4-2:黄褐色(2.5V6/4)シルト 鉄分多量を含む</li> <li>4-3:黄灰色(2.5V6/1)シルト 4-2よりグライ化</li> <li>4-4:黄灰色(2.5V6/2)シルト 鉄分中量含む</li> <li>5-1:黄褐色(2.5V6/1)シルト 細砂、縦筋状鉄分含む</li> <li>6-1:灰色(N6/0)細砂</li> </ul> | <p>7トレンチ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1-1:黄褐色～暗黄褐色(2.5V5/1～2.5V5/2)</li> <li>2-1:黄灰色(2.5V6/1)シルト 遺物、鉄分、マンガン少量含む</li> <li>3-1:黄灰色～暗黄褐色(2.5V5/1～2.5V5/2)シルト 鉄分多量を含む 土位、下位層との境界不明瞭</li> <li>4-1:黄褐色(2.5V6/4)シルト 鉄分多量を含む</li> <li>5-1:黄灰色(2.5V6/1)シルト 鉄分多量を含む</li> <li>6-2:灰色(N6/0)シルト 縦筋状鉄分含む</li> </ul> | <p>8トレンチ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1-1:灰黄色～暗黄褐色(2.5V5/1～2.5V5/2)</li> <li>1-1:灰黄色～暗黄褐色(2.5V5/1～2.5V5/2) 鉄分多量を含む</li> <li>2-1:黄灰色(2.5V6/1)シルト 鉄分多量を含む</li> <li>3-1:黄灰色～暗黄褐色(2.5V5/1～2.5V5/2)シルト 鉄分多量を含む 下位層との境界不明瞭</li> <li>4-1:黄褐色(2.5V6/4)シルト 鉄分多量を含む</li> <li>5-1:黄灰色(2.5V6/1)シルト 鉄分多量を含む</li> <li>6-1:灰色(N6/0)シルト 鉄分ほとんどなし、砂多量を含む 下位になるほど徐々に砂多い</li> </ul> |
|---|---|--|

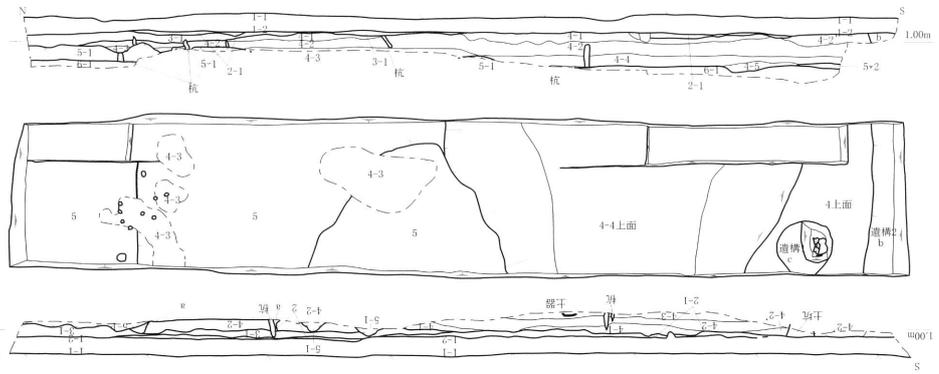
トレンチ平面図・断面図 S=1/100

状であることから自然地形の可能性も残る。遺物は、2層から土師器、須恵器等、4層から弥生時代から古墳時代初頭の土師器が多量に出土した。4-1から4-9層で遺物が確認できるが、4-1~4-5層での出土が顕著である。

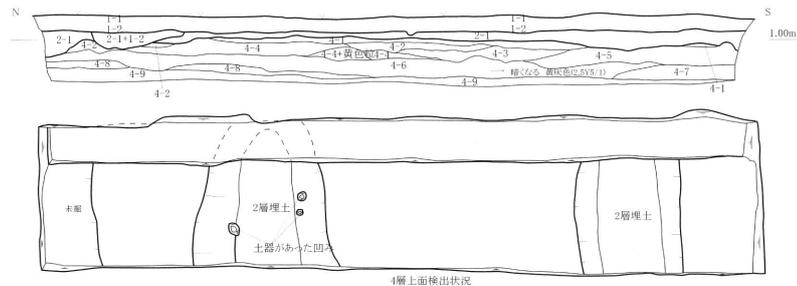
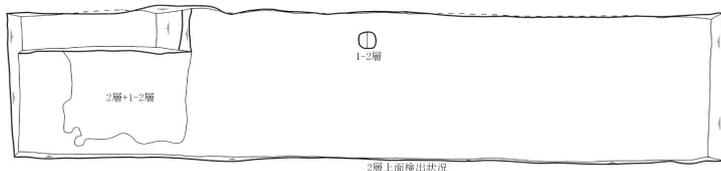
**11トレンチ** 1~6層が堆積する。5層は北端部で確認し南へ向かい標高を下げる。5層の傾斜に沿って堆積する灰色細砂層の4-1、4-2層についても北端部でのみ確認した。この上には中央以南に4層を切り込んで褐灰色の細砂層（I層）が堆積する。4層上面で北側から精査を行ったところ、南へ大きく落ち込む状況が確認された。

湧水も多かったため筋掘りによる土層確認に止めた。この落ち込みは人為的な掘削によるものか判断が難しいが、肩部付近に杭跡が検出されたことから、自然地形としても護岸施設等何らかの人為的な手が加えられている公算が高い。遺物は、4層及びI層から弥生時代から古墳時代の土師器が多量に出土した。中でもI層からの出土が顕著である。この他南端部I層下面では建築部材と考えられるほぞ穴加工された木製品が出土している。

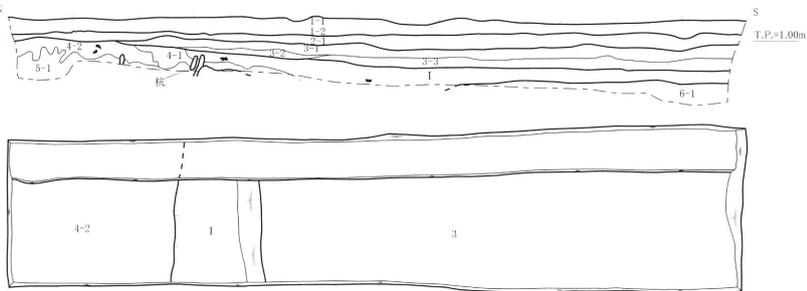
**12トレンチ** 1、2、4、6層がほぼ水平に堆積する。4-1層上面及び灰黄褐色を呈する4-4層上面で精査を行ったが遺構は検出されなかった。遺物は、2層から須恵器



9トレンチ



10トレンチ



11トレンチ

9トレンチ  
埋積土層  
1-1 暗灰黄色(2.5Y5/2)シルト～細砂 耕作土  
1-2 黄灰色(2.5Y6/1)シルト～細砂 耕作土  
2-1 灰白色(2.5Y7/1)シルト マンガンを多量に含む  
2-1' 明黄褐色(2.5Y6/6)シルト 4層灰色砂土を含む  
4-1 灰(5Y6/1)細砂 4-2層よりやや黄色気味  
4-2 灰(5Y6/1)細砂  
4-2' 明黄褐色(2.5Y7/6)細砂  
4-3 灰(5Y6/1)細砂 鉄分を中量に含む  
4-4 褐灰色(10YR6/1)細砂 鉄分多量を含む  
4-5 灰黄褐色(10YR6/3)シルト  
5-1 明黄褐色(2.5Y6/6)シルト 鉄分多量を含む  
下位鉄分が少なくなる  
5-2 明黄褐色(2.5Y6/2)シルト 5層よりやや黄色薄い  
6-1 黄灰色(2.5Y6/1)シルト  
遺構埋土  
a 灰白色(10YR7/1)シルト 5層を少量含む  
b 灰黄色(2.5Y7/2)シルト 2層に類似  
c 褐灰色(10YR5/1)シルト 塊含む  
杭: 褐灰色(10YR5/1)シルト

10トレンチ  
1-1 暗灰黄色(2.5Y5/2)シルト～細砂 耕作土  
1-2 黄灰色(2.5Y6/1)シルト～細砂 耕作土  
2-1 灰白色(2.5Y7/1)シルト マンガンを多量に含む  
4-1 灰黄色(2.5Y6/2)細砂～シルト 土器多量を含む  
4-2 黄灰色(2.5Y6/1)細砂 土器多量を含む  
4-3 黄灰色(2.5Y6/1)細砂 4-2よりやや粘性あり 土器多量を含む  
4-4 黄灰色(2.5Y6/1)細砂 4-2よりやや粘性あり 土器多量を含む  
4-5 黄灰色(2.5Y6/1～2.5Y5/1)シルト 土器多量を含む  
4-6 灰白色(2.5Y7/1)細砂 鉄分中量と土器少量含む 軟質  
4-7 黄灰色(2.5Y5/1)シルト 鉄分中量と土器少量含む  
4-8 褐灰色(10YR5/1)細砂 土器少量含む 軟質  
4-9 黄灰色(2.5Y5/1)細砂 土器少量含む 縦筋状鉄分あり 軟質

11トレンチ  
埋積土層  
1-1 暗灰黄色(2.5Y5/2)シルト 細砂含む  
1-2 黄灰色(2.5Y6/1)シルト～細砂  
2-1 灰白色～灰黄色(2.5Y7/1～2.5Y7/2)シルト マンガン多量を含む 下位に鉄分集中する  
3-1 黄灰色～黄褐色(2.5Y6/1～2.5Y6/2)シルト マンガン中量含む  
3-2 黄灰色～黄褐色(2.5Y6/1～2.5Y6/2)シルト 鉄分(植物)含む  
3-3 黄灰色～黄褐色(2.5Y6/1～2.5Y6/2)細砂 やや粘性がある  
4-1 黄灰色(2.5Y5/1)細砂 やや粘性がある 土器多量を含む  
4-2 黄灰色(2.5Y6/1)細砂 土器多量を含む  
9トレンチの4-2層と類似するが遺物量多い  
5-1 灰黄色(2.5Y7/3)細砂 鉄分を中量含む  
6-1 灰(4Y0)シルト～粘土  
遺構埋土  
1: 褐灰色(10YR4/1)細砂 やや粘性がある 土器多量を含む(特に多い)

トレンチ平面図・断面図 S=1/100

及び土師器が、4層から弥生時代から古墳時代初頭の土師器及びサヌカイト片が少量出土した。

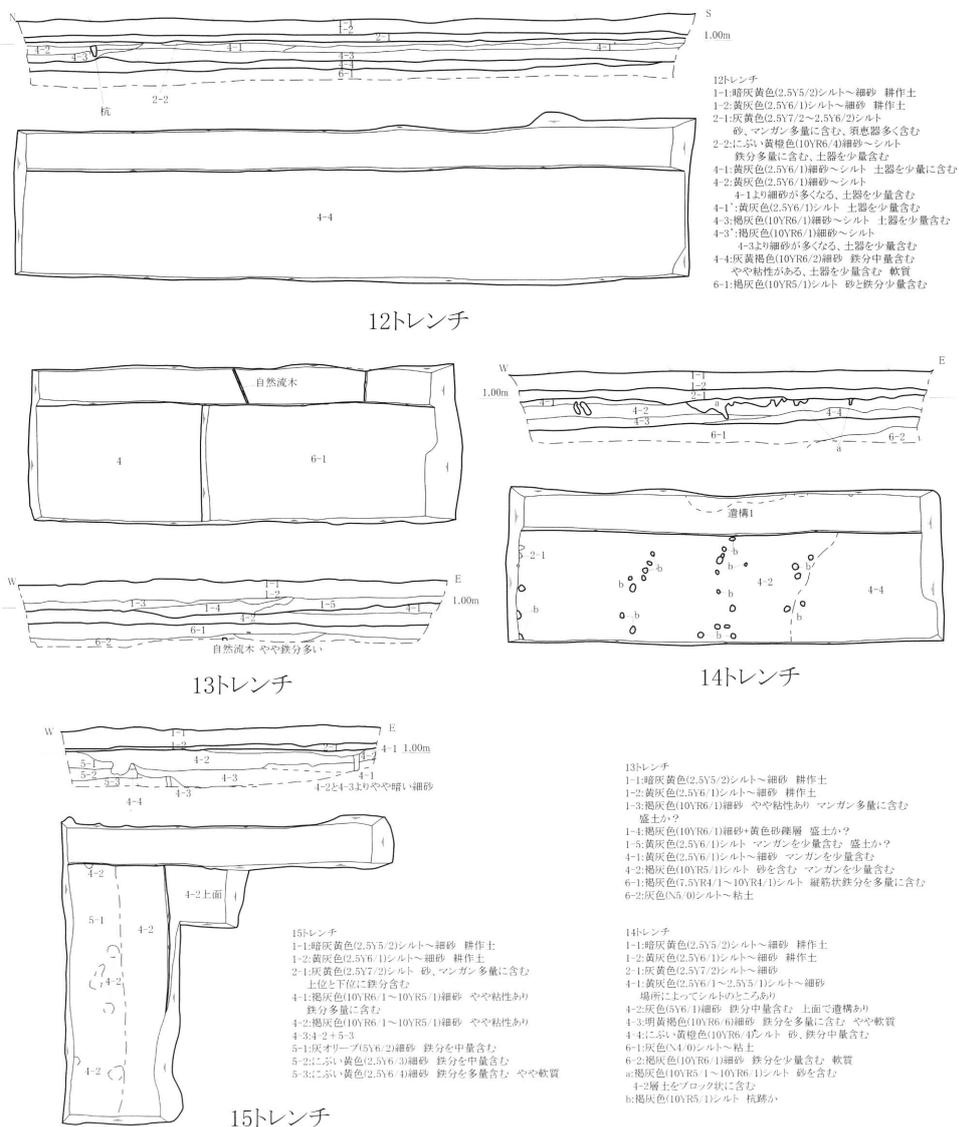
**13トレンチ** 1、4、6層が堆積する。2層及び3層の堆積はなく、4-1層も一部削平されて1-3~1-5層が盛土されたものと推定される。4層上面で精査を行った後、東半について6層上面で精査したが遺構は検出されなかった。遺物は、2層から須恵器及び土師器が、4層からは弥生時代から古墳時代の土師器が少量出土した。

**14トレンチ** 1、2、4、6層が堆積する。5層は確認されなかった。各層とも西側に緩く傾斜堆積する。4層上面で精査を行ったところ、3列の帯状に延びる杭列と土坑（遺構1）を検出した。遺物は、2層から須恵器、土師器及びサヌカイト片、4層からは他のトレンチに比べ少量であるが、弥生時代から古墳時代の土師器及びサヌカイト片が出土した。

**15トレンチ** 1、2、4、5層が堆積する。5層は細砂層で9トレンチ検出の5層とは土質が異なるが、黄色系の安定した地盤であることから5層に含めた。5層は西端にのみ堆積し、東側へ落ち込む。この落ち込みに4層が堆積する。5層上面で精査を行ったところ、落ち込み肩部付近で多数の杭跡を検出した。また、この落ち込みは溝状遺構となる可能性がある。この他4-2層上面で杭跡を検出した。遺物は、2層から須恵器、土師器が、4層からは他のトレンチに比べ少量であるが、弥生時代から古墳時代の土師器が出土した。

<調査の所見> 1区では、中世に帰属する遺物が少量出土したものの、遺構は検出されなかった。軟弱でグライ化した土層の存在から滞水及び湿地環境下にあったものと考えられ、遺構が展開する可能性は極めて低い。

2区では、1区と同様の堆積状況であったが、4層は1区に比べ明色でやや安定している。2トレンチで土坑2基、1、2トレンチで杭跡を検出した。帰属時期を確定することはできなかったが、中世に



トレンチ平面図・断面図 S=1/100



## 18 海南第二中学校校庭遺跡

(調査件名：11-94-52)

種 別：工事立会

遺構：溝・土坑

所在地：海南市日方924-3地先

遺物：土師器・須恵器・黒色土器

<調査の経緯> 日方川堤防改修事業に伴い、トレンチ調査と工事立会を実施した。

<調査の成果> 日方川の左岸堤防高を右岸堤防高まで嵩上げすることを目的として、左岸堤防上の河川管理道路に重力式擁壁を設置し堤防高嵩上げの堤防改修工事を延長150mに渡り実施する計画が策定されたため、2m四方のトレンチを5箇所設定して、工事立会を実施した。その結果、工事予定範囲のうち50~100mの範囲は、施工深度までに埋蔵文化財が残存している公算が高いことを確認し、再度工事立会を実施した。

なお、海南第二中学校校庭遺跡は、弥生土器の散布地として周知されているものの、発掘調査歴もほとんどなく詳細は知られていない遺跡である。

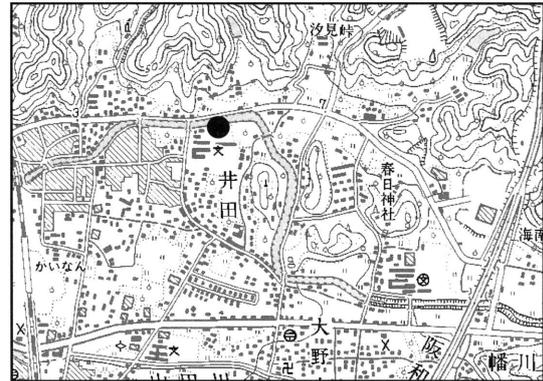
**基本層序** 1層：道路盛土、2層：盛土、3層：耕作土、4層：遺物包含層、5層：黄褐色系シルト、6層：地山の灰黄色系シルト~砂質土の6つ大別し、各層を細分した。

**トレンチ調査** 1・3・4トレンチでは、施工深度である現GL-2mまで掘削したものの、耕作土である3層までしか確認されず、遺物包含層である4層以下の層位は確認されず、埋蔵文化財が施工範囲に残存していないことが確認された。

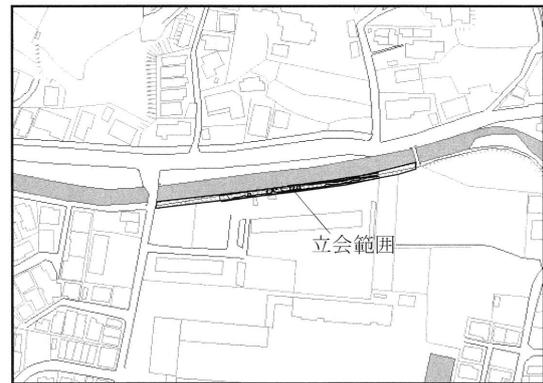
これに対し、2・5トレンチでは施工深度内にあたる現GL-1.6~2.0mで4層及び5層を検出した。5層上面で遺構は検出されなかったものの、4層から土師器や黒色土器の出土が認められたため、施工範囲に埋蔵文化財が残存する公算が高いと判断した。トレンチ位置等から、施工延長150mのうち2・5トレンチを配置した50~100mの範囲について、平面的に立会調査を実施することとした。

**立会調査** 工事立会は、結果として施工範囲50~120mの範囲を実施した。その結果、立会範囲の南壁面は南側に隣接する和歌山大学海南宿舍コンクリート塀設置により全面が攪乱されていた。

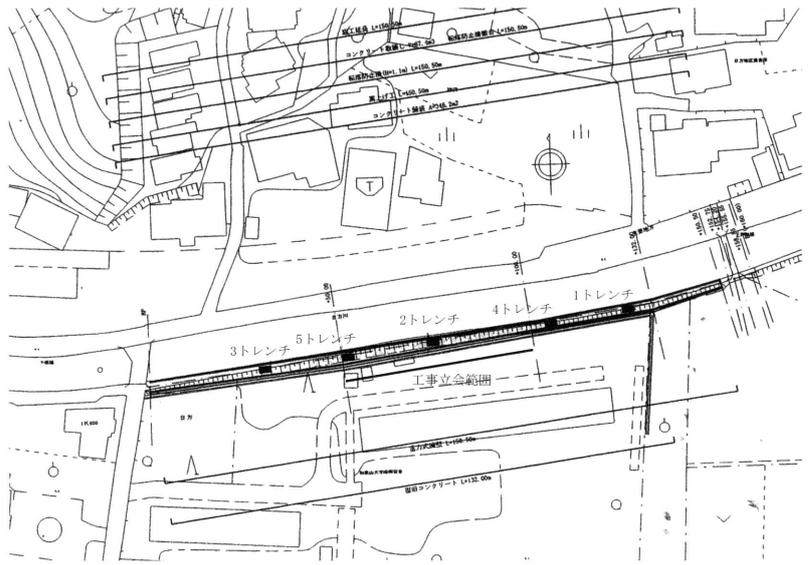
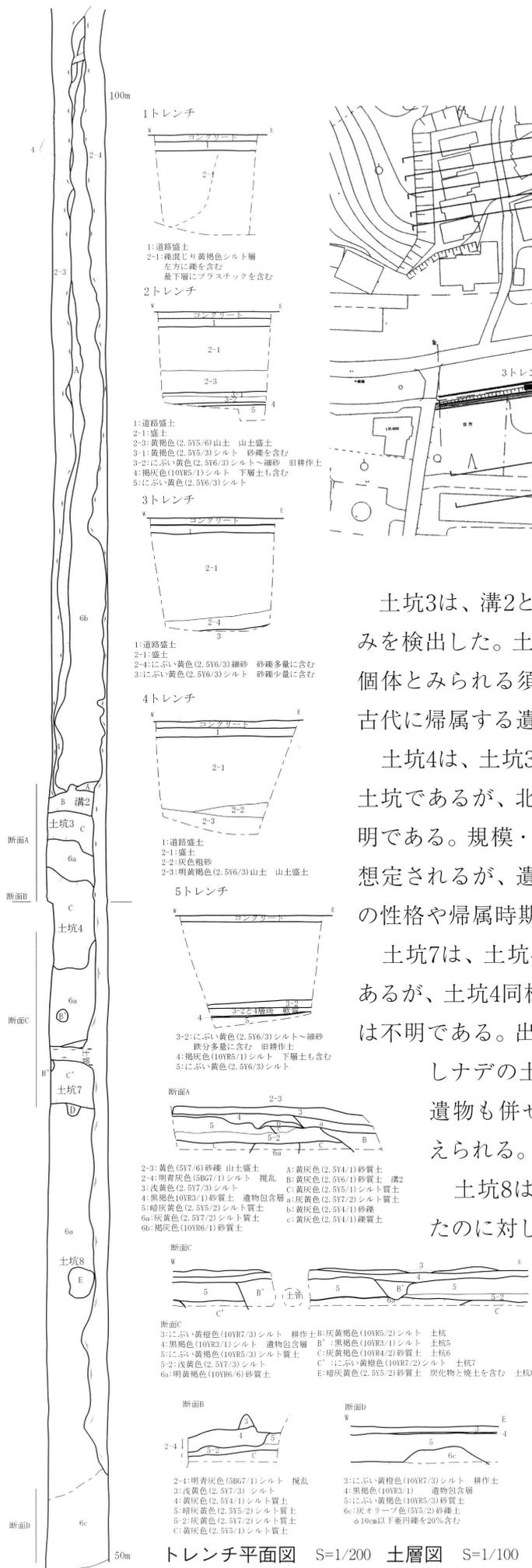
一方、北壁面も東半部の範囲は、日方川左岸堤防築堤に伴うとみられる盛土の2層により攪乱されていた。この攪乱に併行するように、A層を埋土とする東西方向の溝南肩部を検出した。A層からは瓦器片が出土した。また、A層を埋土とする溝に直交する方向で、B層を埋土としA層の溝と重複関係から後出する溝2を検出した。溝2は北壁(断面A)の観察から5層上面に帰属する遺構であることが確認された。溝2以西では、B層を埋土とする5層上面に帰属する土坑2基のほか、6層上面に帰属する土坑3・4・7・8を検出した。施工深度が6層上面から0.1m前後低いため、0.1m前後削平した状態で平面図を作成した。以下、主な遺構等概要について記す。



遺跡位置図



調査位置図 S=1/5,000



土坑3は、溝2と重複関係から後出するもので、西半部のみを検出した。土坑3からは、外面に自然釉が付着し、同一個体とみられる須恵器水瓶(8・9)が出土した。土坑3は、古代に帰属する遺構と考えられる。

土坑4は、土坑3の西側で検出された長径3mを測る大規模土坑であるが、北壁面や攪乱により平面プランの全形は不明である。規模・形状から隅丸方形の竪穴建物の可能性も想定されるが、遺構内部の掘削を行っていないため、遺構の性格や帰属時期などの詳細は不明である。

土坑7は、土坑4西側に位置する東西幅2m前後の土坑であるが、土坑4同様、北壁面や攪乱により平面プランの全形は不明である。出土遺物は、外面ミガキ内面指頭圧痕ないしナデの土師器短頸壺(1)が認められる。他の出土遺物も併せ、土坑7は古墳時代前期に帰属すると考えられる。

土坑8は、溝2~土坑7が比較的集中して検出されたのに対し、西側に約6m離れた位置で検出された直径1m程度土坑である。出土遺物には須恵器坏蓋、坏身、高坏、土師器鉢、小形甕(2~7)等が認められ、土坑8は須恵器型式から古墳時代後期に帰属すると考えられる。

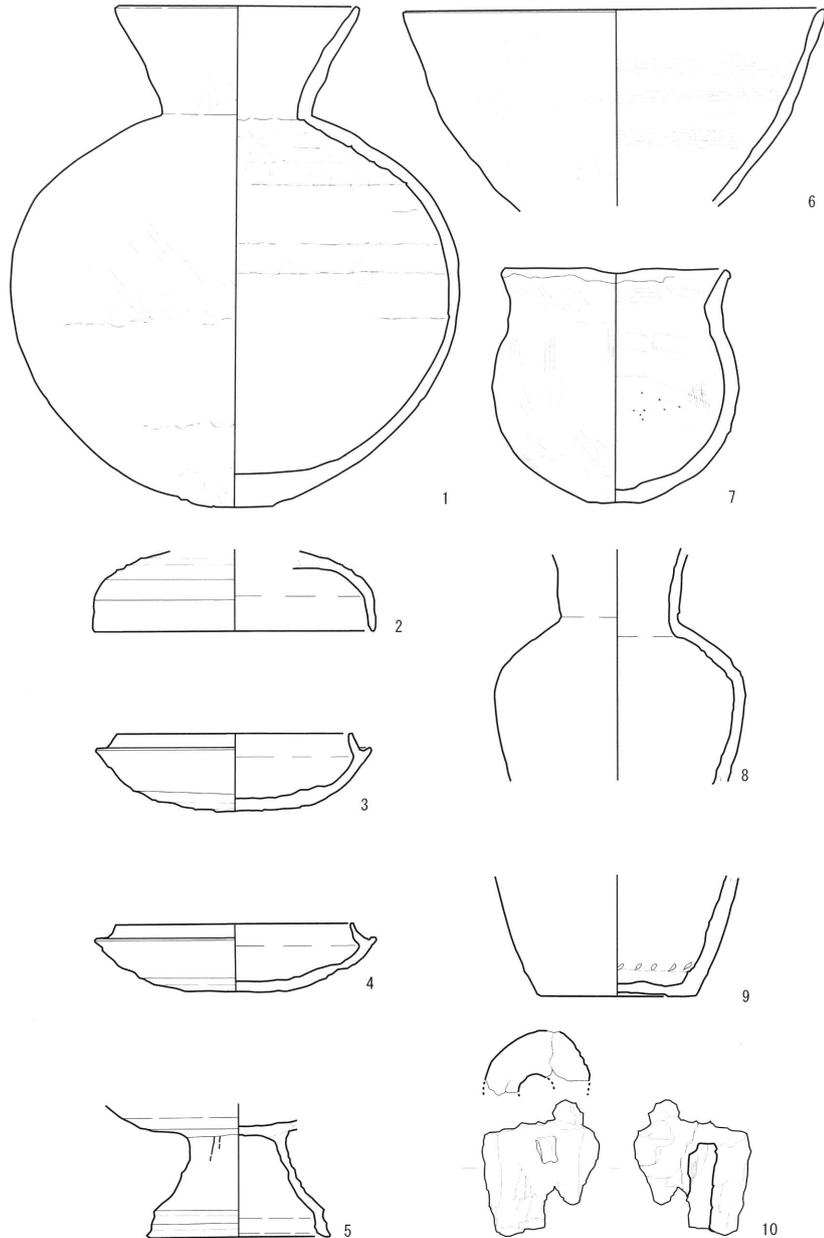
また、埋土に焼土や炭化物を多く含み、鞆羽口(10)も出土したことから、鍛冶関連遺構の可能性も想定される。

<調査の所見> 工事立会箇所は包蔵地範囲の縁辺部に位置するにもかかわらず、中世に帰属する5層上面及び古墳時代～古代に帰属する6層上面の複数面の遺構面が確認された。

海南第二中学校校庭遺跡は、弥生時代から中世までの複合遺跡であるとの新たな知見を得ることができた。



出土遺物写真



出土遺物 S=1/4

1 土坑7、2~7・10 土坑8、8・9 土坑3

(調査件名：11-94-57)

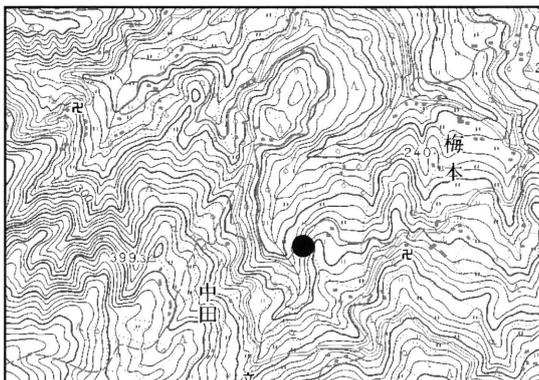
遺構：なし

遺物：なし

## 19 中田遺跡

種別：工事立会

所在地：海草郡紀美野町中田地内



遺跡位置図



調査位置図

20 下佐々Ⅲ遺跡

(調査件名：11-93-52)

種別：試掘確認調査

遺構：なし

所在地：海草郡紀美野町下佐々字唐戸瀬地内

遺物：土師器・瓦器

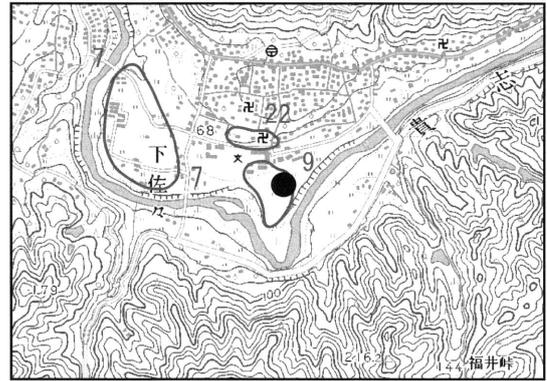
<調査の経緯> 個人住宅建設工事に伴い試掘確認調査実施した。

<調査の成果> 基本土層 第1層：宅地造成土、第2層：旧水田耕作土、第3層：3-1、3-2層は中世を下限とする土器を含むシルト層、3-3~3-4層は鉄分を多く含むシルト層、3-5層はグライ化したシルト~粘土層で遺物は包含しない。

1トレンチ 第1、2層下に遺物を含む3-1、3-2層が堆積する。この下にやや安定した3-4層の堆積が認められたが、遺構は検出されなかった。以下はグライ化層となる。3-1、3-2層からは、土師器及び瓦器が出土した。

2トレンチ 3-2層から土師器及び瓦器が出土したが遺構は検出されなかった。

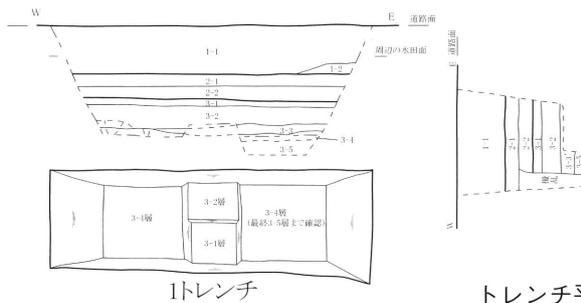
<調査の所見> 工事対象地に埋蔵文化財が展開する可能性は著しく低いと評価され、慎重工事の措置が適当と判断した。



遺跡位置図



調査位置図 S=1/5,000



1トレンチ

2トレンチ

トレンチ平面図・断面図 S=1/100

21 崎山屋敷跡

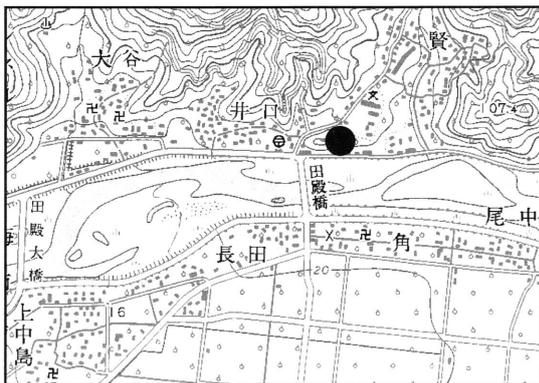
(調査件名：10-94-63)

種別：工事立会

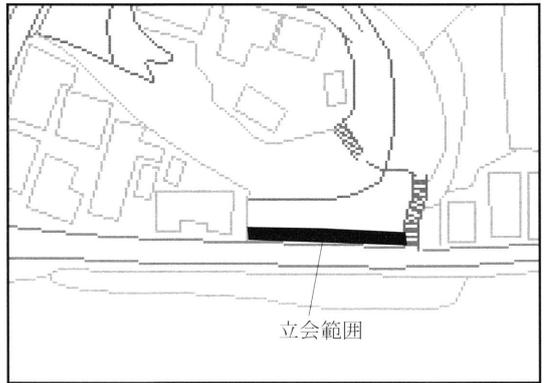
遺構：なし

所在地：有田郡有田川町井口字西慶中地内

遺物：なし



遺跡位置図



調査位置図 S=1/5,000

22 田井・西川遺跡

(調査件名：10-93-157・372)

種 別：試掘確認調査、工事立会

遺構：なし

所在地：日高郡美浜町大字田井地内

遺物：なし

試掘確認調査

<調査の経緯> 分譲住宅建設工事に伴い試掘確認調査を実施した。

<調査の成果> **基本土層** 1層：水田耕作土、2層：灰色系のシルト層で自然堆積層。

**1トレンチ** 1層下には自然堆積層である2-1層~2-4層が堆積し、鉄分の量など違いは認められるがいずれも湿地環境での堆積と考えられる。2層上面で部分的に精査を行ったが、遺構は検出されなかった。

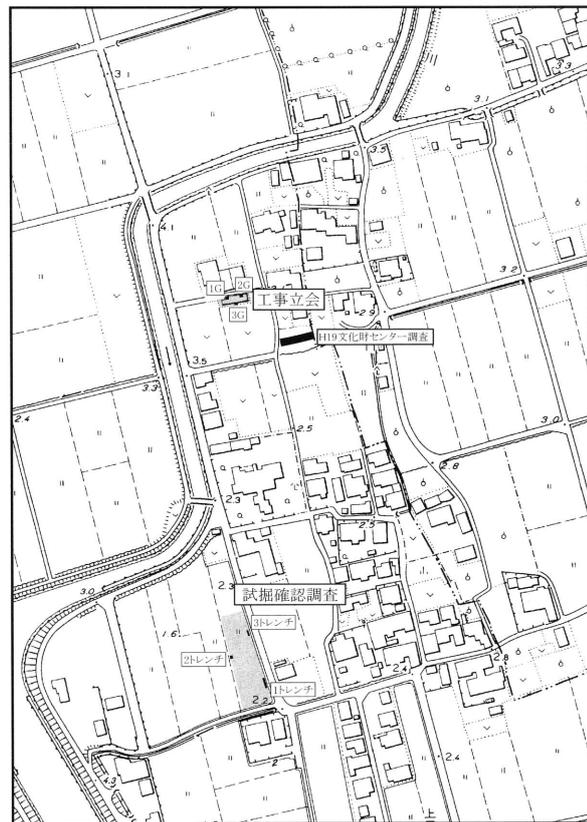
**2トレンチ** 工事の掘削深度が1層内に収まることを確認した。

**3トレンチ** 1トレンチと同様、1層下には自然堆積層である2-1層が堆積する。2層上面が擁壁設置掘削深度付近であったが、一部下層確認したところ、1トレンチと同様の堆積状況が確認された。2層上面で精査を行ったところ、南北方向に鋤溝と考えられる溝状遺構を検出した。鋤溝埋土内には土器粒が少量含まれる。埋土は1トレンチで確認した1-6層と同色、同質であることから、1-6層の耕作に伴う鋤溝であり、近世以降に帰属するものと考えられる。

<調査の成果> 今回の試掘確認調査対象地については、遺跡の南縁部であり、湿地環境にあったことが判明したため、埋蔵文化財が展開する可能性は著しく低いと評価され、慎重工事の措置が適当と判断した。



遺跡位置図



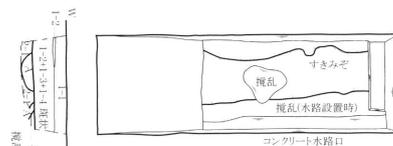
調査位置図 S=1/5,000



1トレンチ



2トレンチ



3トレンチ

- 1~3トレンチ堆積土層
- 1-1: 灰黄褐色(10YR4/1)シルト~細砂(現代耕作土)
- 1-2: 褐灰色(10YR5/1)シルト、下位にマンガン含む(旧耕作土)
- 1-3: 褐灰色(10YR5/1)シルト、鉄分中量、下位にマンガン含む(旧耕作土)
- 1-4: 褐灰色(10YR5/1)シルト、鉄分・マンガンを含む(旧耕作土)
- 1-5: 褐灰色(2.5Y5/1)シルト、鉄分を多量に含む、土層土を含む(旧耕作土)
- 1-6: 黄灰色(2.5Y6/D)シルト、鉄分を少量含む、鉄分沈着層あり(旧耕作土)
- 2-1: 灰色(N5/0)シルト、鉄分・マンガンを少量含む
- 2-2: 灰色(N5/0)シルト、鉄分を多量に含む
- 2-3: 褐灰色(10YR5/1)シルト、繊維状の植物腐屑あり
- 2-4: 灰色(N4/0)シルト、粘性大
- A: 黄灰色(2.5Y6/D)シルト、細砂含む、土器粒少量(新しい)を含む

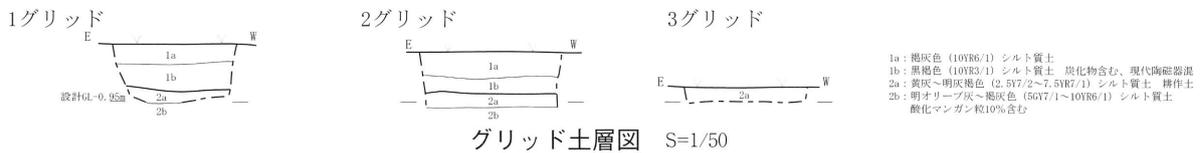
トレンチ平面図・断面図 S=1/100

## 工事立会

＜調査の経緯＞ 倉庫建替に伴い基礎工事立会を実施した。なお、南東20mの位置では、平成19年度には財団法人和歌山県文化財センターにより町道上田井下財部線道路改築工事に伴う発掘調査が実施され、現GL-1m程度の深度で縄文時代後期末を中心とする遺構が検出されている（財団法人和歌山県文化財センター2007『田井・西川遺跡-町道上田井下財部線道路建設工事に伴う発掘調査-』）。そのため、基礎工事は設計GL-0.95mまでの掘削が計画されていたことから、縄文時代の遺構が検出される可能性が想定された。

＜調査の成果＞ 倉庫建設予定地は、現在南半部が田圃で、北半部は田圃上に盛土によって嵩上げし小規模倉庫が建てられていた敷地である。そのため、現GLは最大0.6mの比高差が認められる。

倉庫基礎は10箇所設置予定で、設計GL-0.95mの工事計画であったが、現GLからの掘削深度は-20～80cmまでの掘削に止まる。10箇所のうち3箇所で行った工事立会を実施したが、北半部に位置する1・2グリッドでは0.5～0.6mの現代盛土の1層が堆積し、耕作土の2層を検出した。これに対し、南半部に位置する3グリッドでは掘削深度は耕作土の2層内に収まることを確認した。3箇所とも耕作土以下に及ばないことを確認し、施工範囲内に埋蔵文化財が存在する可能性はないことから、施工者に慎重工事を指示した。



## 23 法徳寺遺跡

(調査件名：11-93-67)

種別：工事立会

遺構：なし

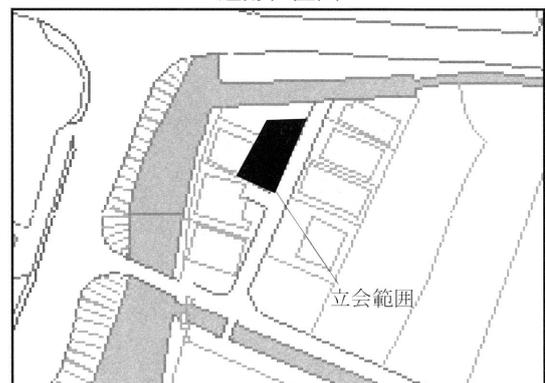
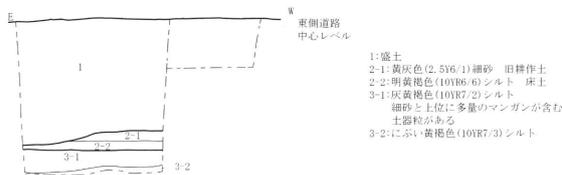
所在地：日高川町小熊字法徳寺地内

遺物：土師器

＜調査の経緯＞ 個人住宅建設に伴い浄化槽設置部分について工事立会を実施した。

＜調査の成果＞ 堆積土層は、1層が厚さ1.5mの盛土、2層が旧耕作土（2-1層）及び床土（2-2層）、3層が灰黄褐色シルト（3-1層）及びにぶい黄褐色シルト（3-2層）である。

3-1層には微量の土器粒が含まれる。工事掘削深度まで掘削したが、ベース面に達しなかった。明確な遺構は確認されなかったため、記録取得後慎重工事の措置とした。



## 24 土生城跡

(調査件名：11-93-227・302)

種 別：工事立会

遺構：溝・土坑・ピット

所在地：日高郡日高川町土生字城ノ内地内

遺物：土師器

＜調査の経緯＞ 個人住宅建築に際し、駐車場設置を目的とする切土工事の立会を実施した。工事立会には日高川町教育委員会の協力を得た。

＜調査の成果＞ 土生城跡は丘陵裾部に所在する中世城館として周知されている。調査歴はなく詳細は不明だが、正平年間に、南朝に与した逸見万寿丸清重が構えた居館跡とされる。現在もこの辺りには城ノ内という小字が残っており、近辺に城館があったこと示唆する。

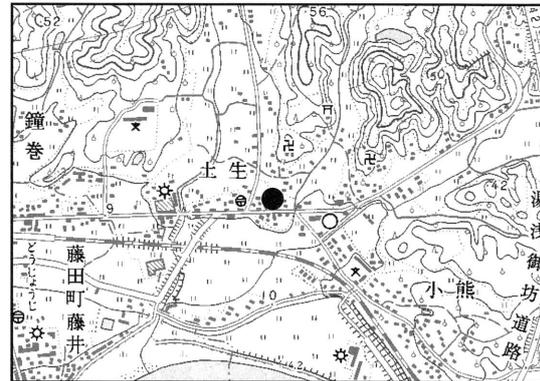
工事立会箇所現状は、南側と西側の道路と比較して1m前後高い宅地である。今回は、新規の個人住宅建設が計画され、それに伴い新たに駐車場設置が予定された。駐車場は、周辺道路地盤まで切り下げる必要性が生じたため、駐車場の範囲である東西幅7m×南北長約20mの範囲について、工事立会を実施した。

基本層序は、0層をコンクリートガラ等を含む現代盛土及び攪乱、1層を近現代盛土ないしは旧耕作土、2層を黒褐色砂質土、3層を黒褐色～灰褐色系砂質土、4層を地山とみられる明黄褐色砂礫土～明赤褐色シルト質土として大別した。各大別層は、それぞれ細分した。1・2層は、今回の住宅建設に先立つ建物解体に伴い削平されていたため、一部の範囲に残存するのみであった。また、3層は遺物包含層であるが、そのうち3d層では多量の土師器が出土しており、土師器以外の出土遺物は認められないことから、攪乱を受けていない層位と認識される。また、4層は北東から南西に向けて緩やかに傾斜して堆積している。

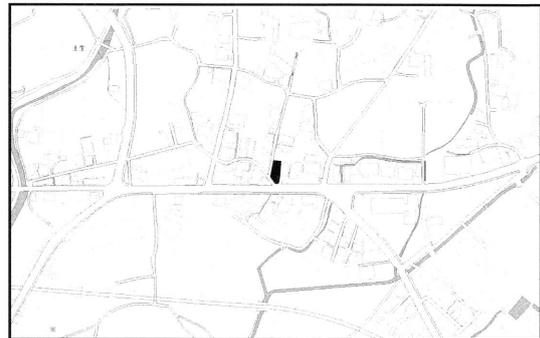
現GLから-0.7～-0.9m前後まで駐車場設置のため切り下げられる工事内容であったが、施工深度とほぼ同レベルで地山である4層が検出されたため、施工深度まで切り下げた後、精査・遺構検出を行い、記録作成を行ったのみに止めた。

施工深度の4層上面で精査した結果、西端の幅1.5m程度は4層の標高が低くなり、検出されなかった。また、立会箇所の南側の大半が宅地利用される以前の耕作地の段階で大規模な攪乱を受けていたため、4層及び遺構は検出されなかった。

遺構は、工事立会箇所内では4層の標高がやや高い北東側を中心に検出された。遺構は、断面検出を含み溝5条及び土坑ないしはピット16基を検出した。溝はいずれも幅1m未満の小規模なものであるが、溝の方向性等には規則性は認められなかった。また、直径0.3m以下のピットが散在するほか、長径4m以上を測る土坑6も確認された。これらの土坑・ピットにもその配置に規則性等は認められなかった。



遺跡位置図

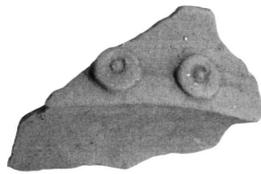


調査位置図 S=1/5,000

出土遺物は、遺構は掘削していないため、土師器細片しか出土しておらず、詳細な時期は不明である。一方、遺物包含層である3層からは二重口縁壺口縁部（写真）のほか、タタキ痕のある甕体部等土師器の多量の出土も認められ、古墳時代前期を下る時期の遺物は確認されていない。このことから、4層上面検出遺構は、古墳時代前期を下限とする遺構と考えられる。

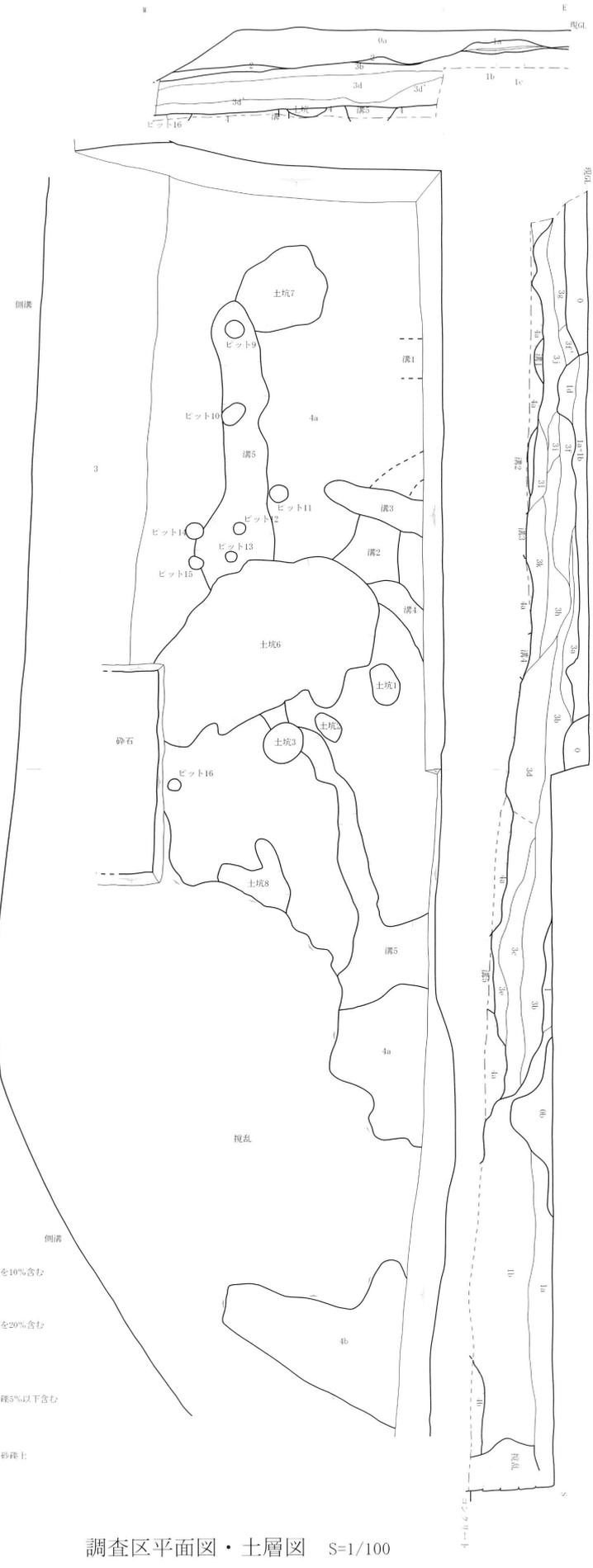
＜調査の所見＞ 工事立会の結果、土生城跡は中世城館の遺跡として周知されていたが、中世の埋蔵文化財は検出されなかった。

これに対し、地山である4層上面で古墳時代前期とみられる遺構群を検出し、新たな知見を得た。中世城館が構えられた範囲は、周辺よりも1段高く安定した土地であったため、古墳時代前期の集落が展開していた可能性が想定される。



出土遺物写真

- 東西断面  
 0a: 現代盛土 コンクリートガラを含む  
 1a: 耕作土  
 1b: 床土  
 1c: 耕作土  
 2: 黒褐色(2.5Y3/2)砂質土  
 3a: 黒褐色(2.5Y3/1)砂質土
- 南北断面  
 0: 灰白色(2.5Y7/1)シルト質土 瓦片を含む 視乱土  
 0a: 瓦を含む  
 1a: 灰黄色(2.5Y6/2) 造成土  
 1b: 灰黄色(10YR5/2)砂質土  
 1a: 灰白色(10Y7/1)シルト質土(耕作土)  
 1b: 黄褐色(7.5YR7/8)砂質土(床土)  
 1d: 黄灰色(2.5Y6/1)シルト質土 田圃の視乱  
 3a: 黒褐色(10YR3/1)砂質土 礫を1%以下含む  
 3b: 黒褐色~黒色(10YR2/2~2.5Y2/1)砂質土 礫を3%以下含む  
 3c: 灰褐色(7.5Y4/2)砂質土  
 3d: 5cm以下礫を20%含む しまりなし  
 3d: 褐灰色(10YR4/1)産種土 遺物を多量に含む  
 3e: 灰黄色(2.5Y6/2)砂種土  
 3f: 黒褐色(10YR3/1)砂種土 5cm以下礫を5%含む  
 3f': 褐灰色(10YR4/1)砂質土 5cm以下礫を3%含む
- 平面図  
 土坑1: 黒褐色(10YR3/1)  
 土坑2: 灰黄色(10YR5/2)  
 土坑3: 黒褐色(10YR3/1)  
 土坑6: 黒褐色(10YR3/1)  
 5~15cm大礫1%と5cm以下礫10%を含む  
 灰褐色少量を含む  
 土坑7: 5~15cm大礫1%と5cm以下礫10%を含む  
 灰褐色少量を含む  
 土坑8: 灰黄色(2.5Y6/2)砂種土 5cm以下礫を5%以下含む  
 土坑9: 灰褐色(10YR6/3)  
 土坑10: 灰黄色(10YR6/3)砂質土 5cm以下礫を5%以下含む
- 3d: 灰白色(10YR7/1)砂種土  
 3d': 黒色(2.5Y2/1)砂種土  
 4: 明黄褐色(10YR7/6)砂種土  
 土坑: 暗灰黄色(2.5Y5/2)砂種土  
 溝5: 暗灰黄色(2.5Y5/2)砂種土  
 ビット16: 黒褐色(10YR3/1)
- 3e: 灰黄褐色(10YR4/2)粗砂  
 3b: 褐灰色(10YR4/1)砂種土 5cm以下礫を10%含む  
 3i: 5~15cm大礫1%と5cm以下礫10%を含む  
 3j: 灰黄褐色(10YR5/2)砂質土  
 3k: 暗灰黄色(2.5Y5/2)砂種土  
 3l: 5~15cm大礫1%と5cm以下礫10%を含む  
 4a: 明黄褐色(10YR7/6)砂種土 5~15cm大礫を20%含む  
 4b: 明赤褐色(5YR5/6)シルト質土  
 地山: 明黄褐色(10YR6/6)砂質土  
 視乱: 灰白色(5Y7/1)砂質土  
 溝1: 褐灰色(10YR4/1)砂質土  
 溝2: 5~15cm大礫1%と5cm以下礫10%を含む  
 溝3: 黄褐色(2.5Y4/1)砂種土と 5~15cm大礫1%と5cm以下礫10%を含む  
 溝4: 黄褐色(2.5Y4/1)  
 溝5: 灰黄色(2.5Y6/2)砂種土
- 溝4: 黄褐色(2.5Y4/1)  
 溝5: 灰黄色(10YR5/2)と灰黄色(2.5Y6/2)砂種土 5~15cm以下礫を25%含む  
 ビット9: 黒褐色(10YR3/1)  
 ビット10: 黒褐色(10YR3/1)  
 ビット11: 黒褐色(10YR3/1)  
 ビット12: 黒褐色(10YR3/1)  
 ビット13: 黒褐色(10YR3/1)  
 ビット14: 黒褐色(10YR3/1)  
 ビット15: 黒褐色(10YR3/1)  
 ビット16: 黒褐色(10YR3/1)



調査区平面図・土層図 S=1/100

25 三百瀬遺跡

(調査件名：11-93-203)

種別：工事立会

遺構：なし

所在地：日高郡日高川町三百瀬534

遺物：なし



遺跡位置図



調査位置図 S=1/5,000

26 道成寺遺跡

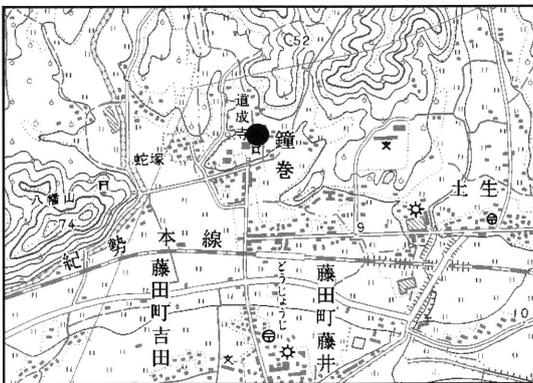
(調査件名：11-93-280)

種別：工事立会

遺構：なし

所在地：日高郡日高川町鐘巻1738

遺物：なし



遺跡位置図



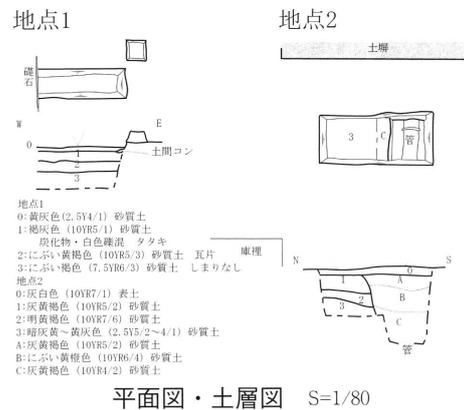
調査位置図

<調査の経緯> 道成寺が庫裡付近の下水道配管工事を計画したため、配管工事の立会を実施した。

<調査の成果> 配管箇所のはんは現GL-0.5mまでの掘削深度予定で、庫裡下（地点1）と庫裡東側の既存配管との接続部の現GL-1.0mまで掘削する土堀付近（地点2）の2箇所、立会を実施した。

地点1では、0層：表土、1層：三和土、2層：瓦片を含む整地土、3層：しまりのない整地土の堆積を確認した。地点2では、南半部は既存配管設置時に攪乱されていたが、黄褐色から灰黄色系の整地土とみられる1～3層を検出した。いずれの層位も、締め固められた三和土のような締め固められた土質ではなかった。また、地点1・2ともに遺構・遺物は確認されなかった。

道成寺は、既往の発掘調査成果から旧地形が本堂付近を頂部とする丘陵を造成して築造されていると推定されており、今回の立会結果から庫裡付近が整地土により高上げされて造成されたことを示しており、既往の発掘調査成果と矛盾しない。



27 南部高校遺跡

(調査件名：11-94-1)

種別：工事立会

遺構：溝状遺構

所在地：日高郡みなべ町芝407

遺物：なし

<調査の経緯> 電気及び水道管設置工事に伴い工事立会を実施した。

<調査の成果> **基本土層** 1層：アスファルト及び現代盛土、2層：黄褐色粗砂層、3層：黄褐色粗砂層でベース土。

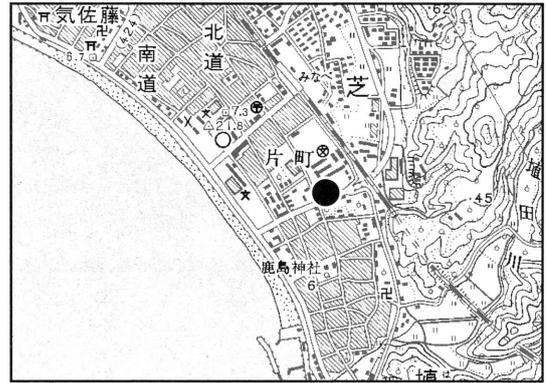
**1トレンチ** 工事掘削深度まで確認したが1層が堆積するのみで、遺構、遺物とも確認されなかった。

**2トレンチ** 1～3層が堆積する。3層上面で精査したところ、溝状遺構1条を検出した。溝状遺構は2層を埋土とするが、遺物は包含されていない。なお、遺構面は地表面以下約80cmで検出したが、工事掘削深度は地表面以下約60cmであり、遺構への影響がないことを確認した。

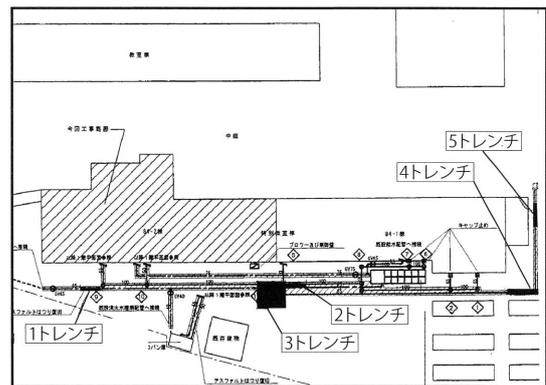
**3トレンチ** 1層及び3層が堆積する。3層上面で精査を行ったが、近世以降の遺物を含む攪乱以外に遺構は確認されなかった。

**4、5トレンチ** 工事掘削深度まで確認したが1層が堆積するのみで、遺構、遺物とも確認されなかった。

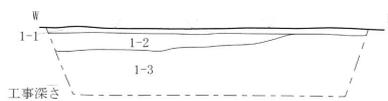
<調査の所見> 配管部分に設定した1、2、4、5トレンチでは、いずれも工事掘削深度が遺構面に達しないことを確認した。また、遺構面以下まで掘削する3トレンチでは遺構が展開しないことから慎重工事の措置とした。



遺跡位置図



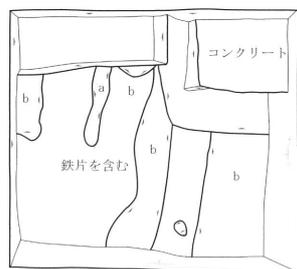
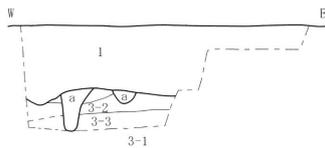
トレンチ配置図 S=1/1,200



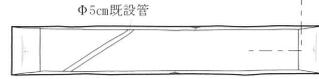
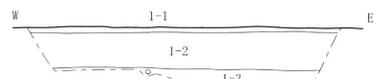
1トレンチ



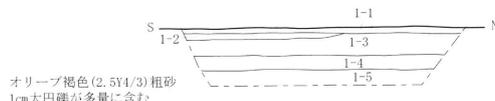
2トレンチ



3トレンチ



4トレンチ



5トレンチ

トレンチ平面図・断面図 S=1/80

- 1トレンチ
  - 1-1: アスファルト
  - 1-2: 碎石
  - 1-3: 灰黄褐色(10YR4/2)粗砂 多量に～10cm大礫と近現代の遺物を含む 盛土
- 2トレンチ
  - 1-1: アスファルト
  - 1-2: 灰黄褐色(10YR4/2)粗砂+青灰色(5B5/1)粗砂(a層) a層下位に多い 盛土(現代)
  - 1-3: 灰黄褐色(10YR4/2)粗砂 丸くぎと瓦を含む 盛土(近現代)
  - 2-1: 黄褐色(2.5Y5/3)粗砂
  - 3: 黄褐色(10YR5/6)粗砂 やや硬質
- 3トレンチ
  - 1: 攪乱土
  - 3-1: 黄褐色(2.5Y5/3)砂礫 ～5mm大の円礫を含む ベース土
  - 3-2: 黄褐色(10YR5/6)粗砂 ～5mm大の円礫を少量含む ベース土
  - 3-3: 灰オリーブ色(5Y5/3)粗砂 ～5mm大の円礫を中量含む、ベース土
  - a: 灰黄褐色(10YR4/2)粗砂 ～2mm大の円礫、近世以降の陶磁器を含む
  - b: 灰黄褐色～にぶい黄褐色(10YR4/2～10YR4/3)粗砂 コンクリート・ガラスを含む 攪乱
- 4トレンチ
  - 1-1: アスファルト
  - 1-2: 盛土 コンクリートを含む
  - 1-3: にぶい黄褐色(2.5Y4/3)粗砂 灰と近世以降の瓦を含む
- 5トレンチ
  - 1-1: アスファルト
  - 1-2: 碎石
  - 1-3: 黄褐色(2.5Y5/3)粗砂
  - 1-4: 灰褐色(5Y5/2)粗砂 ～20cm大礫を含む
  - 1-5: にぶい黄褐色(10YR5/3)粗砂

## 28 西の野遺跡

(調査件名：10-94-58)

種別：試掘確認調査

遺構：なし

所在地：田辺市中芳養地内

遺物：土師器・須恵器・瓦器

<調査の経緯> 県道芳養清川線道路改良工事に伴う試掘確認調査を実施した。対象地は、調査以前には梅畑として利用されていた。

<調査の成果> **基本土層** 1層：盛土（梅畑造成土）、2層：黄灰色シルトの旧水田耕作土、3層：灰色系のシルト層で旧水田耕作土か、4層：灰色系シルトで湿地堆積土、遺物を少量含む。5層：グライ化したシルト及び粘土層又は砂礫層で河川堆積土又は湿地堆積土、遺物を少量含む。6層：黄色系シルト～細砂層が中心で遺物を包含しない。4トレンチのみで確認した。4層と5層は同一層として扱うのが適当である。

**1トレンチ** 1、3層の下に4、5層が堆積するが、4層は河川埋土である5層上の凹みに堆積する。

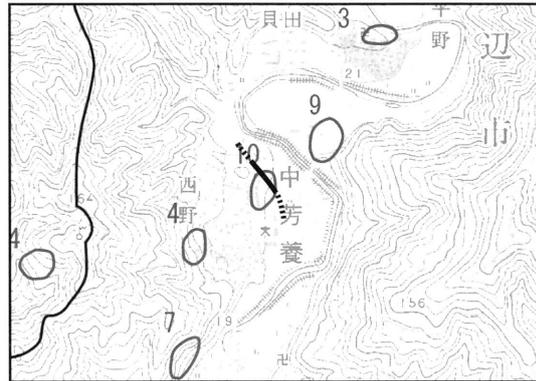
5層上面で精査したところ、北西から南東に流れる自然河川を確認したが、遺構は検出されなかった。5-2'、5-3'層には木片を多く含み、4層、5-3'層、5-7～5-9層からは、弥生時代から古墳時代と考えられる土器片が出土した。

**2トレンチ** 1、3層の下に4層及び5層が堆積する。4

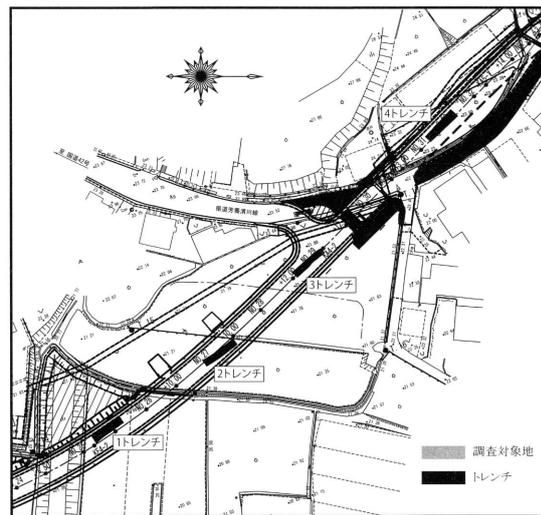
-6、7層は鉄分を多く含むシルト層で、5-17層はグライ化した粘土層である。4-6、7層は1トレンチ5-7層に対応する可能性がある。3層上面及び4層上面で精査したが、遺構は検出されなかった。遺物も3層から土師器が1点、4-6層から須恵器が1点出土したのみである。

**3トレンチ** 埋蔵文化財包蔵地の北西隣に位置する。1～5層が堆積し、5層が西側に傾斜堆積することから、トレンチ西側に落ち込む河川等の地形が推定される。東側で検出した鉄分を多く含む黄色シルト層は1トレンチ5-7層に対応する可能性がある。3層上面及び5層上面で精査したが、遺構は検出されなかった。遺物も3トレンチから土師器及び瓦器片が各1点出土したのみである。

**4トレンチ** 1層の下には2層及び6層が堆積する。トレンチの南西側半分は深さ50～70cmの攪乱により2層及び6-1層は遺存しない。6層上面で精査したところ、東半で水田跡と推定される痕跡を検出した。南北方向に延びる畦と東へ延びる小さな畦で区画されており、2-2～2-4層を盛土して水田区画を形成している。5cm前後の一定厚で堆積する2-3層に土師器及び瓦器片等の遺物が包含されていたため中世まで遡る可能性も考えられた。しかし、耕作土である2-1層に近現代の遺物が含まれることと2-3層出土の遺物が細片で摩耗が激しいことから、2-3層は搬入土と考え、近現代の水田と判断した。その他2-2層からも土師器片が少量出土した。



遺跡位置図

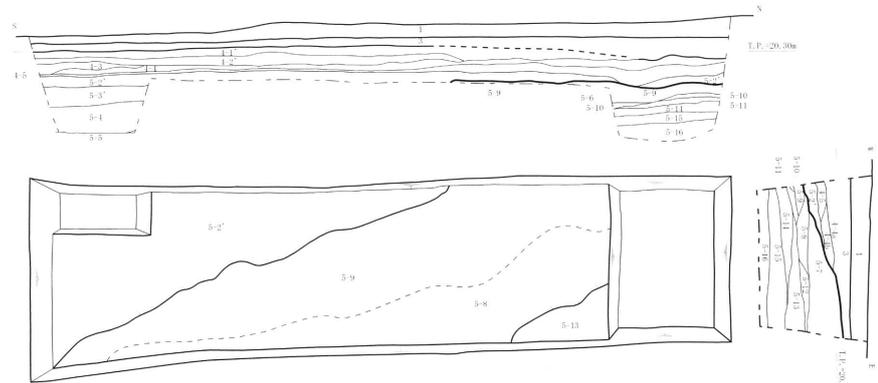


トレンチ配置図 S=1/2,000

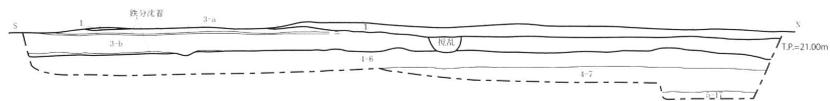
＜調査の成果＞ 県道より東側に設定した1～3トレンチは、現耕作土及び旧耕作土下に湿地堆積土及び河川堆積土が分布する。1トレンチの北西から南東に流れる自然河川と3トレンチの西側に落ち込む地形を考えると、段丘崖に沿って流れる河川の存在を推定できる。この東側は、1トレンチ5～7層、2トレンチ4層及び3トレンチの北東半に見られるような鉄分を多く含む比較的乾燥状態での堆積層が認められるものの、その直下にはグライ化した粘土層や砂礫層が堆積することから、流水、滞水、乾燥状態を繰り返す不安定な堆積環境であったと考えられる。

県道より西側に設定した4トレンチ付近は一段高く、安定した地山面をもつが、遺構は検出されなかった。2～2、3層に含まれる遺物は搬入土に含まれたものと判断できることから、周辺に中世遺跡の存在が想定されるが、西の野遺跡内であるのか、それ以外の地点であるのか現状では明らかにできない。

以上のことから、工事対象範囲に埋蔵文化財が展開する可能性は著しく低いと評価されたため、慎重工事の措置が適当と判断した。

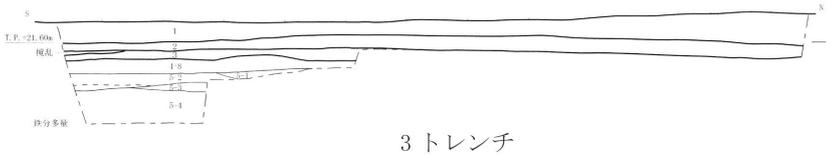


1トレンチ

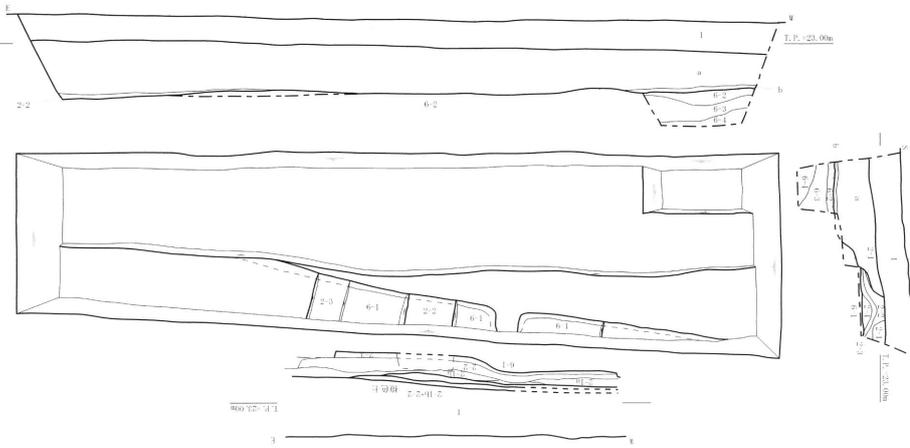


2トレンチ

- |  |                             |   |
|--|-----------------------------|---|
| 1トレンチ                                  | 5-6:青灰色(10B6/1)粗砂           | 2トレンチ                                     |
| 1:盛土                                   | 5-7:にぶい黄褐色(10YR7/2)シルト 鉄分多量 | 1:盛土                                      |
| 3:灰白色(2.5Y7/1)シルト マンガン多量 2面に分かれ、下に鉄分沈着 | 5-8:褐色(10YR6/1)シルト 鉄分多量     | 3:灰白色(2.5Y7/1)シルト マンガン多量 a,b2面に分かれ、下に鉄分沈着 |
| 4-1:褐色～灰白色(10YR6/1～10YR7/1)シルト マンガン多量  | 5-9:黄灰色(2.5Y5/1)シルト 炭、木片多量  | 4-6:灰黄色(2.5Y6/2)シルト 鉄分・マンガン多量             |
| 4-2:にぶい黄褐色～褐色(10YR7/2～10YR6/1)シルト      | 5-10:灰色(8B/0)粗砂             | 4-7:灰黄色(2.5Y6/2)シルト マンガン4-6より多量           |
| 4-3:灰白色(2.5Y7/1)シルト 粗砂含む               | 5-11:褐色(10YR4/1)シルト 木片少量    | 縦筋状の鉄分                                    |
| 4-4:明黄褐色(2.5Y6/6)シルト 斑状                | 5-13:にぶい黄色(2.5Y6/3)砂礫       | 5-17:青灰色(5B6/1)粘土                         |
| 4-4b:灰白色(2.5Y7/1)シルト                   | 5-14:青灰色(10B6/6)砂礫          |   |
| 5-2':灰黄褐色(10YR5/2)シルト 木片多量             | 5-15:黄灰色(2.5Y4/1)シルト 木片少量   |   |
| 5-3':灰色(8S/0)シルト 砂礫、木片中量               | 5-16:青灰色(10B6/6)砂礫          |   |
| 5-4:緑灰(10G7/6)シルト                      |                             |   |
| 5-5:青灰色(10B6/5/1) ～1cm大砂礫層             |                             |   |



3トレンチ



4トレンチ

- |                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| 3トレンチ                             | 4トレンチ  |
| 1:盛土                              | 1:灰黄褐色(10YR4/2)細砂 5cm大亜円礫を中量含む 現耕作土                |
| 2:黄灰色(2.5Y6/1)シルト 粗砂含む            | 2-1:灰色(8S/0)シルト 細砂と針金を含む                           |
| 3:灰黄色(2.5Y7/2)シルト マンガン・鉄分多量 土器粒あり | 2-2:灰黄色(2.5Y6/2)シルト 細砂と多量にマンガンを含む                  |
| 4-8:灰白色(10YR7/1)シルト マンガン多量 土器粒あり  | 2-3:暗黄褐色(2.5Y5/2)細砂～シルト 粗砂と多量にマンガンを含む              |
| 5-1:黄褐色(10YR5/1)シルト 礫、白色粒、鉄分含む    | 2-4:にぶい黄色(2.5Y6/3)細砂 ややよこれる                        |
| 5-2:黄灰色(10YR5/1)シルト～粘土 下に鉄分多量     | 6-1:にぶい黄褐色(10YR6/4)細砂 ～3mm大の砂礫を含む 硬質               |
| 5-3:灰色(8S/0)シルト～粘土                | 6-2:明黄褐色(10YR6/6)シルト 穴や軟質                          |
| 5-4:緑灰(10G7/6)シルト～粘土              | 6-3:暗黄褐色(2.5Y5/2)細砂 やや軟質                           |
|                                   | 6-4:灰色(5Y6/1)砂礫                                    |
|                                   | a):にぶい黄褐色(10YR5/4)砂礫 ～10cm大の亜円礫とコンクリートガラを含む 盛土(視見) |
|                                   | b):青灰色(5B6/6)シルト 5cm大亜円礫を多量に含む 盛土(視見)              |

トレンチ平面図・土層図 S=1/100

種 別：試掘確認調査

遺構：ピット・落ち込み・溝状遺構

所在地：田辺市稲成・上万呂・白浜町十九淵

遺物：土師器・須恵器・山茶碗・磁器・鉄器

＜調査の経緯＞ 近畿自動車道紀勢線建設予定の田辺市、上富田町、白浜町及びすさみ町のいずれの市町においてもその建設予定地が周知の埋蔵文化財包蔵地に該当することから、国土交通省近畿地方整備局紀南河川国道事務所と協議の結果、事前に試掘確認調査を実施することとなった。今回は、稲成遺跡（田辺市）、目座遺跡（田辺市）、田ノ口遺跡（白浜町）の3つの遺跡を対象として第6次試掘確認調査（以下、「6次調査」という。）を実施した。

以下遺跡ごとに報告する。

### (1) 稲成遺跡

＜現況＞ 稲成遺跡は荒光川左岸に位置する丘陵裾部から沖積低地を含む範囲に所在する。既往の調査としては、1次調査で沖積地に10～12トレンチを設定して試掘確認調査を実施したが、中世以前は荒光川の氾濫原で非常に不安定な堆積環境であることが確認されている。

今回の調査対象地は遺跡の北東隅にあたる丘陵裾の平坦部で、宅地として利用されていた。

＜調査の成果＞ **基本土層** 1層：現代盛土、2層：旧水田耕作土で褐灰色シルト～細砂の耕作土と明黄褐色シルトの床土に細分される。3層：ベース土で、黄色系シルトに砂礫を含む。

**25トレンチ** 沖積地より一段上がった丘陵裾部平坦面に設定したトレンチで、現地盤の標高は約8.0mである。3層上面で遺構と考えられる落ち込みを確認したため、北側にトレンチを拡張した。3層上面は緩やかに南西方向に傾斜し、南西部には暗灰黄色のシルト層（*a*層）が堆積する。東壁及び北壁では堆積は認められない。北半の状況と南半掘削時に確認できなかったことも考え合わせると西端にわずかに堆積していたもの思われ、南西部のやや低い部分に薄く堆積しているものと考えられる。遺構及び*a*層からの遺物の出土はなく、遺構の帰属時期を特定することはできなかった。他の層からも遺物の出土は認められなかった。

＜小結＞ 25トレンチを設定した平坦面で部分的に遺構が検出された。推定される展開範囲はトレンチ西側端から石垣までの幅3m前後の範囲であり、石垣設置に伴う掘削範囲を考えると幅2m程度になると思われる。ただし、今回の調査では遺物の出土がなく帰属時期を特定できてい



遺跡位置図 S=1/200,000

ない。これ以外の範囲については、ベース土が傾斜堆積し、*a*層も確認できないことから埋蔵文化財が展開する可能性は極めて低いと判断される。

また、今回の対象地西隣に位置する試掘確認調査未実施の地点については、一段低い沖積地であり、10～12トレンチで遺構、遺物が確認されない点からも、埋蔵文化財が展開する可能性は極めて低いと判断される。

## (2) 目座遺跡

＜現況＞ 目座遺跡は、右会津川左岸の沖積地に展開する八丁田圃遺跡の南東丘陵裾部に位置する。既往の調査としては、1次調査で1～4トレンチを設定し、試掘確認調査を実施した。1、2トレンチでは、丘陵斜面を階段状に成形した大規模な地形改変が行われており、埋蔵文化財は確認されていない。3、4トレンチでは中世以前に帰属する2面の遺構面が検出されており、微高地状の地形に埋蔵文化財が展開することが確認されている。

今回の対象地は宅地及び畑として利用されていた。

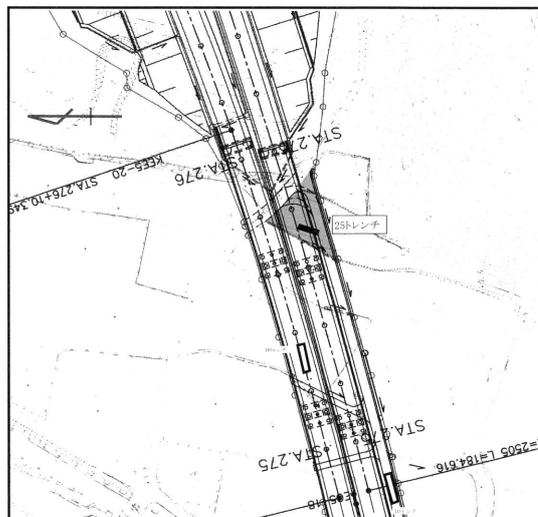
＜調査の成果＞ **基本土層** 1層：現代耕作土、2層：旧耕作土、3層：河川及び湿地堆積の砂礫又はシルト層。4層：3層と同様河川堆積層及び湿地堆積層であるが、3層に比べ安定した黄色系の堆積土層が部分的に認められる。

**26トレンチ** 1～3層が堆積する。1層は1-1～1-4に細分されるが、1-1層以外は盛土の可能性が高い。3層は河川堆積土で砂層及び砂礫層が交互に堆積する。掘削幅が狭いため河川の方向は明確でないが、断面観察及び周辺地形から、丘陵裾部に沿って南北方向に流れていたものと推定される。遺物は1層から須恵器及び土師器が少量出土している。

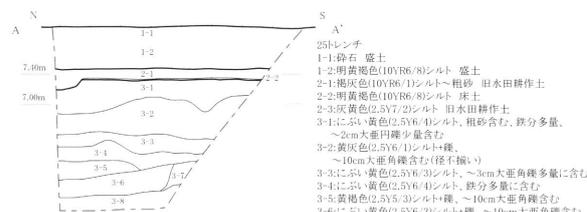
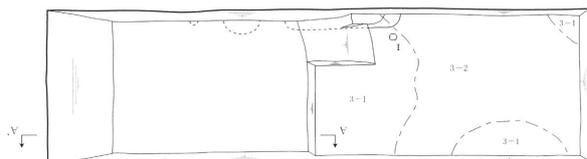
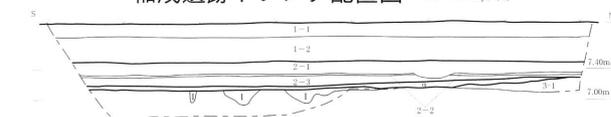
**27トレンチ** 1～4層が堆積する。4-1層上面で精査したところ、トレンチ南東側で河川跡（3-5～3-9層）、北西側でも浅い凹みに砂礫層（3-3、3-4層）が堆積する流路痕跡が認められた。いずれも南北方向の流れである。黄色系シルト層以下を4層としたが、4-2層以下も砂層、シルト層、砂礫層であり河川堆積と考えられる。他



稲成遺跡位置図



稲成遺跡トレンチ配置図 S=1/2500



A-A' 土層断面  
 25トレンチ  
 稲成遺跡トレンチ平面図・断面図 S=1/100

の層も含め遺物の出土は認められなかった。

**28トレンチ** 1～3層が堆積する。旧水田層（2層）の下には西側へ緩やかに傾斜する3層が堆積する。3層は灰色系のシルト～粘土層で、丘陵縁辺部が湿地堆積環境であったことを示す。このうち3-2層はやや褐色を呈し、弥生時代から古墳時代の土器や鉄器片が出土した。

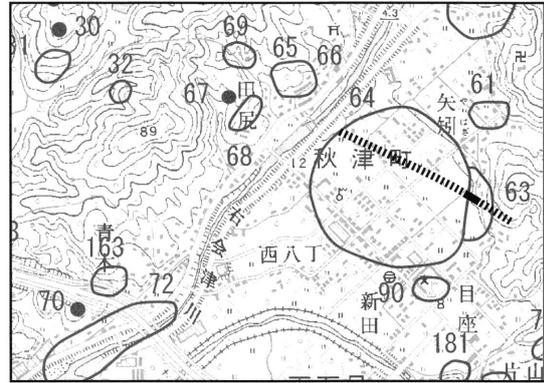
＜小結＞ 27トレンチで一部安定的な堆積層が認められたが、遺構は検出されず、26、27トレンチで丘陵縁辺部に沿って南北方向に延びる河川、28トレンチでは湿地状の堆積を確認した。遺物は26トレンチ表土及び28トレンチ3層から少量の土師器、須恵器、鉄器が出土した。いずれも遺構に伴う遺物ではない。

以上から、6次調査対象地の丘陵縁辺部は、安定した土壌が狭い範囲で認められる段階はあるものの、大部分は河川及び湿地といった不安定な環境にあったことから、埋蔵文化財が展開する可能性は極めて低いと判断される。

### (3) 田ノ口遺跡

＜現況＞ 田ノ口遺跡は白浜町十九淵に所在し、富田川の南を大きく蛇行しながら流れ河口部で合流する高瀬川左岸の丘陵上に位置する。既往の調査としては、平成13年度に分布調査が行われ、土師器、奈良時代の製塩土器等が採取されている他、今回の試掘確認調査に先立ち分布調査を行った際にも、奈良時代の須恵器、土師器、土錘等の遺物が採取された。

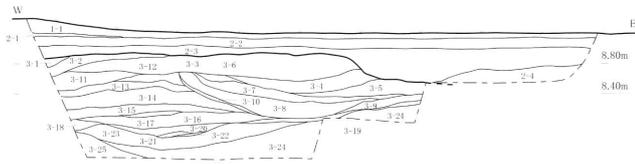
今回の調査対象地は丘陵上下の平坦部で、それぞれ山林、水田として利用されていた。



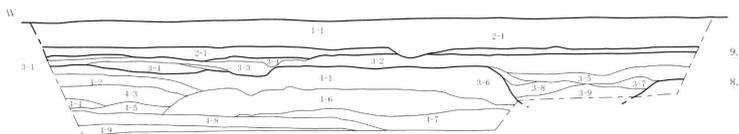
目座遺跡位置図



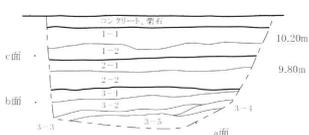
目座遺跡調査位置図 S=1/2,500



26トレンチ



27トレンチ



28トレンチ

- 26トレンチ
- 1-1:暗灰黄色(2.5Y5/2)細砂 耕作土
  - 2-1:黄灰色(2.5Y6/1)シルト～細砂、下部に鉄分沈着 旧耕作土
  - 2-2:灰白色(2.5Y7/1)シルト 水田造成土か?
  - 2-3:にぶい黄色(2.5Y6/4)細砂～シルト、～5cm大礫含む 盛土
  - 2-4:にぶい黄色(2.5Y6/4)細砂 盛土
  - 3-1:黄灰色(2.5Y6/1)砂礫、～5cm大礫
  - 3-2:にぶい黄色(2.5Y6/3)シルト
  - 3-3:黄灰色(2.5Y6/1)ににぶい黄色(2.5Y6/4)砂礫、～5cm大礫
  - 3-4:黄灰色(2.5Y6/1)砂礫、～5cm大礫、3-3層少量含む
  - 3-5:暗灰黄色(2.5Y4/2)砂礫、～5cm大礫
  - 3-6:にぶい黄色(2.5Y6/4)シルト
  - 3-7:黄灰色(2.5Y6/1)砂礫、～1cm大礫
  - 3-8:暗灰黄色(2.5Y5/2)砂礫、～1cm大礫
  - 3-9:明黄褐色(2.5Y6/6)砂礫、～5cm大礫
  - 3-10:暗灰黄色(2.5Y5/2)細砂
  - 3-11:黄灰色(2.5Y6/1)砂礫、～5cm大礫
  - 3-12:黄灰色(2.5Y6/1)砂礫、～1cm大礫
  - 3-13:暗灰黄色(2.5Y5/2)細砂、上位黒っぽい
  - 3-14:黄灰色(2.5Y6/1)砂礫、～5cm大礫
  - 3-15:灰黄色(2.5Y6/2)中砂、～3cm大礫多量
  - 3-16:灰色(N6/0)細砂
  - 3-17:明褐色(7.5YR5/6)砂礫、～3cm大礫
  - 3-18:にぶい黄褐色(10YR5/4)砂礫、～5cm大礫
  - 3-19:灰色(N6/0)細砂
  - 3-20:黄灰色(2.5Y5/1)シルト、木片含む
  - 3-21:青灰色(5B5/1)シルト～細砂
  - 3-22:黄灰色(2.5Y6/1)中砂
  - 3-23:明褐色(7.5YR5/6)砂礫、～1cm大
  - 3-24:にぶい黄褐色(10YR5/4)砂礫、～2cm大、西側青灰色シルト質で木片含む
  - 3-25:明褐色(7.5YR5/6)砂礫、～5cm大
- 27トレンチ
- 1-1:灰黄褐色(10YR6/2)細砂 耕作土
  - 2-1:灰黄色(2.5Y6/2)細砂 旧耕作土
  - 3-1:灰黄褐色(10YR6/2)細砂、灰含む
  - 3-2:灰白色(10YR7/1)シルト、マンガン鉄分少量含む
  - 3-3:明黄褐色(10YR6/6)シルト
  - 3-4:にぶい黄褐色(10YR6/4)砂礫、～5cm大礫
  - 3-5:にぶい黄色(2.5Y6/3)シルト、鉄分多量を含む
  - 3-6:明黄褐色(10YR6/6)シルト、鉄分多量を含む
  - 3-7:灰色(N6/0)中砂～3-9層
  - 3-8:灰色(N6/0)中砂
  - 3-9:にぶい褐色(7.5YR5/4)砂礫
  - 4-1:にぶい黄褐色(10YR6/4)シルト、鉄分多量
  - 4-2:暗灰色(10YR6/1)シルト～細砂 鉄分中量含む
  - 4-3:にぶい黄色(2.5Y6/3)シルト
  - 4-4:黄灰色(2.5Y6/1)中砂
  - 4-5:にぶい黄色(2.5Y6/3)シルト、細砂含む
  - 4-6:灰黄褐色(10YR6/2)粗砂、植物質跡あり
  - 4-7:灰黄色(N6/0)シルト、植物質跡少量含む
  - 4-8:灰黄褐色(10YR5/2)中砂、～5cm大礫
  - 4-9:灰白色(10YR7/1)シルト
  - 4-10:暗灰色(10YR6/1)砂礫、～3cm大礫
- 28トレンチ
- 1-1:にぶい黄褐色(10YR5/3)中砂～粗砂 建築用盛土
  - 2-1:暗灰黄色(10YR5/1)シルト ゴミを多量に含む 盛土か
  - 2-2:灰黄色(5Y6/1)シルト～粘土 沼田か
  - 2-3:灰黄色(2.5Y6/2)シルト 土層に鉄分を含む 沼田か
  - 3-1:黄灰色(2.5Y6/1)シルト～粘土 土層と質を含む
  - 3-2:灰黄色(10YR5/1)シルト
  - 3-3:灰色(N6/0)シルト～粘土
  - 3-4:灰色(N6/0)シルト
  - 3-5:灰白色(10YR5/1)シルト
  - 3-6:灰白色(10YR5/1)シルト
  - 3-7:灰白色(10YR5/1)シルト
  - 3-8:灰白色(10YR5/1)シルト
  - 3-9:灰白色(10YR5/1)シルト
  - 3-10:灰白色(10YR5/1)シルト
  - 3-11:灰白色(10YR5/1)シルト
  - 3-12:灰白色(10YR5/1)シルト
  - 3-13:灰白色(10YR5/1)シルト
  - 3-14:灰白色(10YR5/1)シルト
  - 3-15:灰白色(10YR5/1)シルト
  - 3-16:灰白色(10YR5/1)シルト
  - 3-17:灰白色(10YR5/1)シルト
  - 3-18:灰白色(10YR5/1)シルト
  - 3-19:灰白色(10YR5/1)シルト
  - 3-20:灰白色(10YR5/1)シルト
  - 3-21:灰白色(10YR5/1)シルト
  - 3-22:灰白色(10YR5/1)シルト
  - 3-23:灰白色(10YR5/1)シルト
  - 3-24:灰白色(10YR5/1)シルト
  - 3-25:灰白色(10YR5/1)シルト

目座遺跡トレンチ平面図・断面図 S=1/100

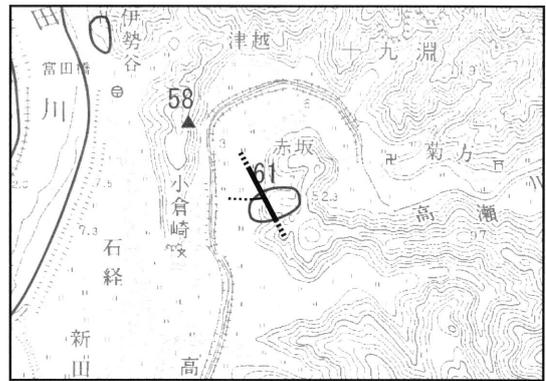
＜調査の成果＞ 丘陵下に1～9トレンチ、丘陵上に10～19トレンチを設定して調査を実施した。丘陵下の掘削は機械及び人力掘削を併用、丘陵上は人力掘削のみで行った。

〔丘陵下(1～9トレンチ)〕 **基本土層** 1層：現代耕作土、表土又は盛土。2層：旧耕作土。3層：褐色系シルト～細砂層で、遺物を包含する。4層：安定した黄色系シルト層で遺構検出面。5層：谷部の不安定な砂及びシルトの自然堆積層。6層：地山(岩盤)

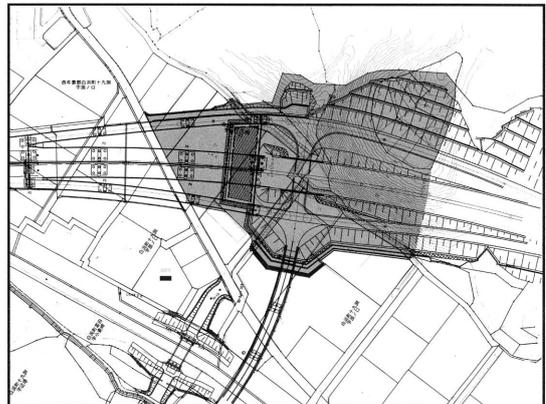
**1トレンチ** 当初北東-南西方向に設定する予定であったが、北端に暗渠があり、湧水が激しいため、北西-南東方向に拡張した。1層の下に4、5層が堆積する。周辺住民からの聞き取りによれば1トレンチ付近は圃場整備の際に上部を削り取ったようである。1-1層の下は黄灰色のシルト(4-1層)が堆積し、以下は粗砂層及びシルト層(5-1～5-7層)が堆積する。5層の多くは灰色系の粗砂層であり、水流を伴う堆積環境であったと考えられるが、部分的に薄い黄色系シルト層が認められるなど乾燥した環境下にあった時期も認められる。4-1層上面と5-5層上面で精査したが、遺構、遺物とも確認されなかった。

**2トレンチ** 当初、長さ11.5mで設定したが、遺物包含層が続くため南西側に幅0.8mの範囲を拡張した。1層～4層が堆積する。4層上面で精査したところ、北東端から5m付近で溝状遺構と南西方向への落ち込みを検出した。溝状遺構は落ち込みの肩に沿って掘削されており、褐灰色系のシルトと4層土を埋土とし土師器片を含む。落ち込みは当初遺構として掘削を進めたが、最終的に南西方向への緩やかな傾斜部分と判断するに至った。ただ、落ち込みの北東端と北東端から5m離れた付近については傾斜が急で、遺物の出土もあり、遺構も隣接することから考えると人為的な加工が施されている可能性がある。部分的に落ち込み埋土を掘削したところ、古代の特徴を持つ土師器、須恵器が多く出土した。出土量は南西に向かうほど減少する。この埋土を3層とした。

**3トレンチ** 1層～6層が堆積する。トレンチ北東端では岩盤である6層が露出するが、この部分については1トレンチ同様圃場整備の際上面を削り取られたようであり、かつては傾斜を持った丘陵の張り出し部であったものと考えられる。4、6層上面で精査したところ、北東端から5m付近でピット及び溝状遺構と南西方向への落ち込みを検出した。ピット及び溝状遺構は落ち込みの肩に沿って掘削されており、褐灰色系のシルトと4層土を埋土とし土師器を含む。落ち込みは2トレンチ検出の落ち込みに連続するものと考えられる。部分的に落ち込み埋土(3層)を掘削したところ、古代の特徴を持つ土師器、須恵器が多く出土した。他、山茶碗、磁器といった中世遺物も認められる。出土量は南西に向かうほど減少する。



田ノ口遺跡位置図



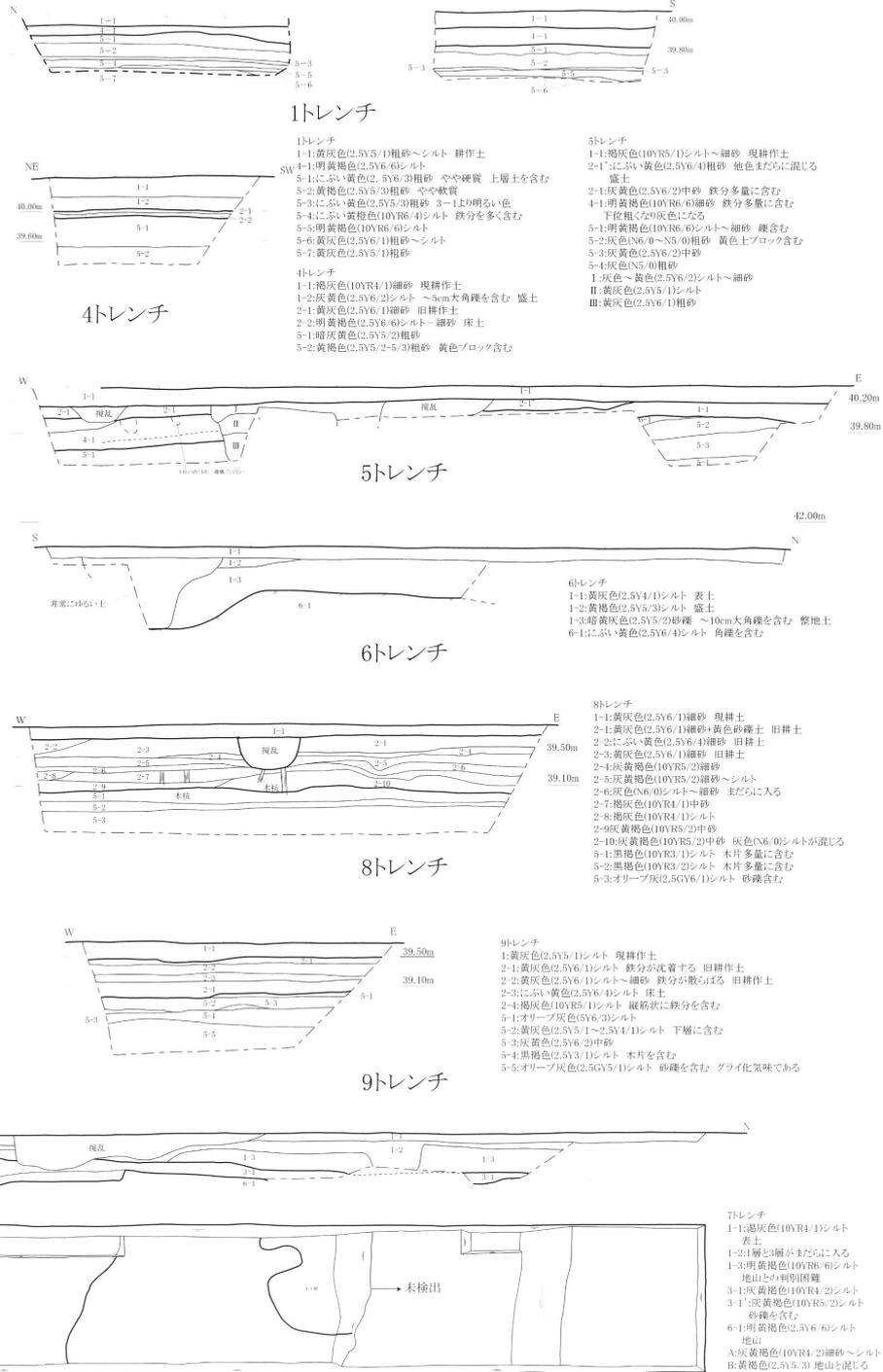
田ノ口遺跡調査位置図 S=1/5,000

4トレンチ 1、2層の下に5層が堆積する。5層は色調等で2層に細分されるが、いずれも粗砂層で、遺物の出土は認められなかった。

5トレンチ 1、2層の下に4、5層が堆積する。調査区中央やや南東側には塩ビ管の排水施設が設置される。4-1層は明黄褐色の細砂層であり下位ほど灰色で粗くなる。5層はシルト層、細砂層、中砂層、粗砂層と多様で、4-1とともに北西に向かうにつれ緩やかに標高を下げる。4-1層上面で精査したが遺構は確認されなかった。また、遺物の出土も認められなかった。

6トレンチ 1、6層が堆積するが、6層は南西側に落ち込み、この落ち込み部に1-2、1-3層の盛土が堆積している。斜面を切土、盛土して平坦面を形成している。6層上面で精査したが攪乱以外検出されなかった。遺物の出土もなかった。

7トレンチ 1、3、6層が堆積する。1-2、1-3層は盛土で整地層と考えられる。3層は灰黄褐色のシルト層で有機物を多く含むが、掘削した範囲において遺物の包含は認められなかった。6層上面で精査（北西半については未検出）したところ、ピットと溝状遺構を検出した。埋土は大部分が灰黄褐色のシルト～細砂層で3層に類似する。南東端から3mの地点には



トレンチ平面図・断面図 S=1/100



とする。これ以外は上層と異なる埋土を持つ。遺物は2層から土師器片が出土した。

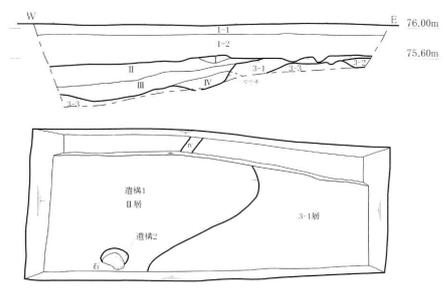
**12トレンチ** 1～3層が堆積する。2層上面で精査したところ、ピット及び土坑を多数検出したが、ビニールひもの出土等から現代に掘削されたものと考えられる。この後3層上面で再度精査したが、遺構は検出されず遺物の出土も認められなかった。

**13トレンチ** 1～3層が堆積するが西半は1層の下が3層となる。3層上面で精査したところ、ピット2基を検出したが、いずれもビニールひものを含み現代に掘削されたものであった。遺物の出土は認められなかった。

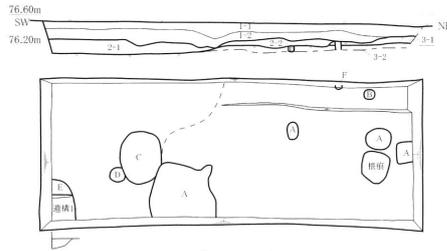
**14トレンチ** 1層～3層が堆積するが、北東部は1層の下が3層となる。この堆積状況から北東部は削平を受けているものと推定される。2-1層から2-3層は遺物を包含しないがやや軟質であるため盛土と判断した。3層及び2層上面で精査したところ、最大幅1.5m、長さ4.8m、深さ12cmの土坑を検出した。土坑は北東側の調査区外に延びる。埋土からは土師器、須恵器片が出土した。この他、1層からも少量の土師器、須恵器片が出土している。

**15トレンチ** 1～3層が堆積する。上段端部には表土を含め約80cmの盛土が堆積し、上段は一定の傾斜を持つ斜面を切土盛土して平坦面を形成していることが確認された。斜面及び下段は表土層の下が地山面となる。下段の平坦面裾部が切土されているかどうかの判断は難しいところであるが、14トレンチで検出した赤色を呈する3-2層がほぼ平坦で確認され斜面上では検出されない点と、3-1層が斜面上及び平坦面に分布している点等を考慮すると、当初からこの段差と中段平坦面はある程度形成されていたものと考えられる。遺物は斜面裾部の1層から土師器、須恵器が出土した。

16トレンチ 1層の下に3層が堆積し、3層上面の標高も現地盤と同様の傾斜を持つ。3層上面で精査したが遺構、遺物とも検出されなかった。



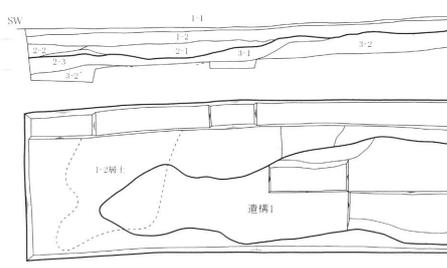
10トレンチ



11トレンチ



13トレンチ



14トレンチ



12トレンチ

- 10トレンチ  
堆積土層  
1-1: 灰黄褐色(10YR4/2)細砂 表土  
1-2: にぶい黄褐色(10YR6/3)シルト 表土  
3-1: にぶい黄色(2.5Y6/4)シルト やや硬質  
3-2: 褐色(7.5YR6/6)シルト やや硬質  
3-3: 浅黄色(2.5Y7/4)シルト  
遺構1  
I: 黒褐色(10YR3/1)シルト～細砂 軟質  
II: 褐灰色(10YR4/1)シルト～細砂 土器多量を含む 軟質  
III: にぶい黄褐色(10YR6/4)シルト 軟質  
IV: 褐色(7.5YR6/6)シルト 軟質  
遺構2  
II層+2-1層土が硬に混じる
- 11トレンチ  
堆積土層  
1-1: 灰黄褐色(10YR4/2)細砂 表土  
1-2: にぶい黄褐色(10YR6/3)シルト 表土  
2-1: にぶい黄褐色(10YR6/3)シルト  
2-2: 明褐色(7.5YR5/6) 根により大きく擾乱されている。  
3-1: 褐色(7.5YR6/6)シルト やや軟質  
3-2: 浅黄色(2.5Y7/4)シルト  
遺構埋土  
A: にぶい黄色(10YR6/3)シルト やや硬質  
B: 褐灰色(10YR4/1)シルト  
C: にぶい黄褐色(10YR6/4)シルト 根や炭を含む  
D: にぶい黄褐色(10YR6/4)シルト やや赤味である  
E: にぶい黄褐色～にぶい褐色(上位10YR6/4～7.5Y5/4)シルト 土器がある  
F: にぶい黄褐色(10YR5/3)シルト
- 12トレンチ  
1-1: 灰黄褐色(10YR4/2)細砂～シルト 表土  
2-1: にぶい黄色(2.5Y6/3～2.5Y6/4)シルト 根多く含む。  
2-2: にぶい黄色(2.5Y6/4)シルト 2:2比でやや汚れる  
2-3: 浅黄色(2.5Y7/4)シルト  
3-1: 浅黄色～にぶい黄色(2.5Y7/4～2.5Y6/4)シルト  
3-2: 灰白(5Y7/2) 岩盤  
A: 褐灰色～灰黄褐色(10YR5/1～10YR4/2)シルト ベース土・赤色鏝を含む  
A': 灰黄褐色(10YR4/2)細砂～シルト  
B: にぶい黄褐色(10YR5/3)シルト 上位は灰黄褐色(10YR4/2)細砂～シルト  
C: にぶい褐色(7.5Y5/3)細砂
- 13トレンチ  
1-1: 灰黄褐色(10YR4/2)細砂～シルト 表土  
2-1: にぶい黄色(2.5Y6/3～2.5Y6/4)シルト 根多く含む  
3-1: 浅黄色～にぶい黄色(2.5Y7/4～2.5Y6/4)シルト  
3-2: 浅黄色(5Y7/4)岩盤  
A: 褐灰色～灰黄褐色(10YR5/1～10YR4/2)シルト ベース土・赤色鏝を含む
- 14トレンチ  
堆積土層  
1-1: 褐灰色(10YR4/1)シルト～細砂 表土  
1-2: にぶい黄褐色(10YR5/4)シルト 盛土  
2-1: にぶい黄褐色(10YR6/4)シルト 根多い  
2-2: 褐色(7.5YR6/6)シルト  
2-3: にぶい黄褐色(10YR6/4)シルト 2-1よりやや暗い  
3-1: にぶい黄褐色(10YR7/4)シルト  
3-2: 明赤褐色(2.5YR5/6)シルト  
3-2': にぶい褐色(7.5YR5/4)シルト やや赤味  
遺構埋土  
I: 褐色(5YR5/6)シルト 土器含む  
II: にぶい黄褐色(10YR7/4～6/4)シルト 土器含む

トレンチ平面図・断面図 S=1/100

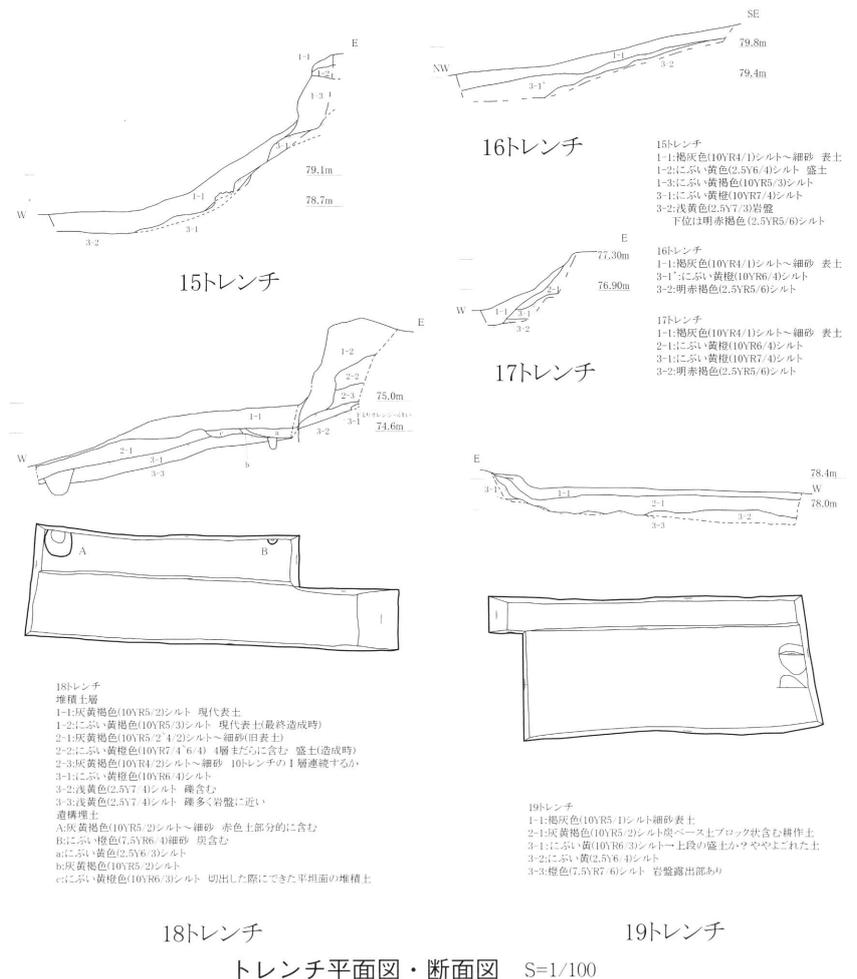
17トレンチ 1層から3層が堆積する。中段端部には約50cmの盛土が堆積するため、地山の高低差は20~30cmと段差は低く、下段平坦面の成形時にも切土はわずかであったことが推定される。遺物の出土はなかった。

18トレンチ 1層から3層が堆積する。下段端部には盛土が60cm程度なされており、段差部で大きく削り取られている。地山面の傾斜は10トレンチと大差なく、同一面を形成していたものと推定される。地山面で精査したところ、ピット2基を検出した。遺物は1層から土師器、須恵器が少量出土したのみである。

19トレンチ 1層から3層が堆積する。地山は平坦に成形され、3-1層の堆積が上部に見られないことから切盛りにより平坦面が成形されていることが判明した。3層上面で精査したところ、西端でピット1基を検出した。埋土から土器粒が出土した他、1層から土師器が少量出土した。

〈小結〉 〔丘陵下〕 2、3、7トレンチで遺構が検出された。いずれも田ノ口遺跡の所在する丘陵北西側の谷筋に位置するため下層には水成堆積も認められるが、水流のない比較的安定した段階に堆積した黄色系のベース土上で遺構が確認される。この上には灰褐色又は灰黄褐色系の層が堆積し、2、3トレンチでは、古代に帰属する多くの遺物を包含する。2トレンチ北東に位置する1トレンチで遺構は確認できなかったが、これは圃場整備により上部が削平されたためと考えられ、遺跡は1~3トレンチ及び北東側に1段上がった7トレンチ付近に分布していたものと推定される。丘陵上部への入り口、護岸などの推定はできるが、現状では調査面積が狭小であるためその性格については明らかにできない。この他の地点では埋蔵文化財の展開は認められなかった。4、5トレンチ付近まで遺構は広がらず、6トレンチの平坦面は、近年の造成により平坦地が造られたものであることが判明した。また、8、9トレンチ付近は軟弱なシルト及び砂層の堆積であり、不安定な環境であったことが確認された。

〔丘陵上〕 10、11、14、18、19トレンチで遺構が検出された。いずれも丘陵平坦面中段及び下段である。18トレンチの成果からは、下段平坦面下の緩傾斜部にも埋蔵文化財が展開するものと推定される。丘陵平坦部上段については、12、13、16トレンチを設定して調査したが、いずれも近現代の痕跡以外認められなかった。尾根筋状に当たる12トレンチ付近は緩

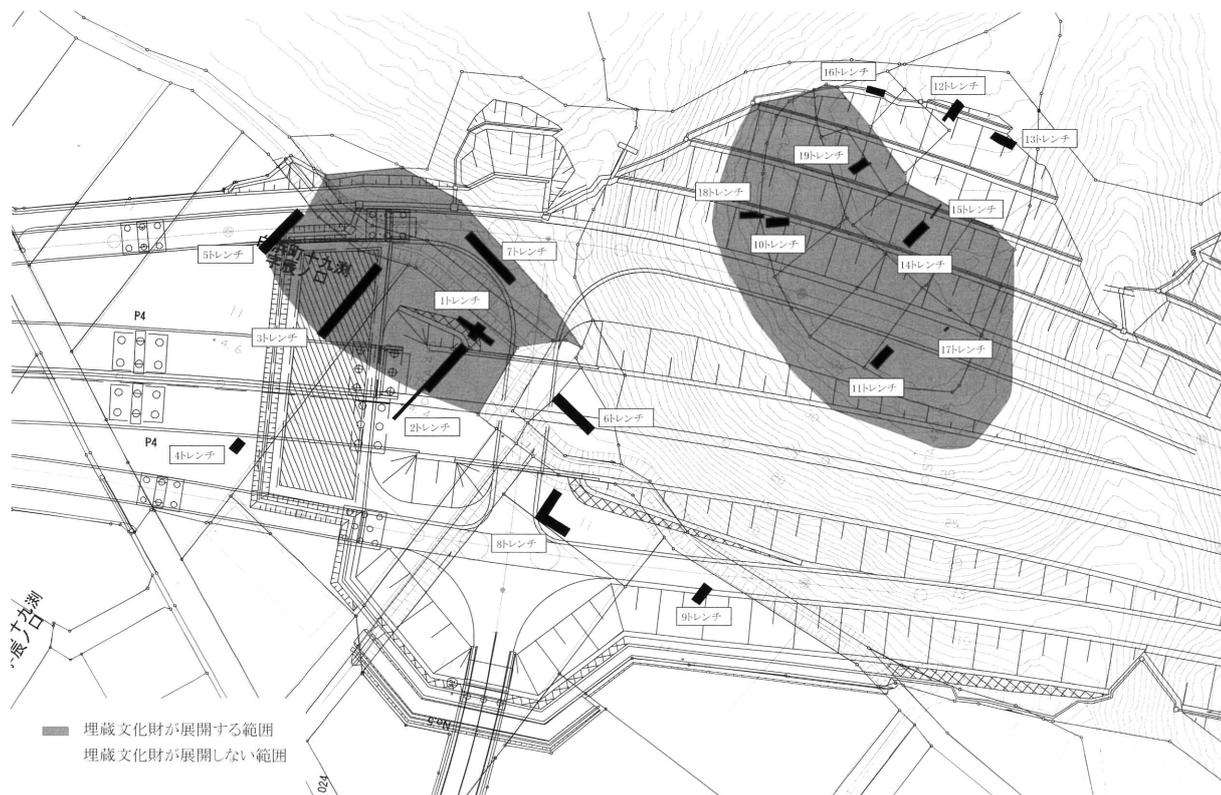


やかな傾斜面を持つが、その北西及び南東側はやや急な傾斜面となっている。地山面も同様の傾斜であり、遺物の出土も認められないことから、この面上で生活が営まれた可能性は極めて低いと考えられる。なお、上段と中段の境界部には多くの盛土による整地が行われ、現状では緩傾斜面を形成しているが、これは近年の造成と考えられる。

丘陵平坦部中段については、一定量の切土、盛土はなされているが、地山の堆積状況や広い平坦面を考えるとそれほど大きな変化はなされておらず、当時からある程度の平坦面を形成していたものと考えられる。14トレンチでは削平を受けているとみられるが、土坑1基を検出した。機能は不明であるが、出土遺物から古代に帰属する可能性が高い。また、19トレンチでもピット1基を検出している。平坦面上方は一定量の削平を受けているが、下方及び深度の大きい遺構は遺存しているものと考えられる。

丘陵平坦面下段についても、一定量の切土、盛土はなされているが、平坦面の広さから推定すると、当時からある程度の平坦面を形成していたものと考えられる。10トレンチでは弥生時代末から古墳時代初頭の遺物が多量に出土した。18トレンチの緩傾斜部を含めて遺構が遺存しているものと考えられる。

<調査の所見> 6次調査の結果、近畿自動車道紀勢線予定地内の、稲成遺跡及び田ノ口遺跡において埋蔵文化財の展開が確認された。埋蔵文化財の展開が確認された範囲における近畿自動車道紀勢線施工に際しては、平成19年3月28日付文第548号和歌山県教育委員会教育長通知「和歌山県における発掘調査を要する場合の取扱い基準」に基づいた取扱いにより、高架・橋梁以外の道路並びに工事により埋蔵文化財が掘削されて損壊される場合は、記録保存目的の本発掘調査が必要である。なお、稲成遺跡については、対象範囲が狭小で、遺物の出土も認められないことから、工事立会等による記録保存の方法が妥当である。



トレンチ配置及び埋蔵文化財展開図 S=1/1,500

30 笠嶋遺跡

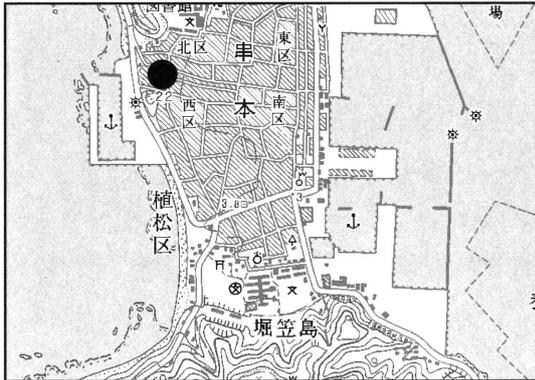
(調査件名：09-94-50)

種別：工事立会

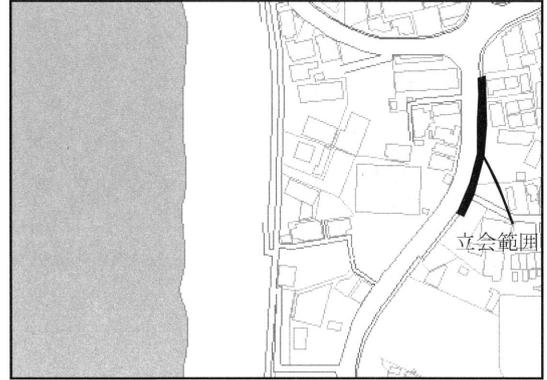
遺構：なし

所在地：東牟婁郡串本町串本字堀南生地内・清水生地内

遺物：なし



遺跡位置図



調査位置図 S=1/5,000

31 矢ノ熊遺跡

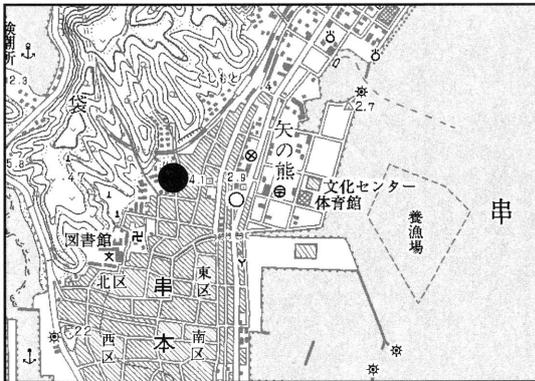
(調査件名：11-93-210)

種別：工事立会

遺構：なし

所在地：東牟婁郡串本町字江川生地内

遺物：なし



遺跡位置図



調査位置図 S=1/5,000

32 旧太地熱帯植物園内遺跡

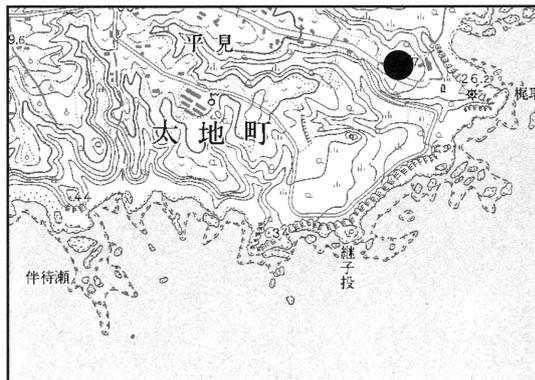
(調査件名：10-94-349)

種別：工事立会

遺構：なし

所在地：東牟婁郡太地町太地1285-1

遺物：なし



遺跡位置図



調査位置図 S=1/5,000

# 報告書抄録

ふりがな	わかやまけんまいごうぶんかざいちょうさねんぼう							
書名	和歌山県埋蔵文化財調査年報							
副書名	-平成23年度-							
編著者名	黒石哲夫・佐々木宏治・藤井幸司・高橋智也・瀬谷今日子・田中元浩・西村尚子							
編集機関	和歌山県教育委員会							
所在地	〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通一丁目1番地 TEL 073-441-3731							
発行年月日	平成25年3月31日							
所収遺跡	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
金剛峯寺遺跡	伊都郡高野町高野山内	30344	4	34°12'45"~12'47"	135°35'23"~35'11"	H23.10.18、H23.11.29	8.7㎡	道路維持修繕
慈尊院Ⅱ遺跡	伊都郡九度山町慈尊院地内	30343	4	34°12'47"	135°35'11"	H23.5.9	4㎡	個人住宅
県指定史跡三谷坂	伊都郡かつらぎ町三谷地内	30341	史9	34°17'6"	135°31'10"	H23.8.22 ~ H23.8.25	16.2㎡	道路建設
東 洪田遺跡	伊都郡かつらぎ町東洪田29-1・31-2	30341	かつらぎ地区7	34°16'43"	135°28'34"	H23.11.29 ~ H23.12.5	79.3㎡	道路改良工事
笠田東遺跡	伊都郡かつらぎ町笠田東825	30341	かつらぎ地区8	34°17'32"~17'34"	135°28'37"~28'39"	2012/1/24、2011/9/15	12㎡、14㎡	テニスコート等、校舎増築
下丹生谷遺跡	紀の川市下丹生谷344-1	30208	粉河地区26	34°16'49"	135°25'23"	H23.12.13、H23.12.14	4㎡	基盤整備事業
粉河寺遺跡	紀の川市粉河地内	30208	粉河地区22	34°16'49"~16'50"	135°24'21"~23'74"	H23.5.17、H23.7.3	10㎡	砂防工事
貴志城跡	紀の川市貴志川神戸・長原地内	30208	貴志川地区47	34°12'54"	135°18'26"	H23.3.30	5㎡	下水道
西の圃遺跡	紀の川市貴志川岸宮地内	30208	貴志川地区35	34°13'22"	135°17'41"	H23.7.25 ~ H23.7.28	56.4㎡	農業関係 (水路)
粟島遺跡	紀の川市東大井字角田地内	30208	打田地区15	34°16'16"	135°22'13"	H23.8.17 ~ H23.8.26	176.6㎡	倉庫建設
根来寺遺跡、不動寺谷遺跡	岩出市根来安上地内・紀の川市西三谷地内	30209	16	34°17'21"~17'35"	135°18'28"~20'26"	H24.1.19 ~ H24.2.20	145.64㎡	高速道路
秋月遺跡	和歌山市太田122	30201	331	34°13'42"	135°11'56"	H23.12.23	7㎡	水道
田屋遺跡	和歌山市田屋地内	30201	93	34°12'54"	135°18'26"	H23.11.1 ~ H23.11.9	29.3㎡	農業関係
六十谷遺跡 (第5次)	和歌山市六十谷地内	30201	84	34°15'43"	135°12'16"	H23.7.11 ~ H23.7.13	確認調査10㎡・工事立会29㎡	道路改良
六十谷遺跡 (第6次)	和歌山市六十谷地内	30201	84	34°15'42"	135°12'14"	H24.2.23 ~ H24.2.27	10㎡	道路改良工事
六十谷遺跡	和歌山市六十谷地内	30201	84	34°15'43"	135°12'14"	H23.10.13	9.6㎡	擁壁工事
平井Ⅱ遺跡	和歌山市平井地内	30201	437	34°15'38"	135°10'21"	H24.1.14	100㎡	高速道路
和歌山城跡	和歌山市二番丁1番地	30201	379	34°13'41"	135°10'34"	H24.3.3	21㎡	庁舎建設
和田遺跡	和歌山市和田地内	30201	301	34°12'19"	135°12'34"	H24.3.1 ~ H24.3.27	270㎡	道路改良工事
海南第二中学校校庭遺跡	海南市日方924-3地先	30202	海南地区9	34°9'33"	135°15'44"	H24.1.16	10㎡	堤防修繕
中田遺跡	海草郡紀美野町中田地内	30304	野上地区12	34°7'11"	135°19'26"	H24.1.19	36㎡	地滑り防止工事
下佐々Ⅲ遺跡	海草郡紀美野町下佐々字唐戸瀬地内	30304	野上地区9	34°9'14"	135°18'55"	H23.6.2	11㎡	個人住宅
崎山屋敷跡	有田郡有田川町井口字西慶中地内	30366	吉備地区42	34°4'38"	135°12'45"	H23.6.21	197㎡	道路改良
田井・西川遺跡	日高郡美浜町田井地内	30381	15	33°53'52"	135°8'45"	H23.4.8、H23.11.7	7㎡、21㎡	農業用倉庫、宅地造成
法徳寺遺跡	日高郡日高川町小熊字法徳寺地内	30382	川辺地区9	33°54'32"	135°10'50"	H23.8.29	4.7㎡	浄化槽埋設
土生城跡	日高郡日高川町土生字城ノ内地内	30382	川辺地区42	33°54'43"	135°11'3"	H23.11.22	15㎡	駐車場
三百瀬遺跡	日高郡日高川町三百瀬字古田地内	30382	川辺地区30	33°55'26"	135°12'55"	H23.12.19	5.44㎡	個人住宅

道成寺遺跡	日高郡日高川町鐘巻 1738	30382	川辺地区 4	33° 54' 52"	135° 10' 29"	H24.3.1	2㎡	下水道
南部高校遺跡	日高郡みなべ町芝 407	30391	南部地区 31	33° 45' 53"	135° 19' 33"	H23.8.10	4.2㎡	電気・水道管設置
西の野遺跡	田辺市中芳養地内	30206	田辺地区 10	33° 46' 47"	135° 21' 19"	H23.5.23 ~ H23.5.31	85㎡	道路改築
稲成遺跡、目座遺跡、 田ノ口遺跡	田辺市稲成・上万呂・白浜町十九洲地内	30206	田辺地区 153・63 白浜地区 61	33° 44' 46" 44' 49" 38' 54"	135° 22' 47" 23' 53" 24' 31"	H23.6.6 ~ H23.7.6	310.8㎡	高速道路建設
笠嶋遺跡	東牟婁郡串本町串本字掘南生地内・清水生 地内	30428	串本地区 3	33° 27' 48"	135° 46' 39"	H23.9.26	10㎡	道路改良
矢ノ熊遺跡	東牟婁郡串本町字江川生地内	30428	串本地区 8	33° 28' 24"	135° 46' 47"	H24.3.13	6㎡	集合住宅
旧太地熱帯植物園内遺跡	東牟婁郡太地町太地 1285-1	30422	2	33° 34' 58"	135° 57' 24"	H23.4.15	4㎡	解体・伐根

### 調査の概要

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
金剛峯寺遺跡	寺院跡	平安～	—	陶磁器	
慈尊院Ⅱ遺跡	集落跡	古墳	—	土師器	
景指定史跡三谷坂	史跡(交通)	近代	溝状遺構	近現代の陶磁器、鏝	
東 洪田遺跡	散布地	縄文～中世	—	—	
笠田 東遺跡	散布地	鎌倉	—	—	
下丹生谷遺跡	散布地	古墳～江戸	—	陶磁器	
粉河寺遺跡	寺院	奈良?～	—	—	
箕志 城跡	城館跡	中世	—	—	
西の側遺跡	散布地	縄文～中世	—	—	
栗島遺跡	散布地	奈良～平安	溝・土坑・石積み・ピット	土師器・瓦器	
不動寺谷遺跡	出土地	縄文	—	土師器	
根来寺遺跡	寺院跡	平安～中世・近世	石組溝・石積み・古道	土師器・須恵器・瓦器	旧根来寺坊院跡
秋月遺跡	散布地	弥生～平安	流路	土師器・須恵器・瓦器	
田屋遺跡	集落跡	弥生～古墳	土坑・ピット	土師器・瓦器・瓦質土器	
六十谷遺跡	散布地	縄文～弥生	ピット・溝・溝状遺構	土師器	
平井Ⅱ遺跡	散布地	弥生～中世	土坑・溝・ピット	—	
和歌山 城跡	城館跡	近世	土坑・石敷	陶磁器・瓦器	
和田遺跡	散布地	弥生	土坑・ピット・溝・落ち込み	弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・石器	
海南第二中学校校庭遺跡	散布地	弥生	溝・土坑	土師器・須恵器・黒色土器	
中田遺跡	散布地	室町	—	—	
下佐々Ⅲ遺跡	散布地	縄文、古代～中世	—	土師器・瓦器	
崎山屋敷跡	館跡	鎌倉	—	—	
田井・西川遺跡	散布地	縄文～弥生	—	—	
法徳寺遺跡	散布地	弥生～古墳	—	土師器	
土生 城跡	館跡	中世	溝・土坑・ピット	土師器	
三百瀬遺跡	散布地	縄文	—	—	
道成寺遺跡	寺院跡	奈良～現代	—	—	
南部高校遺跡	散布地	弥生～古墳	溝状遺構	—	
西の野遺跡	散布地	弥生～古墳	—	土師器・須恵器・瓦器	
稲成遺跡	岩陰	弥生	—	—	
目座遺跡	散布地	弥生	—	土師器・須恵器・鉄器	
田ノ口遺跡	散布地	古墳	ピット・落ち込み溝状遺構	土師器・須恵器・山茶碗・磁器	
笠嶋遺跡	散布地	弥生	—	—	
矢ノ熊遺跡	散布地	弥生～古墳	—	—	
旧太地熱帯植物園内遺跡	出土地	先土器	—	—	

和歌山県埋蔵文化財調査年報  
—平成 23 年度—

発 行 日 平成 25 年 3 月 31 日

編集・発行 和歌山県教育委員会  
和歌山市小松原通一丁目 1 番地

印 刷 株式会社 協 和